



Bb

*Brief & bright*

操作マニュアル

 株式会社SHF

PBB0000W000-01-01



# 目次

## はじめに

インストール方法	・・・	1～3
マウス操作	・・・	4

## 第1章 構造

1-1 起動方法について	・・・	①-1
1-2 基本メニューについて	・・・	①-2 ～3
1-3 工事概要について	・・・	①-4
1-4 構造について	・・・	①-5

## 第2章 平面・床・屋根

### < 平面図入力 >

2-1 平面図の画面構成について	・・・	②-1
2-2 平面図機能について	・・・	②-2
2-3 基準線機能について	・・・	②-3 ～4
2-4 柱機能について	・・・	②-5 ～6
2-5 梁機能について	・・・	②-7 ～8
2-6 RC壁機能について	・・・	②-9 ～10
2-7 壁機能について	・・・	②-11～12
2-8 コーナー機能について	・・・	②-13
2-9 開口機能について	・・・	②-14
2-10 小口機能について	・・・	②-15～16
2-11 面作成機能について	・・・	②-17～18
2-12 階高について	・・・	②-19
2-13 測定について	・・・	②-20
2-14 縦断面について	・・・	②-21
2-15 ハッチングについて	・・・	②-22
2-16 表示について	・・・	②-23

### < 床・屋根入力 >

2-17 床・屋根の画面構成について	・・・	②-24
2-18 床・屋根構成について	・・・	②-25
2-19 床割付機能について	・・・	②-26～27
2-20 床開口機能について	・・・	②-28～29
2-21 床目地について	・・・	②-30～31
2-22 床補助線について	・・・	②-32～33
2-23 床切り欠きについて	・・・	②-34～35
2-24 床ハッチングについて	・・・	②-36～38

### <平面寸法設定>

2-25	寸法設定基本概要について	...	②-38~39
2-26	平面・床・屋根寸法機能について	...	②-40
2-27	壁寸法について	...	②-41
2-28	構造寸法について	...	②-41
2-29	壁ルールについて	...	②-42
2-30	構造ルールについて	...	②-42
2-31	壁間寸法について	...	②-43
2-32	寸法操作について	...	②-44~51
2-33	文字操作について	...	②-52~55
2-34	初期値について	...	②-55
2-35	重複について	...	②-56
2-36	表示について	...	②-56

### <DXF>

2-37	DXF読込の基本概要について	...	②-57~58
2-38	DXF読込(平面)について	...	②-59~60
2-39	自動認識(平面図)について	...	②-61
2-40	矩形(対角)について	...	②-62
2-41	多角形(点)について	...	②-62
2-42	多角形(辺)について	...	②-63
2-43	線(R)について	...	②-63
2-44	基点について	...	②-63
2-45	DXF読込(立面)について(オプション)	...	②-64~65
2-46	自動認識(立面図)について	...	②-66
2-47	DXFクリアについて	...	②-66

## 第3章 立面

### <立面入力>

3-1	立面の画面構成について	...	③-1
3-2	パネル割付機能について	...	③-2
3-3	パネル割付について	...	③-3
3-4	縦割作成について	...	③-4
3-5	横割作成について	...	③-4
3-6	指定割付(横割)について	...	③-5
3-7	小口壁割付(横割)について	...	③-5
3-8	W変更(簡易変更)について	...	③-6
3-9	W変更(詳細変更)について	...	③-6
3-10	H変更(簡易変更)について	...	③-7
3-11	H変更(詳細変更)について	...	③-7
3-12	パネル削除について	...	③-8
3-13	指定パネルの変更について	...	③-8
3-14	目地入れについて	...	③-9
3-15	目地消しについて	...	③-9
3-16	パネルの指定部分切欠きについて	...	③-10

3-17	2線間切欠について	...	③-10
3-18	拡張パネル削除について	...	③-11
3-19	セットバックについて	...	③-11
3-20	パネル情報について	...	③-12
3-21	小口表示ON/OFF	...	③-13
3-22	小口芯伸縮	...	③-13
3-23	開口機能について	...	③-14~15
3-24	補助線について	...	③-16~17
3-25	切欠について	...	③-18~19
3-26	躯体について	...	③-20~21
3-27	階高レベルについて	...	③-22
3-28	ハッチングについて	...	③-23

#### < 立面寸法設定 >

3-29	寸法設定基本概要について	...	③-24~26
3-30	パネル寸法について	...	③-27
3-31	構造寸法について	...	③-27
3-32	パネルルールについて	...	③-28
3-33	構造ルールについて	...	③-28
3-34	開口寸法について	...	③-29
3-35	寸法操作について	...	③-29
3-36	文字操作について	...	③-29
3-37	初期値について	...	③-29
3-38	重複について	...	③-29
3-39	表示について	...	③-29

## 第4章 レイアウト設定

4-1	レイアウト基本概要について	...	④-1~2
4-2	図面切取について	...	④-3~5
4-3	エリア移動について	...	④-6
4-4	エリア変更について	...	④-7
4-5	エリア整列について	...	④-8
4-6	エリア削除について	...	④-9
4-7	エリア回転について	...	④-10
4-8	レイアウト読出について	...	④-11
4-9	レイアウト保存について	...	④-11
4-10	画面クリアについて	...	④-12
4-11	初期値設定	...	④-12
4-12	方位入力について	...	④-13
4-13	文字入力について	...	④-14

## 第5章 作図

5-1	作図機能一覧	...	⑤-1
5-2	図面名変更について	...	⑤-2
5-3	全図枠ON・OFFについて	...	⑤-2
5-4	全図枠文字ON・OFFについて	...	⑤-2
5-5	図番総数変更について	...	⑤-2
5-6	図番並替について	...	⑤-2
5-7	自動拡張について	...	⑤-2
5-8	画面表示色設定について	...	⑤-2
5-9	カラー出力・線幅固定について	...	⑤-2
5-10	作図切り替えについて	...	⑤-2
5-11	印刷機出力について	...	⑤-2
5-12	DXF出力について	...	⑤-2

## 第6章 発注書作成

6-1	DOSファイル読込について	...	⑥-1
6-2	画面説明について	...	⑥-2
6-3	画面説明(パネル説明)について	...	⑥-2
6-4	パネル処理について	...	⑥-3
6-5	壁確認 について	...	⑥-4
6-6	パネル集計について	...	⑥-4~5
6-7	発注書作成について	...	⑥-5~7
6-8	集計確認について	...	⑥-8
6-9	開口集計について	...	⑥-9
6-10	割付検索	...	⑥-10

## 第7章 補助

7-1	補助機能一覧	...	⑦-1
7-2	平面補助について	...	⑦-1
7-3	立面補助について	...	⑦-1
7-4	床・屋根補助について	...	⑦-2
7-5	縦断面補助について	...	⑦-2
7-6	横断面補助について	...	⑦-2

## 第8章 マスター

8-1	マスター機能について	...	⑧-1
8-2	代理店登録について	...	⑧-1
8-3	柱について	...	⑧-2
8-4	梁について	...	⑧-3
8-5	開口について	...	⑧-4
8-6	開口補強について	...	⑧-5
8-7	開口補強初期値について	...	⑧-6
8-8	金物について	...	⑧-7~10

## 第9章 環境設定

- 9-1 動作環境について … ⑨-1~2
- 9-2 初期値設定について … ⑨-3~21

## 第10章 その他

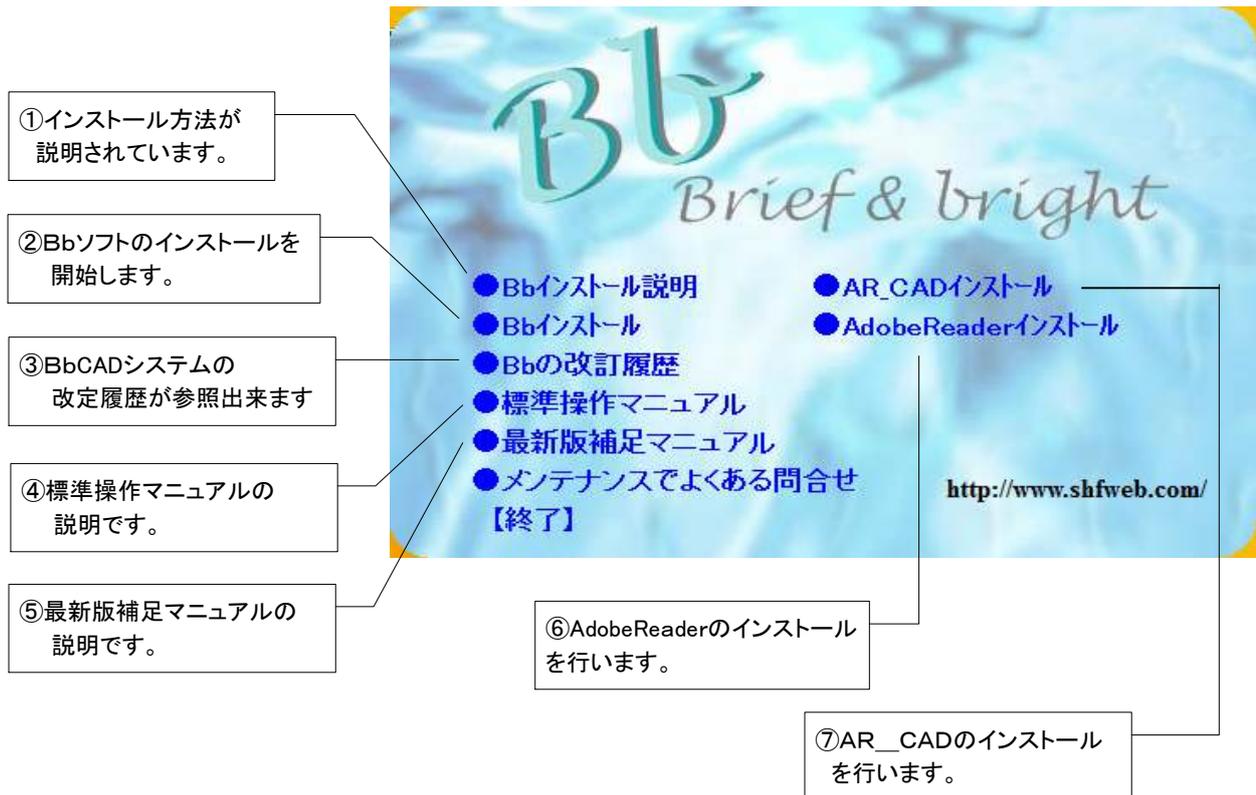
- 10-1 ヘルプ機能について … ⑩-1~2
  - バージョン情報
  - ライセンス情報
  - 改定履歴
  - データ限界数
  - オンラインサポート
- 10-2 保存・閉じる・終了 … ⑩-3
- 10-3 日本語入力について … ⑩-4~9
- 10-4 WINDOWS使用にあたっての注意 … ⑩-10~11

## インストール方法

操作手順: CD-ROMからインストールを行なう。

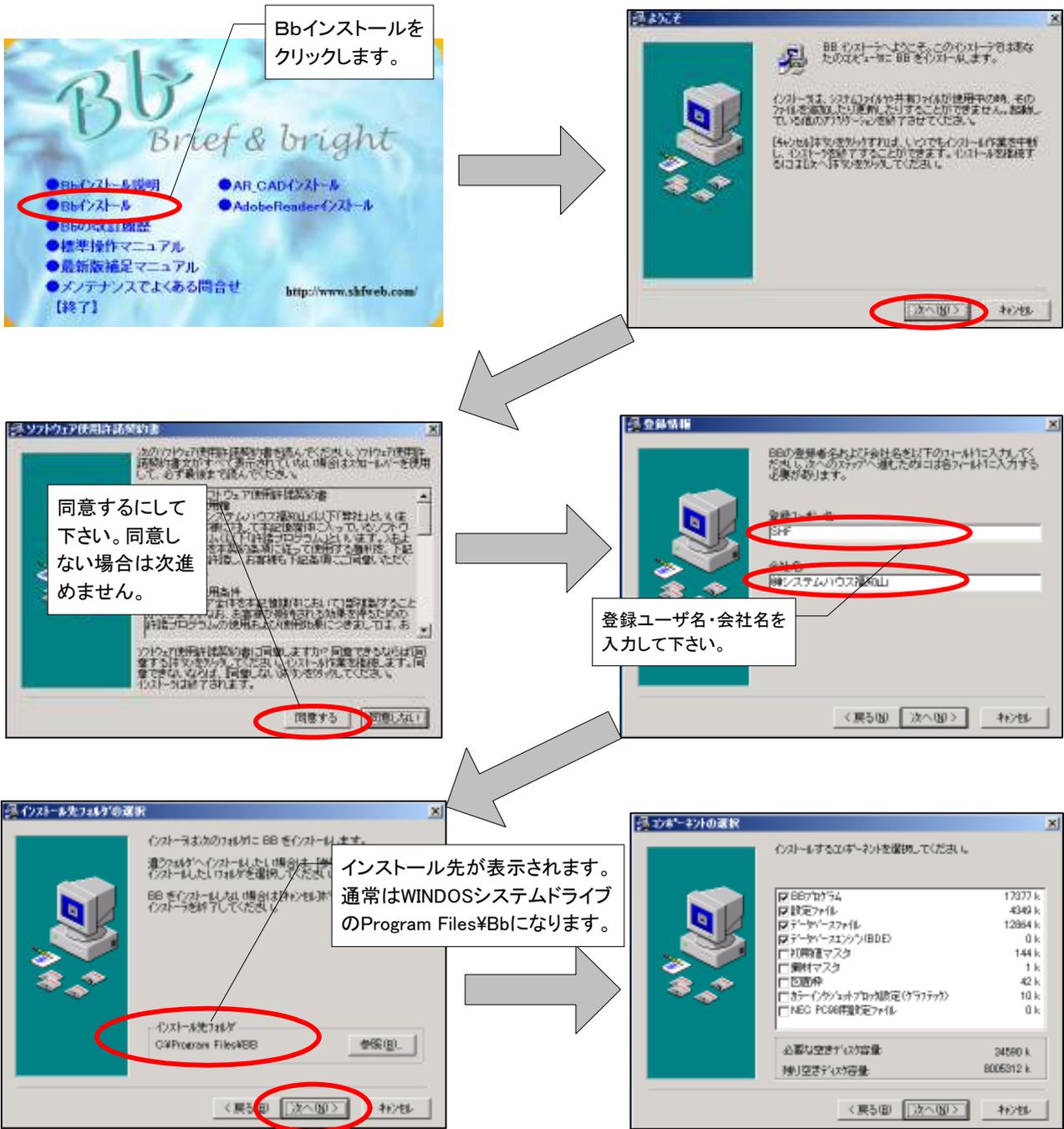
手順1. パソコン電源を入れ、Windows2000/XPを起動します。  
Bbを実行している場合は、一度終了してください。

手順2. CD-ROMドライブにインストールCDを挿入してください。  
下記の画面が起動します。



①のインストール説明を確認の上、インストールを開始して下さい。  
詳細事項は次ページにて説明いたします。

# インストール開始



最新版の更新時はデータベースエンジンまでチェックが入ります。このまま次へ進んで下さい。

<input checked="" type="checkbox"/>	BBプログラム	17377 k
<input checked="" type="checkbox"/>	設定ファイル	4349 k
<input checked="" type="checkbox"/>	データベースファイル	12864 k
<input checked="" type="checkbox"/>	データベースエンジン(BDE)	0 k
<input type="checkbox"/>	初期値マスタ	144 k
<input type="checkbox"/>	鋼材マスタ	1 k
<input type="checkbox"/>	図面枠	42 k
<input type="checkbox"/>	カラーインクジェットフロッピー設定(グラフィック)	10 k
<input type="checkbox"/>	NEC PC98用設定ファイル	0 k

※新規インストールの場合は図面枠までチェックが入ります。

# はじめに

Bbプログラムのみ  
インストールします。

各メーカーのデザインパネルデー  
タをインストールします。

Bb初期値をインストールします

開口補強鋼材マスタをインス  
トールします。

図面枠データをインストール  
します。

PC98パソコンの場合は自動的に  
チェックが入ります。

開口補強・端部形状等の必要なファイルがインストールされます。  
※日付を確認し最新があれば上書きしません。

<input checked="" type="checkbox"/>	BBプログラム	17377 k
<input checked="" type="checkbox"/>	設定ファイル	4349 k
<input checked="" type="checkbox"/>	データベースファイル	12864 k
<input checked="" type="checkbox"/>	データベースエンジン(BDE)	0 k
<input type="checkbox"/>	初期値マスタ	144 k
<input type="checkbox"/>	鋼材マスタ	1 k
<input type="checkbox"/>	図面枠	42 k
<input type="checkbox"/>	カラーインクジェットプロット設定(グラフィック)	10 k
<input type="checkbox"/>	NEC PC98用設定ファイル	0 k

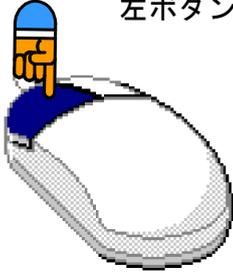


## 基本マウス操作

### ①クリック

#### 左クリック

左ボタンを1回押して放す



#### 右クリック

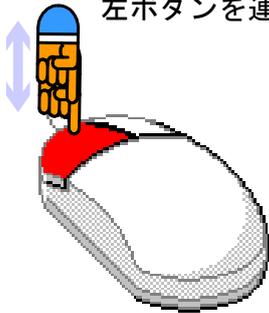
右ボタンを1回押して放す



### ②ダブルクリック

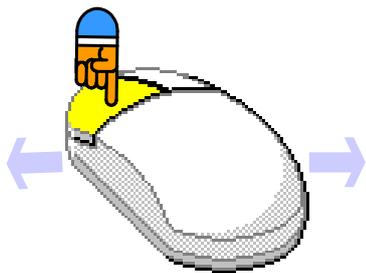
#### 左ダブルクリック

左ボタンを連続で2回押して放す



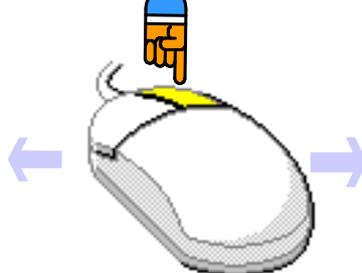
### ③ドラッグ（ドラッグ&ドロップ）

#### 左ドラッグ



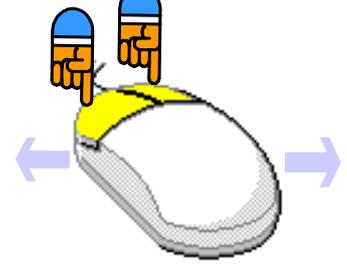
左ボタンを押しマウスを動かしてからボタンを放す

#### 右ドラッグ



右ボタンを押しマウスを動かしてからボタンを放す

#### 両側ドラッグ



両側ボタンを押しマウスを動かしてからボタンを放す

## 1-1 起動方法について

### Bbを起動する

Bbシステムを起動するには、いくつかの方法がありますがここでは、スタートボタンを使って起動する方法と、デスクトップ上のショートカットアイコンから起動する方法を説明します。

#### 操作手順: スタートメニューから起動する

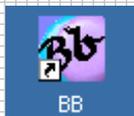
- ①タスクバーの「スタート」をクリックします  
スタートのメニューが表示されます。
- ②「プログラム」をポイントしますと  
起動可能なプログラムが表示されます。
- ③「Bb」をポイントするとさらにメニューが  
表示され「Bb」をクリックします。

Bbシステムが起動します。



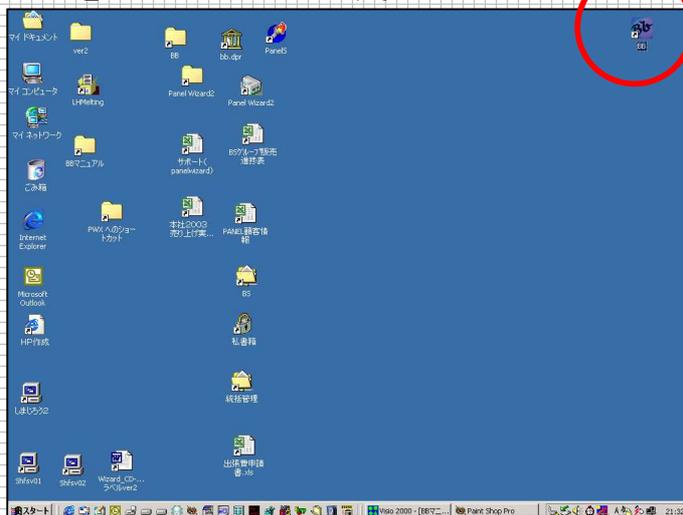
#### 操作手順: ショートカットアイコンから起動する。

- ①デスクトップ上の「Bb」ショートカットアイコンをダブルクリックします。



「Bb」ショートカットアイコン

Bbシステムが起動します。



#### 「Bb」システムの起動画面



ライセンス AF002  
2009年5月31日

Version 4.2.7.1650

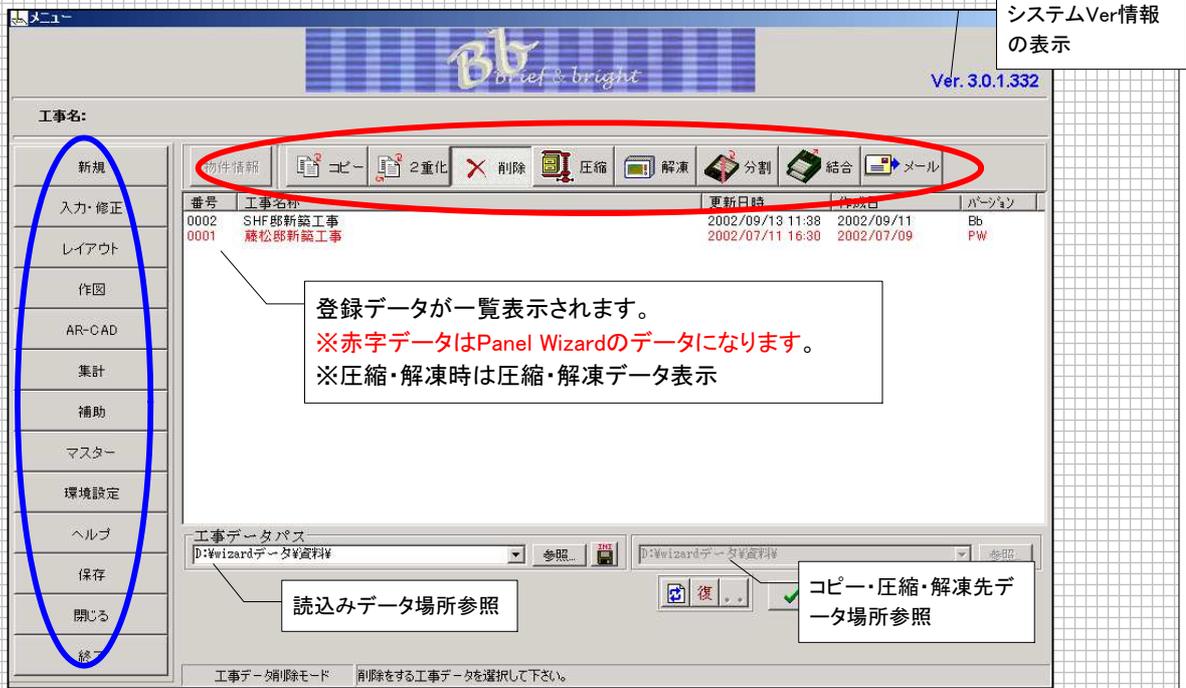
# 第1章 基本・構造

## 1-2 基本メニューについて

### 基本メニューの起動

Bbシステムを起動すると下記の基本メニューが表示されます。  
左側に選択ボタンが表示され、各サブメニューに進みます。

又、**コピー**部分操作によりデータを自由に変更・削除・圧縮・分割・送信・出来ます



新規	新規	・・・新規物件の登録
入力・修正	入力・修正	・・・平面・立面・床の変更を行います。
レイアウト	レイアウト	・・・作図を行なうデータを用紙にレイアウト(配置)します。
作図	作図	・・・レイアウトデータを一覧から作図します。
AR-CAD	AR_CAD	・・・作図データをAR_CADにて編集します。
集計	集計	・・・発注書を各メーカー毎に処理します。
補助	補助	・・・平面・立面・床・断面の名称変更・削除を行います。
マスター	マスター	・・・柱・梁・開口・補強材のマスター登録を行います。
環境設定	環境設定	・・・システム初期値、動作環境の作成変更を行います。
ヘルプ	ヘルプ	・・・システム、ライセンス、改定履歴等の情報確認を行います。
保存	保存	・・・データ保存を行います。
閉じる	閉じる	・・・現在のデータを終了します。
終了	終了	・・・Bbシステムを終了します。

パネル処理	パネル処理	・・・パネルを発注書データに変換します。
割付確認	割付確認	・・・パネル処理済パネルを形状・W・H変更します。
パネル集計	パネル集計	・・・階・面・種類毎にパネルを集計します。
発注書作成	発注書作成	・・・各メーカー書式に応じた発注書を作成します。
集計確認	集計確認	・・・発注済パネルの確認等を行います。
開口集計	開口集計	・・・開口補強等の一覧を表示します。
割符検索	割符検索	・・・発注書作成した割符NOをW・H・NOから検索できます。

# 第1章 基本・構造

## データ管理操作

Bbシステム基本メニュー上にデータ管理ツールが表示されます。



Bbで作成したデータをコピーします。コピー物件を選択しコピー元、コピー先を確認してから **コピー実行** をクリックします。

The screenshot shows the Bb software interface with a table of project data and a dialog box for copying. The table has columns for '番号' (Number), '工事名称' (Project Name), '更新日時' (Update Time), '作成日' (Creation Date), and 'バージョン' (Version). The dialog box is titled 'Bb' and contains the text 'コピー先パスを変更してください' (Please change the copy destination path) and an 'OK' button. Annotations with arrows point to the table and the dialog box.

番号	工事名称	更新日時	作成日	バージョン
0007	みずほ銀行船橋支店新築内装工事	2002/09/28 16:55	2002/09/27	Bb
0002	産業技術総合研究所ナノ材料実験棟	2002/09/28 13:04	2002/06/05	Bb
0006	西山邸2号館 新築工事	/27 19:34	2002/09/21	Bb
0001	SHF邸新築工事	/27 18:53	2002/09/11	Bb
0003	藤松邸新築工事Bb	/26 20:42	2002/07/09	Bb
0005	体験版	/26 14:10	2002/09/26	Bb体験版
0004	玉井ビル 新築工事	2002/09/26 09:17	2002/09/17	Bb

①コピーする物件を選択します。

このようなメッセージが表示された場合はコピー先パスを変更して下さい。

②コピー先ドライブの確認

工事データパス: D:\wizardデータ資料

工事データコピー先パス: D:\wizardデータ資料

復元 **コピー実行**

## 1-3 工事概要について

- ① **工事名称**  
工事名称を入力します
- ② **郵便番号**  
工事場所の郵便番号を入力します
  - ・郵便番号検索  
上記で入力した郵便番号から住所を検索します。郵便番号を入力し検索ボタンを押して下さい
  - ・住所検索  
住所一覧から工事場所を検索します。全国対応です
- ③ **工事場所**  
工事場所を入力します。郵便番号検索機能、住所検索機能で検索を行った場合には自動で住所が記入されます。手入力も行えます
- ④ **設計**  
設計社名の入力を行います。手入力で行います
- ⑤ **元請け**  
元請社名の入力を行います。手入力で行います
- ⑥ **担当者**  
担当者名を入力します
- ⑦ **日付**  
システムにデータを登録した月日が自動で登録されます
- ⑧ **代理店名**  
代理店名の入力を行います。選択ボタンを押すとマスターで登録している代理店名を選択する事が出来ます
- ⑨ **住所**  
代理店の住所を入力します
- ⑩ **電話番号**  
代理店の電話番号を入力します。マスターに登録してあれば、代理店を選択するだけで入力出来ます
- ⑪ **FAX番号**  
代理店のFAX番号を入力します。マスターに登録してあれば、代理店を選択するだけで入力出来ます
- ⑫ **基準風速**  
基準風速
- ⑬ **地表面粗度区分**  
地表面粗度区分
- ⑭ **建物形状閉鎖型建物**  
建物形状閉鎖型建物
- ⑮ **建物形状開放型建物(風上開放)**  
建物形状開放型建物(風上開放)
- ⑯ **建物形状開放型建物(風下開放)**  
建物形状開放型建物(風下開放)

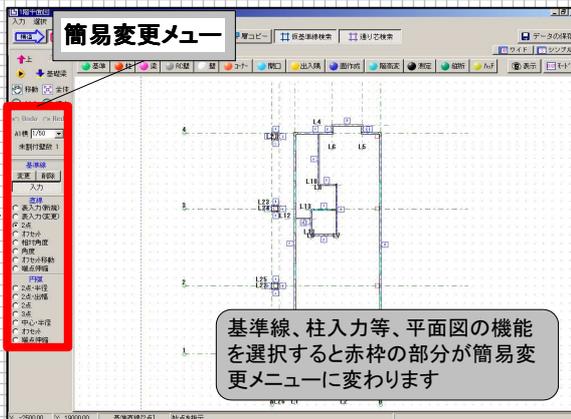
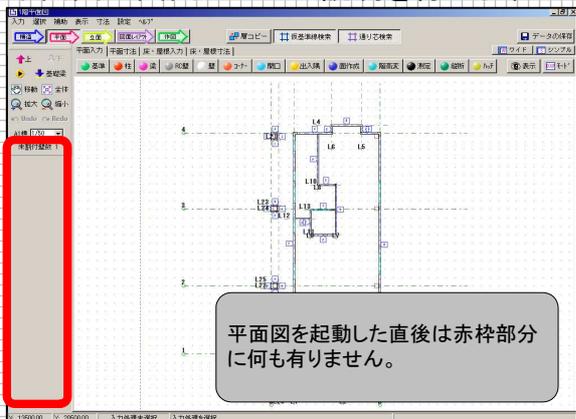
工事名称	藤松郡新築工事		
郵便番号	620-0017	郵便番号 検索	住所 選択
工事場所	京都府福知山市猿崎古黒353		
設計	A工務店		
元請け	B株式会社		
担当者	山田次郎	日付	2002/07/09
代理店名	C株式会社	選択	
住所	京都府福知山市土師宮町		
電話番号	0773-23-XXXX	FAX番号	0773-23-XXXX
基準風速	32	詳細 判定	
地表面粗度区分	3	詳細 判定	
建物形状	<input checked="" type="radio"/> 閉鎖型建物 <input type="radio"/> 開放型建物(風上開放) <input type="radio"/> 開放型建物(風下開放)		
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>			

## 1-4 建物構造について

- ① **初期環境設定**  
初期値の選択を行います
- ② **階数**
  - 地下階**  
地下階が何階有るか入力します
  - 地上階**  
地上階が何階有るか入力します
  - 塔屋**  
塔屋が何階有るか入力します
- ③ **基礎**
  - 高さ**  
基礎の高さを入力します
  - 幅**  
基礎の幅を入力します
- ④ **レベル名称**
  - 階高の名称を選択します。リスト選択以外にも階高レベル名称の項目に直接入力する事も出来ます
  - 階高レベル名称**  
レベル名称で選択した階高名称が表示されます。直接入力する事も出来ます
  - 階高**  
階高の寸法を入力します
  - 梁天高**  
梁天高を入力します(各階毎の梁天高が個々に設定出来ます)
  - FL高**  
FL高を入力します(立面開口入力時に引用されます)
  - 取付高**  
取付け高を入力します(切上げm単位になります)
  - 正荷重**  
工事概要で基準風速、地表面粗度区分が入力されていた場合、正荷重が自動計算され表示されます
  - 負荷重**  
工事概要で基準風速、地表面粗度区分が入力されていた場合、負荷重が自動計算され表示されます
- ⑤ **初期値変更**  
初期値を変更できます。初期値名を選択し、**初期値読込**をクリックして下さい。
- ⑥ **変更**  
変更ボタンをクリックする事により構造が変更出来ます
- ⑦ **名称再割当**  
階高名称を初期パターンから再設定します
- ⑧ **荷重再計算**  
基準風速・地表面粗度区分を変更した場合に再計算します
- ⑨ **階高コピー**  
階高さを各階にコピーします
- ⑩ **梁天高コピー**  
梁天高さを各階にコピーします。コピーする梁天高を選択し、梁天高コピーをクリックして下さい。
- ⑪ **FL高コピー**  
FL高さを入力します。コピーするFL高を選択し、FL高コピーをクリックして下さい。

## 2-1 平面図の画面構成について

平面図の画面について説明を行います



平面図各機能アイコン

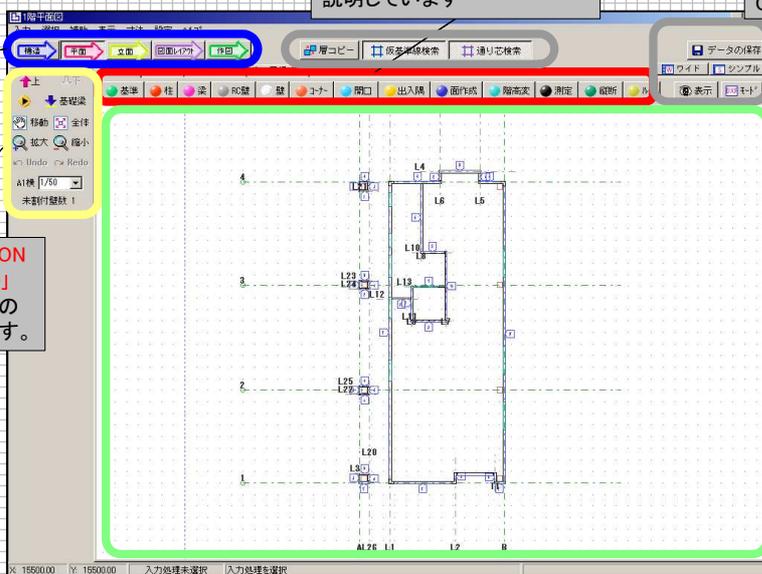
「FUNCTION(ファンクション)」  
次頁から平面図の各機能を説明しています

「PLAN CHOICE (プラン チョイス)」  
平面図情報ウインドウ On/Off機能

「FLOW(フロウ)」  
進行状況と画面説明をしています。

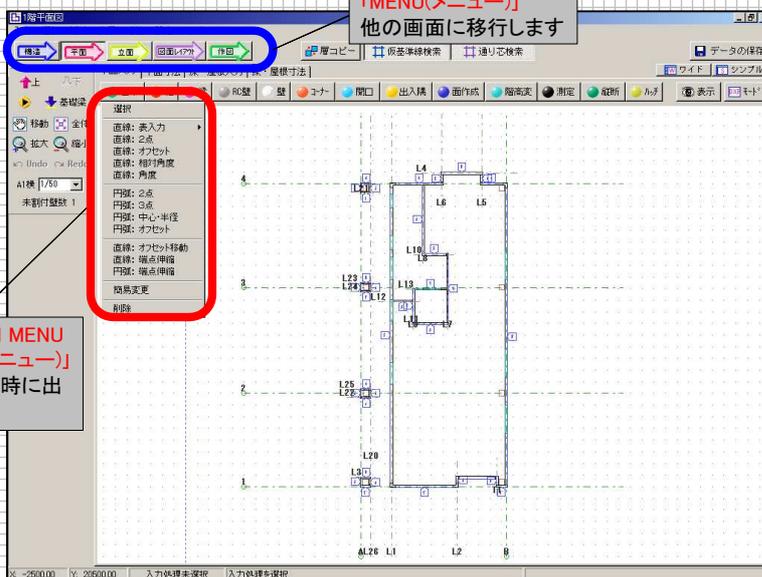
「COMMON FUNCTION (コモンファンクション)」  
平面図の切替、画面の拡大縮小等を行います。

平面図作成画面



「MENU(メニュー)」  
他の画面に移行します

「PULL DOWN MENU (プルダウンメニュー)」  
機能を選んだ時に出現します



## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 2 平面図機能について

#### 平面図アイコンについて

2 - 3	 基準	基準線の入力を行います
2 - 4	 柱	柱の入力を行います
2 - 5	 梁	梁の入力を行います
2 - 6	 RC壁	RC壁の入力を行います
2 - 7	 壁	壁の入力を行います
2 - 8	 コーナ	コーナーの入力を行います
2 - 9	 開口	開口の入力を行います
2 - 10	 出入隅	出入隅の入力を行います
2 - 11	 面作成	立面図を作成します
2 - 12	 階高変	階高変更を行います
2 - 13	 測定	測定を行います
2 - 14	 縦断	縦断面を作成します
2 - 15	 ハッチ	ハッチング処理を行います
2 - 16	 表示	表示の選択をします
	 DXF モード	DXF読み込み機能を使用します
	 ワイド	画面構成を変更します
	 シンプル	画面構成を変更します
	 データの保存	データを保存します
	 層コピー	入力した情報を他の階数にコピーします
	 仮基準線検索	仮芯の表示選択をします
	 通り芯検索	通り芯の表示選択をします

## 2 - 3 基準線機能について

- 基準**
- ① 選択
  - ② 直線: 表入力
  - ③ 直線: 2点
  - ④ 直線: オフセット
  - ⑤ 直線: 相対角度
  - ⑥ 直線: 角度
  - ⑦ 円弧: 2点
  - ⑧ 円弧: 3点
  - ⑨ 円弧: 中心・半径
  - ⑩ 円弧: オフセット
  - ⑪ 直線: オフセット移動
  - ⑫ 直線: 端点伸縮
  - ⑬ 円弧: 端点伸縮
  - ⑭ 簡易変更
  - ⑮ 削除

初期メッセージ: 直線 選択 表入力 2点 オフセット 相対角度 角度  
 : 円弧 2点 3点 中心・半径 オフセット オフセット移動  
 : 直線 端点伸縮 円弧 端点伸縮 簡易変更 削除

システム上では、通り芯・壁芯など図面に引く線を基準線と呼びます。また、図面には引かないが補助する芯(DOS版システムでいう仮芯)を補助線と呼びます

- ① **選択**  
基準線にマウスを合わせて右クリックして指定します。指定した基準線は、変更・削除が行えます。
- ② **直線: 表入力(2-6にて説明)**  
**新規**  
表によってを数値入力して基準線を作成します。  
**変更**  
表入力した通り芯を変更します
- ③ **直線: 2点**  
マウスで2点を指示して、自由に基準線が引けます。
- ④ **直線: オフセット**  
指定した基準線に対して、平行にコピーをします。
- ⑤ **直線: 相対角度**  
指定した基準線に対して、角度指示で線を引きます。
- ⑥ **直線: 角度**  
画面に対しての角度指示によって線を引きます。
- ⑦ **円弧: 2点**  
始点・終点に接する円弧を入力する半径で描きます。
- ⑧ **円弧: 3点**  
始点・終点に接する円弧を入力する出幅で描きます。
- ⑨ **円弧: 中心半径**  
中心点指示と半径入力により表示される円に対して、始点・終点を指示して円弧を描きます。
- ⑩ **円弧: オフセット**  
指示する円弧を元に、平行コピーします。
- ⑪ **直線: オフセット移動**  
指示する直線を元に、平行移動します。
- ⑫ **直線: 端点伸縮**  
直線の端点を入力寸法分伸縮させます。
- ⑬ **円弧: 端点伸縮**  
円弧の端点を入力寸法分伸縮させます。
- ⑭ **簡易変更**  
変更入力が画面端に表示されます。変更を容易に行います
- ⑮ **削除**  
通り芯を削除します

### 簡易入力メニュー

**基準線**

変更 | 削除

入力

**直線**

- 表入力(新規)
- 表入力(変更)
- 2点
- オフセット
- 相対角度
- 角度
- オフセット移動
- 端点伸縮

**円弧**

- 2点・半径
- 2点・出幅
- 2点
- 3点
- 中心・半径
- オフセット
- 端点伸縮

### 簡易メニュー上部に表示される入力項目

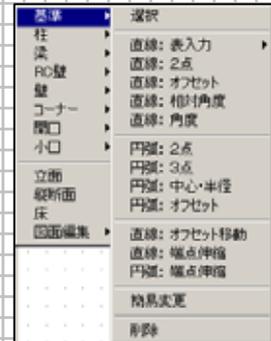
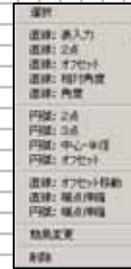
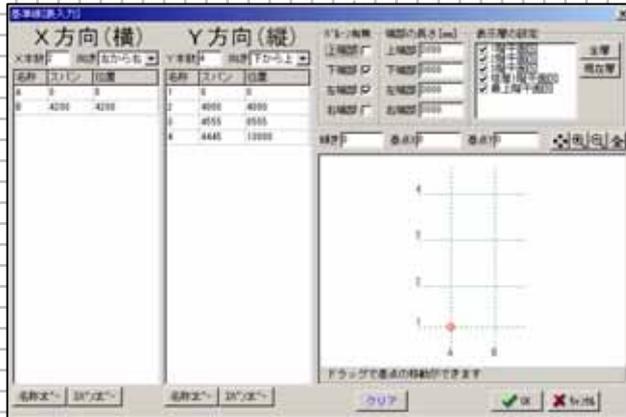
<b>直線</b>		<b>円弧</b>		<b>⑩ オフセット</b>	
④ オフセット	⑤ 相対角度	⑨ 中心半径	⑪ オフセット移動	距離設定	距離
距離設定 基準 X1 距離 3000	角度設定 基準 X2 角度 90	半径設定 半径 3000	距離設定 距離 100	距離設定 距離 1000	距離 100
角度設定 角度 0				伸縮 タイプA タイプB	

## 基準線入力について

### ① 通り芯線を作成

ツールバーの  を左クリックするとプルダウンメニューが表示されます(  )  
 又は、メニューバーの  をクリックした後、  をクリックします(  )

プルダウンメニューの[表入力]の[新規]をクリック  
 しますと、直線[表入力]画面が表示されます









X本数・Y本数には、通り芯の本数を入力します  
 それぞれカーソルをあわせ本数を入力します  
 入力した本数に合わせて表が画面表示されます

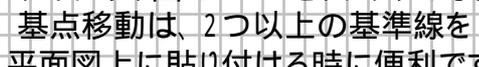
名称欄の最上段にカーソルをあわせ名称(通り芯名等)を入力します  
 注)最上欄のスペンは入力する必要がありません

各種コピーボタンを左クリックすると次段からの項目に反映コピーされます

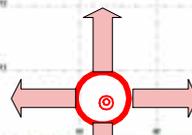
続いてスペンを入力します。2段目以降の入力欄に1つ上段からのスペン値を  
 ミリメートル単位に入力します

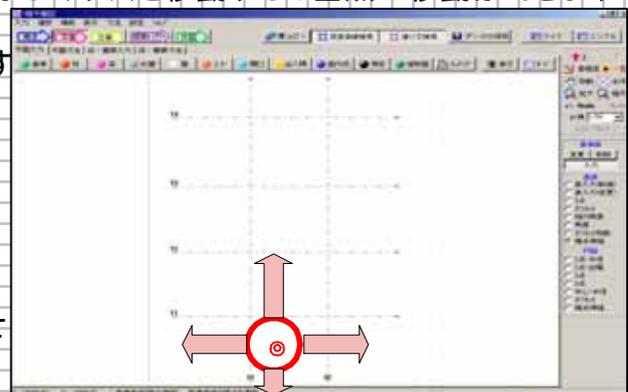
各段が同じスペンなら  を左クリックすると以降に同寸法がコピーされます

表の右側に基準線のレイアウトが表示されます。

レイアウト図の  をドラッグしながらマウスを移動すると基点の移動ができます  
 基点移動は、2つ以上の基準線を  
 平面図上に貼り付ける時に便利です

入力が完了すれば、  を左クリックします

平面図画面に戻ります。図面は、  
 で指示した位置を基点に移動  
 し、左クリックで図面位置を確定させ  
 ます



表入力の変更で通り芯をマウスにより左クリックすると通り芯のみ表示しスペンの変  
 更が出来ます

## 2 - 4 柱機能について



初期メッセージ: 選択 基準交点XY 基準交点クリア オフセット 同設定コピー  
: オフセット移動 簡易変更 削除

- ① 選択
- ② 基準交点XY
- ③ 基準交点クリア
- ④ オフセット
- ⑤ 同設定コピー
- ⑥ オフセット移動
- ⑦ 簡易変更
- ⑧ 削除

### 簡易メニュー

柱

変更 | 削除

入力

鉄骨角

柱

基準交点XY  
 基準交点クリア  
 オフセット  
 同設定コピー  
 オフセット移動

### 連続入力

オン

連続入力

簡易メニュー上部に表示される入力項目

④ オフセット

⑥ オフセット移動

距離設定

距離 100

- ① **選択**  
柱の位置にマウスを合わせて、右クリックするか、複数の柱をドラッグする事により囲み柱を指示して右クリックすると柱が選択され、変更・削除が行えます
- ② **基準交点XY**  
基準線の交点で左クリックして通り芯から柱芯までのXY相対数値を入力すると柱を作成できます。  
複数の交点付近をドラッグすると指定した範囲の交点全てに柱を入れる事が出来ます
- ③ **基準交点クリア**  
基準線の交点から初期値のクリア値を考慮して9種類の柱位置移動により柱を作成できます
- ④ **オフセット**  
指定柱から指定した距離の所にオフセット値移動位置へコピーします
- ⑤ **同設定コピー**  
指定柱と違う交点位置に同設定の柱をコピーします
- ⑥ **オフセット移動**  
指定柱から指定した移動距離分柱が移動します
- ⑦ **簡易変更**  
柱位置にマウスを合わせて、左クリックして柱変更が行えます。  
**選択**でも変更できますが、左クリックにより連続して変更する事が出来ます
- ⑧ **削除**  
柱位置にマウスを合わせて、左クリックして柱削除が行えます。  
**選択**でも削除できますが、左クリックにより連続して削除する事が出来ます

## 柱入力について

ここでは基準交点クリア機能を利用して柱を描く方法を説明します。

ツールバーの を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。  
又は、メニューバーの をクリックした後、 をクリックします。

ドロップダウンメニューの「基準交点クリア」を左クリックします。

## 第2章 平面・床・屋根

基準線の交点付近で左クリックすると柱が表示されます

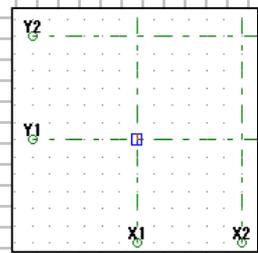
柱の中に縦または横の線が入っていますので、基準線による向きを決めて左クリックします。

柱の向きは、角柱の場合関係ありませんが、H鋼の場合の向きに関係します

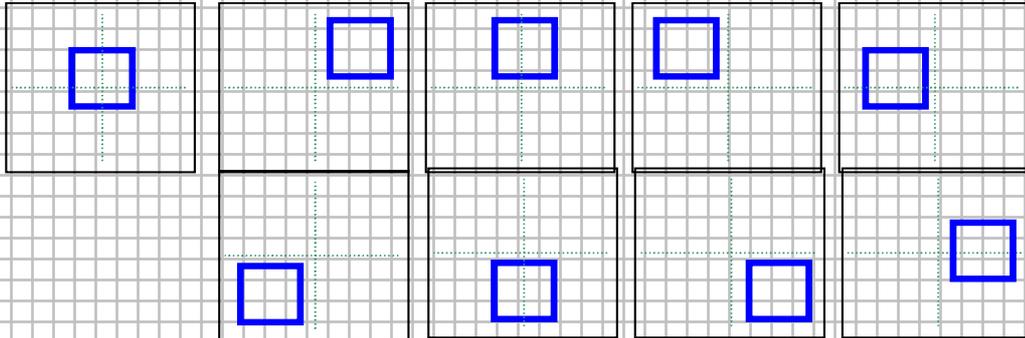
マウス位置により 水平の基準線に近い 垂直の基準線に近い



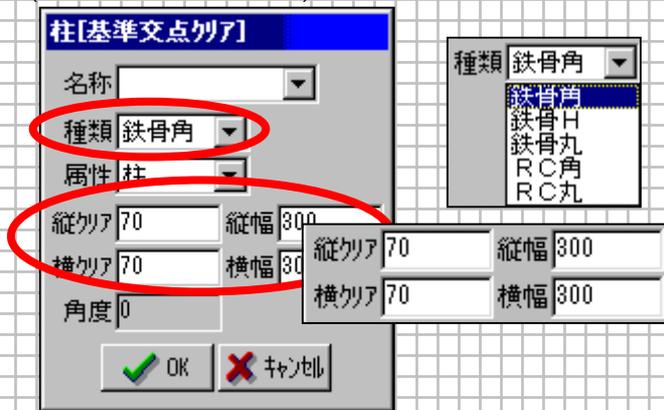
交点を左クリック



基準線の交点の廻りにマウスを移動することにより、下図の様に柱が八方向に移動します



により該当位置で左クリックすると柱詳細画面が表示され、柱の詳細入力をします  
(柱の詳細入力画面)



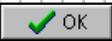
▼ を左クリックすると柱の種類が表示され、該当柱にマウス位置を合わせて左クリックします。

縦クリア・横クリア

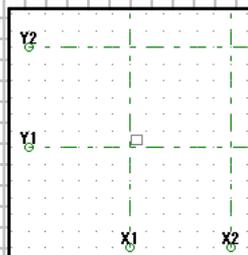
基準線から柱の外ずら距離を入力します。

横幅・縦幅

柱のサイズを入力します。

柱の詳細入力が完了すれば  を左クリックします

(確定後の柱)



**補足** 確定前なら右クリックすると1つ前の操作に戻れます。

## 2 - 5 梁機能について



初期メッセージ: 選択 柱~柱 柱~梁 柱~基準 梁~梁 梁~基準 基準~基準  
 : 梁間本数 梁間ピッチ オフセット オフセット移動 端点伸縮 簡易変更  
 : 削除

- ① 選択
- ② 柱~柱
- ③ 柱~梁
- ④ 柱~基準
- ⑤ 梁~梁
- ⑥ 梁~基準
- ⑦ 基準~基準
- ⑧ 梁間本数
- ⑨ 梁間ピッチ
- ⑩ オフセット
- ⑪ オフセット移動
- ⑫ 端点伸縮
- ⑬ 簡易変更
- ⑭ 削除

### 簡易メニュー

- ① **選択**  
変更や削除を選択したい時に右クリックで選択します
- ② **柱~柱**  
始点・終点の柱を指示して梁を描きます
- ③ **柱~梁**  
柱から梁の間に梁を描きます
- ④ **柱~基準**  
柱から基準線交点に梁を描きます。持ち出し梁などに使用します
- ⑤ **梁~梁**  
梁と梁の間に梁を描きます
- ⑥ **梁~基準**  
梁から基準線交点の間に梁を描きます
- ⑦ **基準~基準**  
基準線交点から基準線交点の間に梁を描きます
- ⑧ **梁間本数**  
梁と梁の間に指定した本数の梁分割して描きます
- ⑨ **梁間ピッチ**  
梁と梁の間に指定したピッチで梁を描きます
- ⑩ **オフセット**  
梁を指示位置にコピーします
- ⑪ **オフセット移動**  
梁を指示位置に移動します
- ⑫ **端点伸縮**  
梁の端点を指定寸法伸縮します
- ⑬ **簡易変更**  
梁位置にマウスを合わせて、左クリックして梁変更を行えます  
選択でも変更できますが、左クリックにより連続して変更する際に適しています
- ⑭ **削除**  
梁位置にマウスを合わせて、左クリックして梁削除を行えます  
選択でも削除できますが、左クリックにより連続して削除する際に適しています

### 簡易メニュー上部に表示される入力項目

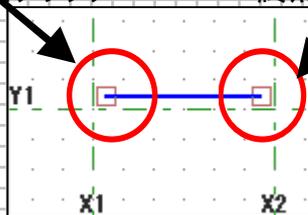
### 梁入力について

ここでは、柱～柱機能を利用して梁を描く方法を説明します。

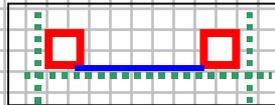
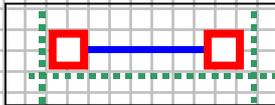
ツールバーの  を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。  
 又は、メニューバーの  をクリックした後、  をクリックします。

ドロップダウンメニューの「柱～柱」を左クリックします。

始点の柱を左クリックして終点の柱を左クリックします。  
 始点左クリック                      終点左クリック



マウスの移動で梁の位置を設定し、左クリックします。  
 柱芯にあわせます。      柱外面にあわせます。      柱内面にあわせます。

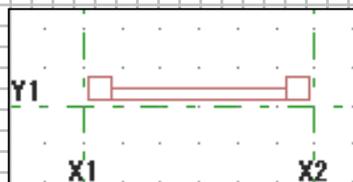


梁の詳細を入力します。  
 (梁の詳細入力画面)

梁[柱～柱]	
名称	<input type="text"/>
種類	鉄骨H
始点	
基礎	A
X	220
Y	-125
高さ	2020 (円筒)
終点	
基礎	A
X	220
Y	320
高さ	2020 (円筒)
角度	0
H幅	300
長さ	3555
W幅	200
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

詳細入力完了すれば、  を左クリックすると梁が確定されます。

(確定後の梁)



補 足 確定前なら右クリックすると1つ前の操作に戻れます。

## 2 - 6 RC壁機能について

### RC壁

初期メッセージ: 選択 基準～基準 柱～柱(内側) 柱～壁 壁～壁 オフセット  
: オフセット移動 端点伸縮 簡易変更 削除

- ① 選択
- ② 基準～基準
- ③ 柱～柱(内側)
- ④ 柱～壁
- ⑤ 壁～壁
- ⑥ オフセット
- ⑦ オフセット移動
- ⑧ 端点伸縮
- ⑨ 簡易変更
- ⑩ 削除

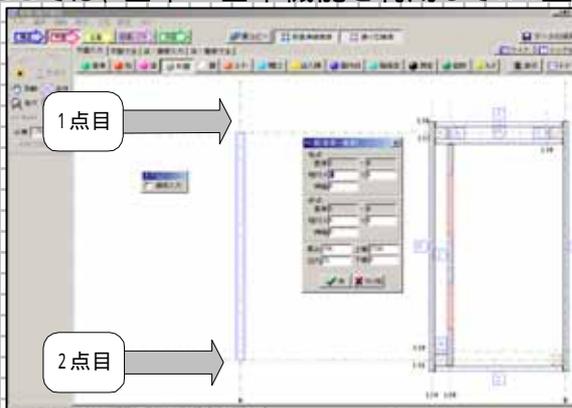
- ① **選択**  
変更や削除を選択したい時に右クリックで選択します
- ② **基準～基準**  
基準線間に壁を描きます。
- ③ **柱～柱(内側)**  
柱間に壁を描きます。壁は、柱のサイズ内で中心あわせ・面あわせ(間仕切タイプ)で描きます。
- ④ **柱～壁**  
柱から壁の間に新規のRC壁を描きます。
- ⑤ **壁～壁**  
壁から壁の間に新規のRC壁を描きます。
- ⑥ **オフセット**  
壁を指示位置にコピーします。
- ⑦ **オフセット移動**  
壁を指示位置に移動します。
- ⑧ **端点伸縮**  
壁の端点を指定寸法伸縮します。
- ⑨ **簡易変更**  
壁位置にマウスを合わせて、左クリックして壁変更を行えます。
- ⑩ **削除**  
壁位置にマウスを合わせて、左クリックして壁削除を行えます。

簡易メニュー上部に表示される入力項目



### RC壁入力について

ここでは、基準～基準機能を利用してRC壁を描く方法を説明します



ツールバーの **RC壁** を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。又は、メニューバーの **入力** をクリックした後、**RC壁** をクリックします

ドロップダウンメニューの[ **基準～基準** ]を左クリックします。

RC壁を入力したい通り芯の交点を2点左クリックします

## RC壁入力について

RC壁入力ウィンドウが表示されます

**始点**

**基準**

始点交点の通り芯情報が表示しています

**相対X**

始点交点からのX, Y座標値を記入します

**伸縮**

始点側のRC壁の伸縮を行います

**終点**

**基準**

終点交点の通り芯情報が表示しています

**相対X**

終点交点からのX, Y座標値を記入します

**伸縮**

終点側のRC壁の伸縮を行います

**厚み**

壁の厚みを入力します

**芯内**

壁芯内の厚みを入力します

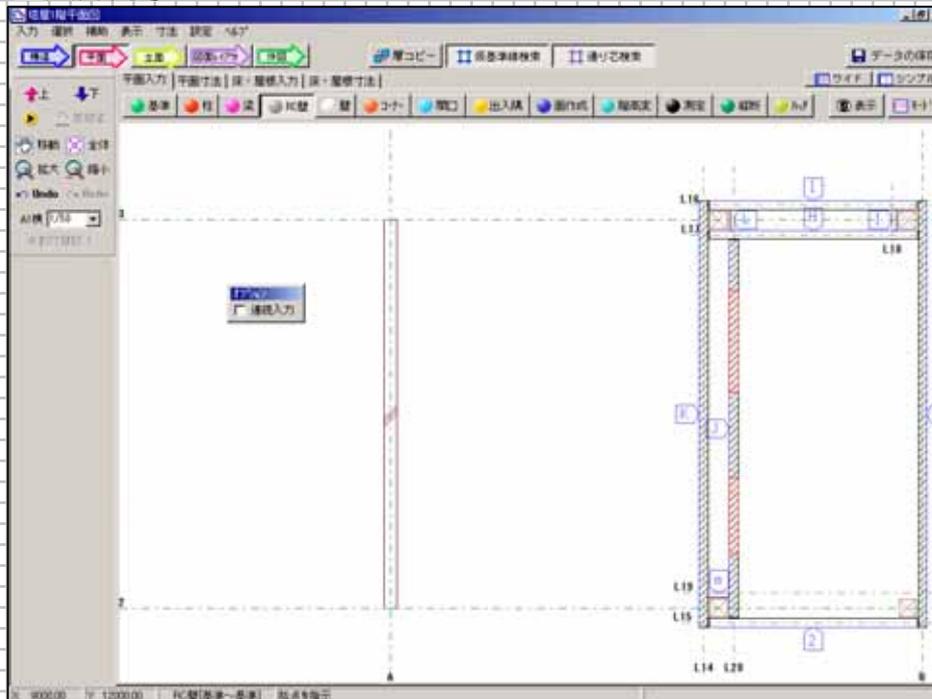
**上端**

壁の高さを入力します

**下端**

壁のスタート位置を入力します

RC壁入力完了



## 2 - 7 壁機能について



初期メッセージ: 選択 基準～基準 柱～柱(外側) 柱～柱(内側) 柱～壁 壁～壁  
 : オフセット 円弧 連続壁入力 オフセット移動 端点伸縮 簡易変更  
 : 削除

- 1 選択
- 2 基準～基準
- 3 柱～柱(外側)
- 4 柱～柱(内側)
- 5 柱～壁
- 6 壁～壁
- 7 オフセット
- 8 円弧
- 9 連続壁入力
- 10 オフセット移動
- 11 端点伸縮
- 12 簡易変更
- 13 削除

- 1 **選択**  
変更や削除を選択したい時に右クリックで選択します
- 2 **基準～基準**  
基準線間に壁を描きます
- 3 **柱～柱(外側)**  
柱間に壁を描きます。壁は、柱の外側(外壁タイプ)に描きます
- 4 **柱～柱(内側)**  
柱間に壁を描きます。壁は、柱のサイズ内で中心あわせ・面あわせ(間仕切タイプ)で描きます
- 5 **柱～壁**  
柱から壁の間に新規の壁を描きます
- 6 **壁～壁**  
壁から壁の間に新規の壁を描きます
- 7 **オフセット**  
壁を指示位置にコピーします
- 8 **円弧**  
R壁を描きます(予め円弧の基準線を入れてから行って下さい)
- 9 **連続壁入力**  
始点・終点を連続で入力し、一括で壁を描きます
- 10 **オフセット移動**  
壁を指示位置に移動します
- 11 **端点伸縮**  
壁の端点を指定寸法伸縮します
- 12 **簡易変更**  
壁位置にマウスを合わせて、左クリックして壁変更を行えます
- 13 **削除**  
壁位置にマウスを合わせて、左クリックして壁削除を行えます

### 簡易メニュー

### 簡易メニュー上部に表示される入力項目

### 壁入力について

ここでは、連続入力による壁の描く方法を説明します

ツールバーの を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
 又は、メニューバーの をクリックした後、 をクリックします

### 壁入力について

ドロップダウンメニューの[連続入力]を左クリックします。

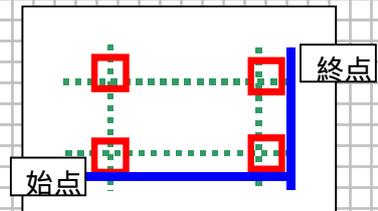
始点の基準線の交点を左クリックし、各コーナー部(基準線の交点またはグリッド)にマウス移動して左クリックをします。

**!** 必ず左回りで壁指示を行って下さい。

同じ場所で、もう一度左クリックをすると終点となります。  
クリックした位置が始点と同じなら自動で終点となります。

終点が指示されると壁の詳細画面が表示されます。

壁の詳細を入力します。(壁の詳細入力画面)



属性: 外壁か間仕切壁かを選択します。

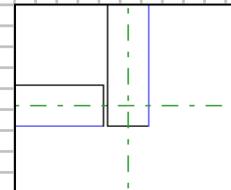
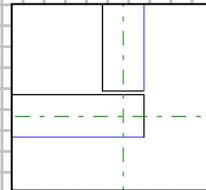
厚み: 壁厚を入力します。

芯内: 壁芯から内ずらまでの距離を入力します。

小口(直角)

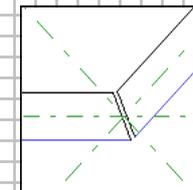
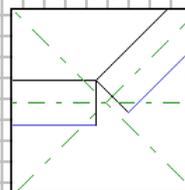
: 横方向優先

縦方向優先



小口(直角以外): 内面合わせ

外面合わせ



詳細入力が完了すれば、 を左クリックして壁が確定されます。

補 足: 確定前なら右クリックすると1つ前の操作に戻れます。

## 2 - 8 コーナー機能について

初期メッセージ: 選択 基準交点 壁指定 簡易変更 削除

① コーナー

- ① 選択
- ② 基準交点
- ③ 壁指定
- ④ 簡易変更
- ⑤ 削除

① **選択**  
変更や削除を選択したい時に右クリックで選択します

② **基準交点**  
通り芯の交点を指示しコーナーを入力します。大きさや角度は数値入力で行います

③ **壁指定**  
壁を指示しコーナーを入力します。コーナーの配置は自動で行います

④ **簡易変更**  
簡易メニューから変更・削除を行います

⑤ **削除**  
コーナーの削除を行います

簡易メニュー

コーナー

変更 | 削除

入力

- ②  基準交点
- ③  壁指定

### コーナー入力について

出入隅などにコーナーパネルを描く方法を説明します。

ツールバーの を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。

ドロップダウンメニューの[壁指定]を左クリックします。

コーナーパネルを挿入したい壁を左クリックします。

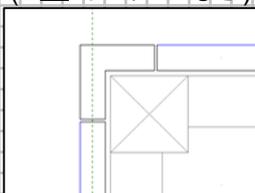
出入隅などにコーナーパネルを描く方法を説明します。

壁の指示をするとコーナーの詳細入力画面が表示されます。

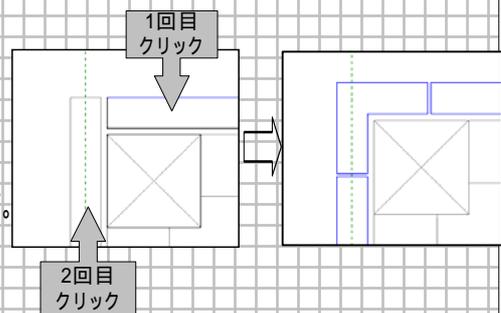
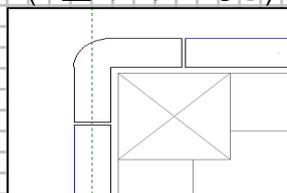
詳細入力が完了して を左クリックしますとコーナーが確定されて画面に登録されます。

出入隅などにコーナーパネルを描く方法を説明します。

(L型コーナーなら)



(R型コーナーなら)



(コーナーの詳細入力画面)

コーナー[壁指定]

属性 外壁

形状 L型

壁1  
幅   
クリア

壁2  
幅   
クリア

OK  キャンセル

## 2 - 9 開口機能について

初期メッセージ: 選択 壁指定 壁・基準指定 詳細変更 削除

開口

- 1 選択
- 2 壁指定
- 3 壁・基準指定
- 4 詳細変更
- 5 削除

- ① **選択**  
詳細変更が行える様にします
- ② **壁指定**  
壁を指定し入力を行います
- ③ **壁・基準指定**  
壁と基準線を指定し入力を行います
- ④ **詳細変更**  
入力した開口を変更します
- ⑤ **削除**  
入力した開口を削除します

簡易メニュー

開口

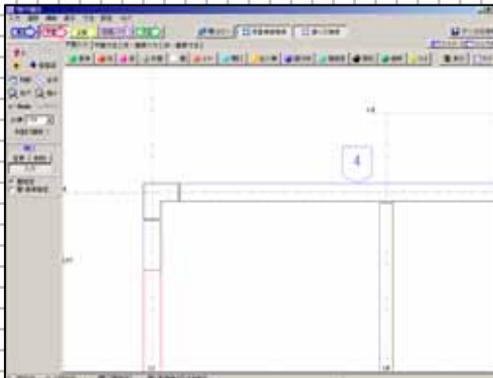
変更
削除

入力

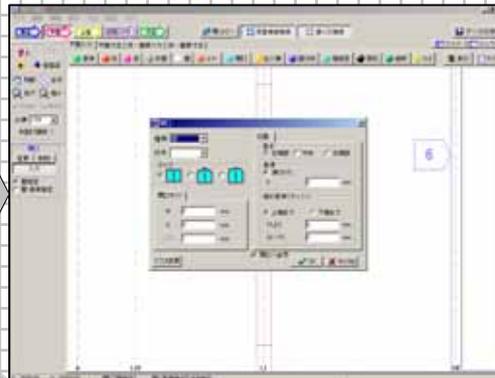
② 壁指定
③ 壁・基準指定

### 開口入力について

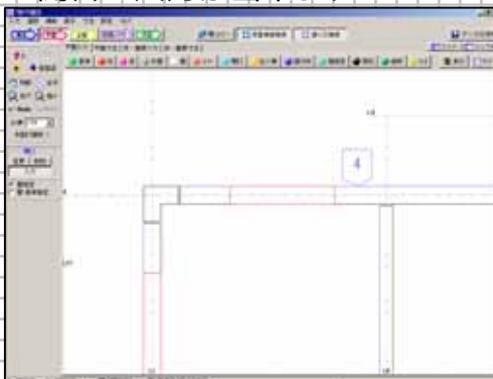
開口を入力する壁を指示します



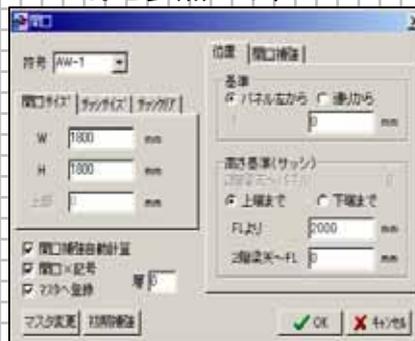
開口入力画面に入力します



開口の入力が出来ます



開口入力画面については立面の「開口機能について」を参照して下さい



## 2 - 10 小口機能について

### 出入隅

初期メッセージ: 出入隅 芯合わせ 外面合わせ 内面合わせ 内外合わせ T部クリア  
: コーナー・壁クリア

- ① 出入隅
- ② 芯合わせ
- ③ 外面合わせ
- ④ 内面合わせ
- ⑤ 内外合わせ
- ⑥ T部クリア
- ⑦ コーナー・壁クリア

### 簡易メニュー

- 小口
- ①  出入隅
  - ②  芯合わせ
  - ③  外面合わせ
  - ④  内面合わせ
  - ⑤  内外合わせ
  - ⑥  T部クリア
  - ⑦  コーナー・壁クリア

- ① **出入隅**  
壁を指定する事で壁の勝ち負けを任意で入れ替えます
- ② **芯合わせ**  
壁を指定する事で壁芯同士を合わせた芯合わせを行います
- ③ **外面合わせ**  
壁を指定する事で壁の外面同士を合わせた外面合わせを行います
- ④ **内面合わせ**  
壁を指定する事で壁の内面同士を合わせた内面合わせを行います
- ⑤ **内外合わせ**  
内外合わせ
- ⑥ **T部クリア**  
壁がTの様になっている場合に壁クリアを設定します
- ⑦ **コーナー・壁クリア**  
コーナーと壁のクリアを設定します

### 簡易メニュー上部に表示される入力項目

- |         |             |
|---------|-------------|
| ① 出入隅   | ⑥ T部クリア     |
| ④ 内面合わせ | ⑦ コーナー・壁クリア |

クリア設定  
クリア幅 10

## 小口入力について

ここでは、出入隅などのコーナー部の小口を差し替える方法を説明します。

ツールバーの 左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。  
又は、メニューバーの をクリックした後、 をクリックします。

右図の該当機能にマウスを合わせて左クリックします。

で選択した機能に応じて二つの壁をそれぞれ左クリックします。出入隅の場合、小口の方向が変更されます。  
例) 縦方向が勝っているコーナーを逆転させる場合勝たせる壁を先に左クリックして、続いて負ける壁を左クリックします。

- 出入隅
- 芯合わせ
- 外面合わせ
- 内面合わせ
- 内外合わせ
- T部クリア
- コーナー・壁クリア

## 小口入力について

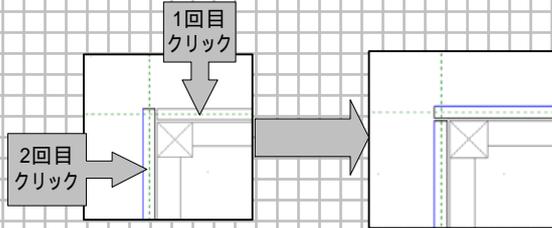
ここでは、出入隅などのコーナー部の小口を差し替える方法を説明します。

ツールバーの  左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。  
 又は、メニューバーの  をクリックした後、  をクリックします。

右図の該当機能にマウスを合わせて左クリックします。

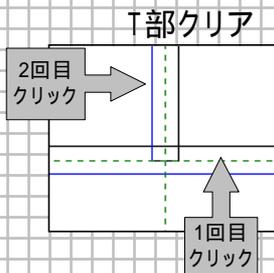
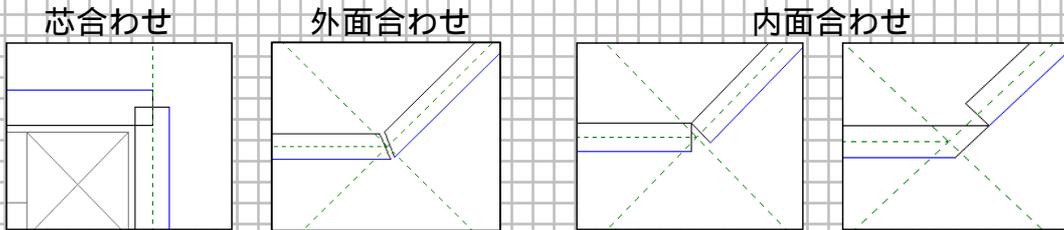
で選択した機能に応じて二つの壁をそれぞれ左クリックします。出入隅の場合、小口の方向が変更されます。

例) 縦方向が勝っているコーナーを逆転させる場合勝たせる壁を先に左クリックして、続いて負ける壁を左クリックします。



- 出入隅
- 芯合わせ
- 外面合わせ
- 内面合わせ
- 内外合わせ
- T部クリア
- コーナー・壁クリア

補足: 操作の基本は、出入隅とほぼ同じなので操作結果を下図に列記します。



## 2-11 面作成機能について

### 面作成

- 手動壁選択
- 自動(外壁のみ)
- 自動(間仕切のみ)
- 既存立面を削除

初期メッセージ: 手動壁選択 自動 既存立面削除

- ① **手動壁選択**  
立面を作成する際壁を個々に指定し、面を作成して行きます。
- ② **自動**  
選択した壁種全てを設定に基づいて立面作成を行います。
- ③ **既存立面削除**  
指定した壁の立面図を削除します。

### 面作成(自動)方法について

- 手動壁選択
- 自動(外壁のみ)
- 自動(間仕切のみ)
- 既存立面を削除

自動を左クリック

「立面自動立ち上げ設定」が表示されます

#### 縦割

- ① 割付方向を選択します。
- ② 左端部のパネル寸法を入力します
- ③ 割付寸法を入力します
- ④ 右端部パネルが自動計算されます
- ⑤ 縦目地の寸法を入力します
- ⑥ 横目地の寸法を入力します
- ⑦ 割付時SL±の寸法を入力します
- ⑧ 割付位置をGLからの寸法で入力します
- ⑨ パラペットの寸法を入力します
- ⑩ 最小幅以下パネルの作成選択
- ⑪ 基礎表示の選択
- ⑫ 床が有る場合壁の自動逃がし選択
- ⑬ 床位置から割付開始位置のクリア

種類、割付の有無、割付方法の選択

- 縦横一括: 指定壁に対して、面作成を行います (同一座標壁芯全て)
- 縦一括: 指定壁に対して、面作成を行います (指定壁のみ)
- 単独: 階数、同一座標関係無く、指定壁のみ面作成します
- 壁種一括: 外壁、間仕切を選択し一括で面作成します

#### 横割

割付け情報を入力する

- ① 割付方向を選択します
- ② 1枚目のパネル幅を入力します
- ③ 1枚目以降のパネル幅を入力します
- ④ 補助パネル幅
- ⑤ 補助パネル幅スタート
- ⑥ 補助パネル間隔
- ⑦ 縦目地の寸法を入力します
- ⑧ 横目地の寸法を入力します
- ⑨ 補助横目時
- ⑩ 補助横目時スタート
- ⑪ 補助横目時間隔
- ⑫ 割付位置をSLからの寸法で入力します
- ⑬ 割付位置をGLからの寸法で入力します
- ⑭ パラペットの寸法を入力します
- ⑮ 柱芯に縦目地をつける
- ⑯ 割付けの基準を基礎の上にする
- ⑰ 壁に基礎をつける

全ての壁の割付処理が終わると「処理終了」のウィンドウが表示されます

OKボタンを左クリックすると簡易割付が出来ます

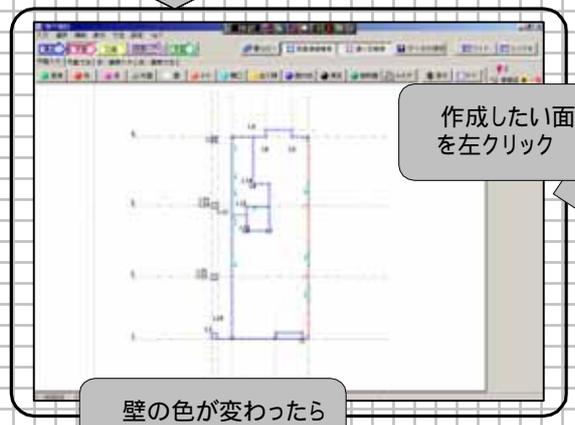


平面図に画面が変わります

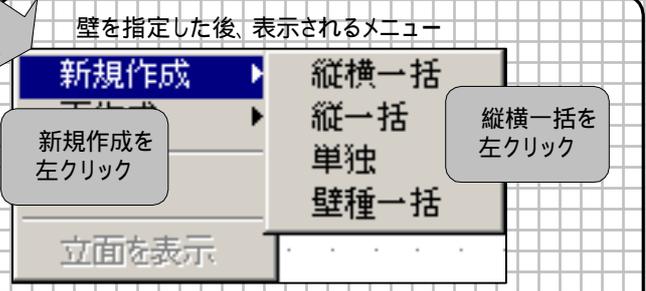
## 面作成(手動)方法について

手動壁選択  
自動

手動壁選択を左クリック



壁の色が変わったら  
右クリック



メニューの内容

縦横一括: 指定した壁をに対して、面作成を行います (同一座標壁芯全て)

縦一括: 指定した壁をに対して、面作成を行います (指定壁のみ)

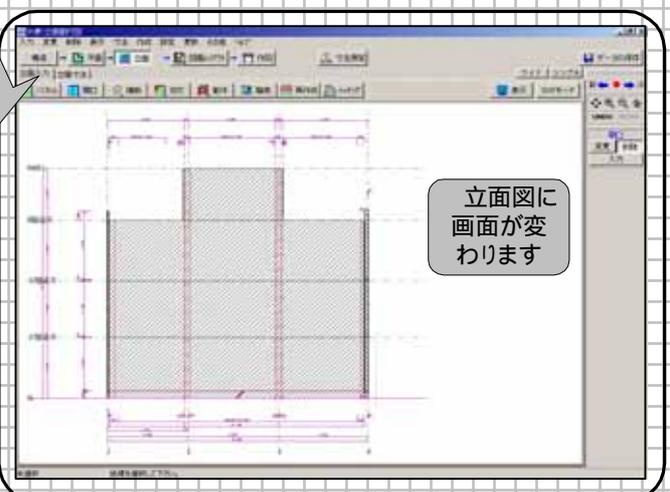
単独: 面作成を指示した壁のみを立面図として作成します

壁種一括: 外壁、間仕切を選択し選択した壁を一括で面作成します



立面名称を入力

立面名称を入力しOKボタンを押すと  
立面図に画面が変わります。



立面図に  
画面が  
変わります

## 2 - 12 階高について

階高変

初期メッセージ: 2直線 交点 標準に戻す

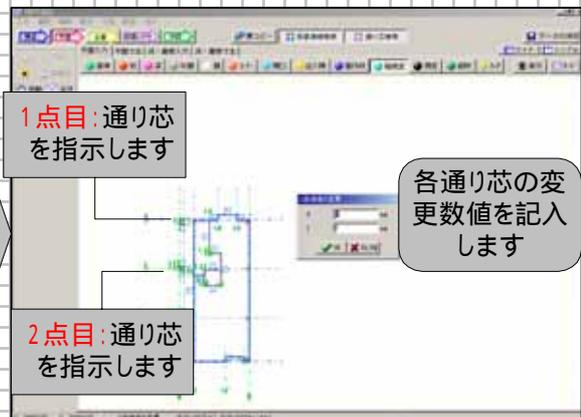
2直線  
交点  
標準に戻す

平面上で階高の高さを変更します

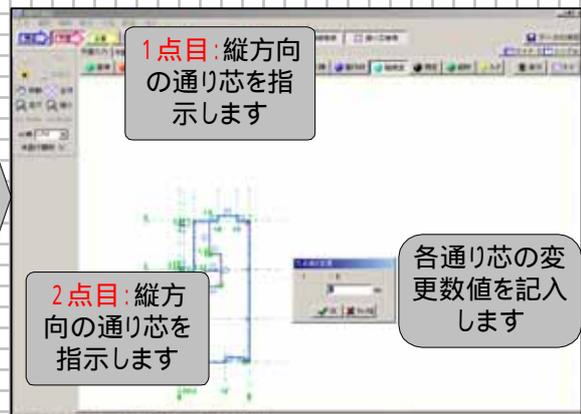
- ① **2直線**  
縦断面図を新規作成します
- ② **交点**  
縦断面図の変更を行います
- ③ **標準に戻す**  
縦断面図の変更を行います

### 階高の入力について

#### 2直線の操作について



#### 交点の操作について



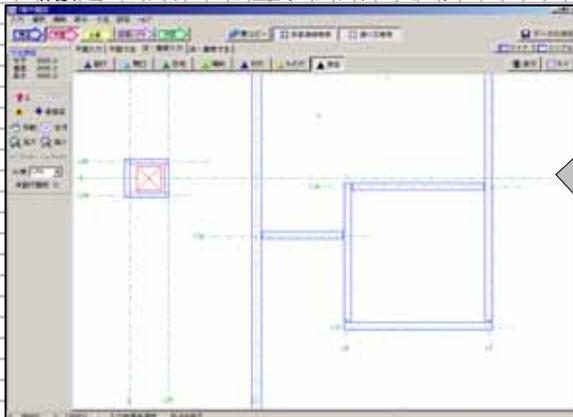
## 2 - 13 測定について



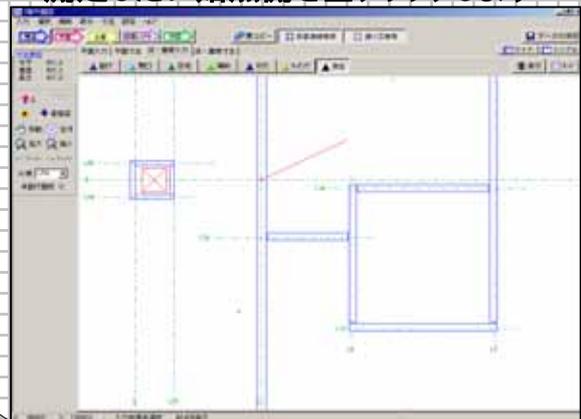
距離の測定を行います

### 測定方法について

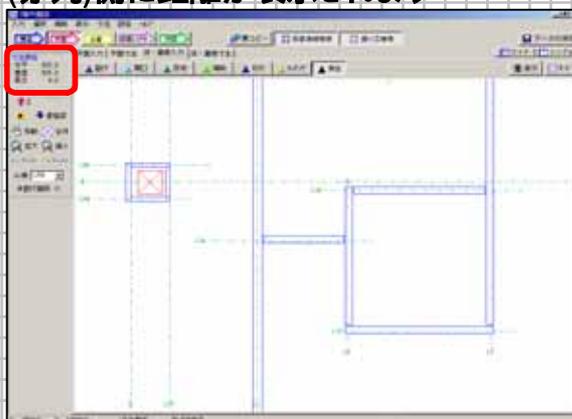
測定のボタンを左クリックします



測定したい始点側を左クリックします



終点側を左クリックすると画面左上  
(赤丸)側に距離が表示されます



## 2 - 14 縦断面について



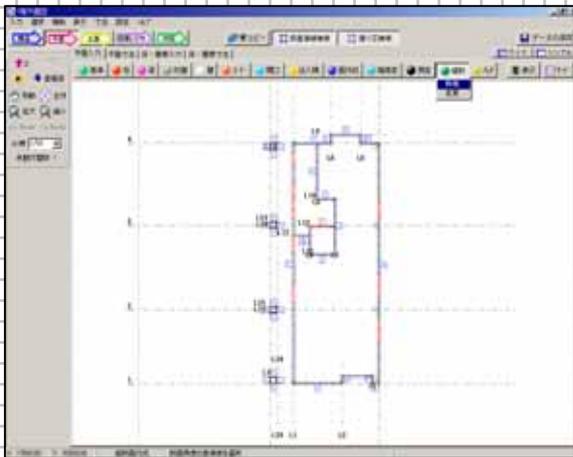
初期メッセージ: 新規 変更



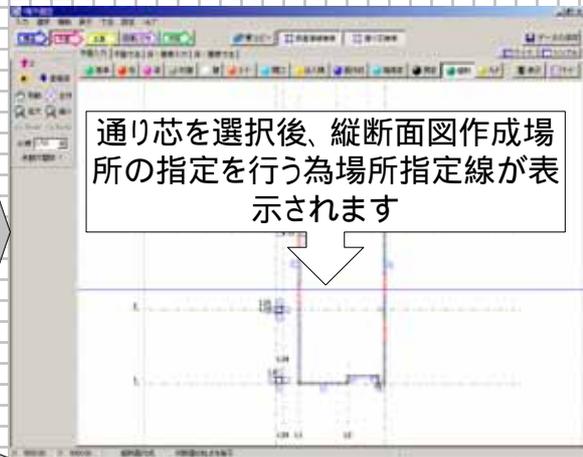
- ① **新規**  
縦断面図を新規作成します
- ② **変更**  
縦断面図の変更を行います

### 縦断面の作成について

縦断の新規を選択します

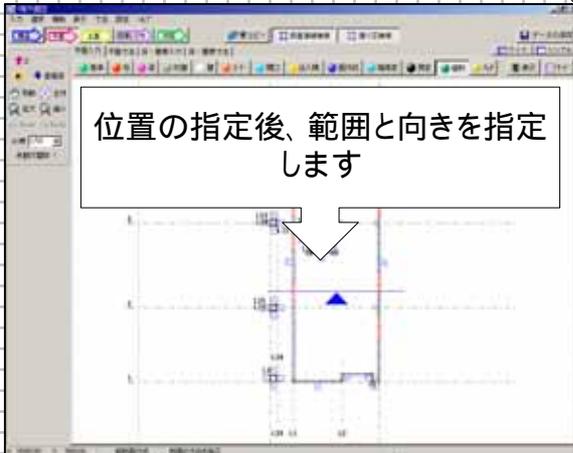


垂直壁には水平な通り芯を水平壁には垂直な通り芯を選択します



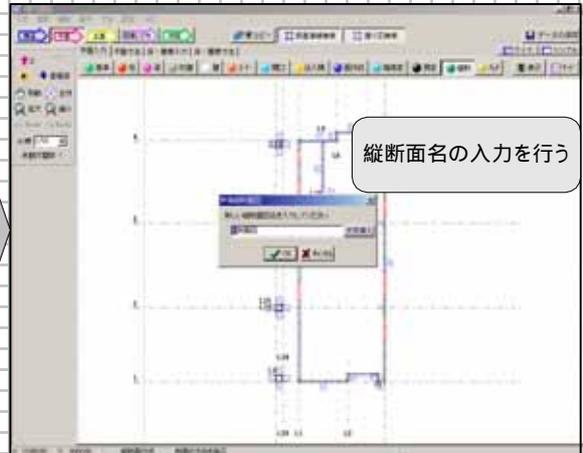
通り芯を選択後、縦断面図作成場所の指定を行う為場所指定線が表示されます

垂直壁には水平な通り芯を水平壁には垂直な通り芯を選択します



位置の指定後、範囲と向きを指定します

垂直壁には水平な通り芯を水平壁には垂直な通り芯を選択します



縦断面名の入力を行う

## 2 - 15 ハッチングについて



初期メッセージ: 矩形指定(新規ハッチング、ハッチング切り抜き)  
: 多角形指定(新規ハッチング、ハッチング切り抜き) 削除

### ① 矩形指定

#### 新規ハッチング

平面上の指定した部分にハッチングを入力します  
四角形で指定します

#### ハッチング切り抜き

入力済のハッチングを切り抜きます。四角形で指定します

### ② 多角形指定

#### 新規ハッチング

平面上の指定した部分にハッチングを入力します  
四角形以外はこちらで指定します

#### ハッチング切り抜き

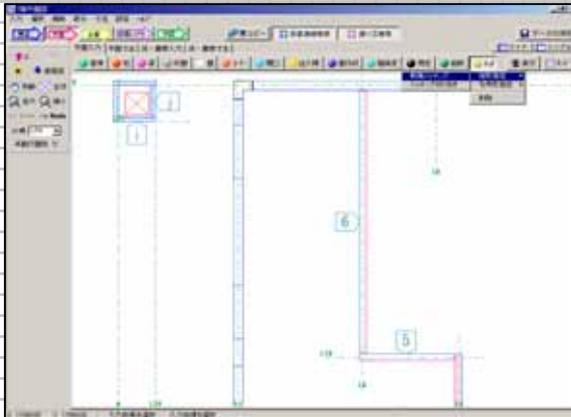
入力済のハッチングを切り抜きます。四角形以外で指定します

### ③ 削除

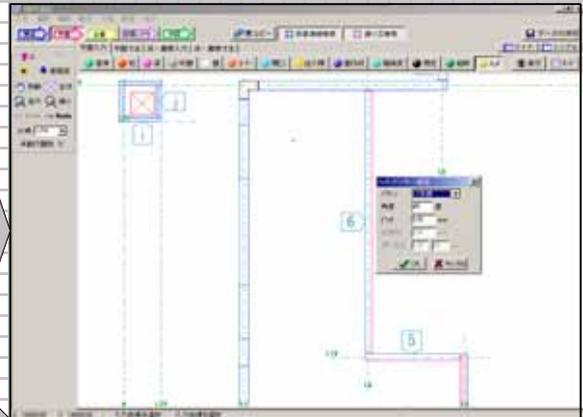
ハッチングを削除します

## ハッチングの入力について

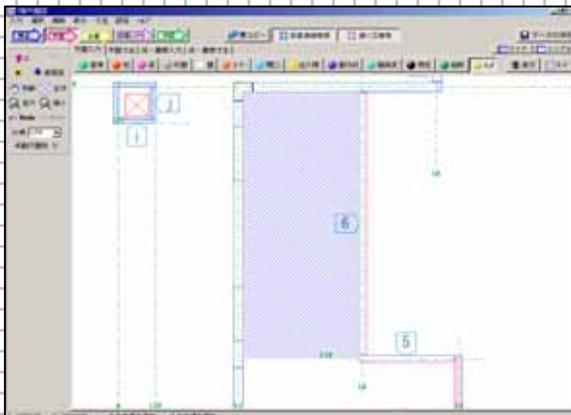
ハッチングの矩形指定(新規ハッチ)を選択します



ハッチングを入力する範囲を四角形で指定します



ハッチングパターンを入力します



## 2-16 表示について

 表示 画面情報のON/OFFを行います

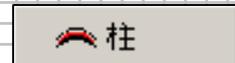
### 表示設定の内容



柱表示のONです



柱表示のOFFです



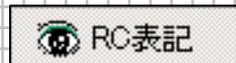
梁表示のONです



梁表示のOFFです



RC表記のONです



RC表記のOFFです



開口表示のONです



開口表示のOFFです



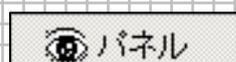
DXF表示のONです



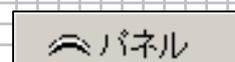
DXF表示のOFFです



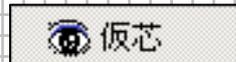
パネル表示のONです



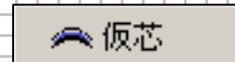
パネル表示のOFFです



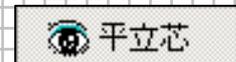
仮芯表示のONです



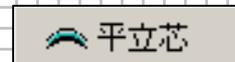
仮芯表示のOFFです



平立芯表示のONです



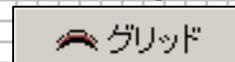
平立芯表示のOFFです



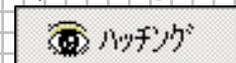
グリッド表示のONです



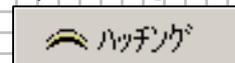
グリッド表示のOFFです



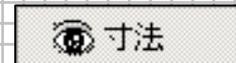
ハッチング表示のONです



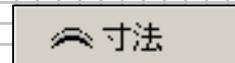
ハッチング表示のOFFです



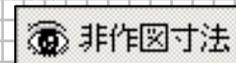
寸法表示のONです



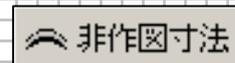
寸法表示のOFFです



非作図寸法表示のONです



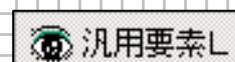
非作図寸法表示のOFFです



汎用要素ペン色表示のONです

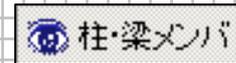


汎用要素レイヤ色表示のONです

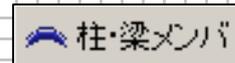


汎用要素を表示OFFにするには、上記二つの表示ボタンをOFFにする必要があります。

非作図柱・梁メンバ表示のONです

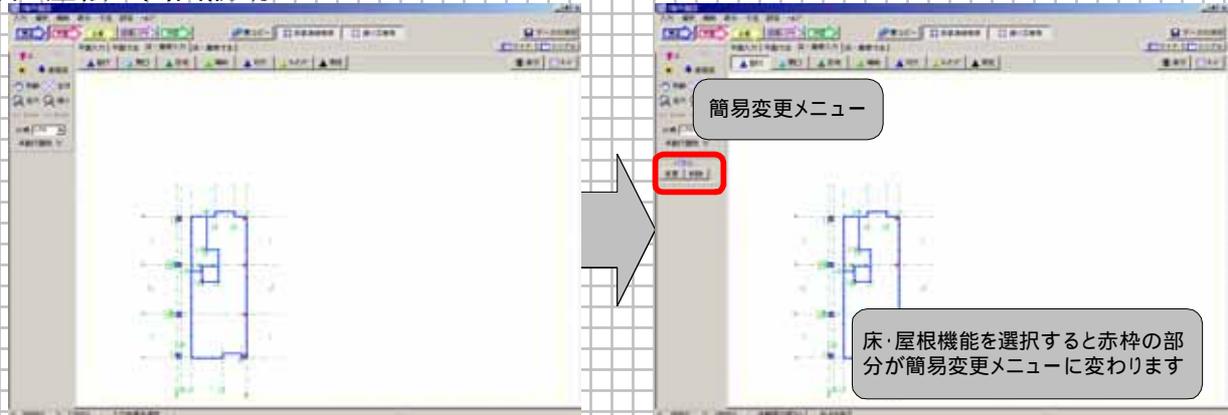


非作図柱・梁メンバ表示のOFFです

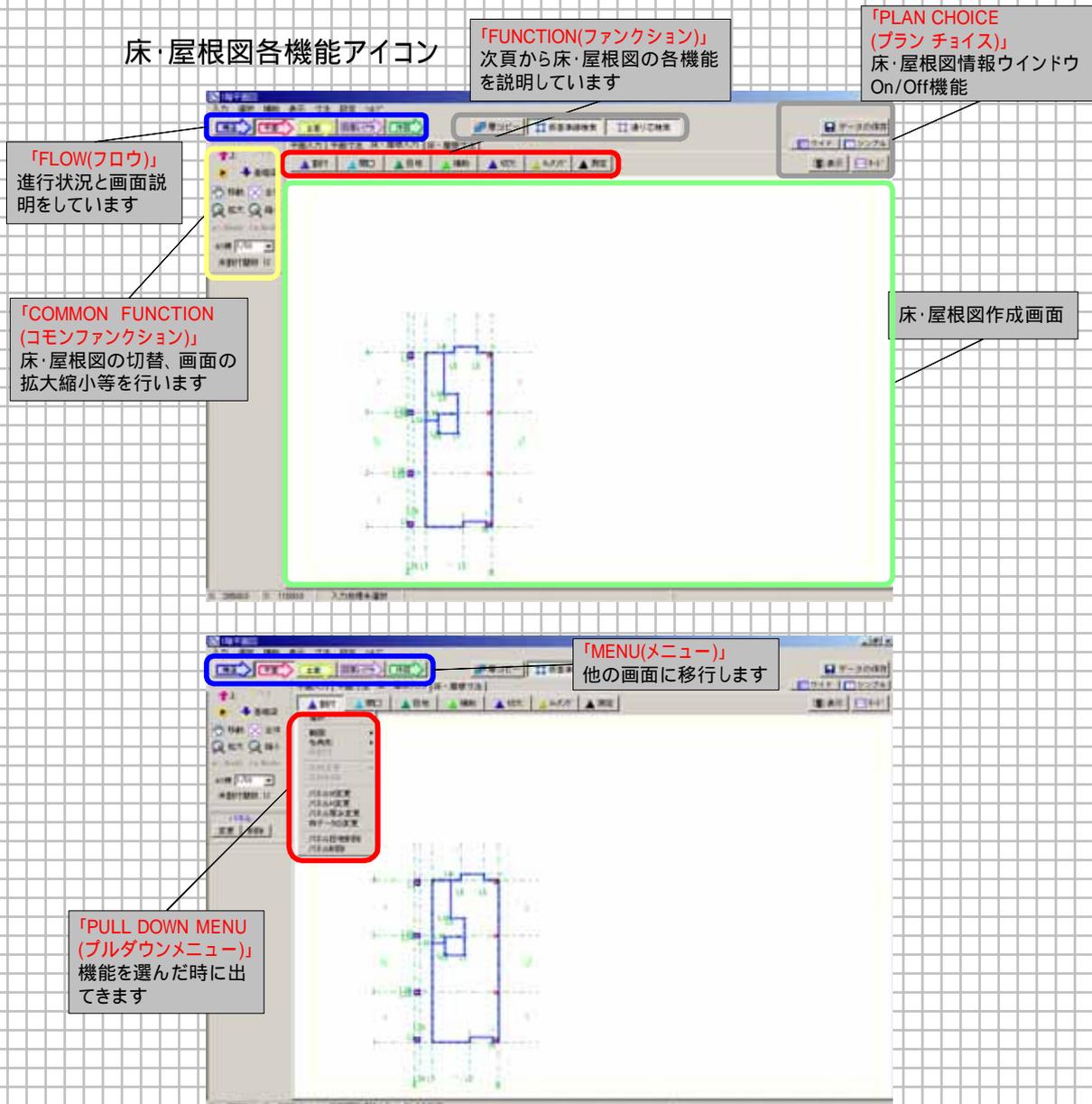


## 2-17 床・屋根の画面構成について

### 床・屋根の画面説明



### 床・屋根図各機能アイコン



## 2 - 18 床・屋根機能について

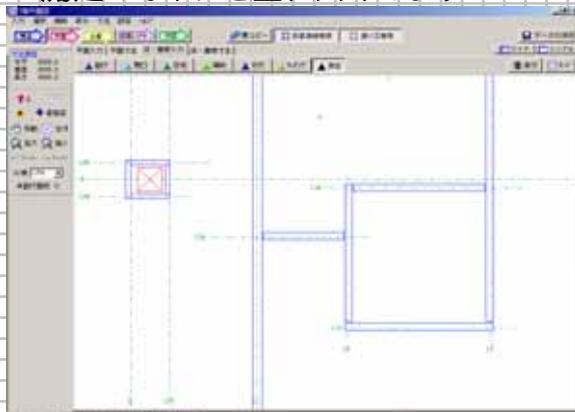
### 床・屋根アイコンについて

2 - 19	 割付	床枠の入力や割付等を行います。割付の変更もここでいきます
2 - 20	 開口	開口の入力を行います
2 - 21	 目地	目地の入力を行います
2 - 22	 補助	補助線の入力を行います
2 - 23	 切欠	切り欠きの入力を行います
2 - 24	 ハッチング	ハッチングの入力を行います
	 測定	距離の測定を行います

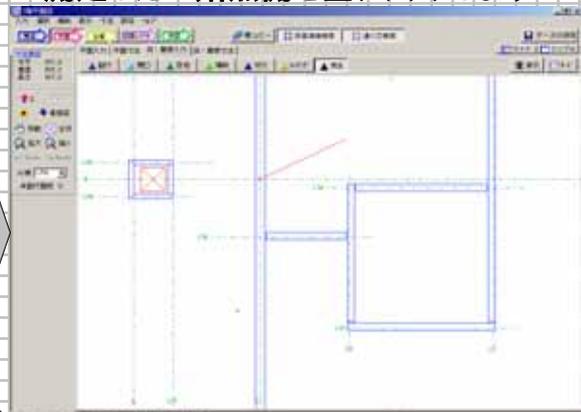
### 測定機能について



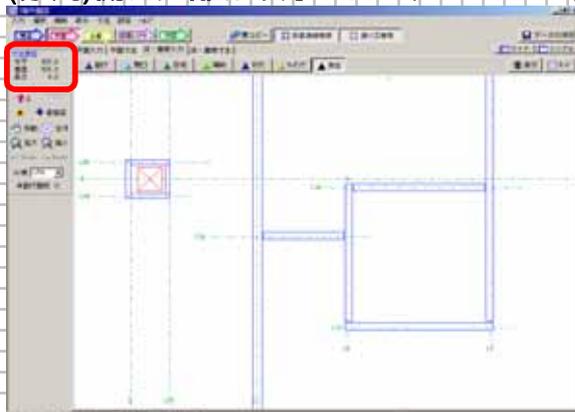
測定のボタンを左クリックします



測定したい始点側を左クリックします



終点側を左クリックすると画面左上  
(赤丸)側に距離が表示されます



## 2 - 19 床割付機能について

 割付
選択
範囲 ▶
多角形 ▶
再割付 ▶
床枠変更 ▶
床枠削除
パネルW変更
パネルH変更
パネル厚み変更
枠データの変更
パネル目地削除
パネル削除

初期メッセージ: 選択 範囲(勾配なし、勾配あり) 多角形(勾配なし、勾配あり)  
 : 再割付(点、辺) 床枠変更 床枠削除 パネルW変更 パネルH変更  
 : パネル厚み変更 枠データの変更 パネル目地削除 パネル削除

### ① 選択

割付けたパネルに対して右クリックする事で変更が行えます

パネルW変更	パネルW変更を行います
パネルH変更	パネルH変更を行います
パネル厚み変更	パネルの厚みを変更します
パネル削除	パネルの削除を行います
パネル目地削除	目地の削除を行います
パネル切り欠き	補助線に対して切り欠きを行います
パネル切り欠き(2線間)	2本の補助線間を切り欠きます(中抜き)
枠データの変更	床枠の変更を行います

### ② 範囲

四角で範囲指定できる場合に使用します

勾配なし 勾配が無い場合の床枠の入力を行います  
 勾配有り 勾配がある場合の床枠の入力を行います

### ③ 多角形

四角以外の床部分の割付をしたい場合に使用します

勾配なし 勾配が無い場合の床枠の入力を行います  
 勾配有り 勾配がある場合の床枠の入力を行います

### ④ 再割付

勾配なし 床再割付を行います。勾配なしの場合に選択します  
 勾配有り 床再割付を行います。勾配有りの場合に選択します

### ⑤ 床枠変更

点 床枠を点で大きさを変更します  
 辺 床枠を辺で大きさを変更します

### ⑥ 床枠削除

床枠の削除を行います

### ⑦ パネルW変更

パネルのW寸法を変更します

### ⑧ パネルH変更

パネルのH寸法を変更します

### ⑨ パネル厚み変更

床パネルの厚みを変更します

### ⑩ 枠データの変更

入力した床の枠を変更します

### ⑪ パネル目地削除

床パネルの目地を削除します

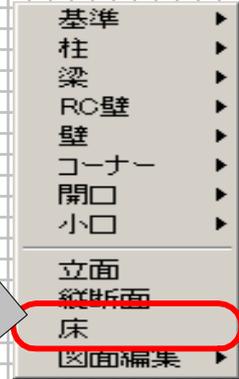
### ⑫ パネル削除

床パネルの削除を行います

## 床割付について

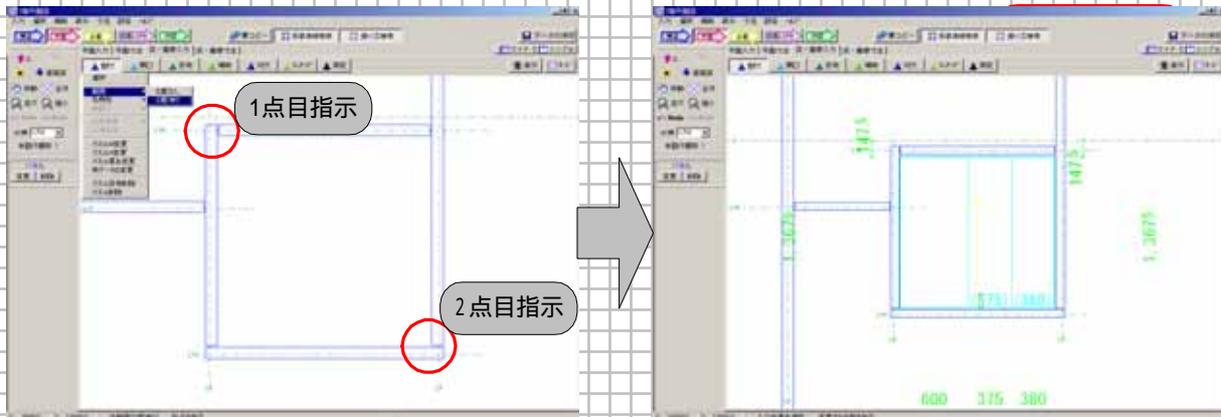
ここでは、床の割付を行う方法を説明します

ツールバーの **▲割付** を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます。又は、メニューバーの **入力** をクリックした後、**床** をクリックします



**▲割付** を左クリックし、割付を左クリックします

で選択した割付機能の中に「勾配なし、勾配あり」があります。勾配ありの場合、勾配ありを左クリック後、床の始点を左クリックします



床エリアの範囲決め、終点側で左クリックすると床の範囲が決定されます



- 割付** 縦割・横割の選択を行います
- 形式** パネル・デッキの選択を行います
- 種類** 乾式・湿式の選択を行います
- 名称** 割付
- 厚み(パネル選択時)** 床パネルの厚みを入力します
- 横幅(パネル選択時)** 割付幅を入力します
- デッキ編集(デッキ選択時)** 割付幅を入力します「デッキマスタ編集」と同じ操作法で設定を行います。(注:指定された床枠のみデッキの詳細情報が変更されます)
- パネル上階高** 床を取り付ける高さを入力します
- 割付開始点** 割付スタート方向の選択を行います
- 端部パネルを内側に** 割付幅より小さいパネルを中央に配置します
- 目地** 目地の基準を何処にするのか選択を行います
- 床枠各辺相対移動** 割付前の床枠エリアを変更します
- 勾配** 勾配有りの場合に入力します
- 縦比** 縦の比率を入力します
- 横比** 横の比率を入力します
- 角度** 角度を入力します。角度を入力すれば縦横比は自動計算されます

## 床枠データの変更



## 2 - 20 床開口機能について



初期メッセージ: 選択 入力 変更 削除

- ① **選択**  
開口にマウスを合わせて右クリックし、変更・削除が行えます
- ② **入力**  
開口の入力を行います
- ③ **変更**  
開口の変更を行います
- ④ **削除**  
開口の削除を行います

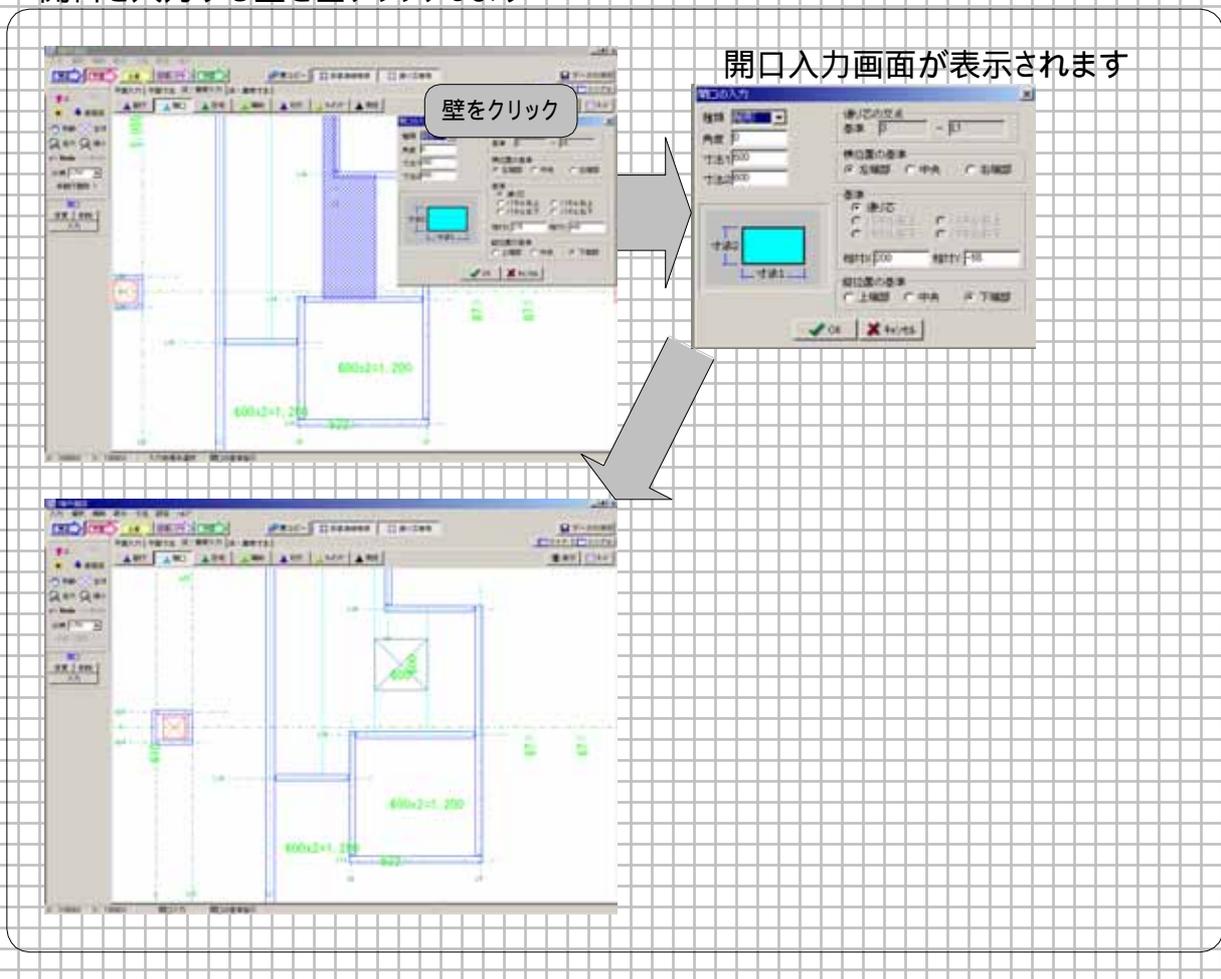
### 床開口入力について

ここでは、床の開口を入力する方法を説明します

ツールバーの **開口** を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
又は、メニューバーの **入力** をクリックした後、 **床** をクリックします

**開口** を左クリックし、**入力** を左クリックします

開口を入力する壁を左クリックします



### 開口入力について

#### 開口入力画面の説明



#### 種類

開口の種類を矩形と円から選択します

#### 角度

開口の角度を入力します

#### 寸法1

開口の幅を入力します

#### 寸法2

開口の高さを入力します

#### 通り芯の交点

開口入力場所の基準を表記しています

#### 横位置の基準

入力位置をパネルの左端部、中央、右端部から選択します

#### 基準

入力位置の指定を、通り芯、パネル左上、左下、右上、右下から選択します

#### 縦位置の基準

開口の入力位置を床パネルの上端部、中央、下端部から選択します

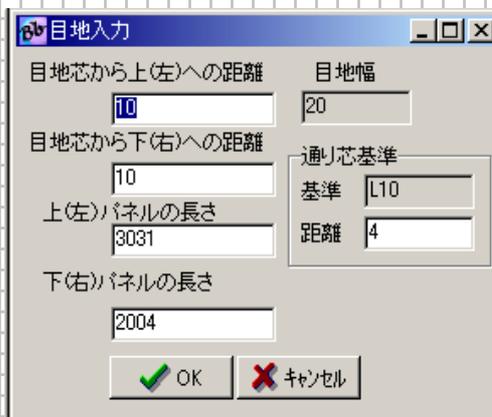
## 2 - 21 床目地について



パネル・通り芯基準入力  
梁基準  
目地の変更  
通り芯基準オフセット

初期メッセージ: パネル・通り芯基準入力 梁基準 目地の変更 通り芯基準オフセット

- ① **パネル・通り芯基準入力**  
パネルや通り芯を基準にし目地入力を行います
- ② **梁基準**  
梁を基準にし目地入力を行います
- ③ **目地の変更**  
入力した目地の変更を行います
- ④ **通り芯基準オフセット**  
通り芯のオフセットを行います



- ① **目地芯から上(左)への距離**  
目地幅の振り分け  
芯から上(左)側の距離を入力します
- ② **目地芯から下(右)への距離**  
目地幅の振り分け  
芯から下(右)側の距離を入力します
- ③ **上(左)パネルの長さ**  
目地を入力する事によって分割する  
上(左)側のパネル長さを入力します
- ④ **下(右)パネルの長さ**  
目地を入力する事によって分割する  
下(右)側のパネル長さを入力します
- ⑤ **目地幅**  
目地の大きさを入力します
- ⑥ **通り芯基準**  
**基準**  
指示したパネルの近くにある通り  
芯を表示します  
**距離**  
基準で表示された通り芯からの距  
離を表示しています

## 床目地入力について

ここでは、床の目地を入力する方法を説明します

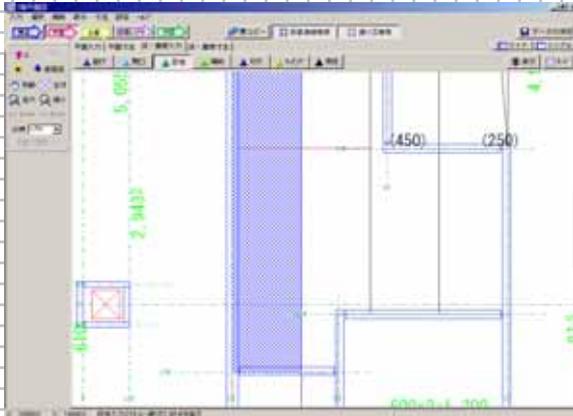
ツールバーの を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
又は、メニューバーの をクリックした後、 をクリックします

を左クリックし、**パネル・通り芯基準入力**を左クリックします

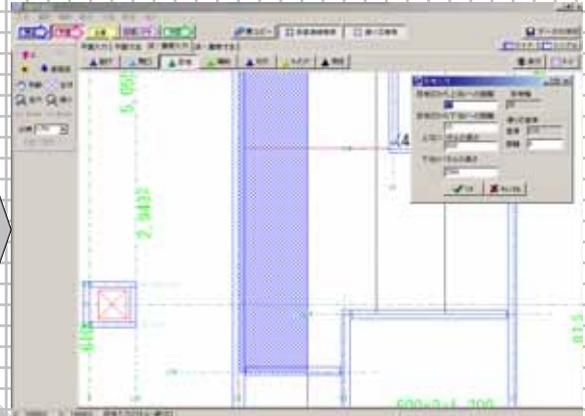
目地を入力するパネルを左クリックします。その後、何処まで目地を入力するか指示します

### 床目地入力について

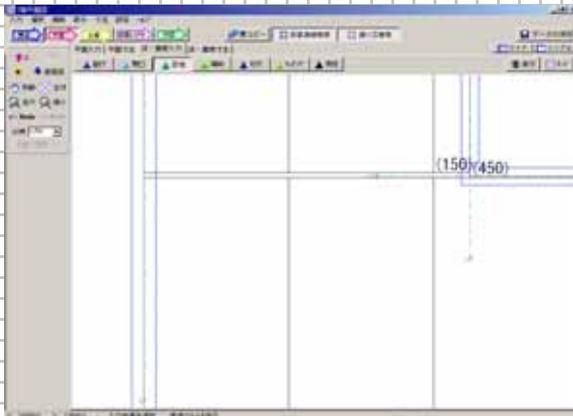
目地を入れるパネルを左クリックします



何処まで目地を入れるか指示します



目地幅やパネル長さを入力します



## 2 - 22 床・補助線について

 補助
選択
直線: 2点
直線: オフセット
直線: 相対角度
直線: 角度
円弧: 2点・半径
円弧: 2点・出幅
円弧: 3点
円弧: 中心・半径
円弧: オフセット
直線: オフセット移動
直線: 端点伸縮
円弧: 端点伸縮
変更
削除

初期メッセージ: 選択:直線: 2点 オフセット 相対角度 角度  
 :円弧: 2点・半径 2点・出幅 3点 中心・半径 オフセット  
 :直線: オフセット移動 端点伸縮 円弧:端点伸縮  
 : 変更 削除

- ① **選択**  
基準線にマウスを合わせて右クリックして指定します。指定した基準線は、変更・削除が行えます。
- ② **直線: 2点**  
マウスで2点を指示して、自由に基準線が引けます。
- ③ **直線: オフセット**  
指定した基準線に対して、平行にコピーをします。
- ④ **直線: 相対角度**  
指定した基準線に対して、角度指示で線を引きます。
- ⑤ **直線: 角度**  
画面に対しての角度指示によって線を引きます。
- ⑥ **円弧: 2点・半径**  
始点・終点指示後、半径を数値入力します
- ⑦ **円弧: 2点・出幅**  
始点・終点指示後、出幅(Rの大きさ)を数値入力します
- ⑧ **円弧: 3点**  
始点・終点に接する円弧を入力する出幅で描きます。
- ⑨ **円弧: 中心半径**  
中心点指示と半径入力により表示される円に対して、始点・終点を指示して円弧を描きます
- ⑩ **円弧: オフセット**  
指示する円弧を元に、平行コピーします
- ⑪ **直線: オフセット移動**  
指示する直線を元に、平行移動します
- ⑫ **直線: 端点伸縮**  
直線の端点を入力寸法分伸縮させます
- ⑬ **円弧: 端点伸縮**  
円弧の端点を入力寸法分伸縮させます
- ⑭ **変更**  
入力した補助線の変更を行います
- ⑭ **削除**  
通り芯を削除します

### 床・補助線入力について

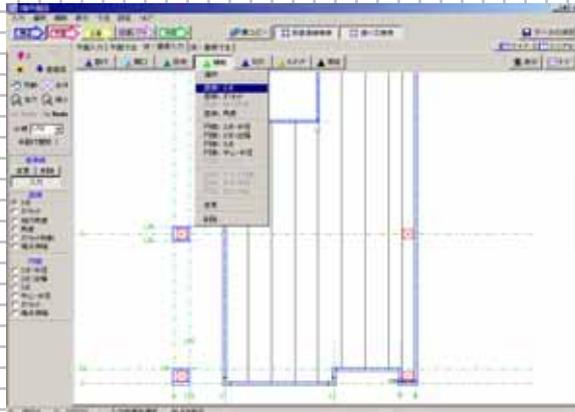
ここでは、床の目地を入力する方法を説明します

ツールバーの **▲目地** を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
又は、メニューバーの **入力** をクリックした後、 **床** をクリックします

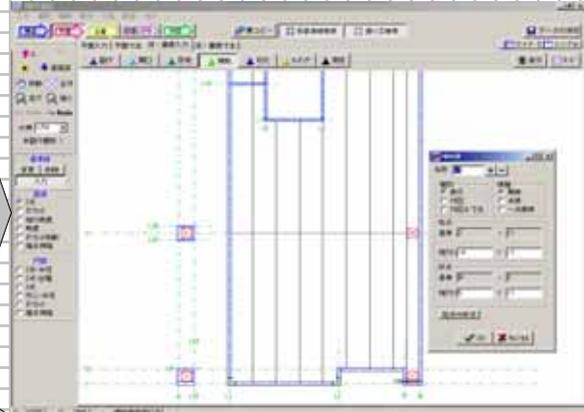
**▲目地** を左クリックし、**パネル・通り芯基準入力** を左クリックします

目地を入力するパネルを左クリックします。その後、何処まで目地を入力するか指示します

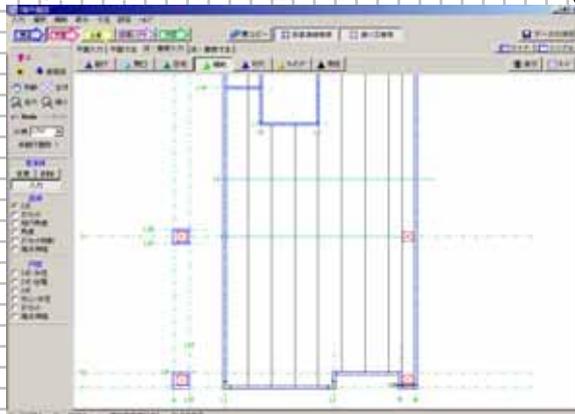
補助線機能の2点を左クリックします  
補助線を入力する場所を左クリックします



補助線範囲の確定(左クリック)します。  
補助線入力用のウィンドウが開きます



補助線の入力出来ます



## 2 - 23 床・切り欠きについて



初期メッセージ: 選択 斜め 斜め:2線間 矩形 三角形 円 平行四辺形  
: 柱切り欠き(単体・全て) 変更 削除

- ① **選択**  
変更、削除を行います。対象物に対して右クリックで行います
- ② **斜め**  
補助線を基準にして指定側を切り欠きます
- ③ **斜め:2線間**  
2本の補助線に対して線と線の間を切り欠きます(申抜き)
- ④ **矩形**  
矩形の切り欠きを入力します
- ⑤ **三角形**  
三角形の切り欠きを入力します
- ⑥ **円**  
円形の切り欠きを入力します
- ⑦ **平行四辺形**  
平行四辺形の切り欠きを入力します
- ⑧ **柱切り欠き**  
**単体**  
特定の柱を切り欠きます  
**全て**  
全ての柱を切り欠きます
- ⑨ **変更**  
切り欠きを変更します
- ⑩ **削除**  
切り欠きを削除します

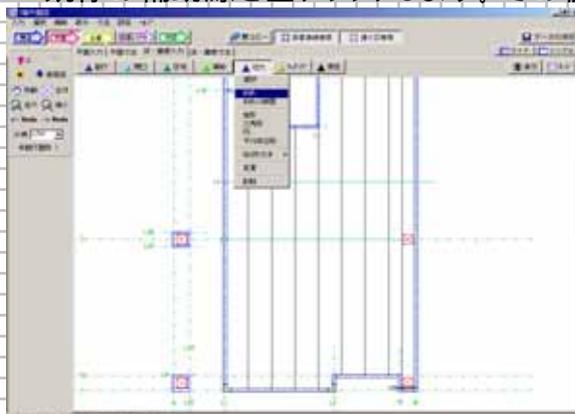
### 床・切り欠き入力(補助線)について

ここでは、補助線を基準に切り欠きを行う方法を説明します

ツールバーの  を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
又は、メニューバーの  をクリックした後、  をクリックします

 を左クリックし、**斜め**を左クリックします

既存の補助線を左クリックします。その後、切り欠く側の床パネルを左クリックします



## 床・切り欠き入力(図形)について

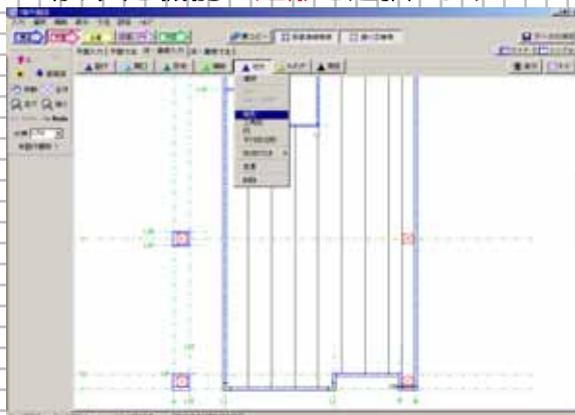
ここでは、図形を入力し切り欠きとする方法を説明します

ツールバーの **▲切欠** を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
 又は、メニューバーの **入力** をクリックした後、 **床** をクリックします

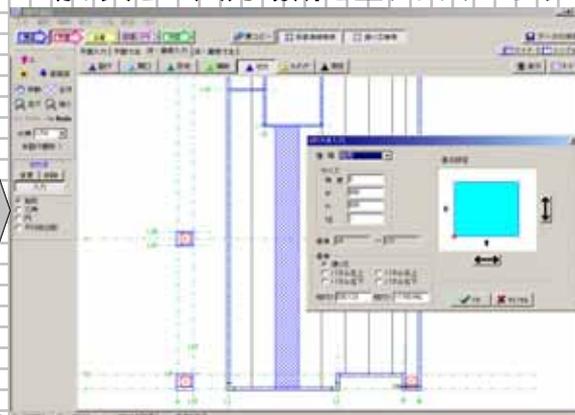
**▲切欠** を左クリックし、**矩形**を左クリックします

床パネルを左クリックします。その後、切り欠き入力ウィンドウに情報を入力します

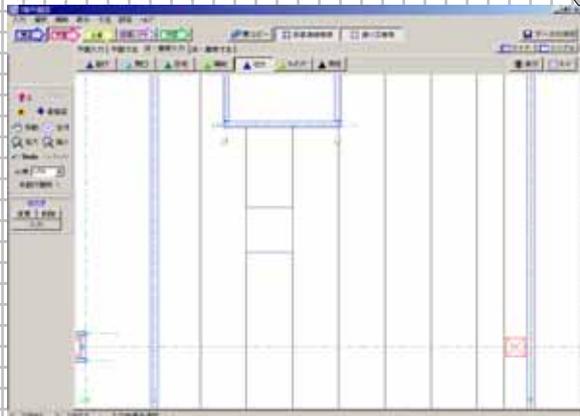
切り欠き機能の**矩形**を選択します



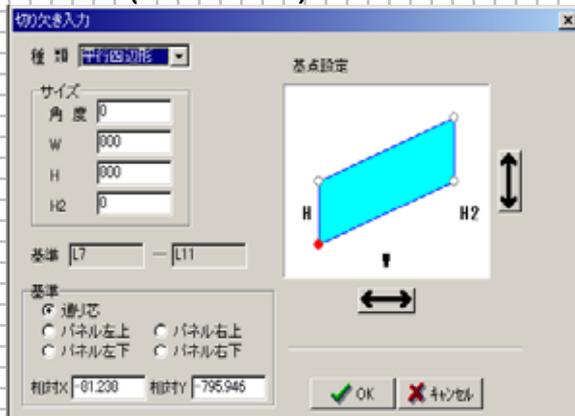
切り欠きの入力場所を左クリックします



入力確定後矩形が入力され、切り欠き扱いになります



参考図(平行四辺形)



**種類** 切り欠きの図形を**矩形・三角形・円・平行四辺形**から選択します

**サイズ**

**角度** 入力する図形に角度を持たせます

**W** 図形のW寸法を入力します

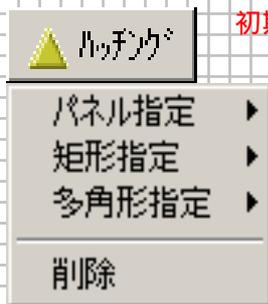
**H** 図形のH寸法を入力します

**H2** 図形の勾配差(値)を入力します

**基準** 入力指示した床パネルの近くの通り芯を表示しています

**基準** 通り芯・パネル左上・パネル左下・パネル右上・パネル右下から基準を選択し、その基準から相対X、相対Yを入力し配置位置を決めます

## 2 - 24 床・ハッチングについて



初期メッセージ: パネル指定(新規ハッチング・ハッチング切り抜き)  
 : 矩形指定(新規ハッチング・ハッチング切り抜き)  
 : 多角形指定(新規ハッチング・ハッチング切り抜き) 削除

- ① **パネル指定**  
**新規ハッチング**  
 床パネルに対し新しくハッチングを入力します  
**ハッチング切り抜き**  
 パネル毎にハッチングを切り抜きます
- ② **矩形指定**  
**新規ハッチング**  
 四角形で任意の大きさにハッチングを入力します  
**ハッチング切り抜き**  
 四角形で任意の大きさにハッチングを切り抜きます
- ③ **多角形指定**  
**新規ハッチング**  
 四角形以外の形状でハッチングを入力できます  
**ハッチング切り抜き**  
 四角形以外の形状でハッチングを切り抜きます
- ④ **削除**  
 変更、削除を行います。対象物に対して右クリックで行います

## 床・ハッチング入力について

ここでは、ハッチング入力の方法を説明します

ツールバーの を左クリックするとドロップダウンメニューが表示されます  
 又は、メニューバーの をクリックした後、 をクリックします

を左クリックし、**パネル指定(新規ハッチング)**を左クリックします

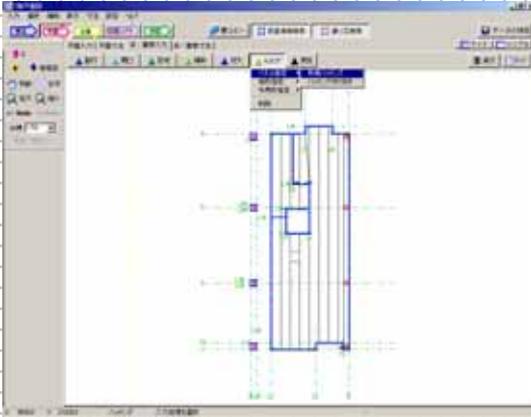
床パネルを左クリックします。その後、ハッチングパターン指定に入力します



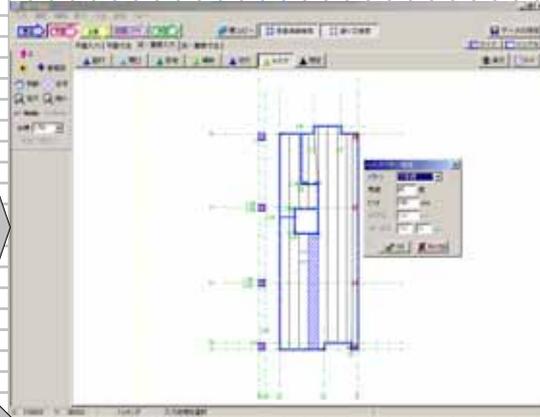
- パターン**  
 ハッチングの柄を選択します
- 角度**  
 ハッチング柄の角度を入力します
- ピッチ**  
 ハッチング柄の間隔を入力します
- 横ピッチ**  
 ハッチング柄の横方向の間隔を入力します
- 横、縦長**  
 ハッチング柄の大きさを入力します

### 床・ハッチング入力について

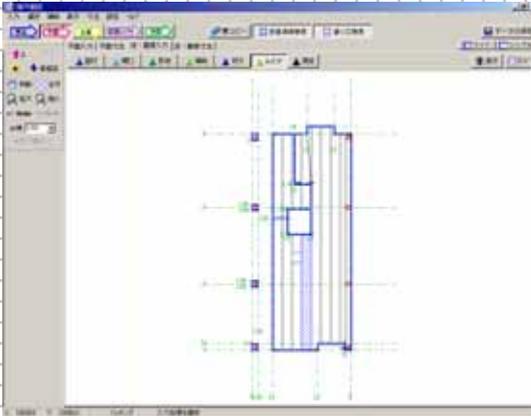
ハッチングの入力方法を選択します



ハッチングの入力場所を指定します



ハッチングが表示されます



## 2 - 25 寸法設定基本概要について

**平面図作図エリア**  
(レイアウト自動切り取り範囲)

① **初期値設定**  
**レイアウト・作図**  
 ・通芯[平面・床]の設定  
 ・自枠[平面・床]の設定

通芯[平面・床]	
上	0
下	20
左	10
右	0

赤矢印はバレーン名称・図面名称・図面縮尺記入エリアを設定するために確保します(単位:mm)

自枠[平面・床]	
上	60
下	70
左	60
右	60

青矢印は平面寸法線・寸法値を記入エリアを設定するために確保します(単位:mm)

### ② 構造寸法・壁寸法設定

初期値(作図初期値の平面寸法)のルールNoで設定した値が連動されます。また設定ルールNoは構造・壁ルールに連動します。

**構造寸法設定**

ルール 基準はルール

<input checked="" type="checkbox"/>	通芯計寸法	No. 1	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	通芯間寸法	No. 2	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	壁間寸法	No. 3		
<input checked="" type="checkbox"/>	柱芯間寸法	No. 4		

すべての層にコピー  
 すべての位置にコピー

OK キャンセル

**壁寸法設定**

ルール 基準はルール

<input checked="" type="checkbox"/>	バネル計寸法	No. 5	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	バネル芯寸法	No. 6	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	芯小口寸法	No. 7	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	コーナー寸法	No. 8	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	壁幅部寸法	No. 9	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	壁長さ寸法	No. 4	0	±0
<input checked="" type="checkbox"/>	開口寸法	No. 9	0	±0

すべての層にコピー  
 すべての壁にコピー

OK キャンセル

### ③ 構造ルール・壁ルール設定

で設定したルールNoの各寸法記入位置を数値入力により設定します。

**構造ルール設定**

構造寸法タイプ

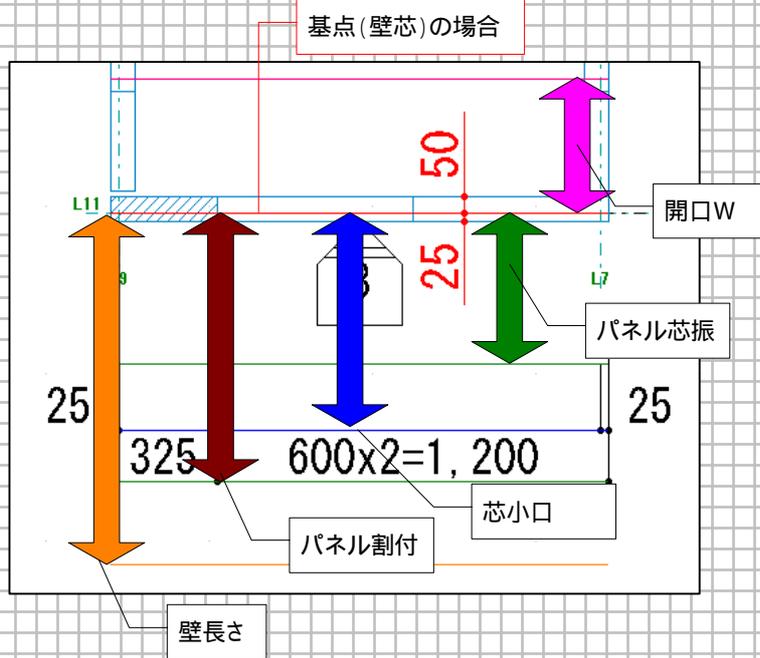
選択したルールNo

<input checked="" type="checkbox"/>	No. 1	通芯計寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 2	通芯間寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 3	壁間寸法	
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 4	柱芯間寸法	
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 5	バネル計寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 6	バネル芯寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 7	芯小口寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 8	コーナー寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 9	壁幅部寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 4	壁長さ寸法	0
<input checked="" type="checkbox"/>	No. 9	開口寸法	0

すべての層にコピー  
 すべての壁にコピー

OK キャンセル

## 第2章 平面・床・屋根



壁レール位置設定

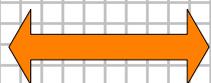
構造 **壁芯** ~レール基点距離  ±0

表示	使用寸法	レール基点~距離
<input checked="" type="checkbox"/> No.1	壁長さ・柱芯間	21
<input checked="" type="checkbox"/> No.2	パネル割付	16
<input checked="" type="checkbox"/> No.3	パネル芯振	9
<input checked="" type="checkbox"/> No.4	芯小口	13
<input checked="" type="checkbox"/> No.5	開口W	-8
<input checked="" type="checkbox"/> No.6	コーナー・壁端部	16
<input type="checkbox"/> No.7		0
<input type="checkbox"/> No.8		0
<input type="checkbox"/> No.9		0
<input type="checkbox"/> No.10		0

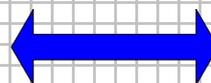
すべての層にコピー  
 すべての壁にコピー

反転 初期値ロード

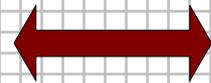
OK キャンセル



レールNo1



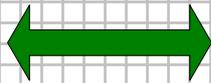
レールNo4



レールNo2



レールNo5



レールNo3



レール色の設定は動作環境の表示  
内で設定してください。

## 2 - 26 平面・床・屋根寸法機能について

### 2 - 27 壁寸法

壁寸法(パネル割付寸法など)の各ルール番号\*<sub>1</sub>を設定します。またルール設定値\*<sub>2</sub>からの移動距離(単位:mm)を設定します。

▲ルール設定からの移動距離の設定は基本がパネル割付寸法とコーナー寸法の表示位置は同じ(ルール番号設定)で、コーナーの位置を部位によって移動したい時に設定します。(寸法値移動操作時に使用)

### 2 - 28 構造寸法

構造寸法(通り芯間寸法など)の各ルール番号を設定します。またルール設定値からの移動距離(単位:mm)を設定します。

### 2 - 29 壁ルール

壁芯(床・屋根つら)からの各寸法位置を設定します。

### 2 - 30 構造ルール

通名称バルーン\*<sub>3</sub>からの各寸法位置を設定します。

### 2 - 31 壁間寸法

構造寸法表示位置(上下左右)への間仕切壁などの壁間寸法の表示・非表示を設定します。

### 2 - 32 寸法操作

寸法(線間・三点・芯振り・寸法線移動・寸法線削除等)の追加・変更・削除を行います。

### 2 - 33 文字操作

文字(文字・囲み文字・引き出し・文字移動・文字削除等)の追加・変更・削除を行います。

### 2 - 34 初期値

初期値(平面寸法設定に必要な値)の変更へ移動します。

### 2 - 35 重複

重複している線の処理(消去)を行います。

### 2 - 36 汎用要素

汎用要素(点・直線・円・円弧・矩形等)の追加・変更・削除を行います。

### 2 - 37 汎用操作

線伸縮・コーナー処理等の処理を行います。

### 2 - 38 表示

柱・梁等(寸法以外)の図形の画面表示・非表示の設定を行えます。

#### ワイド

画面表示エリアを大きくします。(入力項目の非表示により)

#### シンプル

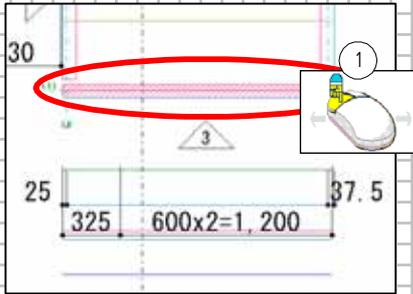
画面表示エリアを大きくします。(入力手順の非表示により)

\*1 ルールとは寸法表示位置をいう。(壁芯からのパネル割付寸法位置・コーナー寸法位置・開口W位置など)  
 \*2 ルール設定値は壁ルール設定で入力した **ルール-距離** (次のページ参照) の位置をいう。  
 \*3 バルーンとは平面図通り名称の (マル)をいう。

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 27 壁寸法について

壁寸法(パネル割付寸法など)の各ルール番号を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい壁芯をマウス☒にて指示します。

☑を外せば表示OFFになります。

ルールNoを変更すると、壁ルール位置が変わります。同一ルール上に表示したい寸法は同じルールNoにします。

数値入力の必要性は同一ルールに設定はしているが、図面を見やすくするために多少移動したい時のために入力してください。(寸法操作の寸法線移動時に有効)。0(ゼロ)が初期値になっていればライン上に寸法線が表示されます。

反転ボタンにより寸法表示位置が基準線を境に反転(ミラー)します。

初期値ロードボタンにより再度初期値マスター設定値を読み込みます。

初期値マスターに登録します。以後 現在の設定が初期値口になります。

上下階・すべての平面壁に設定値をコピーします。

### 2 - 28 構造寸法について

構造寸法(通り芯間寸法など)の各ルール番号を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい構造線またはバルーンをマウス☒にて指示します。

☑を外せば表示OFFになります。

ルールNoを変更すると、構造ルール位置が変わります。同一ルール上に表示したい寸法は同じルールNoにします。

数値入力の必要性は同一ルールに設定はしているが、図面を見やすくするために多少移動したい時のために入力してください。(寸法操作の寸法線移動時に有効)。0(ゼロ)が初期値になっていればライン上に寸法線が表示されます。

反転ボタンにより寸法表示位置が基準線を境に反転(ミラー)します。

初期値ロードボタンにより再度初期値マスター設定値を読み込みます。

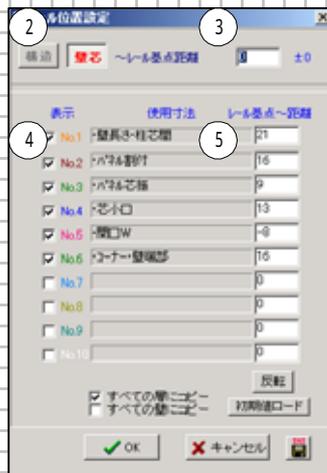
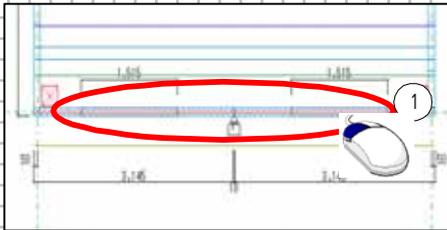
初期値マスターに登録します。以後 現在の設定が初期値口になります。

上下階・すべての平面壁に設定値をコピーします。

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 29 壁レールについて

壁芯からの各寸法位置を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい壁芯(床/屋根つら)をマウス①にて指示します。

壁芯ボタンを押すと壁芯からの寸法線位置を設定します。また構造ボタンを押すと構造パルーンからの寸法線位置を設定します。

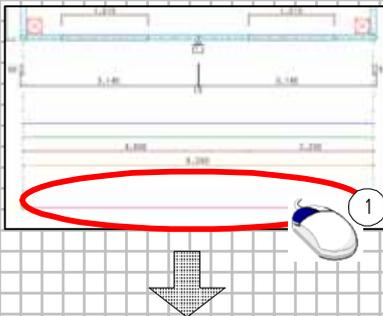
レール基点距離を数値入力しますと入力数値分の寸法線が移動します。

✓を外せば表示OFFになります。

レール基点～距離は基点(壁芯または構造パルーン)からの移動距離を設定します。

### 2 - 30 構造レールについて

通名称パルーンからの各寸法位置を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい構造線および構造パルーンをマウス①にて指示します。

構造エリア寸法(初期値 自枠 上下左右)寸法を読み出します。また、記入エリアを変えたい場合は変更してください。

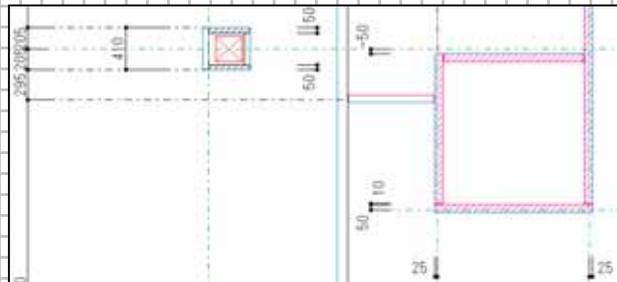
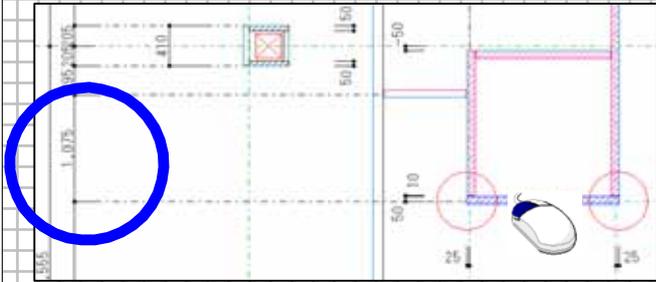
通り芯～レール基点距離を数値入力しますと入力数値量の寸法線が移動します。

✓を外せば表示OFFになります。

レール基点～距離は基点(構造パルーン)からの移動距離を設定します。

### 2 - 31 壁間寸法について

構造寸法表示位置(上下左右)へ間仕切壁などの壁間寸法表示  
/非表示を設定します。



任意に設定したい壁をマウス☞にて指示しま  
す。

指示した壁の左右または上下に赤丸印が表  
示されます。マウスにより指示すると赤丸は  
消え、消えた側の壁間寸法は表示されませ  
ん。



初期はすべてONの状態になります。

# 第2章 平面・床・屋根

## 2 - 32 寸法操作について

寸法の追加・変更・削除を行います。

初期メッセージ

寸法線移動  
寸法値削除

線間寸法

寸法線整列  
面記号移動

3点寸法

寸法値移動  
寸法線伸縮

固定角度寸法

寸法ON/OFF  
寸法足伸縮

芯振寸法

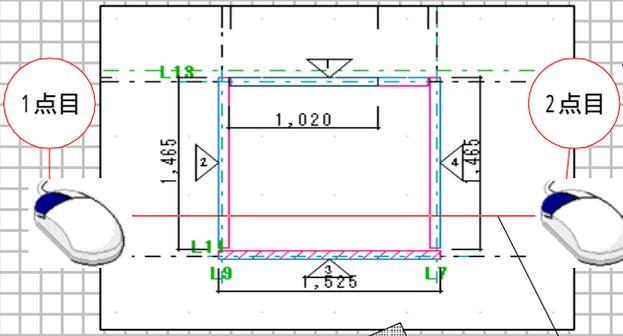
追加寸法削除  
個別設定変更



### 線間寸法

検索属性指定表に検索したい項目にチェックをします。  
チェックを記入した属性を判断し寸法を表示します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更



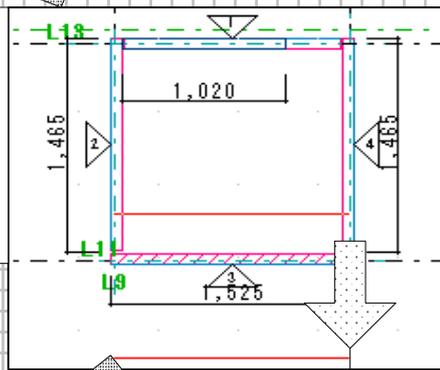
警告：属性検索に対象にならない場合は下記メッセージが表示されます。



- 検索属性指定
- 補属
- 基準線
  - 壁芯
  - 柱芯
  - 間柱芯
  - 梁芯
  - コーナ-芯
  - 開口芯
  - パネル
  - RC壁芯
- 部材交点検索

補は  
仮芯  
平面作図芯  
平立作図芯を検索します。  
属は  
通り芯  
平立寸法作図芯を検索します。

マウスにて真横・垂直方向に任意で指定します。



マウスの位置を、一番近くの部材交点へ自動補正します。

マウスにて表示位置へ移動します。

寸法詳細

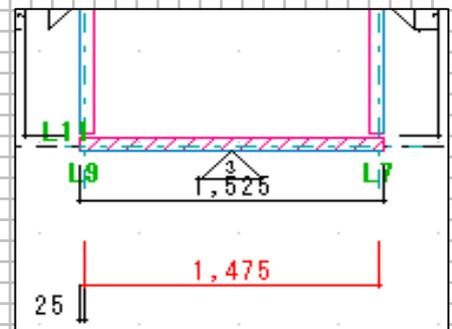
寸法値表現  
前置 寸法値 後付 文字大きさ  
+ 1,475 + 3 mm

寸法線スタイル  
始端 終端 寸法足長さ 5 mm  
表記自動判定  
1250 測定精度 1 桁 再計算

寸法値位置反転(目地扱い)範囲 30 mm以下

寸法初期値パターン選択  
汎用寸法パターン1

OK キャンセル



詳細説明は次ページ

## 第2章 平面・床・屋根

**寸法詳細**

寸法値表現  
 前置 寸法値 後付 文字大きさ  
 + 1,475 +   mm

寸法線スタイル  
 始端 終端 寸法足長さ  mm

1250

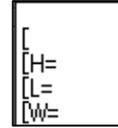
表記自動判定

測定精度  桁 **再計算**

寸法値位置反転(目地扱い)範囲  mm以下

寸法初期値パターン選択

「前置」「後付」は寸法値の前後に任意で文字が入力できます。



寸法値は測定した数値が表示されます。変更可能です。

文字大きさは文字縦大きさです。

寸法線の足(ひげ)長さを表示します。

寸法表記のまとめ方法を表記します。

寸法値に少数点が発生する場合に、測定精度桁数にて四捨五入します。再計算ボタンにて再計算します。

寸法値の値が設定mm以下であれば目地として寸法を判断します。

初期値で設定した寸法パターンが表示されパターン1～5まで選択できます。

寸法初期値パターンを表記します。

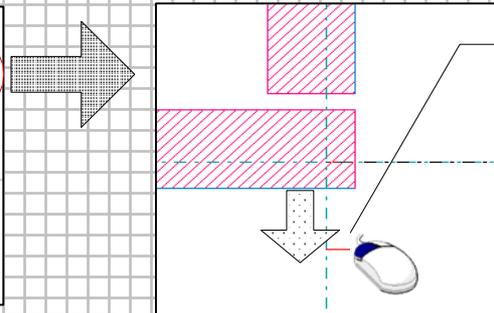
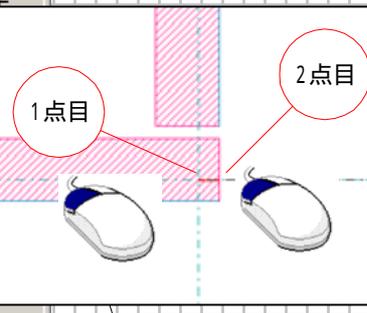


警告: 寸法詳細は寸法追加時には必ず表示されます。

## 第2章 平面・床・屋根

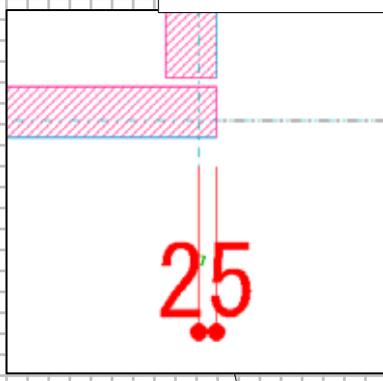
### 3点寸法 マウス指示により寸法を追加します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

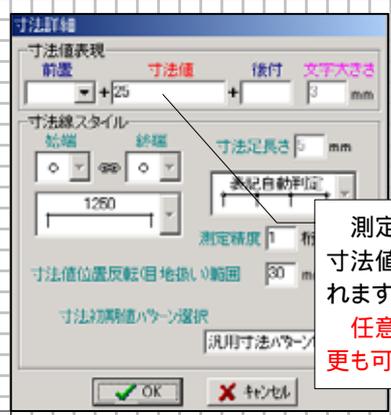


マウスにて表示を行なう位置へ移動します。

マウスにて寸法追加を行なう2点を指示します  
近似点を自動で取得します。



寸法が表示されます。

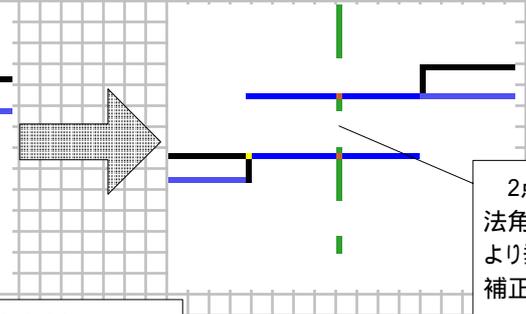
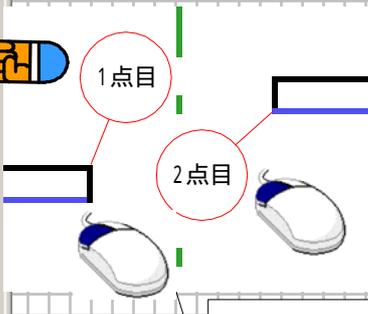


測定しました寸法値が表示されます。  
任意で数値変更も可能です。

### 固定角度寸法 マウス指示により、垂直・水平な寸法を追加します。

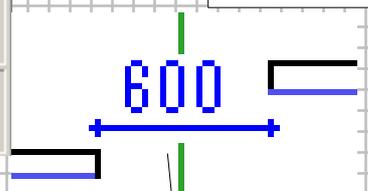
- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

寸法角度  
0 度



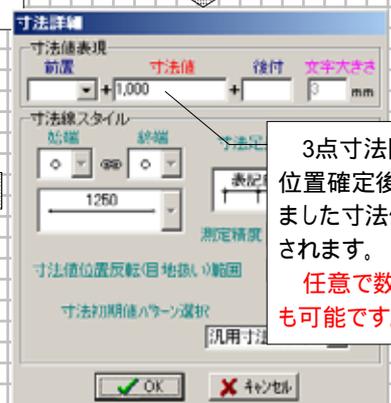
2点確定後、寸法角度の数値により垂直or水平に補正される

マウスにて寸法追加を行なう2点を指示します  
近似点を自動で取得します。



寸法が表示されます。

寸法線の角度を0度or90度から選択します。

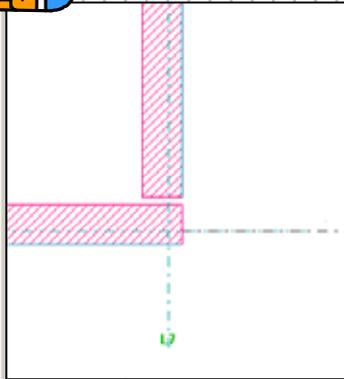


3点寸法同様寸法位置確定後、測定しました寸法値が表示されます。  
任意で数値変更も可能です。

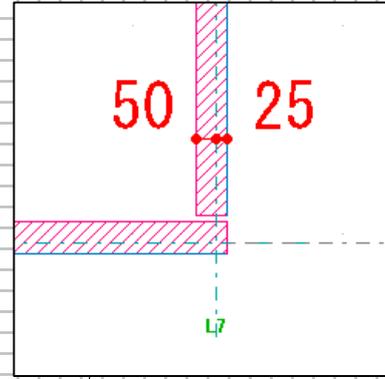
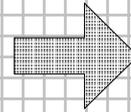
## 芯振寸法

平面壁に対して、壁芯の振寸法をワンタッチで表示します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更



壁芯振寸法を表示する壁を指示して下さい。

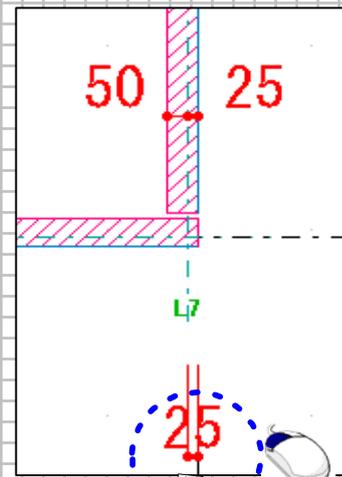
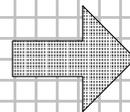
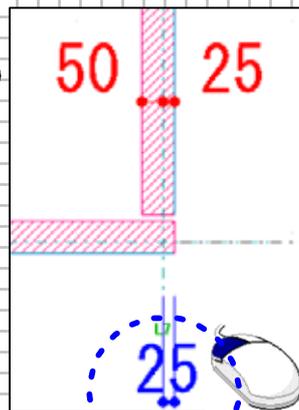


自動で判断し、表示します。

## 寸法線移動

寸法線を移動します。マウス選択寸法をクリックして任意の位置へ移動します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更



寸法移動距離

0

確定

初期位置からの移動距離が表示されます。数値移動も可能です。

## 寸法線整列

追加寸法を、他の寸法線の位置に合わせる。  
 (基準位置にするのはどんな寸法でもできますが、移動できるのは追加寸法だけです)

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

まず、基準となる寸法を選択します。

次に、移動したい追加寸法を選択します。

自動で寸法の位置が変更されます。

## 寸法値移動

寸法値を移動します。マウス選択寸法値をクリックして任意の位置へ移動します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

マウスにて移動する文字を選択して下さい。数値が 表示 になります。

選択中の寸法の名称が表示されます。

基準から移動距離が表示されます。数値移動も可能です。

ハ° 芯振り寸法

X 軸移動距離

Y 軸移動距離

確定



注意: グレー色表示寸法は操作する事ができません。

## 第2章 平面・床・屋根

### 寸法ON/OFF 個別で寸法線の表示/非表示を切り替えます。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

表示を切り替えたい寸法をクリックします。

OFF状態からもう一度クリックすると、ON状態に戻ります。

### 選択したポイントの寸法が重複していたとき

重複している全ての寸法を選択状態にします。

重複している寸法の選択状態を順番に切り替えていきます。

### 追加寸法削除 追加した寸法線を削除します。

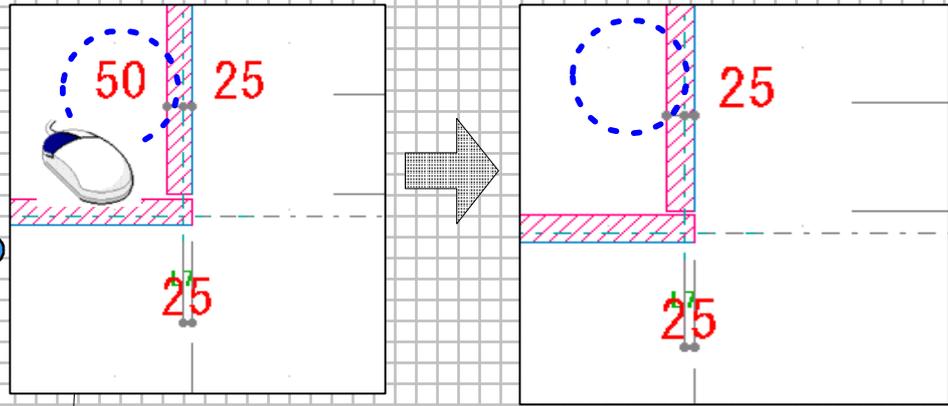
- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

削除を行なう寸法線を選択します。一発で削除されます。

## 第2章 平面・床・屋根

### 寸法値削除 追加した寸法値を削除します。

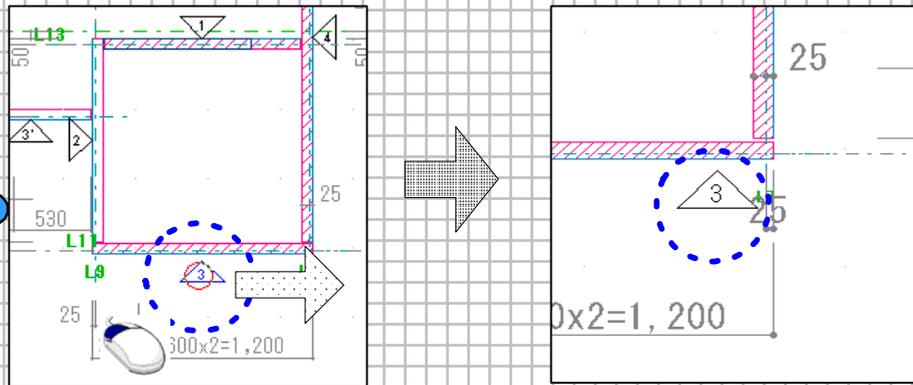
- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更



削除を行なう寸法値を選択します。一発で削除します。

### 面記号移動 面記号をマウス・数値にて移動します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更



移動する面記号を指示します。

基準からの移動距離が表示されます。数値移動も可能です。

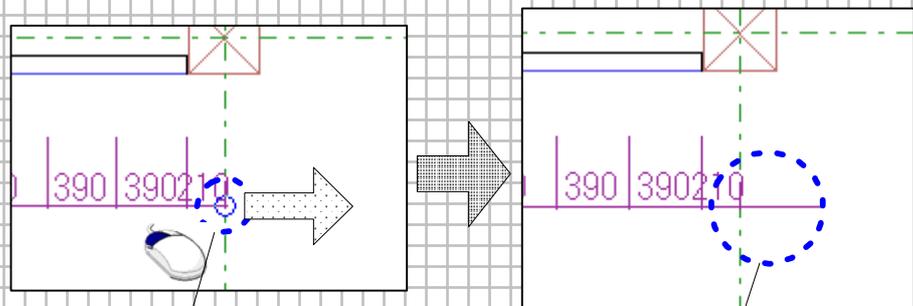
X 軸移動力足距離  
0

Y 軸移動力足距離  
0

確定

### 寸法線伸縮 寸法線の横線を伸縮します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更



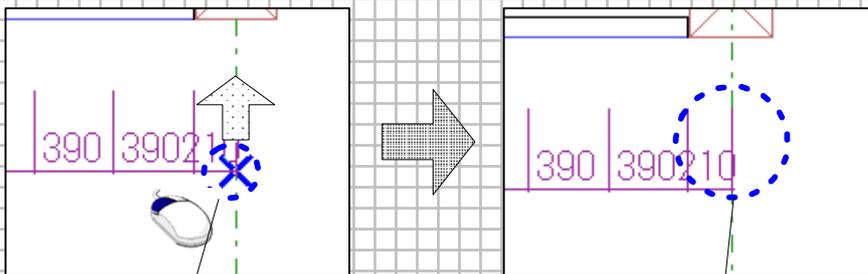
伸縮したい寸法線の端部を指示します。

線を任意の位置まで伸ばしてください。

## 第2章 平面・床・屋根

### 寸法足伸縮 寸法線足の伸縮します。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法定伸縮
- 個別設定変更

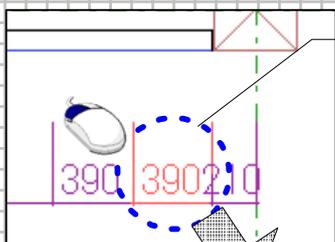


伸縮したい寸法足の始点を指示します。

足を任意の位置まで伸ばしてください。

### 個別設定変更 ペンNOやレイヤNO等寸法設定で設定できない項目を寸法を指示して設定する。

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法定伸縮
- 個別設定変更



設定をしたい寸法を指示します。

この項目は初期値設定の項目と連動してますので、OKボタンを押すと初期値設定の値も変更されます。

個別初期値

### パネル割付寸法

線種	ペン	レイヤ	パターン	タイ°	止め	文字	足長	前文字	後文字
実線	1	9	2	2	2	4	8		

OK キャンセル

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 33 文字操作について

文字を任意で挿入・変更・消去することができます。

初期メッセージ

文字単体

囲み文字

引出線文字

柱メンバ

梁メンバ

文字移動

文字削除

文字コピー

文字単体変更

文字複数変更

#### 文字単体 平面図に文字を挿入します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更

挿入する文字を記入します。追加・変更・削除ができます。

文字挿入  
文字マスター登録内容から  
選択することができます。

和室

文字挿入

文字角度  
0

文字種類  
◎. [ 300 mm ]

引出線角度固定  
角度 315

OK
キャンセル

✓ 文字角度が変更出来ます。

文字大きさは変更できます。  
大きさは初期値設定を引用しています。

#### 囲み文字 平面図に文字を で囲み文字を挿入します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更

囲み文字を挿入する箇所をクリックして下さい。

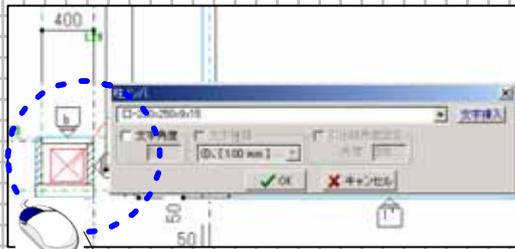
#### 引出線文字 平面図に引出線文字を挿入します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更

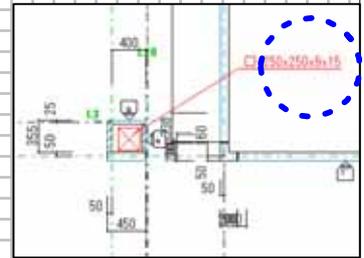
引出線文字を挿入する箇所をクリックして下さい。

## 柱メンバー 柱にメンバーを表示します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバー
- 梁メンバー
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更



マウスでメンバー表記を行なう柱を指示します。



指示した部材のメンバーが表記されます。  
追加・変更・削除が出来ます。

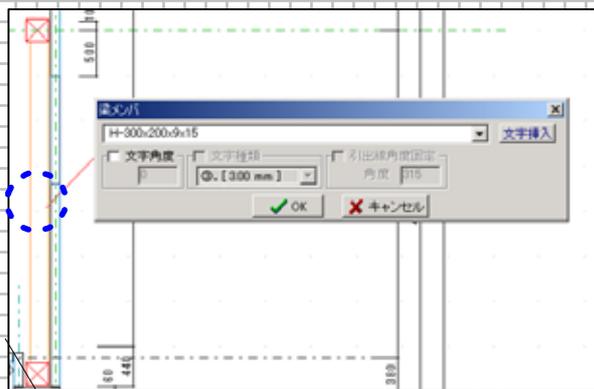


✓ 文字角度が変更出来ます。

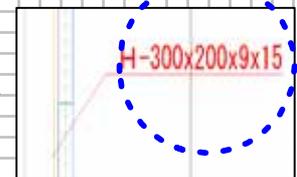
文字大きさは初期値を引用します。  
変更は文字変更で可能

## 梁メンバー 梁にメンバーを表示します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバー
- 梁メンバー
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更



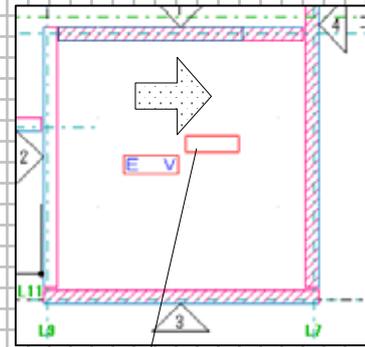
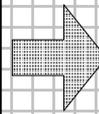
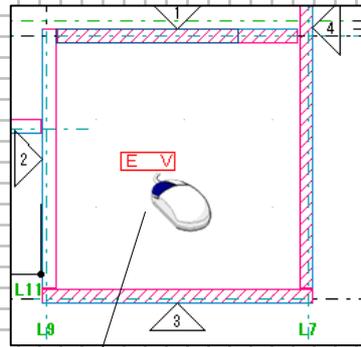
マウスでメンバー表記を行なう梁を指示します。



注意: できる限り部材の中心を指示して下さい。部材の重なり、混み合いにより近くの部材を取る場合があります

## 文字移動 文字を移動します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更

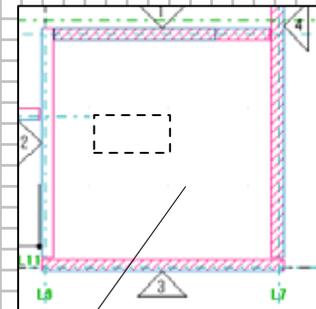
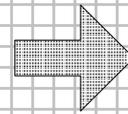
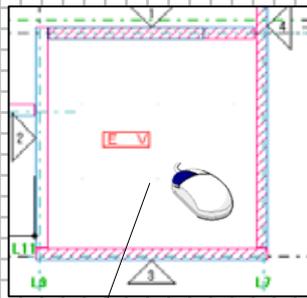


移動する文字をクリックして下さい。

任意の位置に移動して下さい。

## 文字削除 文字を削除します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更

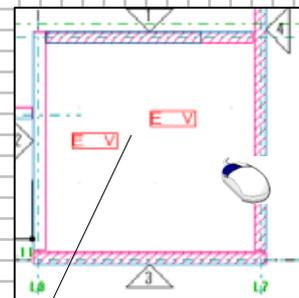
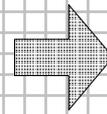
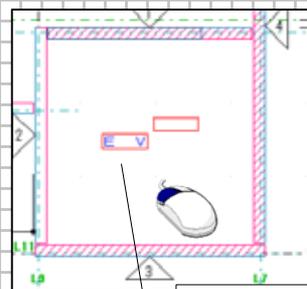


削除する文字をクリックして下さい。

削除されます。

## 文字コピー 挿入した文字をコピー(複製)挿入します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更



コピー(複製)する文字をクリックして下さい。

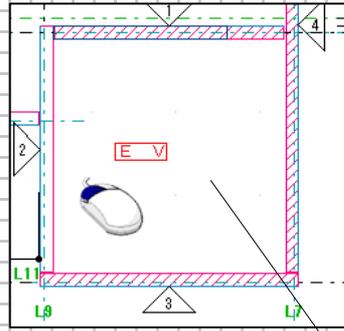
任意の位置にコピーされます。

## 第2章 平面・床・屋根

### 文字単体変更

文字単位(くくり)毎、大きさ・角度・内容を変更します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更



変更する文字をクリックして下さい。

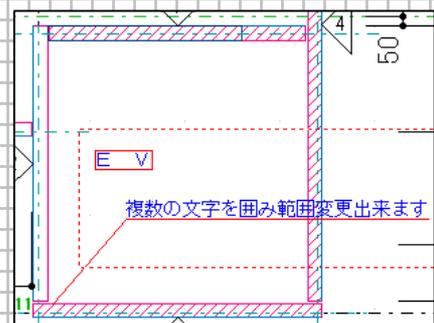
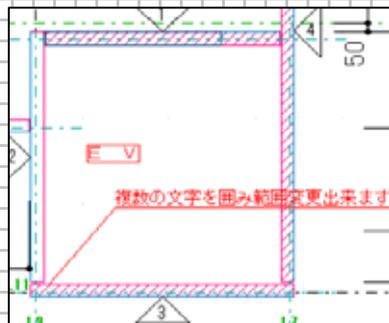


文字を変更します。

### 文字複数変更

文字単位(くくり)毎、大きさ・角度・内容を変更します。

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更



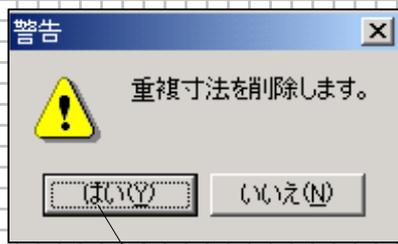
### 2 - 34 初期値

文字を任意で挿入・変更・消去することができます。

9 - 2 初期値設定について( - 3 ~ )をご参照ください。

## 第2章 平面・床・屋根

### 2-35 重複 重複している線の処理(消去)を行います。



重複寸法線処理を開始します。



重複した寸法線数が表示されます。



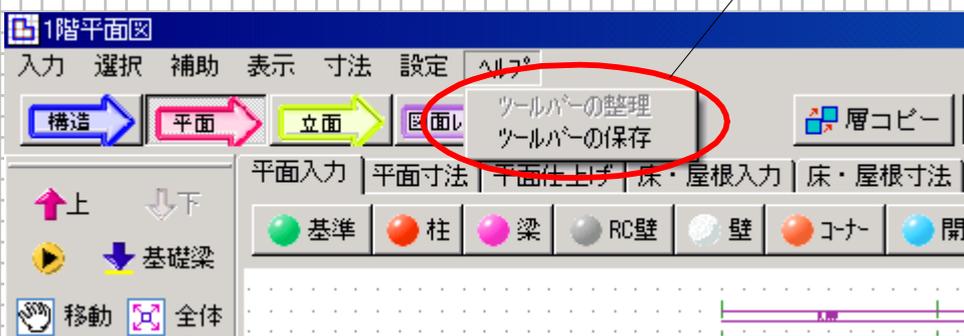
ポイント: 重複寸法線処理を行なう事により、寸法線の重なりを削除し、データ線数を減らします。

### 2-36 表示について 柱・梁などの図形の画面表示・非表示の設定が行えます。



目を閉じている場合は表示されません。

ツールバーの保存にて現在の表示が保存できます



『平面 追加機能』 床屋根立面にも同機能を追加

仕上げ機能

現状、汎用寸法・文字・要素の追加・変更・削除機能は、全て寸法設定機能の中に設けて（下記図 参照）ありますが、それでは操作しにくい等のご指摘があったため、汎用の機能を別画面に移しました。（次ページ図 参照）

図 変更前の寸法設定画面

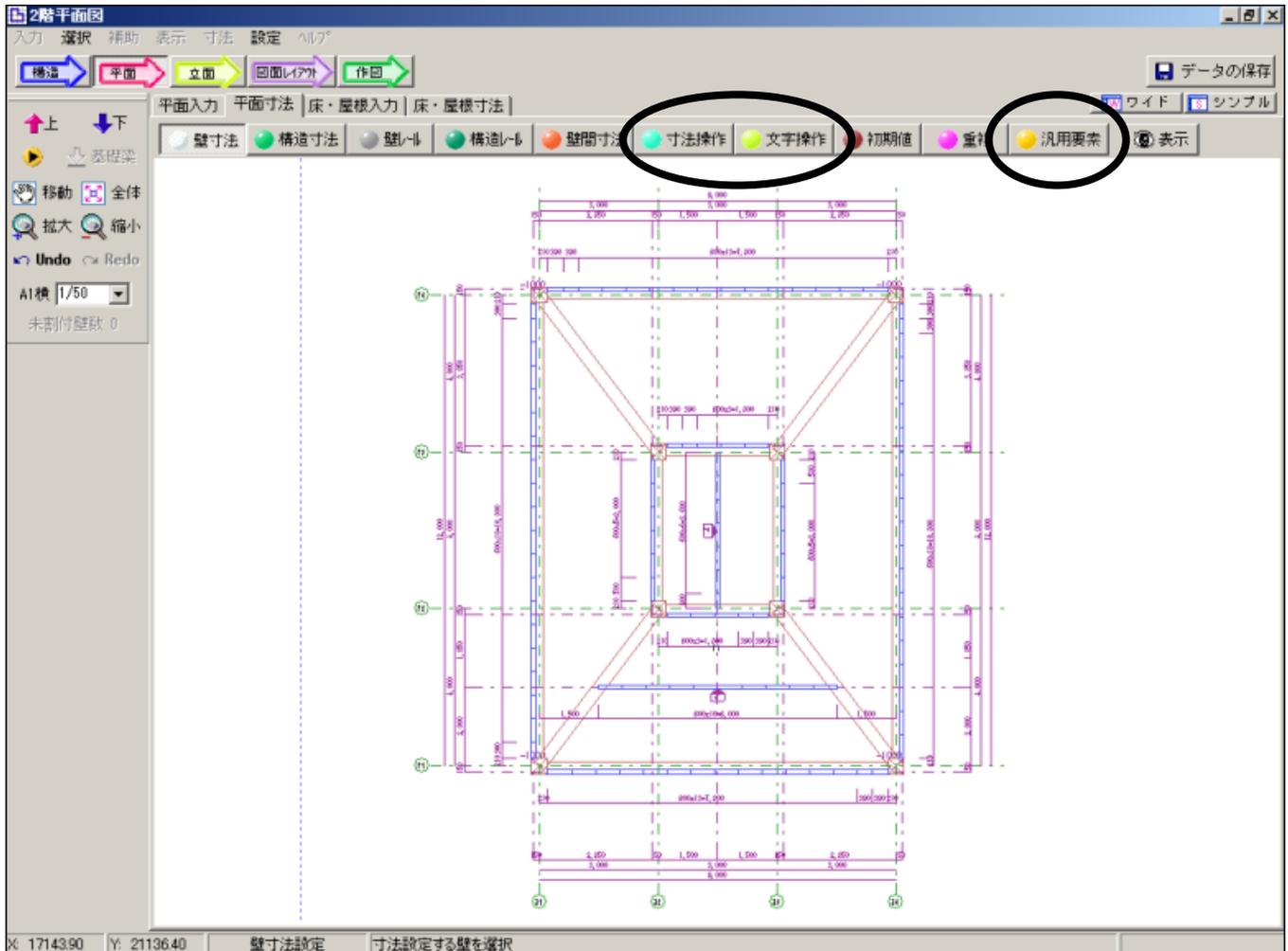


図 - 1 寸法操作詳細

- 線間寸法
- 3点寸法
- 固定角度寸法
- 芯振り寸法
- 寸法線移動
- 寸法線整列
- 寸法値移動
- 寸法ON/OFF
- 追加寸法削除
- 寸法値削除
- 面記号移動
- 寸法線伸縮
- 寸法足伸縮
- 個別設定変更

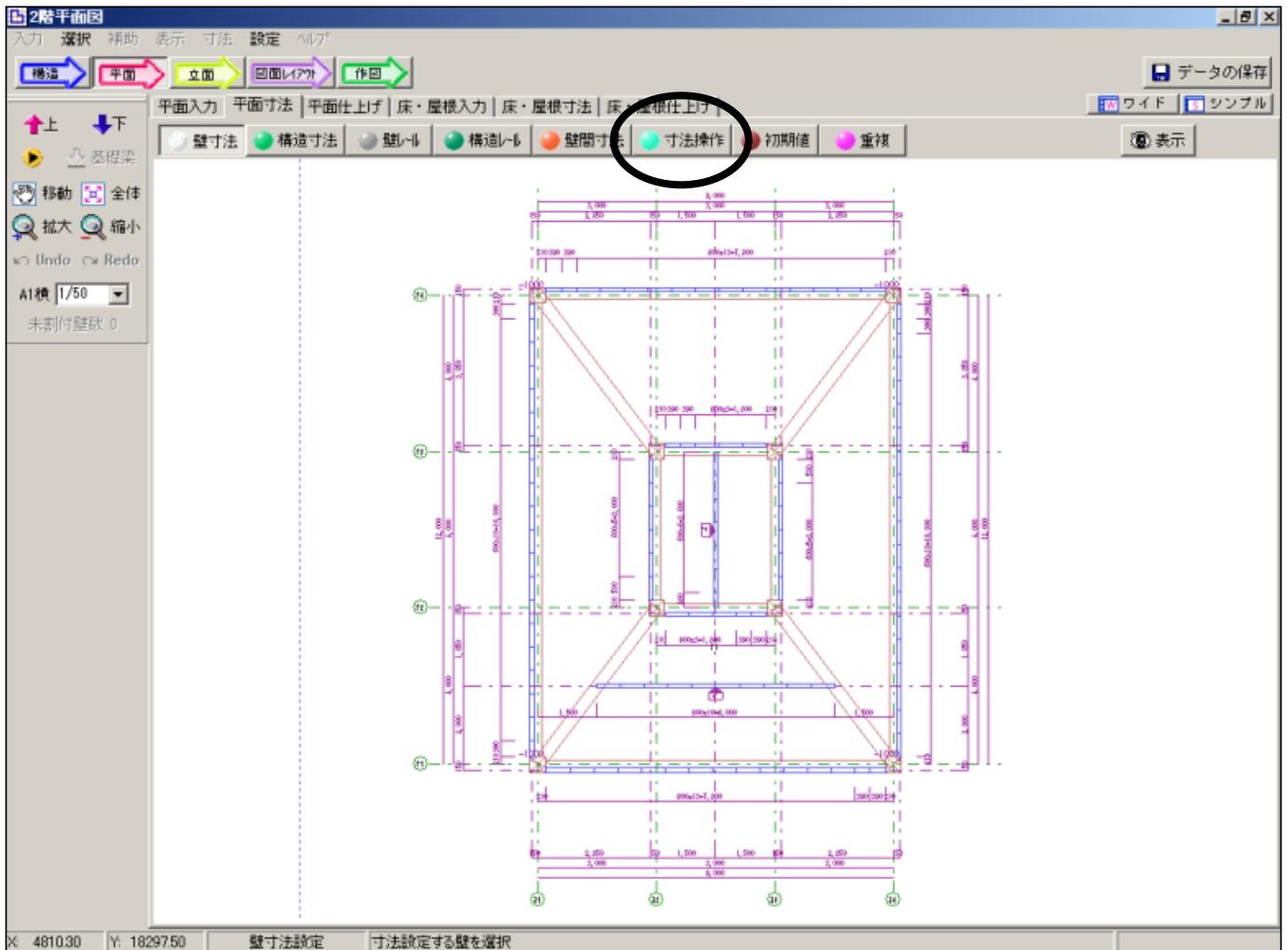
図 - 2 文字操作詳細

- 文字単体
- 囲み文字
- 引出線文字
- 柱メンバ
- 梁メンバ
- 文字移動
- 文字削除
- 文字コピー
- 文字単体変更
- 文字複数変更

図 - 3 汎用要素詳細

- 点入力
- 線入力
- 円入力
- 円弧入力
- 矩形入力
- 詳細変更
- 線伸縮(2点)
- 線伸縮(基準)
- オブジェクト移動
- コーナ処理
- 要素削除
- 要素移動
- 要素コピー

図 変更後寸法設定画面



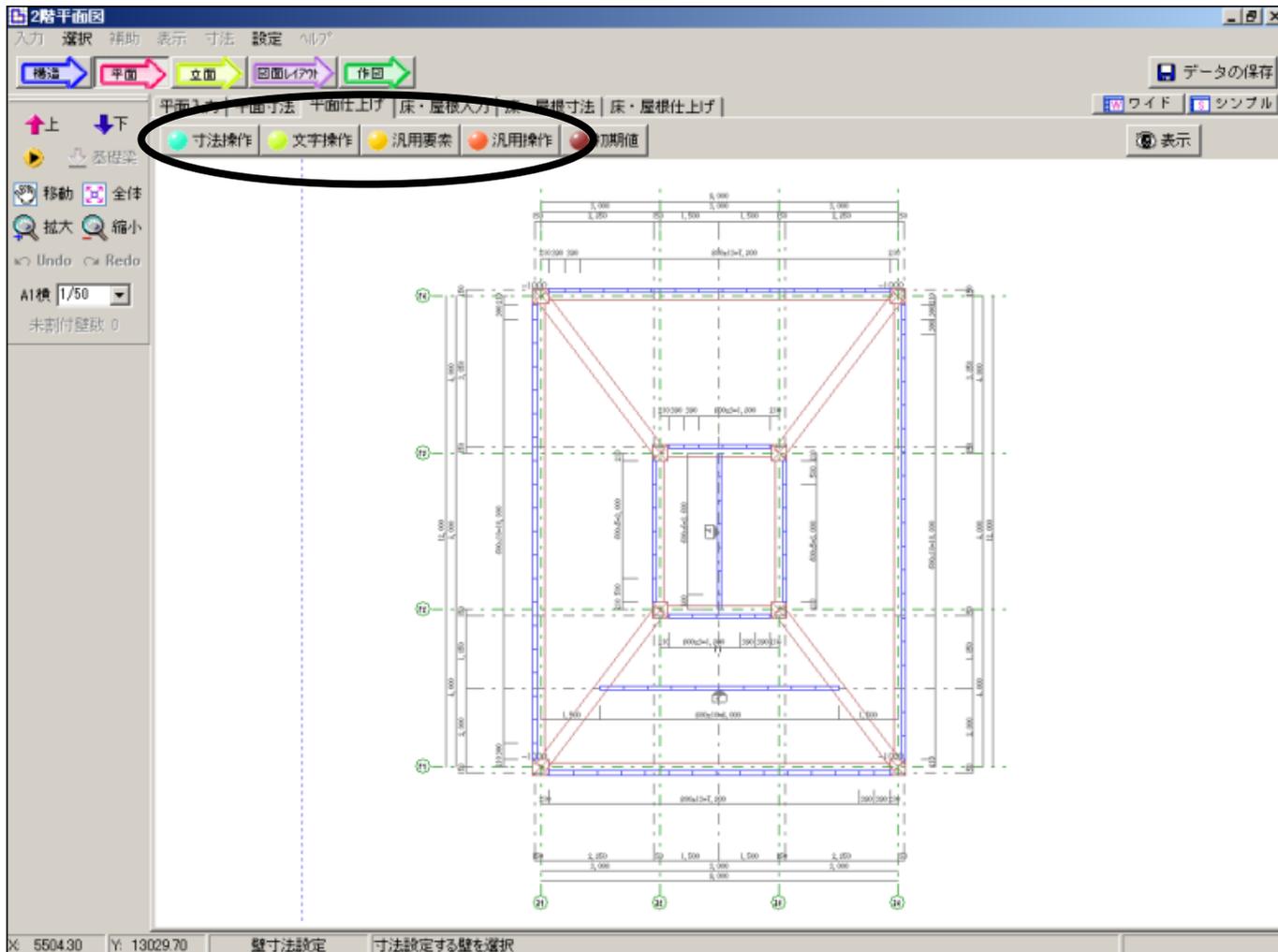
変更後の寸法操作項目

- ・ 寸法線移動
- ・ 寸法値移動
- ・ 寸法線 ON/OFF
- ・ 寸法値削除
- ・ 面記号移動
- ・ 寸法線伸縮
- ・ 寸法足伸縮
- ・ 個別設定変更

図面仕上げ画面では、自動で追加する寸法は変更・削除できないという意味で、自動寸法の色を固定で灰色にしました。(下記図 参照)

初期値画面は、仕上げに関係のないレールの設定画面などは選べないようにしました。

図 図面仕上げ画面



仕上げ画面の寸法操作項目

- ・ 線間寸法
- ・ 3点寸法
- ・ 固定角度寸法
- ・ 芯振り寸法
- ・ 寸法線移動
- ・ 寸法値移動
- ・ 寸法線整列
- ・ 追加寸法削除
- ・ 寸法値削除
- ・ 寸法線伸縮
- ・ 寸法足伸縮
- ・ 個別寸法設定変更

仕上げ画面の文字操作項目

- ・ 文字単体
- ・ 囲み文字
- ・ 引き出し線文字
- ・ 柱メンバ
- ・ 梁メンバ
- ・ 文字移動
- ・ 文字削除
- ・ 文字コピー
- ・ 文字単体変更
- ・ 文字複数変更

Panel Wizardにあった編集画面の要素操作機能をBbで使用できるようにしました。赤字の項目が新機能です

#### 仕上げ画面の汎用要素

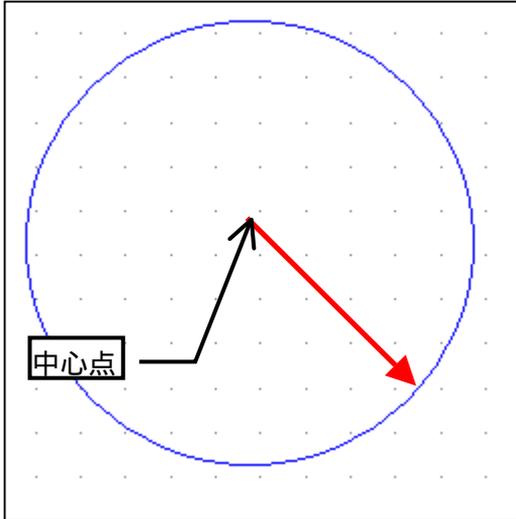
- ・ 点入力
- ・ 線入力
- ・ 円入力（半径）
- ・ 円入力（直径）
- ・ 円弧入力（半径）
- ・ 円弧入力（始点 終点 通過点）
- ・ 円弧入力（始点 通過点 終点）
- ・ 矩形入力
- ・ 詳細変更
- ・ 要素移動
- ・ 要素コピー
- ・ オフセット移動
- ・ オフセットコピー
- ・ 要素削除

#### 仕上げ画面の汎用操作

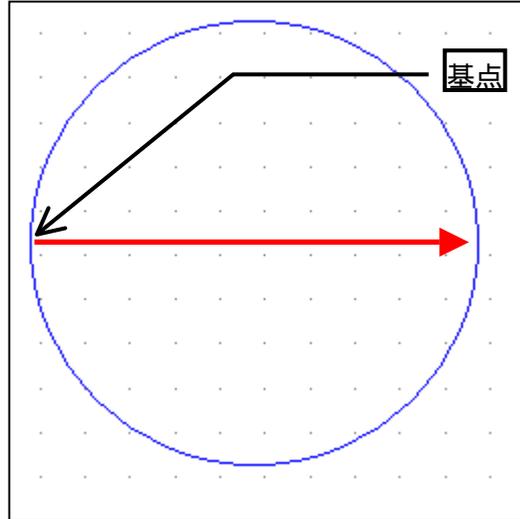
- ・ 線伸縮（2点）
- ・ 線伸縮（基準）
- ・ 線切断
- ・ 中心線
- ・ コーナー処理

新機能の詳細

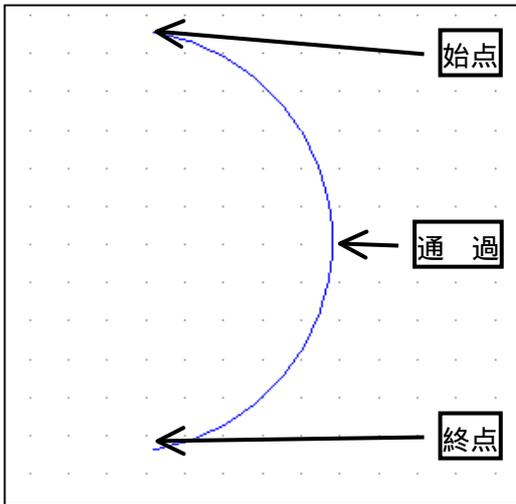
- 円入力（半径）



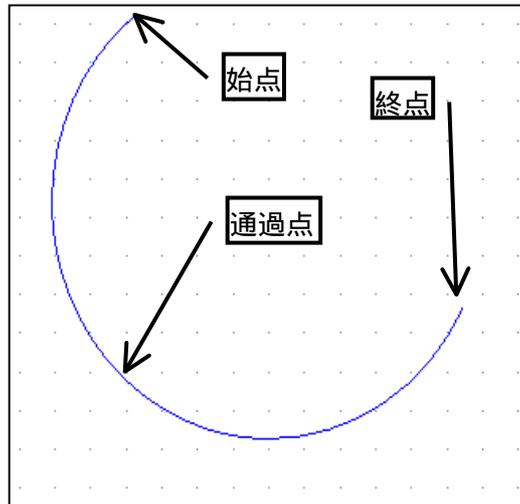
- 円入力（直径）



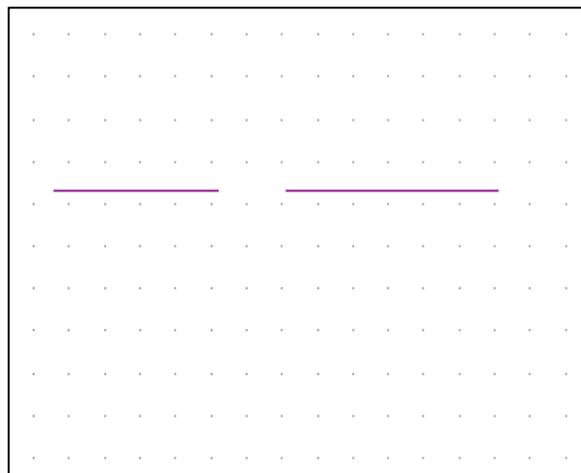
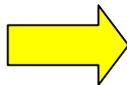
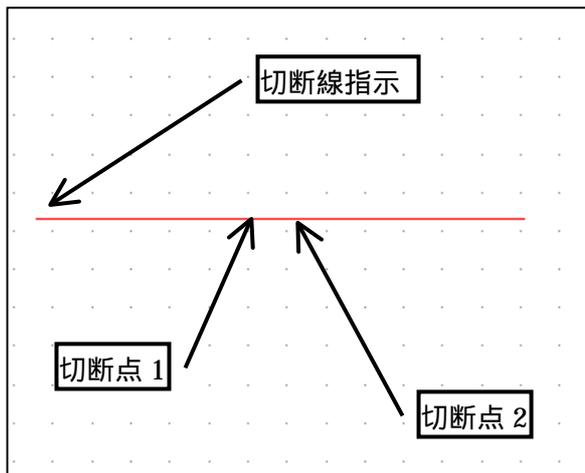
- 円弧入力（始点 終点 通過点）



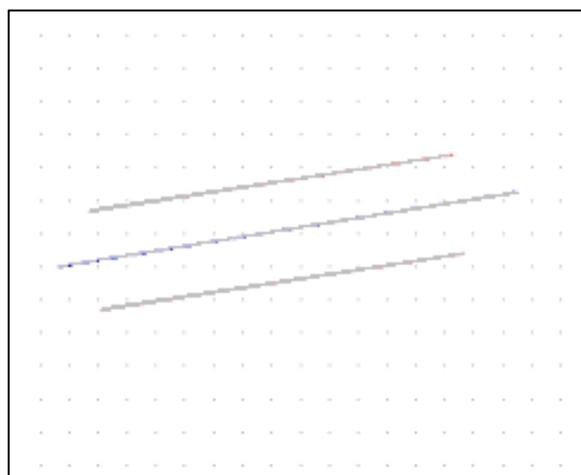
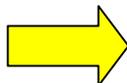
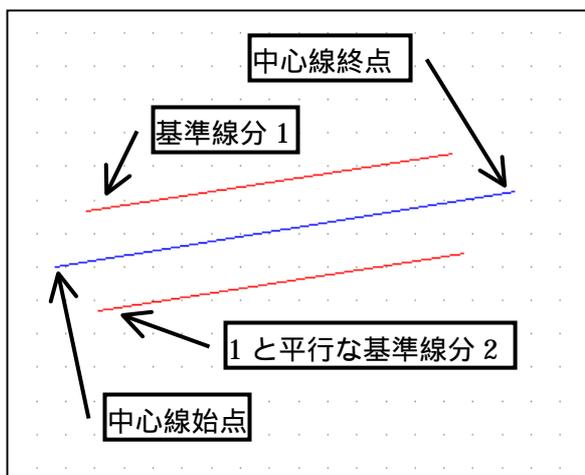
- 円弧入力（始点 通過点 終点）



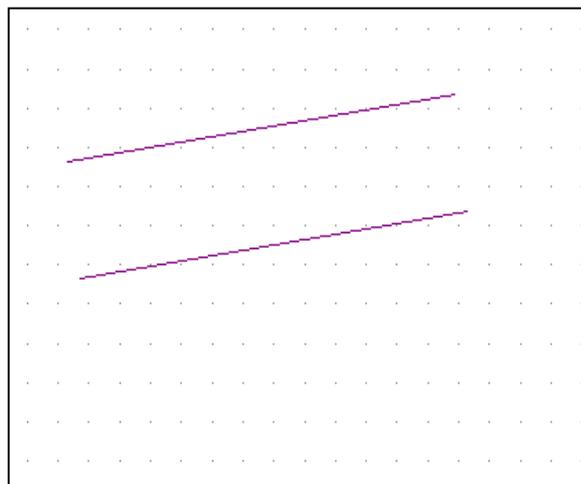
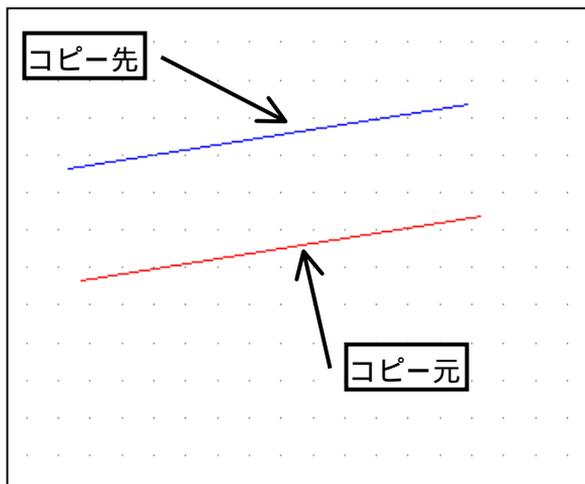
・ 線切断



・ 中心線



・ オフセットコピー



## 種別変更（通り芯・仮芯）

基準線入力・変更時、種別を通り芯と補助線に簡略化し(仮芯・平面作図芯・平立作図芯・平立寸法作図芯をなくしました)、補助線の場合は寸法作図の有無や線種を平面・立面個別に設定をできるようにしました。

平面寸法作図チェックが ON の場合、平面作図を「なし」に設定することはできません。同様に立面寸法作図チェックが ON の場合、立面作図を「なし」に設定することはできません。

種別が「通り芯」に設定されている場合、平面作図・立面作図・平面寸法作図・立面寸法作図の項目を指定することはできません。

### ・ 旧入力画面

基準直線[2点]

名称 T1 + -

種別	線種
<input type="radio"/> 仮芯	<input type="radio"/> 実線
<input type="radio"/> 平面作図芯	<input type="radio"/> 点線
<input checked="" type="radio"/> 通り芯	<input checked="" type="radio"/> 一点鎖線
<input type="radio"/> 平立作図芯	
<input type="radio"/> 平立寸法作図芯	

始点

基準 [ ] - [ ]

相対X 3000 Y 8500

伸縮 0    固定

終点

基準 [ ] - [ ]

相対X 8500 Y 2000

伸縮 0    固定

表示層 始点↔終点

1階平面図  2階平面図  3階平面図  最上階平面図

全層 現在の層

OK キャンセル

### ・ 新入力画面（通り芯指定時）

基準直線[2点]

名称 T1 + -

種別	平面作図	立面作図
<input checked="" type="radio"/> 通り芯	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> なし
<input type="radio"/> 仮芯	<input type="radio"/> 実線	<input type="radio"/> 実線
	<input type="radio"/> 点線	<input type="radio"/> 点線
	<input type="radio"/> 一点鎖線	<input type="radio"/> 一点鎖線

平面寸法作図  立面寸法作図

始点

基準 Y4 - R1

相対X -5000 Y -500

伸縮 0    固定

終点

基準 Y2 - X1

相対X -4500 Y -500

伸縮 0    固定

表示層 始点↔終点

1階平面図  2階平面図  3階平面図  最上階平面図

全層 現在の層

OK キャンセル

### ・ 新入力画面（仮芯指定時）

基準直線[2点]

名称 T1 + -

種別	平面作図	立面作図
<input type="radio"/> 通り芯	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> なし
<input checked="" type="radio"/> 仮芯	<input type="radio"/> 実線	<input type="radio"/> 実線
	<input checked="" type="radio"/> 点線	<input checked="" type="radio"/> 点線
	<input type="radio"/> 一点鎖線	<input type="radio"/> 一点鎖線

平面寸法作図  立面寸法作図

始点

基準 Y5 - X1

相対X -11000 Y 0

伸縮 0    固定

終点

基準 Y3 - X1

相対X -9500 Y -1000

伸縮 0    固定

表示層 始点↔終点

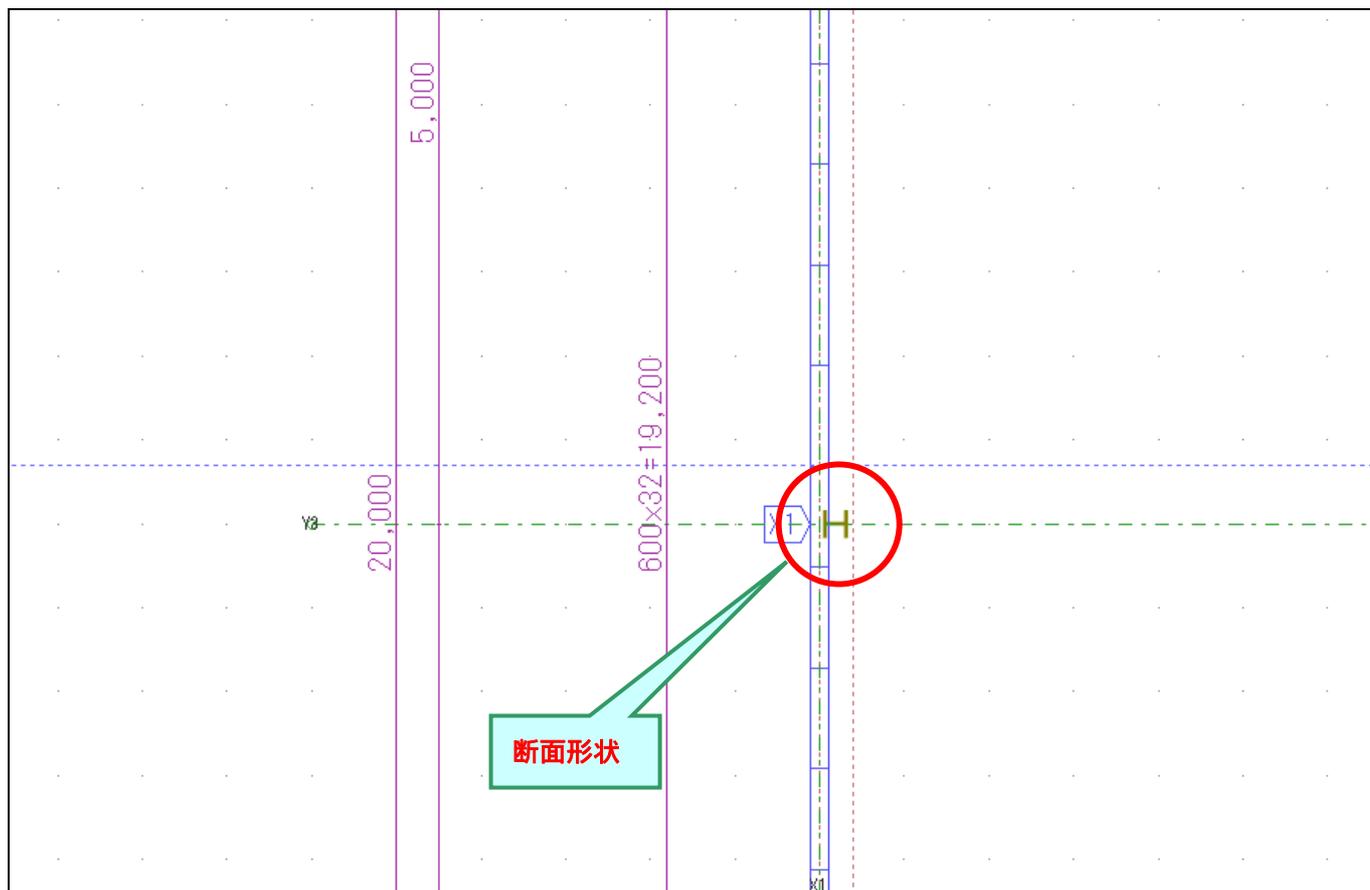
1階平面図  2階平面図  3階平面図  最上階平面図

全層 現在の層

OK キャンセル

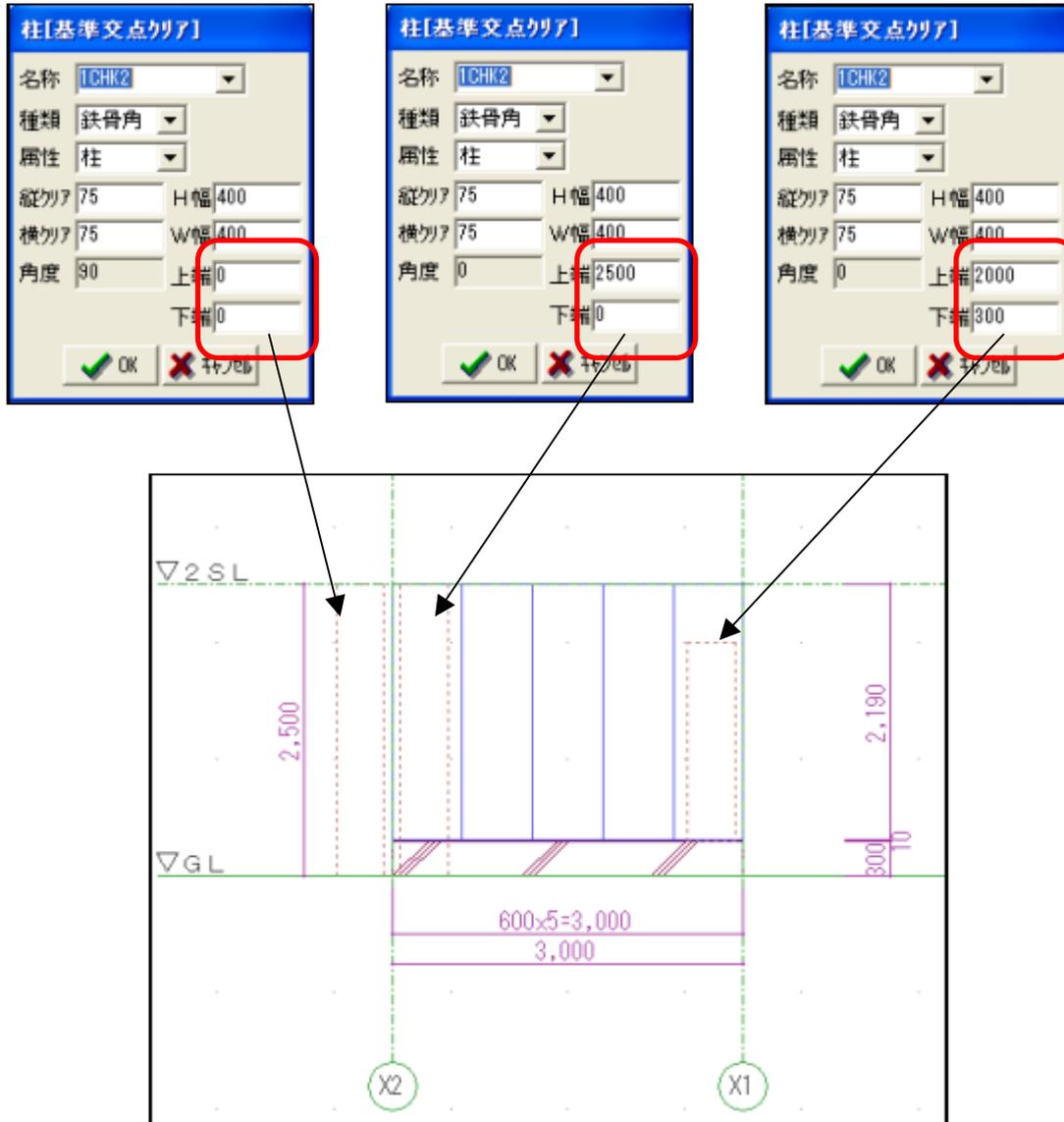
### 梁の中心に形状 (H・口) の表示追加

梁の形状を区別するために、梁の中心に断面の形状 (H・口) の表示を追加しました。作図時には反映されませ  
ん。



### 平面柱入力時の柱高さ入力追加

今まで、柱の高さの変更は立面画面でしかできませんでしたが、平面での柱入力・変更時に高さの入力変更ができるようになりました。



注 上端・下端とも値が0のときは、自動で階高に合わせた柱高さになります。

### その他壁芯の入力項目追加（変更・削除）

平面入力画面の壁入力の中にその他壁芯入力機能が追加してあります。

「その他壁芯入力」... 1点指示を行い、角度・長さ・移動量（X・Y）  
を入力します

「その他壁芯変更」... 角度・長さ・移動量（X・Y）の変更

「その他壁芯削除」... 指定したその他壁芯が削除できます。



作図しない壁芯とは平面・立面図に作図を行わない属性として画面のみ表示される壁芯になります。

使用例としては ALC 以外の壁や、50mm 厚等の壁芯表記に使用します。



### 平面図面記号の表示色と、立面図一覧の表示色の違いについて

青色 ... パネル割付済

赤色 ... パネル未割付

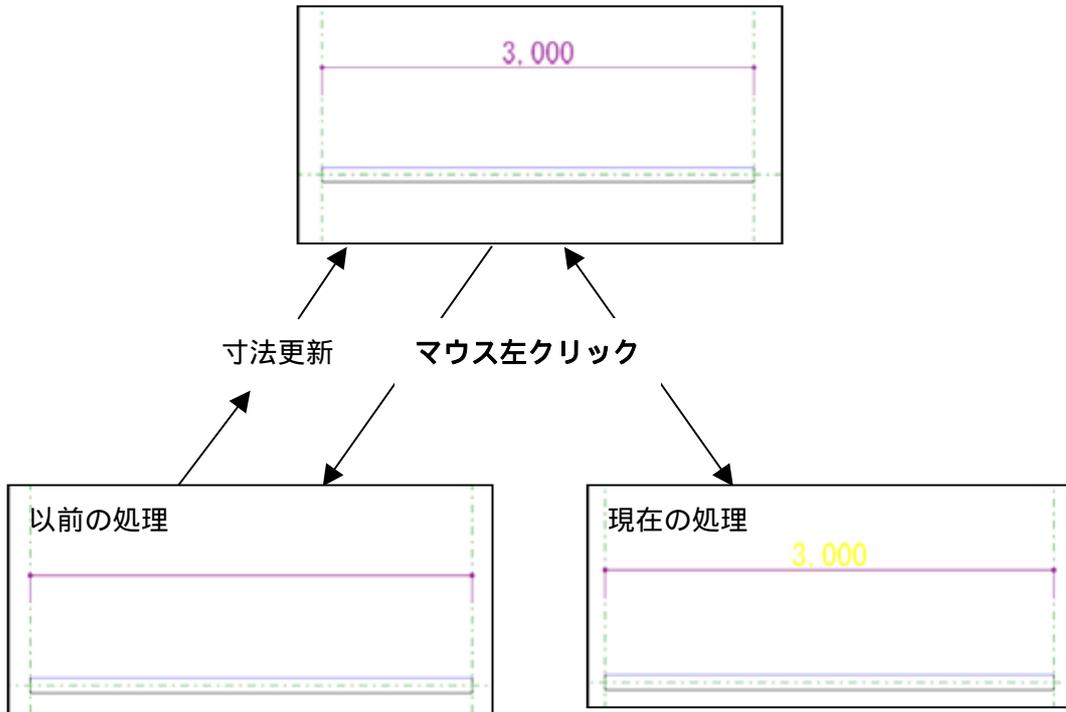
桃色 ... パネル割付後、平面にて壁の伸縮・軸の移動などを行っている場合。

**注）上記桃色の面があるときは、発注・レイアウトの作業を行う前に、立面の確認を行ってください。**

### 寸法値削除の機能変更について

以前のシステムでは、寸法値の削除を行うと、寸法に更新がかからない限り、再び寸法値が表示されていませんでした。

今回の変更において、寸法線の ON/OFF と同様に、表示の ON/OFF を切り替える機能に変更しました。

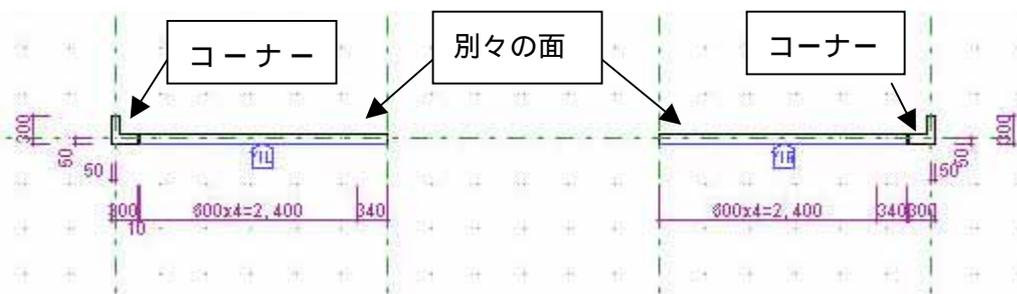


## 立面展開時、離れた位置にあるコーナーの隠蔽処理機能

平面の同一通り芯上に、2つの壁があり別々の立面として展開すると他方の面のコーナーも表示されますが、初期値設定の[平面 立面]内にある[離れた位置にあるコーナーを隠蔽処理する](赤囲い部分)を設定することで表示の状態を変更できます。



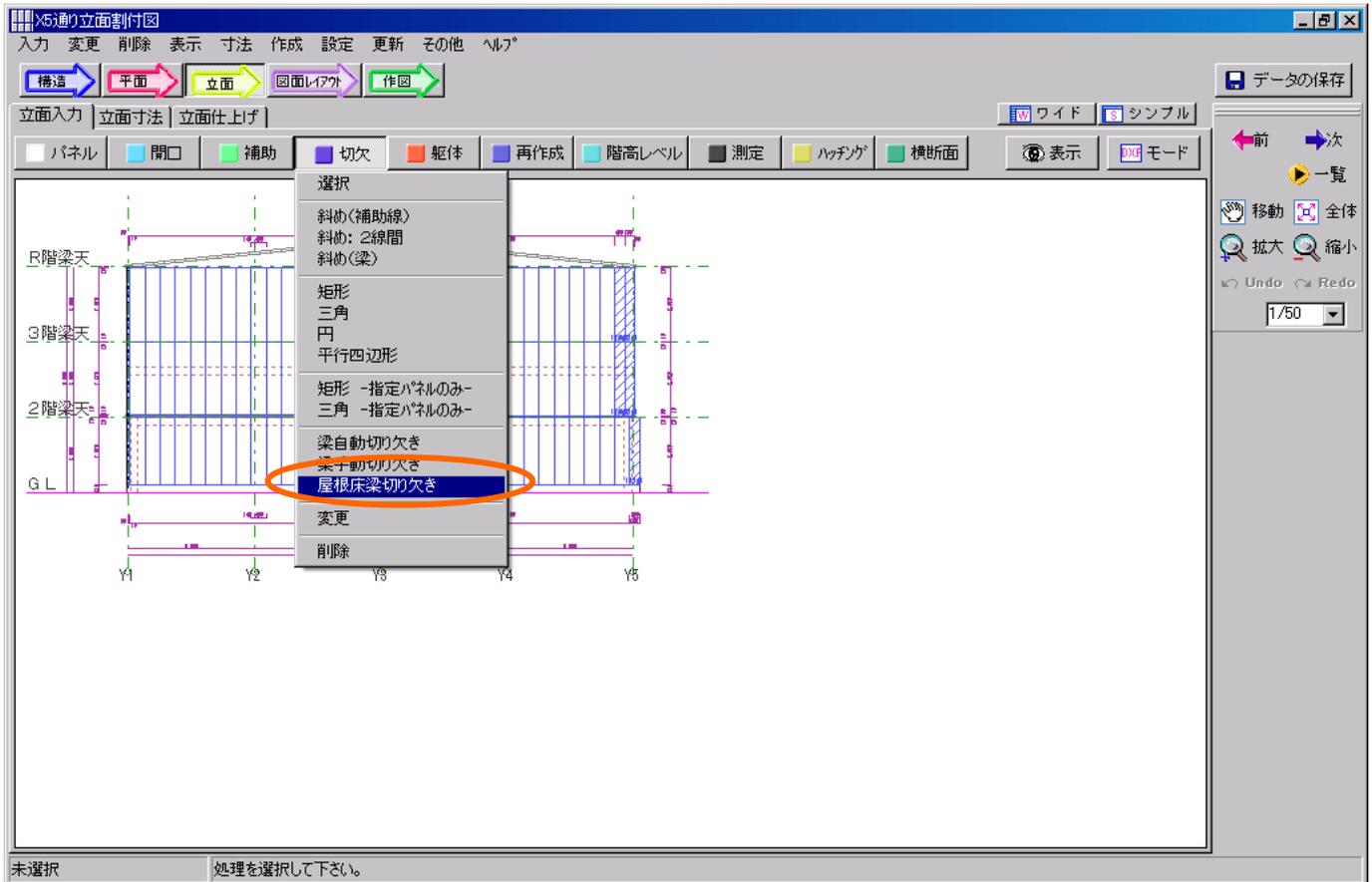
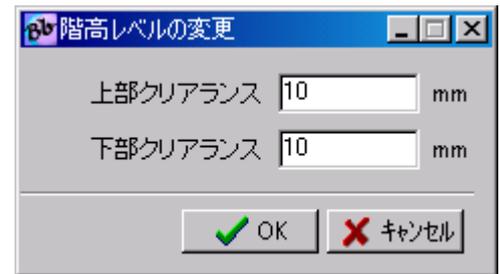
## 平面

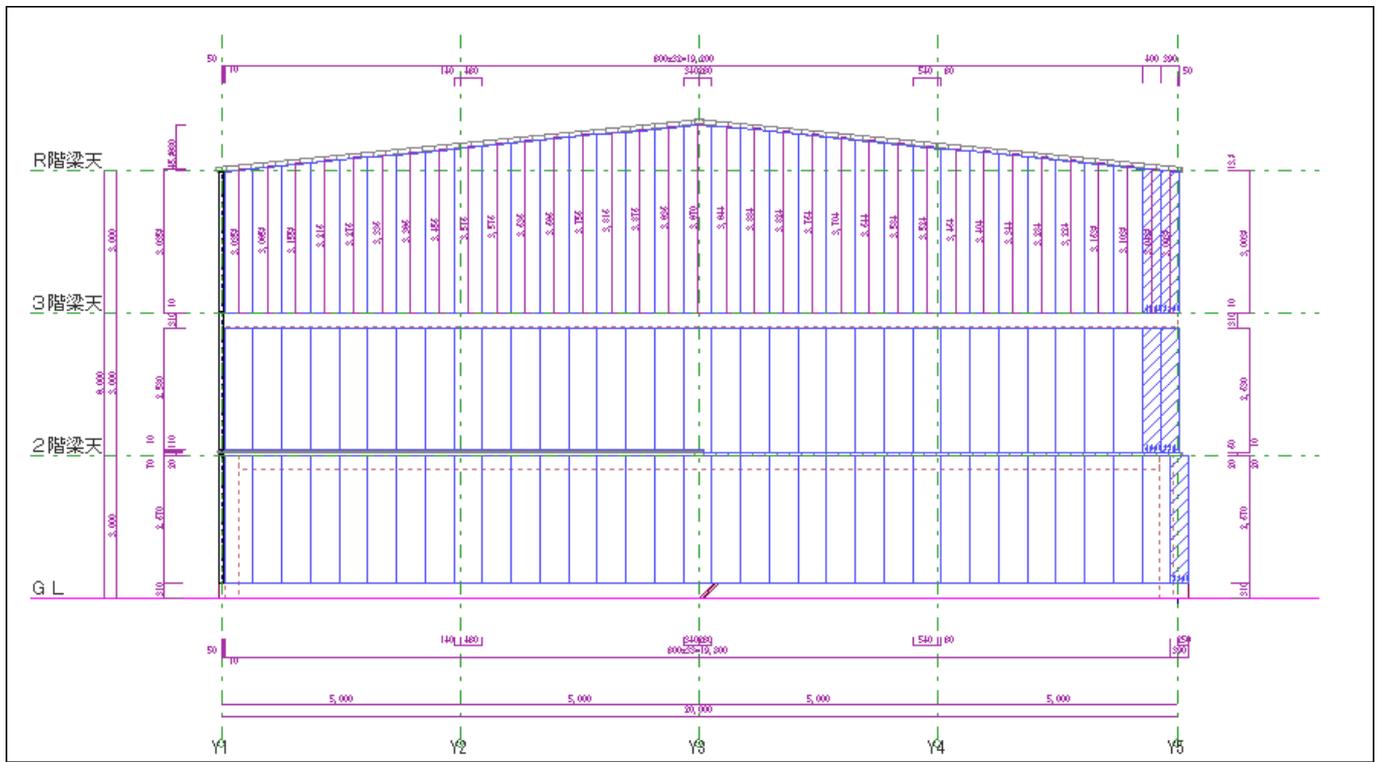
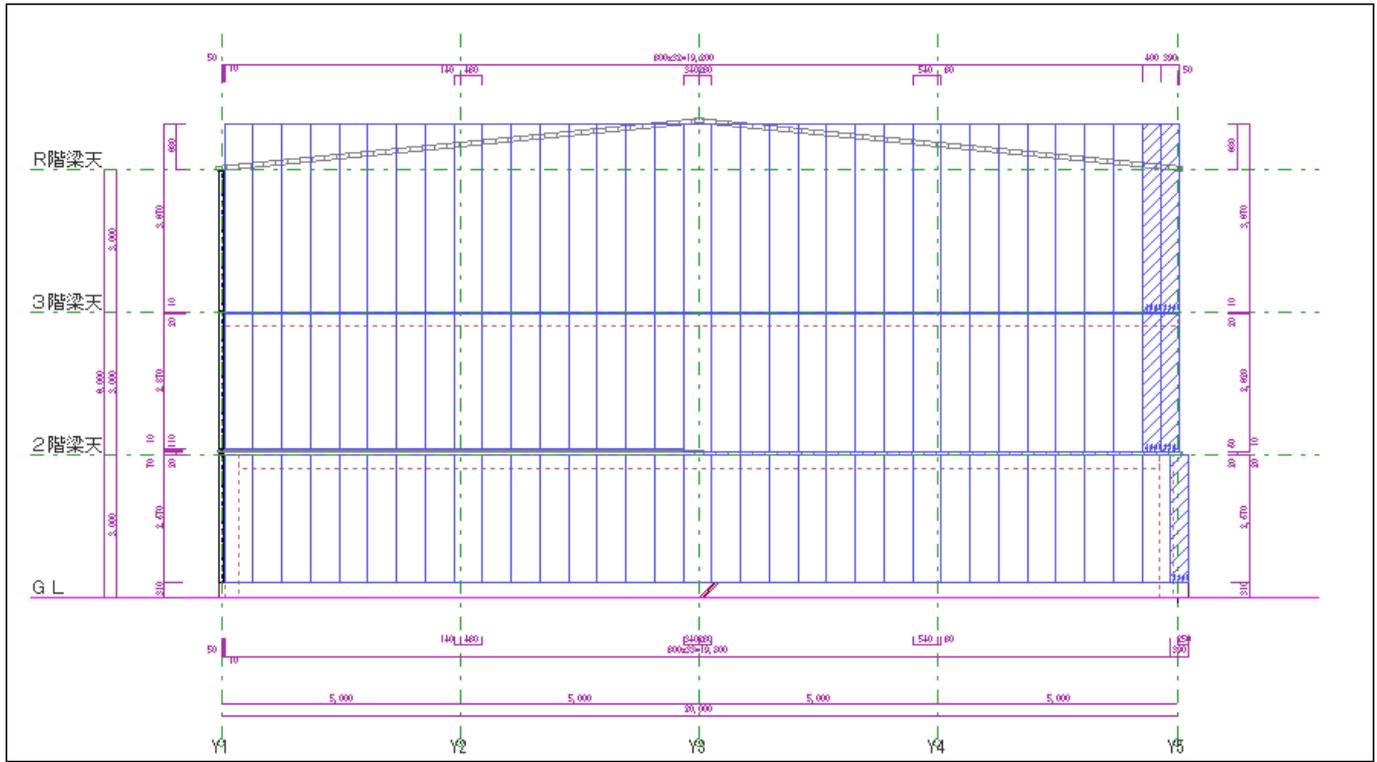


## 『床・屋根 機能追加』

### 屋根床梁切り欠き

平面上で壁と重なっている屋根・床・梁でパネルを切欠きます。  
切欠きエリアに対する上部クリアランス・下部クリアランスを指定することができます。





床割付時、梁、通り芯の位置に目地入力する時、パネル床端の方で、パネル長さが短くなるときも目地が入ってしまう点の対応

目地入力する時、初期値「パネル最小長さ」を下回る長さのパネルが発生する場合、目地が入らないようにします。初期値「パネル最小長さ」の設定は、環境設定 > 初期値設定 > 床の「パネル最小長さ」で設定します。

Bb 物件別動作、初期値設定

構造 | 平面 | 平面→立面 | 立面 | 床 | レイアウト・作図 | 集計・発注 | DXF

床パネル

パネル幅 600 mm  
パネル厚み 100 mm  
デッキ厚 200 mm  
コンク厚 100 mm  
相対 100 mm  
縦比 1  
横比 10  
最小幅 300 mm

開口

縦幅 600 mm  
横幅 600 mm

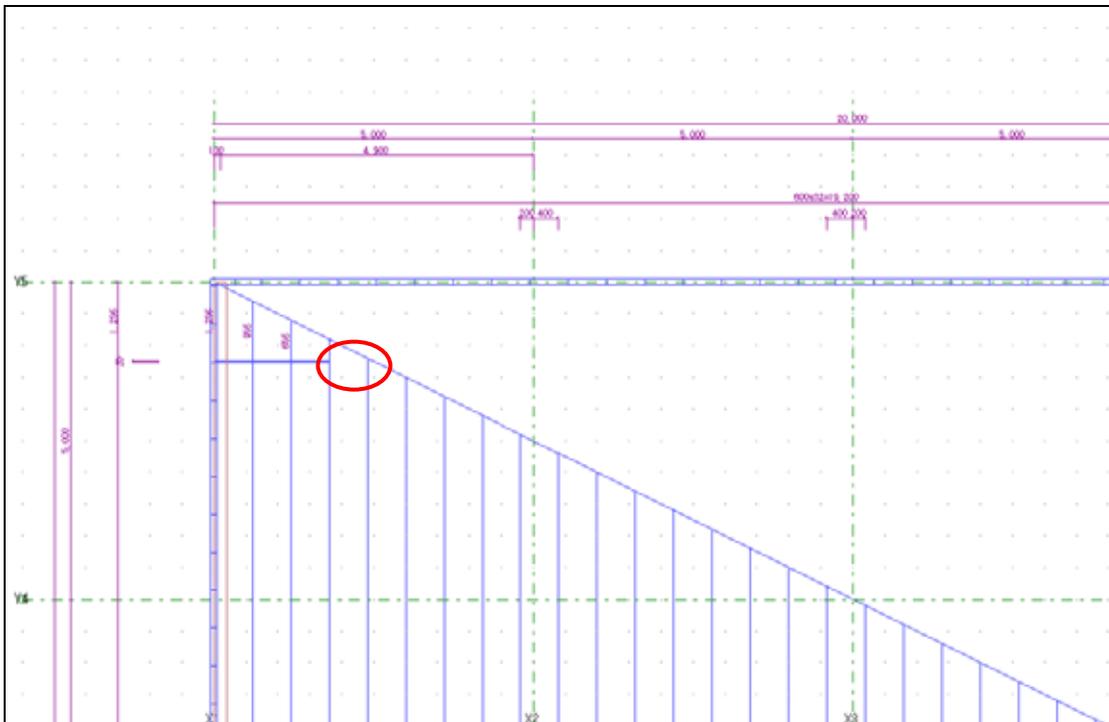
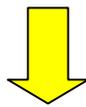
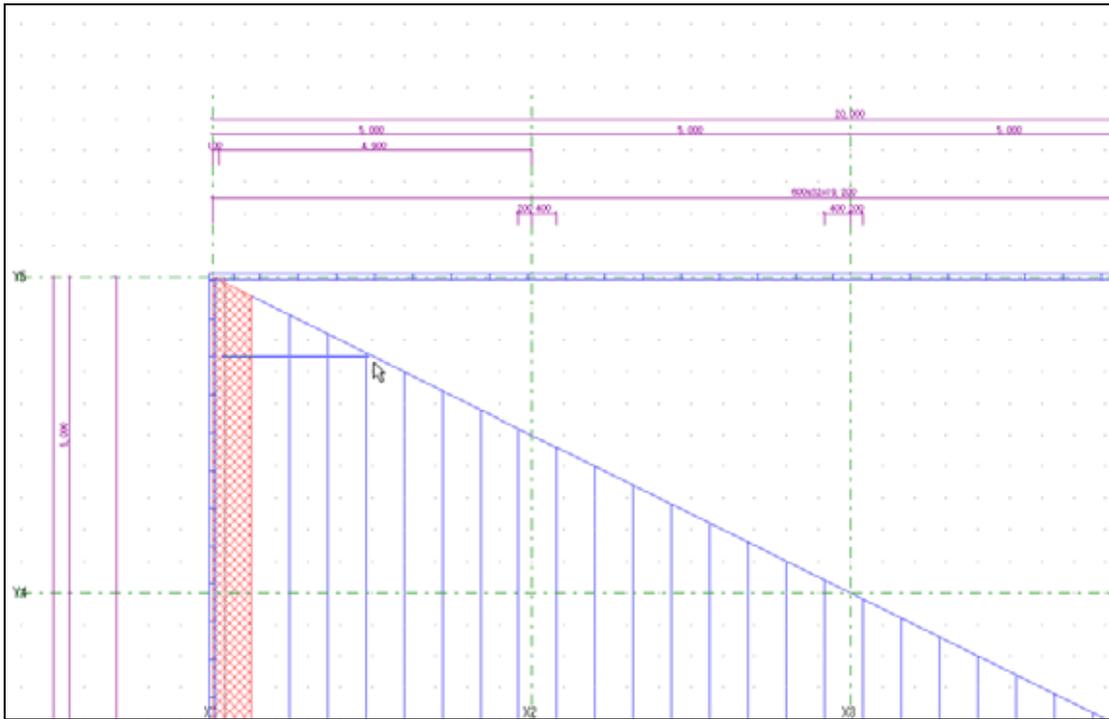
切り欠き

柱 20 mm  
長方形  
縦幅 600 mm  
横幅 600 mm

目地

芯から上(左)への距離 10 mm  
芯から下(右)への距離 10 mm  
パネル最小長さ 600 mm

環境名称 BB 初期マスターに登録... OK キャンセル



## 床の入力（デッキ）で幅・厚の詳細な設定機能

デッキの床の幅・厚の設定は「デッキ編集」ボタンより、「デッキマスタ編集」と同じ操作法で設定を行います。  
（注：この操作によってデッキマスタの内容は変更されません。指定された床枠のみデッキの詳細情報が変更されます）

床の入力

割付

形式

種類

名称

**デッキ編集**

パネル上階高

目地

梁基準  通り芯基準

なし

目地幅

床枠各辺相対移動

左  右

上  下

勾配

縦比  横比

角度

割付開始点

左(上)側  右(下)側

端部パネルを内側に

OK キャンセル

デッキマスタ 編集

名称

種類

幅1

幅2

幅3

幅4

幅5

厚

厚2

角度

幅1

幅2

幅3

幅4

厚

厚2

梁天

OK キャンセル

## 層コピー機能(床)

床枠・床開口・床切り欠き・補助線の層コピーを行います。操作法は平面入力 of 層コピーと同様です。

層コピー(床)

層

コピー元  
1階床

コピー先

- 1階床
- 2階床
- 3階床
- 屋根

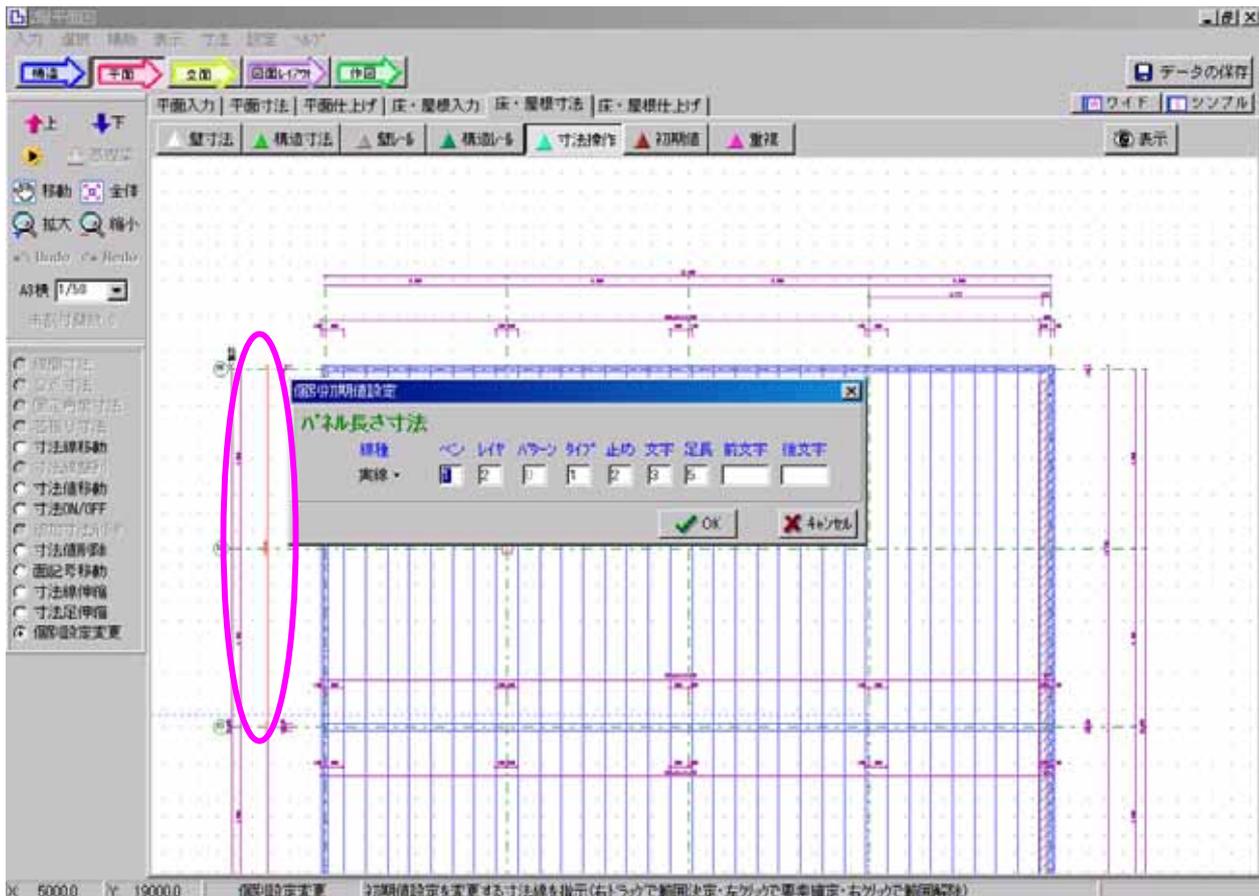
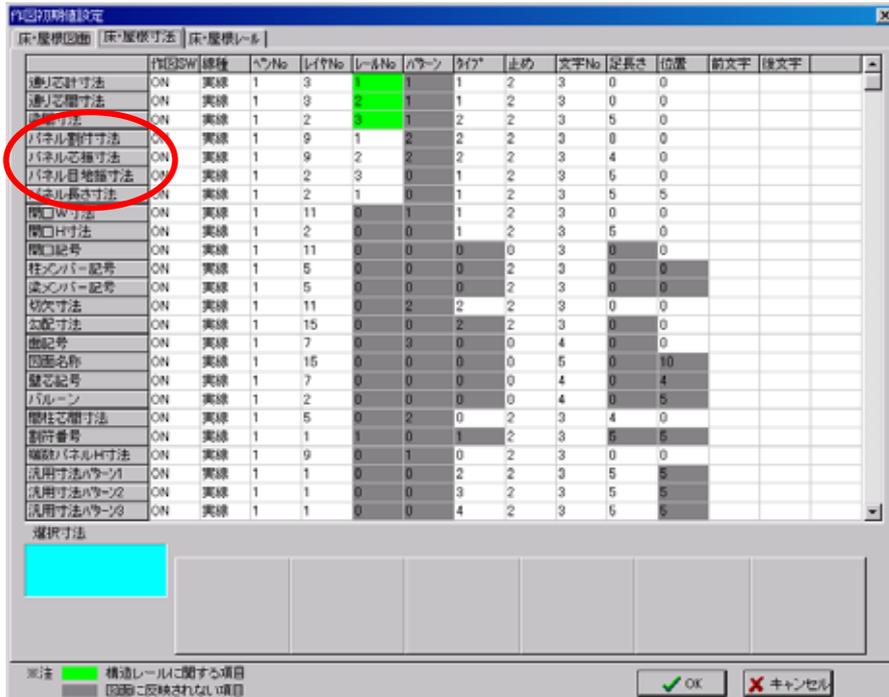
種類

- 床枠 (パネル)
- 床開口
- 床切り欠き
- 補助線

コピー先をクリア    コピー実行    キャンセル

## 床パネル長さ寸法を追加

従来、「パネル割付寸法」で表していた幅・長さを「床パネル長さ寸法」を追加することにより、初期値設定項目を別々に指定できるようになりました。



## 2 - 37 DXF読込の基本概要について

### <<平面>>

DXFモード オン

DXF モード

DXF モード

#### 機能操作・処理

##### ◆ 範囲指定

複数の図面を単体にする。

##### ◆ 基点

各階の共通基点を指示します。

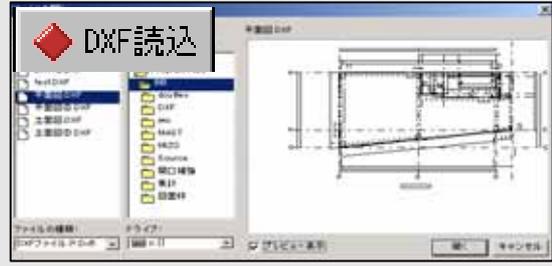
##### ◆ 自動認識

DXFデータを専用データにします。

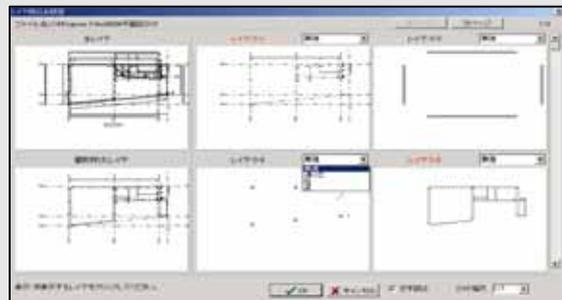
##### ◆ DXFクリア

DXFデータの表示を消去します。

### DXFファイル読込



### レイヤ割当・縮尺設定



### オプション機能

### <<立面>>

DXFモード オン

DXF モード

DXF モード

#### 機能操作・処理

##### ◆ 範囲指定

複数の図面を単体にする。

##### ◆ 基点

GLなどの共通基点を指示します。

##### ◆ 自動認識

DXFデータを専用データにします。

##### ◆ DXFクリア

DXFデータの表示を消去します。

### DXFファイル読込



### レイヤ割当・縮尺設定



2 - 42

 自動認識

DXFのデータを部材データ(柱・通り・パネル・開口等)に自動変換します。

2 - 43

 矩形(対角)

変換できなかった部材データを対角点指示により部材データに置き換えます。

2 - 44

 多角形(点)

変換できなかった部材データの複数の点指示により部材データに置き換えます。

2 - 45

 多角形(辺)

変換できなかった部材データの辺を指示することにより部材データに置き換えます。

2 - 46

 線(R)

変換できなかった通り芯を指示することにより通り芯に置き換えます。

2 - 47

 基点

平面(各階共通基点)・立面(GL基点)それぞれの基点を設定します。

2 - 48

 DXF読込

DXFのデータを格納されているところから読み出します。

2 - 49

 DXFクリア

認識後またはDXFデータを読み直す場合に使用します。

2 - 50

 範囲指定

複数の平面図・立面図が表示されている時、範囲を対角指示で囲み単体の平面・立面にします。

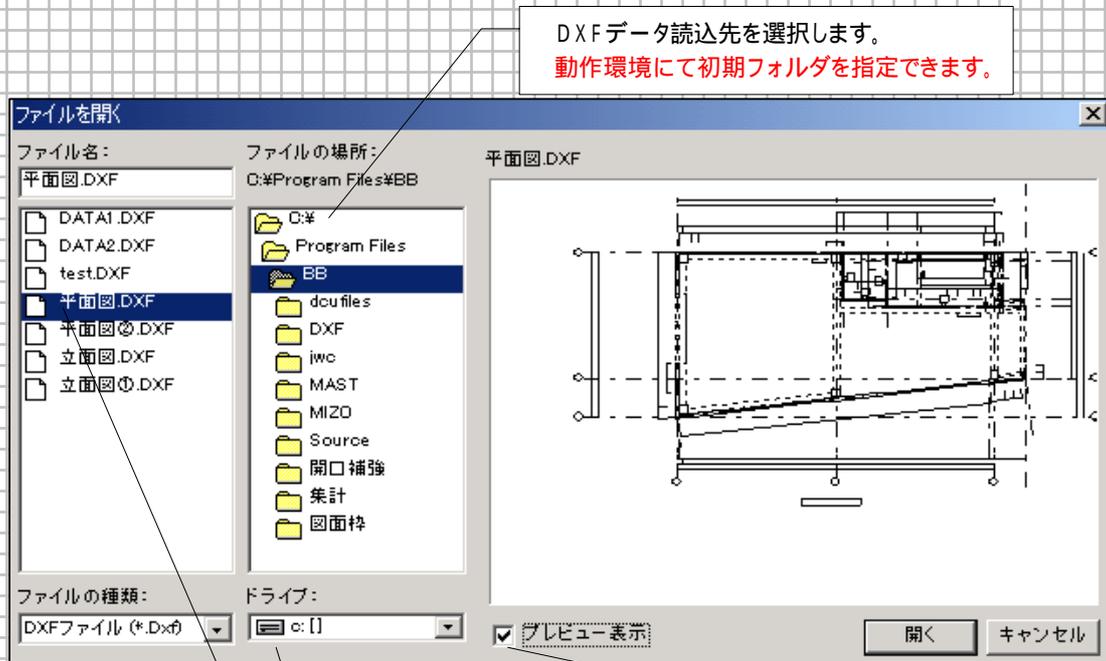
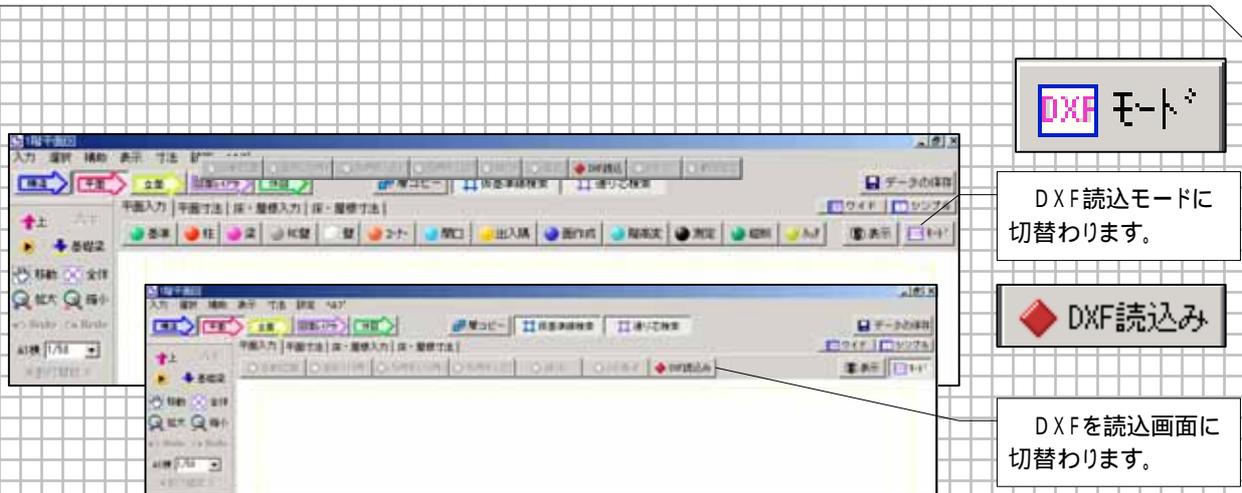
## 第2章 平面・床・屋根

### DXF 読込とは・・・

汎用CADで作成されたデータを活用して、Bbシステムの入力補助として読み込みます。平面図データから通り芯・柱・梁情報を取得し、ペンNO・レイヤを区別してあるデータを下絵として画面に表示します。

領域の自動認識機能に加えて、手動作業による領域の指定、1辺選択、線選択機能も付いています。

### 2 - 38 DXF 読込(平面)について 平面DXFデータを読み込みます。



読込ドライブを選択できます。

画面にDXFデータを表示します

DXFデータの一覧が表示されます。  
変換するデータを選択して下さい。

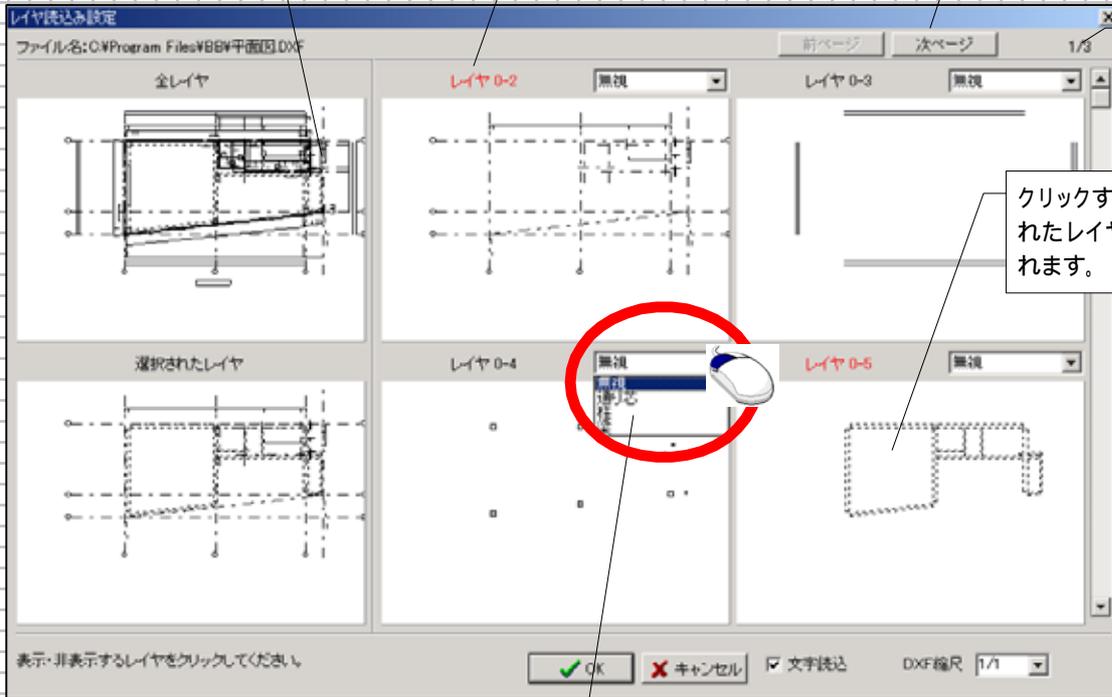
## 第2章 平面・床・屋根

### <<レイヤ割当>> 各データを部材を割り当てます。

全レイヤが表示  
されます

レイヤNOが表示されます

次ページに画面表示  
を変更します。



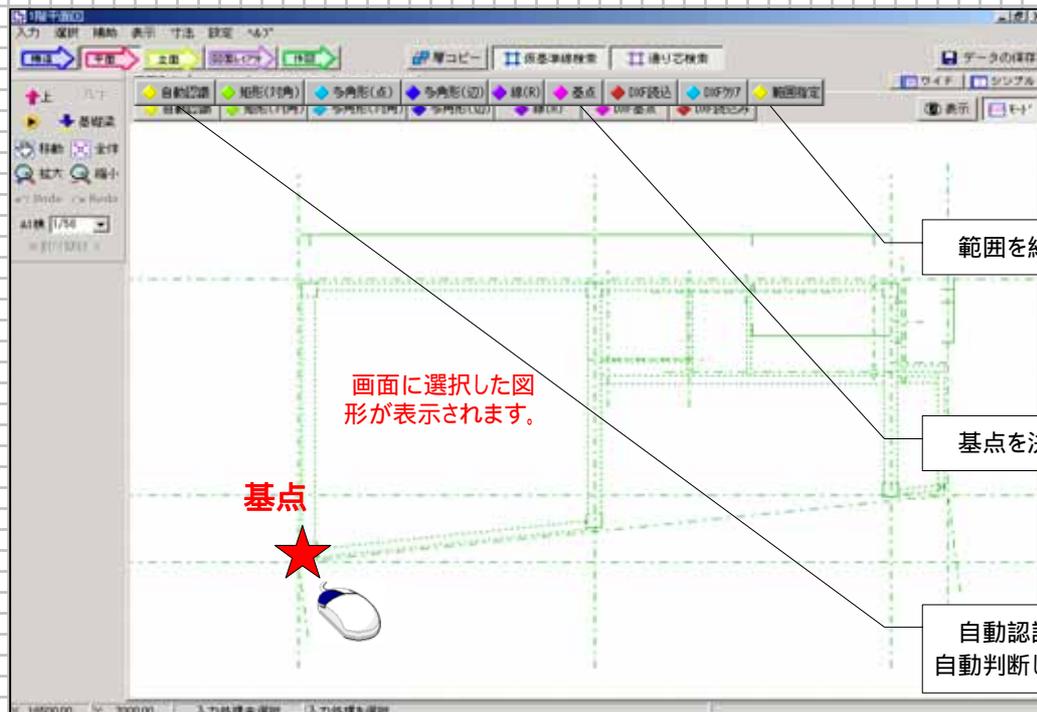
全ページ  
を表示し  
ます。

クリックすると選択さ  
れたレイヤに表示さ  
れます。

レイヤ線を無視するか、**【通り芯】**  
**【柱】** **【梁】**に変換する部材を選択しま  
す。

文字を読み込  
時にチェックし  
ます。

読み縮尺を選択し  
ます。初期値にて登  
録できます。



画面に選択した図  
形が表示されます。

基点

範囲を絞ります。

基点を決めます。

自動認識機能にて  
自動判断します

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 39 自動認識(平面図)について 柱・梁・通りなどの認識

自動認識する項目にチェックを入れます。  
部材指示済の場合は自動でチェックが入ります

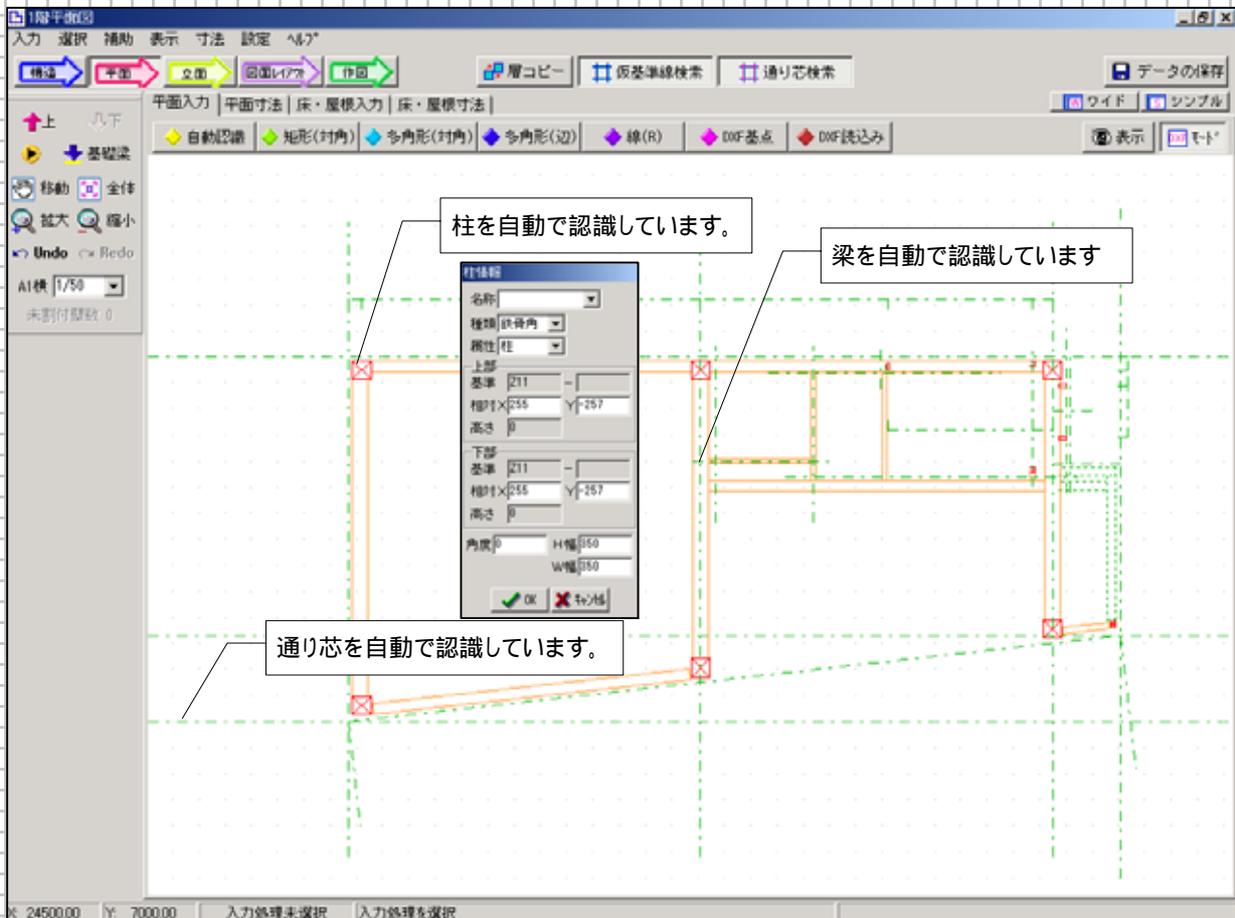
平面DXF読み込みレイヤ設定

レイヤ名	ペン番号
<input checked="" type="checkbox"/> 通り芯	0-2 全て
<input checked="" type="checkbox"/> 柱	0-4 全て
<input checked="" type="checkbox"/> 梁	0-5 全て

OK キャンセル

ペン番号の場合に設定します

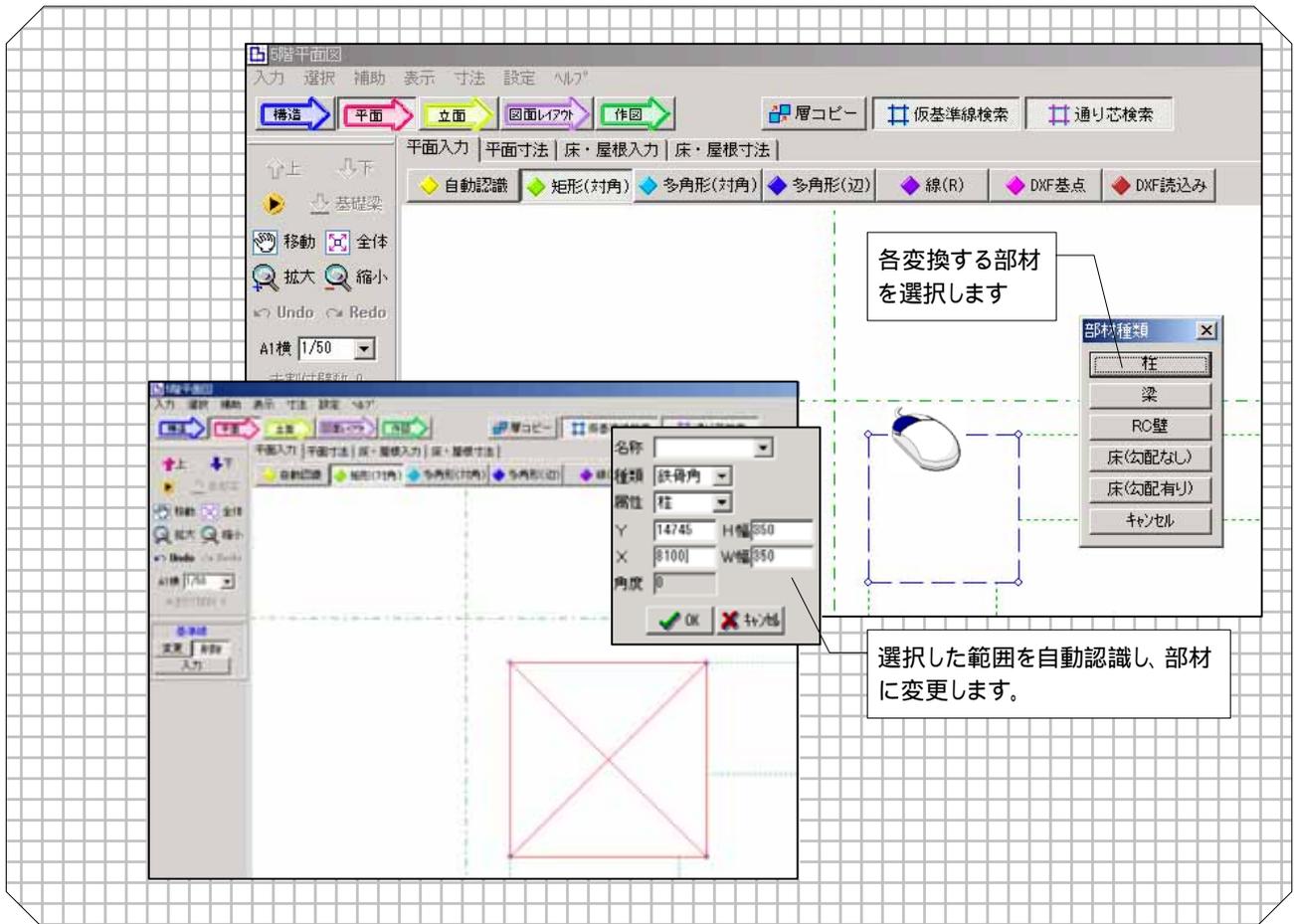
レイヤNOが表示され



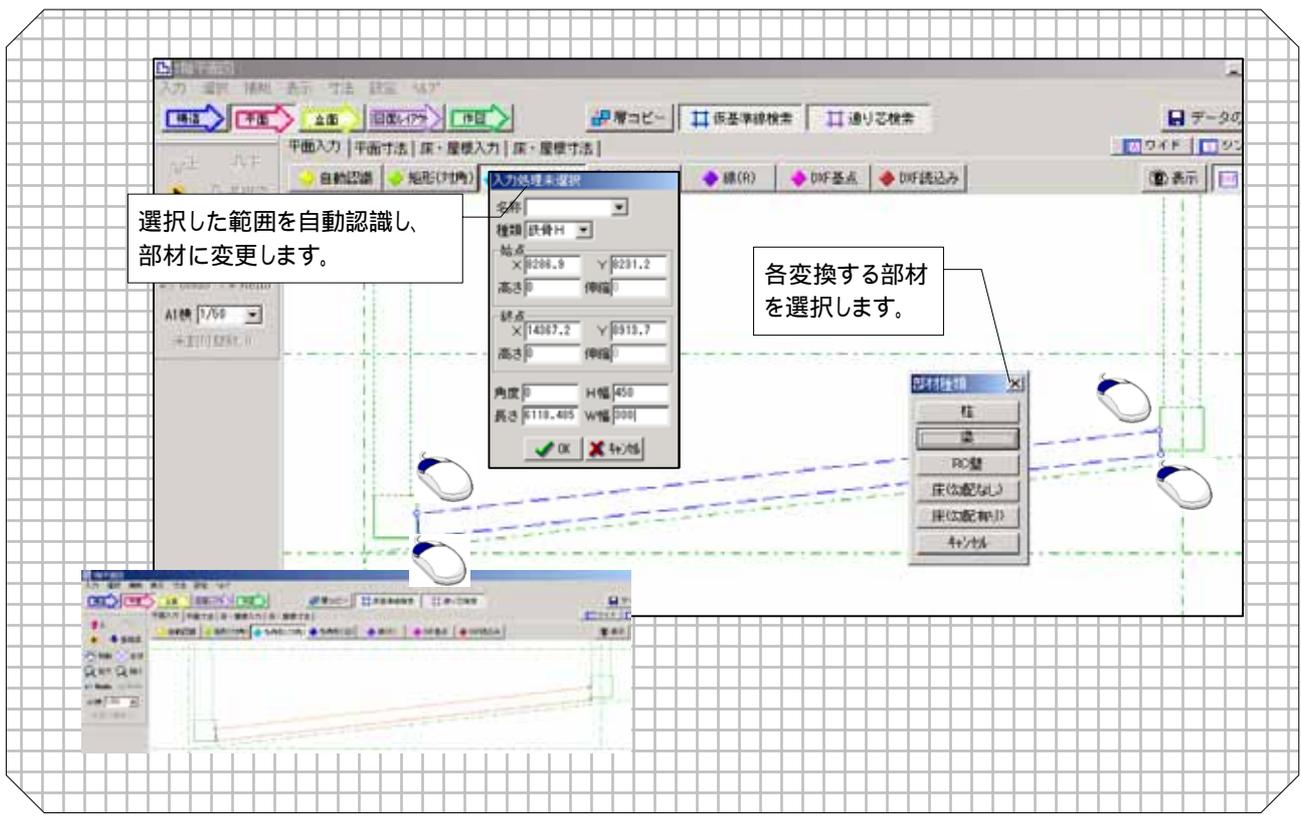
変換されたデータはBbデータとして認識され、各部材を変更する事が可能です。  
わずらわしい躯体構造入力が一瞬に入力できます。後は壁情報を入力し立面を起こします。

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 40 矩形(対角)について 任意で指定した範囲内(対角2点指示)のデータを指定部材に変換します。

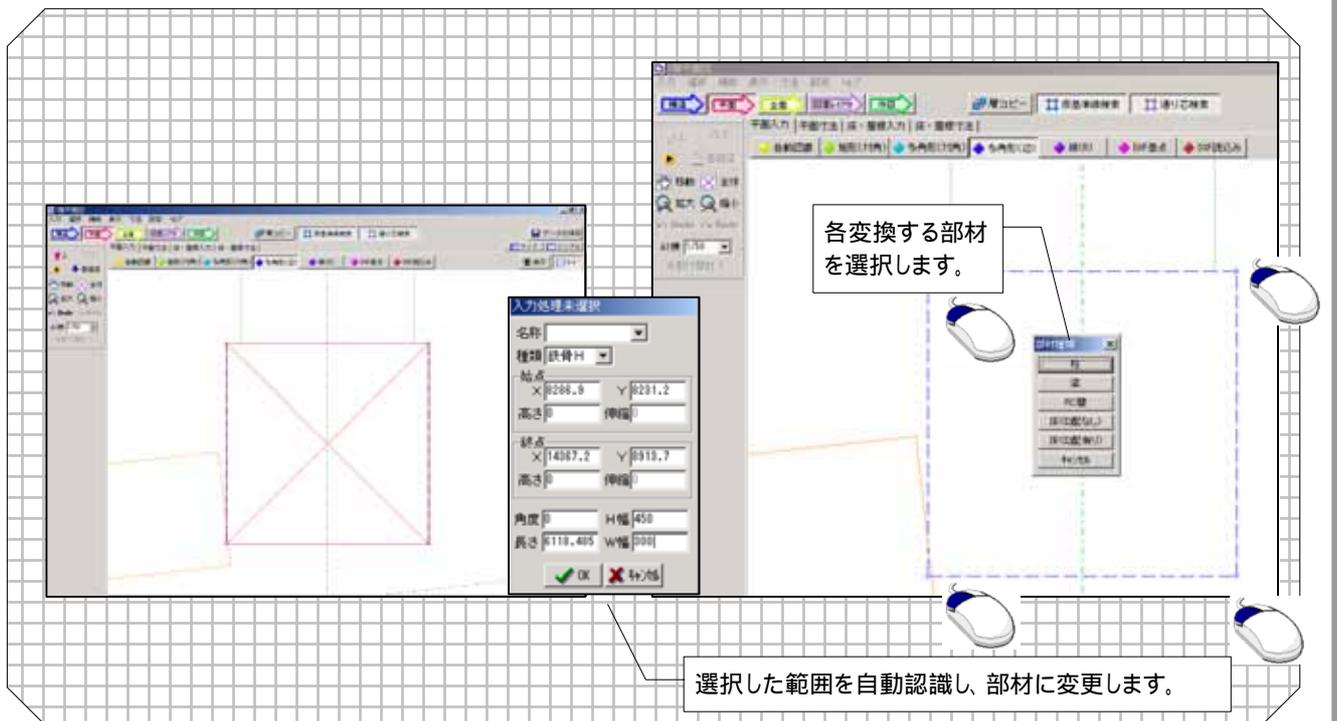


### 2 - 41 多角形(点)について 任意で指定した範囲内(多点指示)のデータを指定部材に変換します。

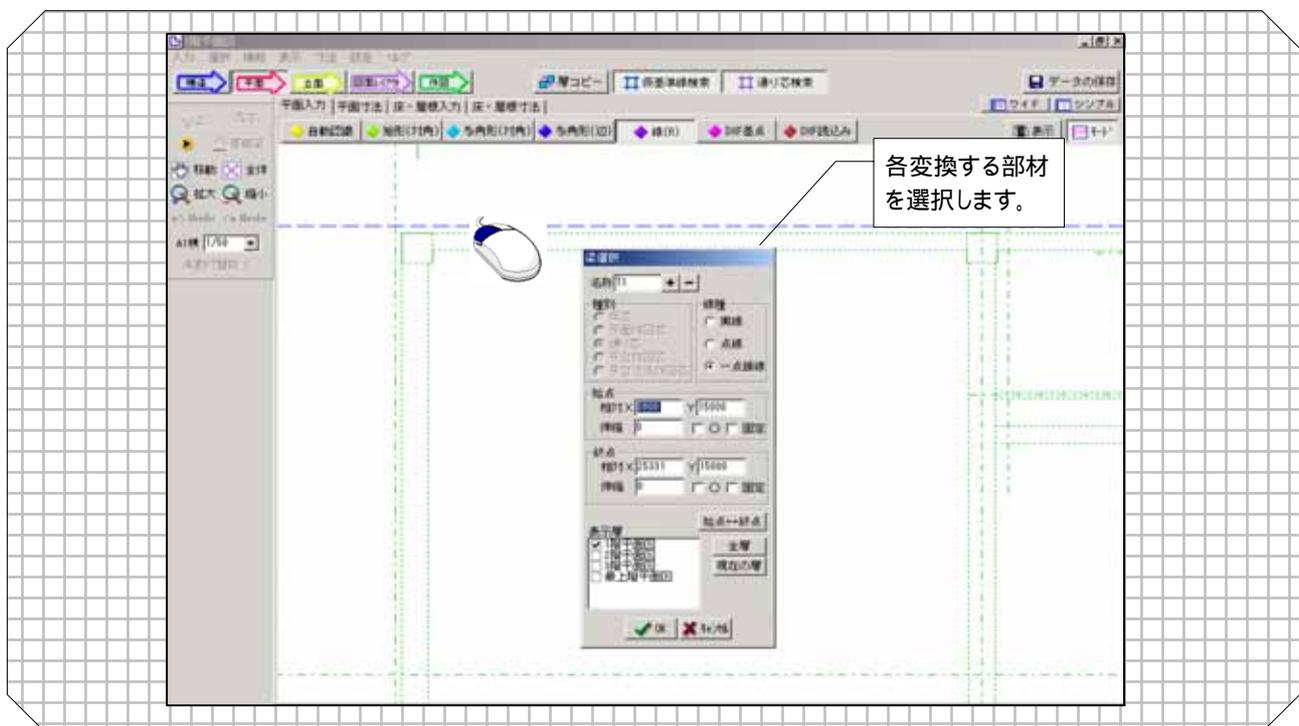


## 第2章 平面・床・屋根

**2 - 42 多角形(辺)について** 辺を連続指示する事により、指定部材に変換します。  
矩形であれば4辺を指示します。



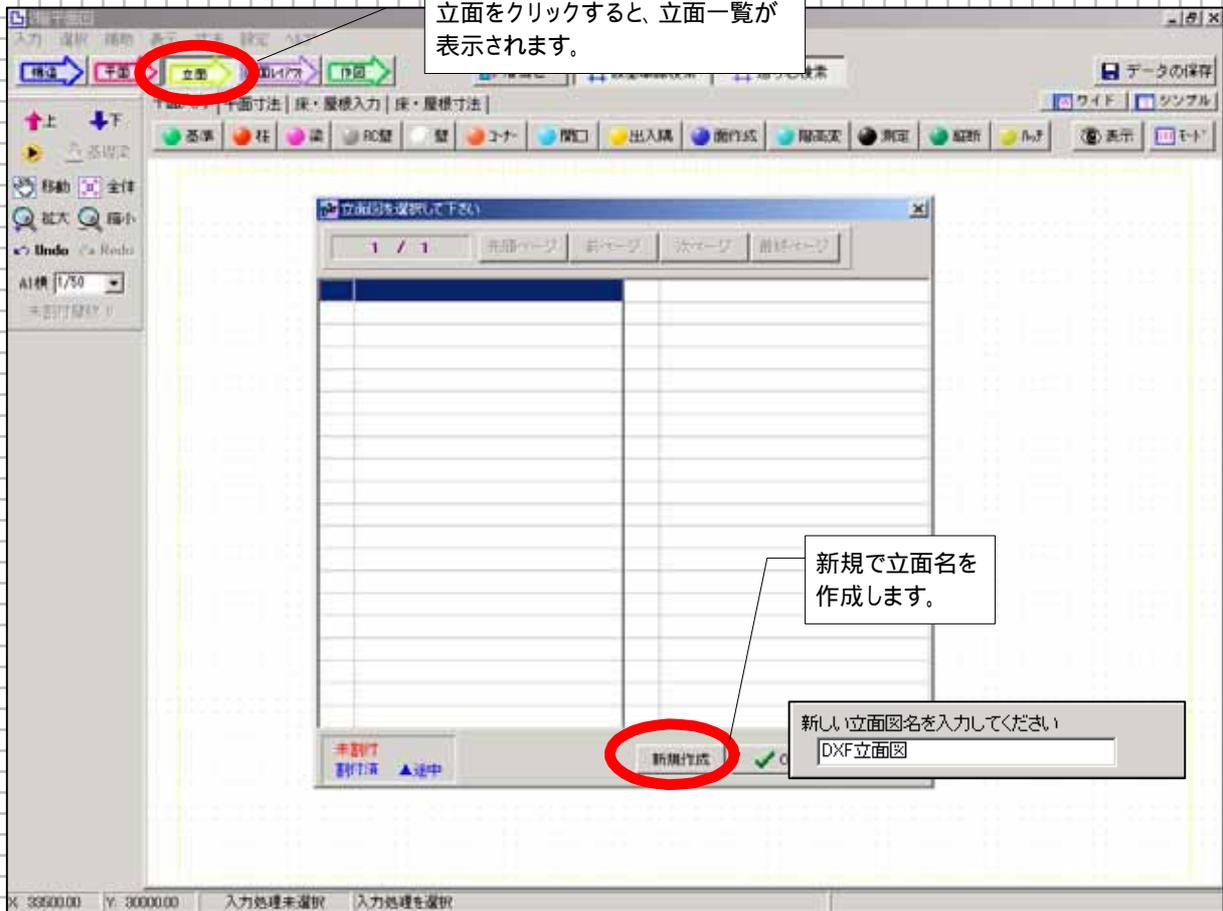
**2 - 43 線(R)について** 辺・線(ライン)を指示する事により、部材に変換します。  
通り芯に変更します。



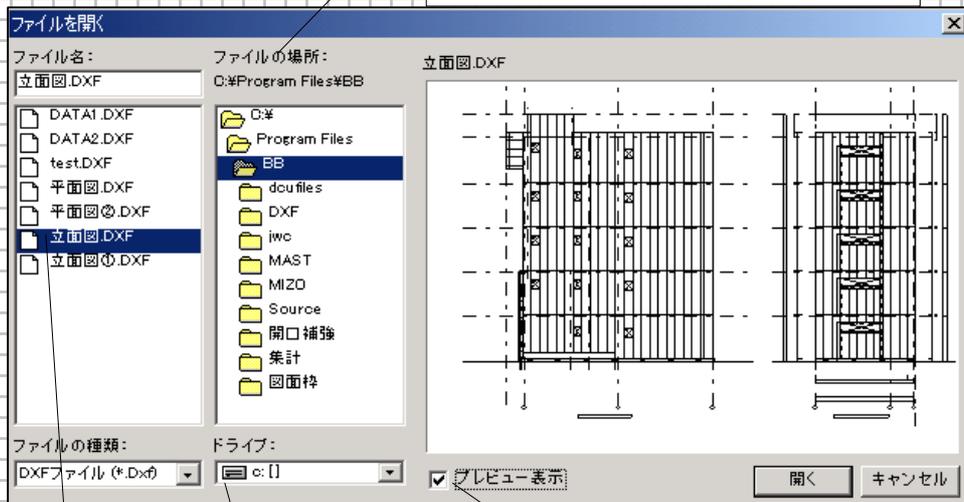
**2 - 44 基点について** DXFデータの基点を決めます。マウスにて移動しポイントを決めます。  
( -57ページ参照)

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 45 DXF読み込(立面)について 立面DXFデータを読み込みます。



DXFデータ読み込先を選択します。  
動作環境にて初期フォルダを指定できます。



読み込ドライブを選択  
できます。

画面にDXFデータを表示します。

DXFデータの一覧が表示されます。  
変換するデータを選択して下さい。

## <<レイヤ割当>>

全レイヤが表示されます

レイヤNOが表示されます

次ページに画面表示を変更します。

全ページ表示します。

クリックすると選択されたレイヤに表示されます。

レイヤ線は無視するか、【通り芯・階高】【パネル】【コーナ】【開口】に変換する部材を選択します。

文字を同時に読込か選択します

読込縮尺を選択します。初期値にて登録できます

表示・非表示するレイヤをクリックしてください

OK キャンセル 文字読込 DXF縮尺 1/50

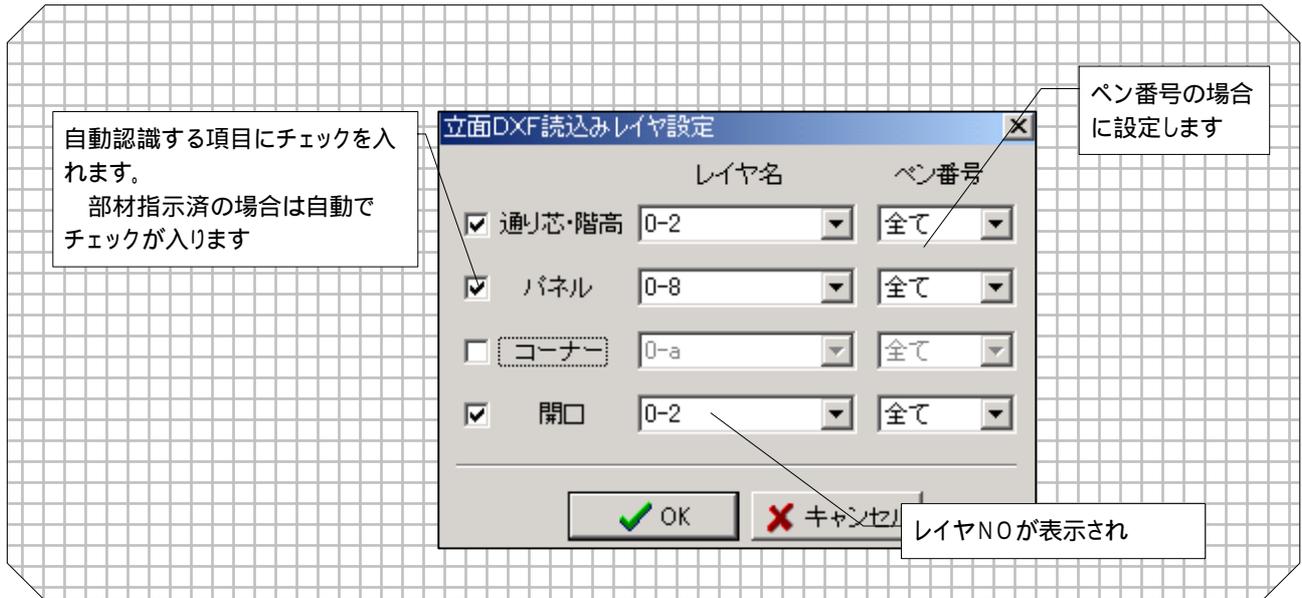
## <<範囲指定>> 単体の立面にするために範囲囲みにより切り取る。

画面に選択した図形が表示されます。

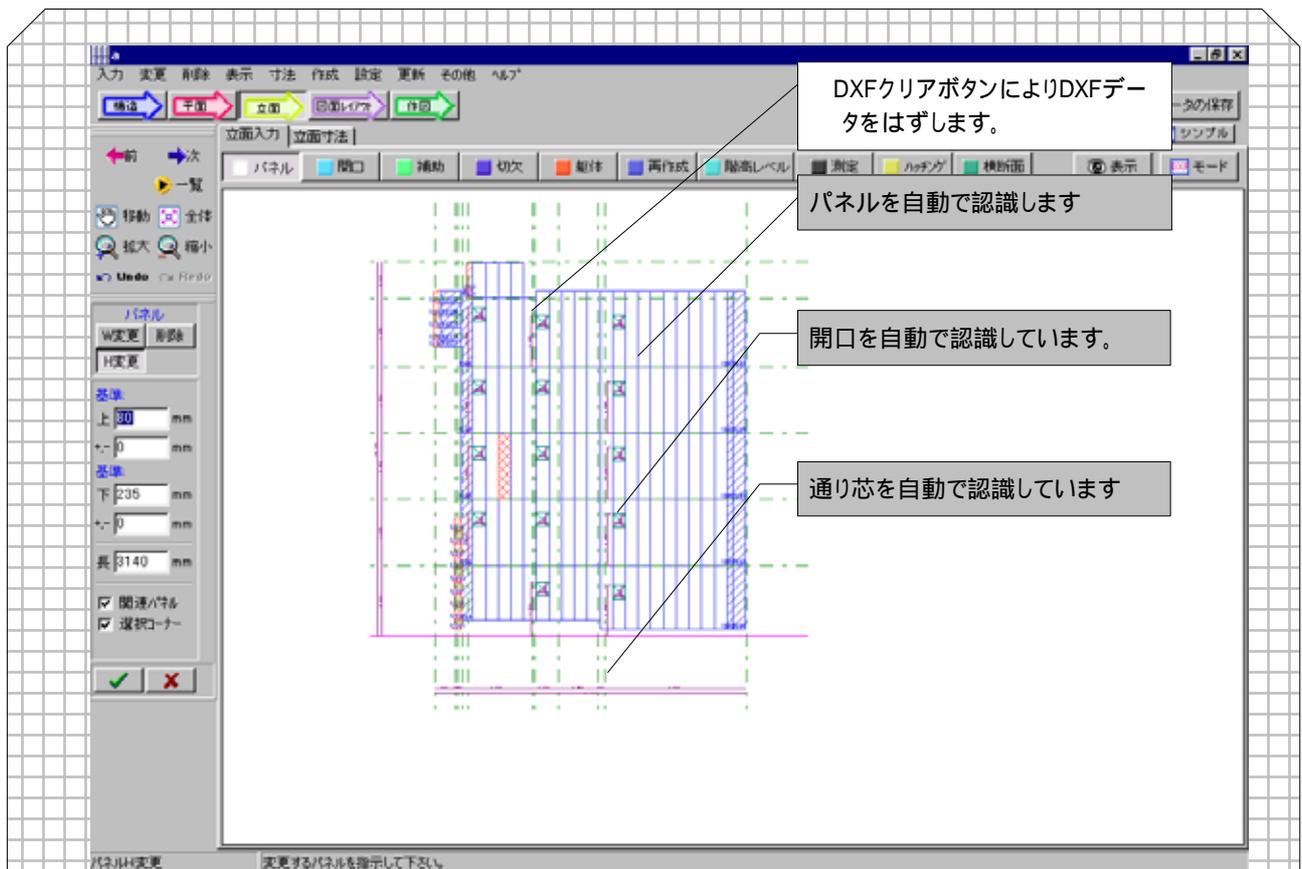
立面の対角点をマウス支持により切り取ります。

## 第2章 平面・床・屋根

### 2 - 46 自動認識(立面図)について



### 2 - 47 DXFクリアについて DXFデータを消去する。

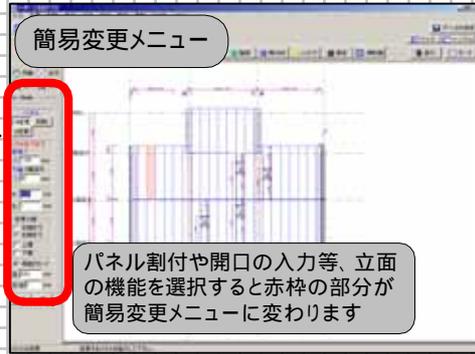
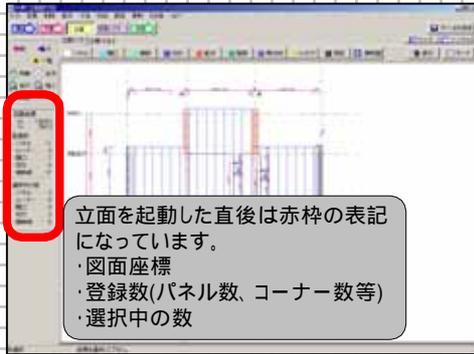


変換されたデータはBbデータとして認識され、各部材を変更する事が可能です。  
わずらわしい割付・開口変更が瞬時に変更できます。後はパネル処理を行い、発注書作成を行ないます。

# 第3章 立面図

## 3 - 1 立面図の画面構成について

### 立面の画面説明



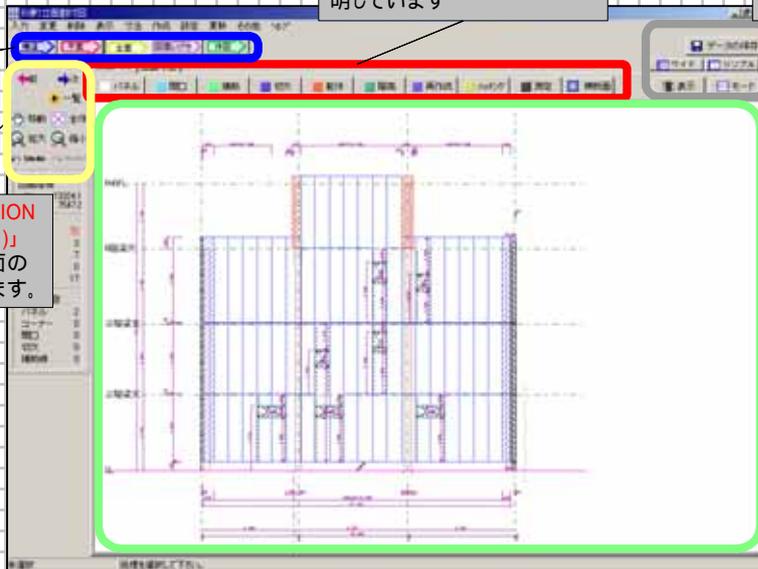
### 立面各機能アイコン

「FLOW(フロー)」  
進行状況と画面説明をしています。

「COMMON FUNCTION (コモンファンクション)」  
立面図の切替、画面の拡大縮小等を行います。

「FUNCTION(ファンクション)」  
次頁から立面の各機能を説明しています

「ELEVATION CHOICE (エレベーション チョイス)」  
立面情報ウィンドウOn/Off機能

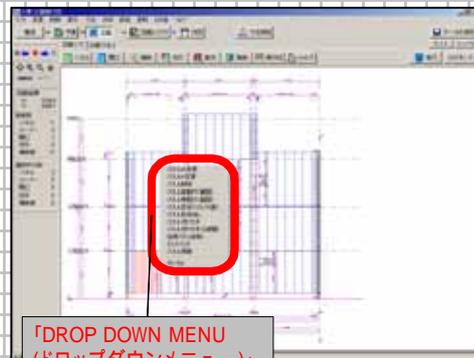


「MENU(メニュー)」  
他の画面に移行します

「PULL DOWN MENU (プルダウンメニュー)」  
機能を選んだ時に出てきます



「DROP DOWN MENU (ドロップダウンメニュー)」  
機能を選んだ時に出てきます



## 第3章 立面図

### 3 - 2 パネル割付機能について

#### 立面図のアイコンについて

3 - 3	 パネル	割付を行う機能です。パネルに関する追加・修正・変更・削除が行えます。目地入力もここでを行います。
3 - 21	 開口	開口の入力を行います。追加・修正・変更・削除が行えます
3 - 22	 補助	補助線を入力する機能です。追加・修正・変更・削除が行えます
3 - 23	 切欠	切欠を入力する機能です。追加・修正・変更・削除が行えます 切欠図形を入力する手順と補助線を基線にし切欠手順があります
3 - 24	 躯体	柱の高さ変更や梁の切り欠きを行います
3 - 25	 階高	階高ラインの変更を行います
3 - 26	 ハッチング	立面図のパネルにハッチング処理を行います
	 表示	各種画面情報の表示ON/OFFを行います
	 測定	パネルや開口等立面図を測定します
	 横断面	横断面を作成します
	 DXF モード	立面図のDXF読込画面に変わります(オプション)
	 ワイド	画面上部のメニューを非表示にし画面を広くします
	 シンプル	画面上部のメニューを非表示にし画面を広くします
	 データの保存	データを保存します

## 3 - 3 パネル割付について



初期メッセージ: 選択 縦割り(全体) 横割り(全体) 横割り(指定立面に同じ)  
 : 横割り(小口壁に同じ) 縦割付(指定範囲) 横割付(指定範囲)  
 : 目地入れ(分割) 目地消し セットバック W変更 H変更 入れ替え  
 : 小口表示ON/OFF 小口芯伸縮 削除

- ① **選択**  
 パネルを右ボタンで指示する事で変更・削除が行えます
- ② **縦割り(全体)**  
 新規で立面の縦割りを行います
- ③ **横割り(全体)**  
 新規で立面の横割りを行います
- ④ **横割り(指定立面に同じ)**  
 指定した立面の横割と同様に横割を行います
- ⑤ **横割り(小口壁に同じ)**  
 指定する左右の立面と横割を同様割付けます
- ⑥ **縦割付(指定範囲)**  
 特定の範囲に対して縦割付を行います
- ⑦ **横割付(指定範囲)**  
 特定の範囲に対して横割付を行います
- ⑧ **目地入れ(分割)**  
 パネルに対して目地を入力します
- ⑨ **目地消し**  
 パネル間の目地消しを行います
- ⑩ **セットバック**  
 パネルのセットバックを行います
- ⑪ **W変更**  
 パネルのW変更を行います
- ⑫ **H変更**  
 パネルのH変更を行います
- ⑬ **入れ替え**  
 指定パネル同士の位置を入れ替えます
- ⑭ **小口表示ON/OFF**  
 小口の表示・非表示を切り替えます。
- ⑮ **小口芯伸縮**  
 小口芯の伸縮を行います。
- ⑯ **削除**  
 パネルを削除します

の処理は、その小口の面が起きてないとできません。

# 第3章 立面図

## 3 - 4 縦割作成について

パネルの割付方法には、縦割付と横割付の入力方法があります。  
割付には複雑な割付がありますが、ここでは基本的な縦・横の割付説明を行います。

 左クリックするとプルダウンメニューが表示され[縦割付]を左クリックします。

表入力画面が起動し、画面に表示されます。



縦割ウインドウ説明

割付方法 **左から右**

端部パネル左  mm

基本パネル幅  mm

端部パネル右  mm

縦目地  mm

横目地  mm

SLより  mm

GLより  mm

パラペット  mm

最小幅以下のパネルを処理  
 壁に基礎をつける  
 床がある場合、よける

床より  mm

縦割ウインドウ説明

割付方向を選択します  
左端部のパネル寸法を入力します  
割付寸法を入力します  
右端部パネルが自動計算されます  
縦目地の寸法を入力します  
横目地の寸法を入力します  
基準階高よりパネル上端までの距離  
GLより基礎パネル下端までの距離  
最小幅のパネルを  
パラペット部パネルの上端までの距離  
基礎表示の選択  
床が有る場合壁の自動逃がし選択  
床位置から割付開始位置のクリア

### プルダウンメニュー



プルダウンメニュー

選択

**縦割付(全体)**

横割付(全体)

横割付(指定立面に同じ) ▶

横割付(小口壁に同じ) ▶

縦割付(指定範囲)

横割付(指定範囲)

目地入れ(分割)

目地消し

セットバック

W変更

H変更

入れ替え

小口表示ON/OFF

小口芯伸縮

削除

入力が完成したら  を左クリックします。

## 3 - 5 横割作成について

 左クリックするとプルダウンメニューが表示され[横割付]を左クリックします。

横割入力画面が起動し、画面に表示されます。



横割ウインドウ説明

割付方法 **下から上まで**

スタートパネル幅  mm

基本パネル幅  mm

補助パネル幅  mm

補助パネルスタート  枚目

補助パネル間隔  枚分

縦目地  mm

横目地  mm

補助横目地  mm

補助横目地スタート  本目

補助横目地間隔  本あき

SLより  mm

GLより  mm

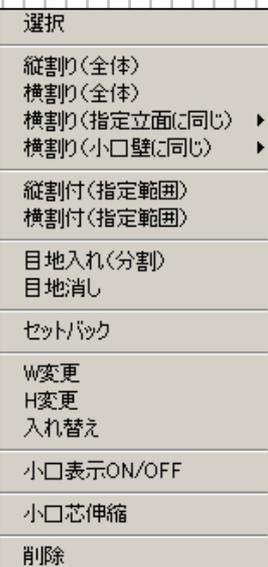
パラペット  mm

柱芯に縦目地をつける  
 割付の基準を基礎からにする  
 壁に基礎をつける

縦割ウインドウ説明

割付方向を選択します。  
1枚目のパネル幅を入力します  
補助パネル幅(特殊パネルのみ)  
補助パネル幅スタート(特殊パネルのみ)  
補助パネル間隔(特殊パネルのみ)  
縦目地の寸法を入力します  
横目地の寸法を入力します  
補助横目地  
補助横目地スタート  
補助横目地間隔  
割付位置をSLからの寸法で入力します  
割付位置をGLからの寸法で入力します  
パラペットの寸法を入力します  
柱芯に縦目地をつける  
割付けの基準を基礎の上にする  
壁に基礎をつける

### プルダウンメニュー



プルダウンメニュー

選択

縦割付(全体)

横割付(全体)

横割付(指定立面に同じ) ▶

横割付(小口壁に同じ) ▶

縦割付(指定範囲)

横割付(指定範囲)

目地入れ(分割)

目地消し

セットバック

W変更

H変更

入れ替え

小口表示ON/OFF

小口芯伸縮

削除

入力が完成したら  を左クリックします。

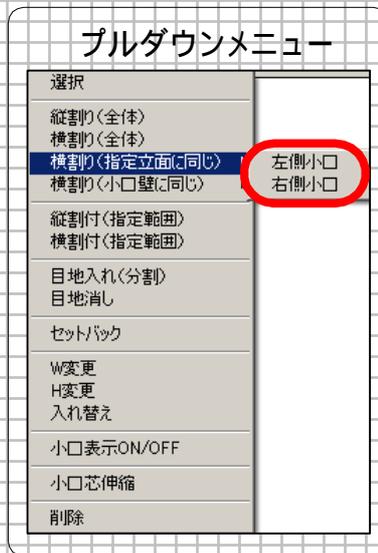
# 第3章 立面図

## 3 - 6 指定割付(横割)について

パネル 左クリックするとプルダウンメニューが表示され[横割付(指定立面に同じ)]を左クリックします。

その後、左側か右側どちらかの小口を指定します。  
(指定した立面と同じ割付をします)

立面図名称が表示されますので、選択して下さい。



割付が指定立面と同様の割付になります。

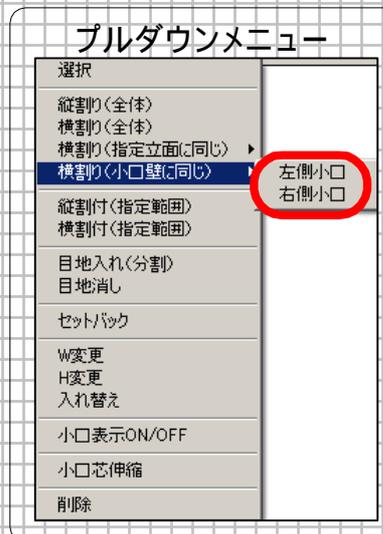
## 3 - 7 小口壁割付(横割)について

パネル 左クリックするとプルダウンメニューが表示され[横割付(小口壁に同じ)]を左クリックします。

横割付(小口壁に同じ)を指定します。

左側か右側どちらかの小口を指定します。  
(指定した小口側の立面と同じ割付をします)

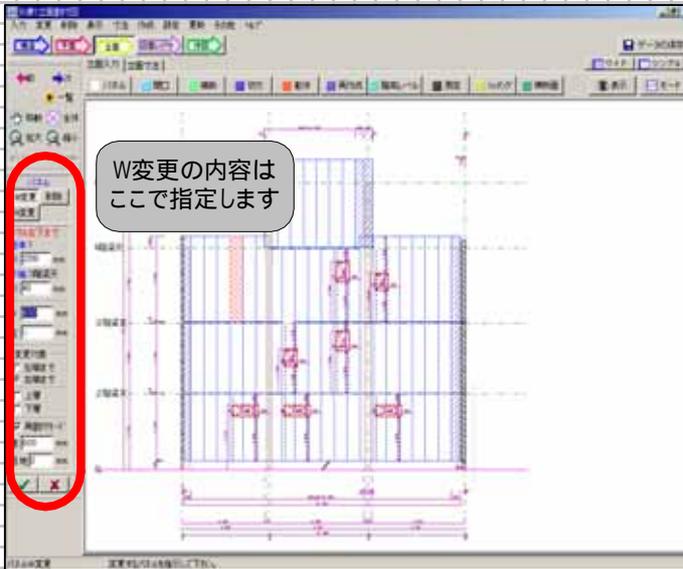
割付が指定した立面と同様の割付になります。



# 第3章 立面図

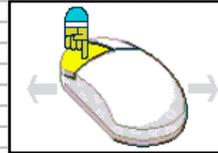
## 3 - 8 W変更(簡易変更)について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
 [W変更]を左クリックすると変更モードに変わります。

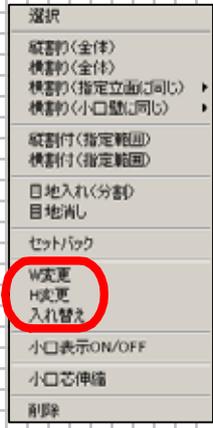


W変更の内容は  
 ここで指定します

変更は左クリックして  
 選択します。



ドロップダウン  
 メニュー



端部パネル処理・指定パネルのみ  
 伸縮はできません。

上層、下層にチェックを付けると1階  
 および3階へも共通で割付できます

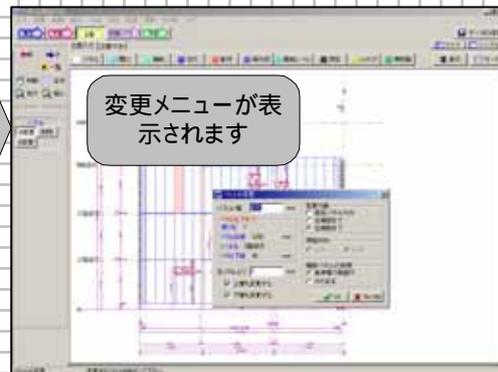
## 3 - 9 W変更(詳細変更)について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
 [選択]を左クリックすると変更モードに変わります。



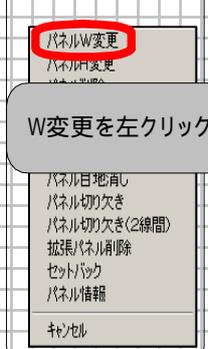
変更するパネルを  
 右クリックします

ドロップダウン  
 メニューのW変更  
 を左クリックします



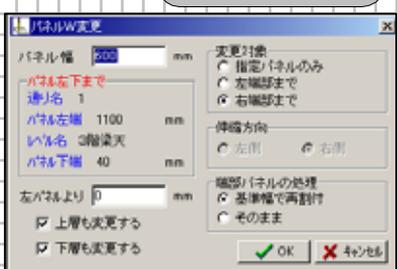
変更メニューが表  
 示されます

ドロップダウン  
 メニュー



W変更を左クリック

変更内容を記入して  
 OKで変更出来ます



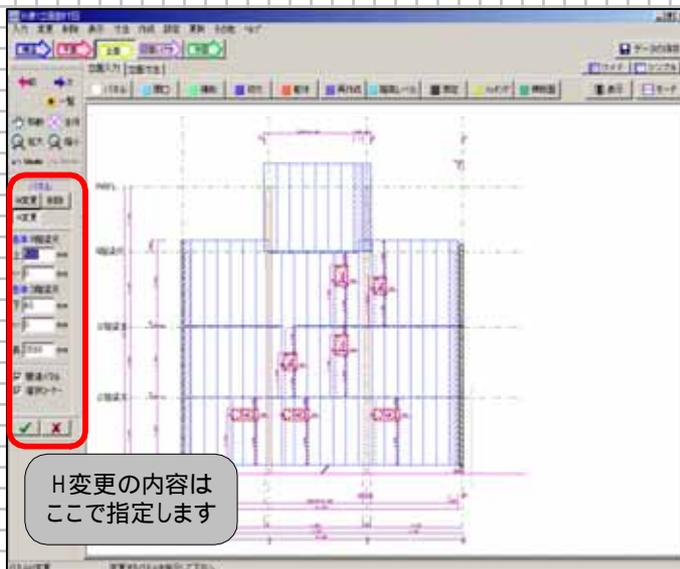
パネル幅  
 左パネルより  
 上層も変更する  
 下層も変更する  
 変更対象  
 伸縮方向  
 端部パネルの処理

変更するパネル幅を入力します  
 パネル左からの距離で位置を指定します  
 変更内容を上層にも反映させます  
 変更内容を下層にも反映させます  
 パネル変更後の変更範囲を指定します  
 パネル変更時の伸縮方向を指定します  
 変更後の端部パネルの処理を選択します

# 第3章 立面図

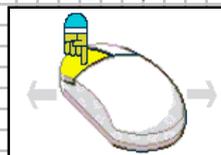
## 3 - 10 H変更(簡易変更)について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
[H変更]を左クリックすると変更モードに変わります。

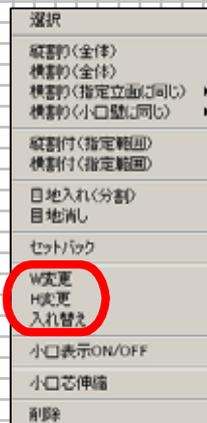


H変更の内容は  
ここで指定します

変更は左クリックして  
選択します。



プルダウン  
メニュー



端部パネル処理・指定パネルのみ伸縮  
はできません。

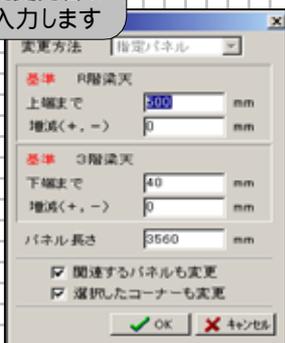
上層、下層にチェックを付けると上階  
および下階へも共通で割付できます

## 3 - 11 H変更(詳細変更)について

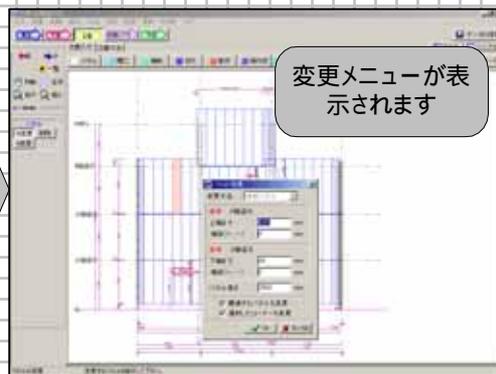
ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。



変更内容を  
入力します



**変更方法**  
**上端まで**  
**増減+, -**  
**下端まで**  
**増減+, -**  
**パネル長さ**  
**関連するパネルも変更**  
**選択したコーナーも変更**



ドロップダウン  
メニュー



H変更を左クリック

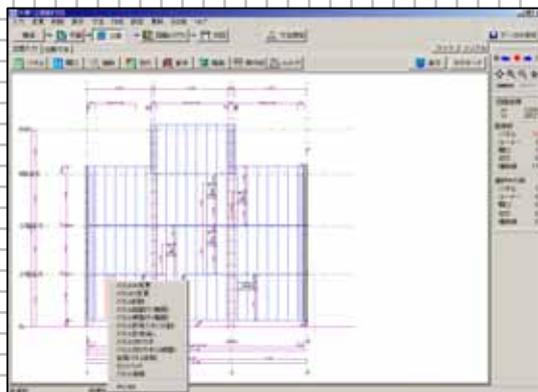
パネル変更後の変更範囲を指定します  
上端までの変更数値を入力します  
パネル変更時の増減値を入力します  
下端までの変更数値を入力します  
パネル変更時の増減値を入力します  
パネルの長さを変更します  
変更後、上下のパネルの連動有無  
変更後、コーナーも変更します

# 第3章 立面図

## 3 - 12 パネル削除について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

削除したいパネルの上で右クリックをします



ドロップダウンメニューが出て来ます

パネル削除を左ボタンで選べば削除が行えます

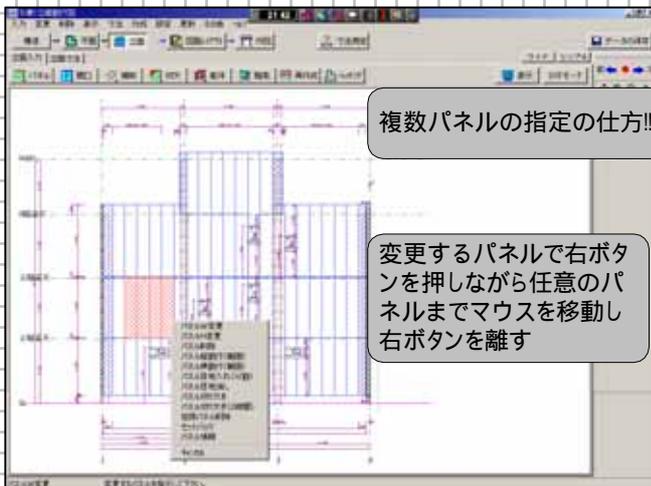
### ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除**
- パネル縦割付(範囲)
- パネル横割付(範囲)
- パネル目地入れ(分割)
- パネル目地消し
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除
- セットバック
- パネル情報
- キャンセル

## 3 - 13 指定パネルの変更について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

変更したい部分のパネルを右ボタンで範囲を指定します。



ドロップダウンメニューが出て来ます

部分的に縦割する場合はパネル縦割付(範囲)

or

部分的に横割する場合はパネル横割付(範囲)を左クリックします。

下図の入力ウィンドウを入力後OKボタンで部分変更が行えます

### ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル縦割付(範囲)**
- パネル横割付(範囲)**
- パネル目地入れ(分割)
- パネル目地消し
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除
- セットバック
- パネル情報
- キャンセル

パネル縦割(範囲)の入力ウィンドウ      パネル横割(範囲)の入力ウィンドウ



# 第3章 立面図

## 3 - 14 目地入れについて

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

変更したい部分のパネルを右ボタンで範囲を指定します。

複数パネルの指定方法!!

複数指定の場合、開始パネルで右ボタンを押しながら任意のパネルまでマウスを移動し右ボタンを離す事で複数のパネルを指定できます。

ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル縦割付(範囲)
- パネル横割付(範囲)
- パネル目地入れ(分割)**
- パネル目地消し
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除
- セットバック
- パネル情報
- キャンセル

### パネル目地入れ(分割)

目地を入れるパネルを選択

目地分割入力をしてOKボタン!!

目地の分割が出来ます

パネル目地入れ(分割)を選択

分割後の下(左)側のパネルの上端の位置を入力  
分割後の上(右)パネル幅を入力します  
分割後の目地幅を入力します  
分割後の下(右)パネル幅を入力します

初期はフリーで指示した長さが表示されます

## 3 - 15 目地消しについて

パネル目地消しは選択したパネルの目地を消します

パネルを選択します

ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル縦割付(範囲)
- パネル横割付(範囲)
- パネル目地入れ(分割)
- パネル目地消し**
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- キャンセル

パネル目地消しを選択

目地が消えます

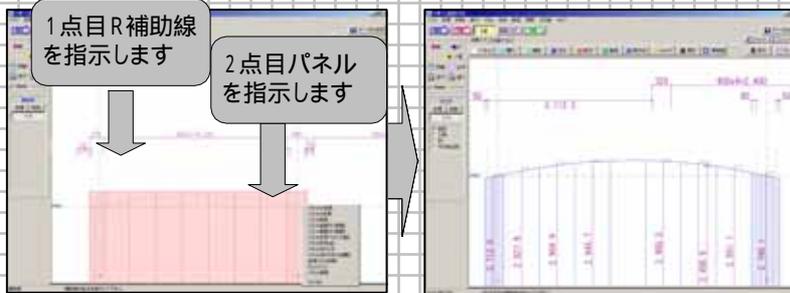
## 3 - 16 パネルの指定部分切欠について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

切欠したい部分のパネルを右ボタンで範囲指定します。

パネルの指定部分切欠を行う

補助線の機能については別頁の「補助線について」を参照して下さい



補助線を左クリックして補助線の外側を左クリックするとパネル指定切り欠きができます

### ドロップダウンメニュー

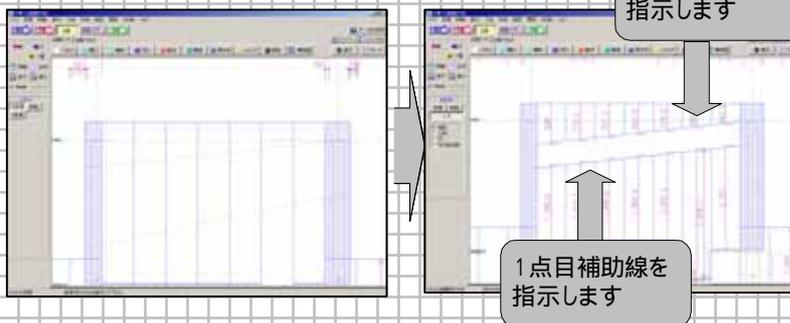
- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル切り欠き**
- パネル目地消し
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除
- セットバック
- パネル情報
- キャンセル

## 3 - 17 2線間切欠について

パネルの指定部分切欠を行う

切欠を行う部分のパネルを右ボタンで範囲指定します

パネルの指定部分切欠を行う



2本有る補助線を左クリックすると補助線間のパネルが切り欠けます。

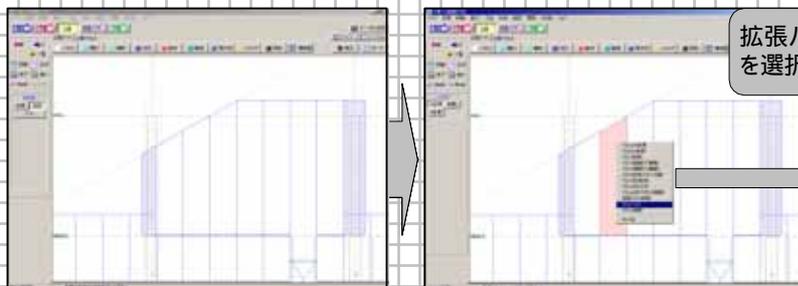
### ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)**
- 拡張パネル削除
- セットバック
- パネル情報
- キャンセル

## 3 - 18 拡張パネル削除について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

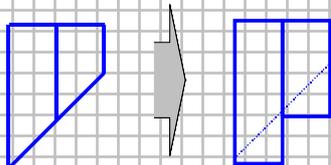
拡張パネルを削除したい部分を右ボタンで複数指定します



ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル縦割付(範囲)
- パネル横割付(範囲)
- パネル目地入れ(分割)
- パネル目地消し
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除**
- セットバック
- パネル情報
- キャンセル

拡張パネル削除を左クリックすると切り欠きを行ったパネルが元に戻ります



## 3 - 19 セットバックについて

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

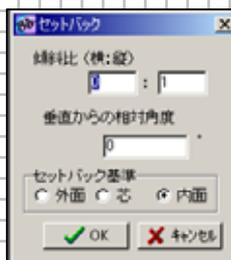
セットバックするパネルを右ボタンで複数指定します



ドロップダウンメニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル縦割付(範囲)
- パネル横割付(範囲)
- パネル目地入れ(分割)
- パネル目地消し
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除
- セットバック**
- パネル情報
- キャンセル

セットバックしたパネルは 記号で判別します



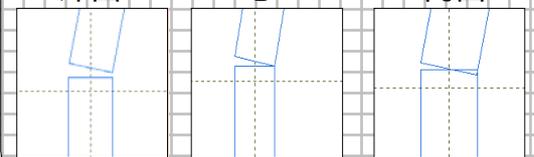
傾斜比率を入力します。相対角度を入力した場合は入力不要です

相対角度を入力します。傾斜比率を入力した場合は不要です

セットバック時の基点を指定します

基準による違い

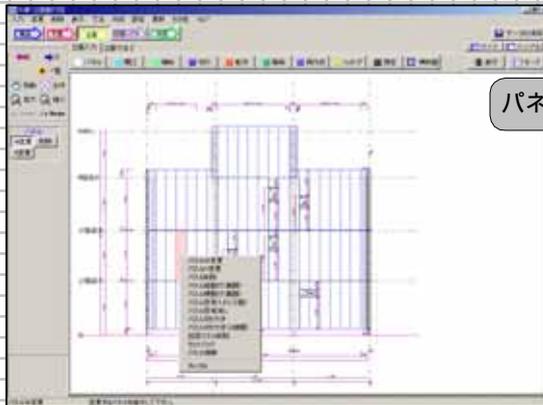
外面      芯      内面



## 3 - 20 パネル情報について

ツールバーの **パネル** を左クリックするとドロップダウンメニューが表示され[選択]を左クリックすると変更モードに変わります。

情報を確認したいパネルを右ボタンで指定します。

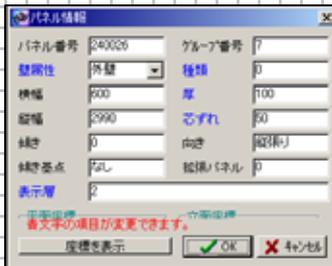


ドロップダウン  
メニュー

- パネルW変更
- パネルH変更
- パネル削除
- パネル縦割付(範囲)
- パネル横割付(範囲)
- パネル目地入れ(分割)
- パネル目地消し
- パネル切り欠き
- パネル切り欠き(2線間)
- 拡張パネル削除
- セットバック
- パネル情報**
- キャンセル

パネル情報を選びます

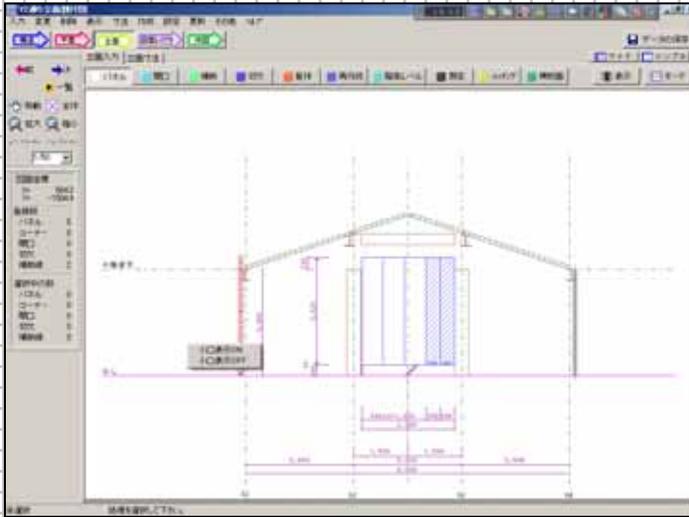
選択したパネルの情報を確認する事が出来ます



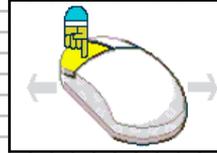
# 第3章 立面図

## 3 - 21 小口表示ON/OFF

ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
[小口表示ON/OFF]を左クリックすると変更モードに変わります。

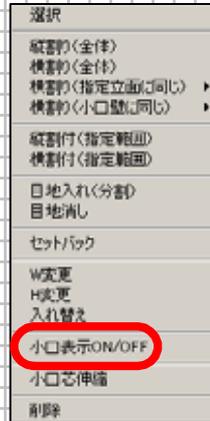


変更は左クリックして  
選択します。



右クリックで囲むと複数  
同時に変更できます

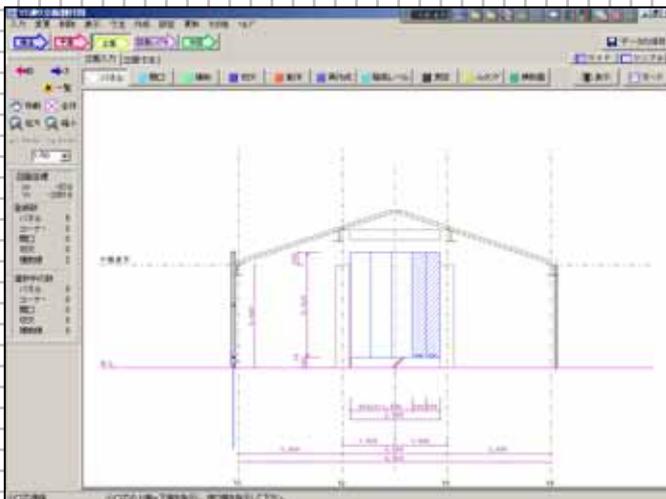
### プルダウン メニュー



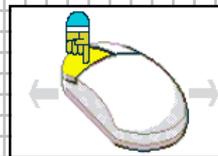
小口の面で立面を起こしてないと、小口表示のON/OFFはできません。

## 3 - 22 小口芯伸縮

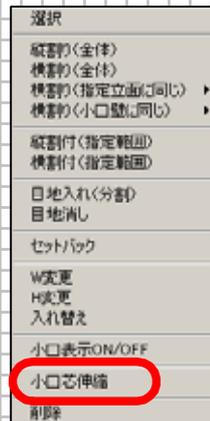
ツールバーの **パネル** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
[小口芯伸縮]を左クリックすると変更モードに変わります。



変更は小口の端点を  
左クリックして選択しま  
す。



### プルダウン メニュー



小口の面で立面を起こしていなくても、小口芯の伸縮はできます。

## 3 - 23 開口機能について



初期メッセージ: 選択 窓 ドア ベランダ 変更 削除



- ① **選択**  
開口の変更・削除等を行います
- ② **窓**  
窓の入力を行います
- ③ **ドア**  
ドアの入力を行います
- ④ **ベランダ**  
ベランダの入力を行います
- ⑤ **変更**  
入力した開口を変更します
- ⑥ **削除**  
入力した開口を削除します

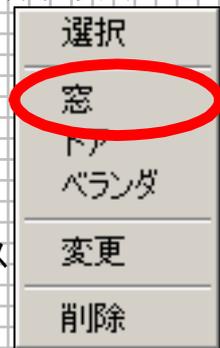
簡易メニュー



### 開口入力について

ツールバーの を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[窓]を左クリックすると窓入力に変わります。

プルダウンメニュー



入力基準となるパネルもしくは通り芯を指示すると開口の詳細入力画面が表示されます



開口マスタで設定した符号を選択するか、符号入力します。(サイズと補強材は、マスタ設定されていれば自動入力されます) 基点と基準と高さ基準を入力します。

入力が終わりましたら、 を左クリックします。

開口詳細入力画面の各項目は次頁で説明しています。

## 開口入力について

### 詳細入力画面



### 符号

開口符号を入力します。マスター登録も有ります

### 開口サイズ

開口のW・H寸法を入力します

### サッシサイズ

開口のサッシサイズ寸法を入力します

### サッシクリア

開口のサッシクリア寸法を入力します

### 開口補強自動計算

開口補強を計算する画面を表示します  
(詳細は開口補強マニュアルを参照)

### 開口X記号

開口X記号を表示します

### 平面開口寸法

平面上で開口寸法を作成します

### マスタへ登録

入力した開口を開口マスターに追加します

### マスタ変更

開口マスターを表示します。マスターで変更が可能です

### 初期補強

手動で開口補強メンバを設定します

### 基準

開口入力時の横位置を選択します

### 高さ基準

開口入力時の高さ位置を入力します

## 3 - 24 補助線について

### 補助

- ① 選択
- ② 直線: 2点
- ③ 直線: オフセット
- ⊖ 直線: 相対角度
- ④ 直線: 角度
- ⑤ 円弧: 2点(半径・出幅)
- ⊖ 円弧: 3点
- ⊖ 円弧: 中心・半径
- ⊖ 円弧: オフセット
- ⊖ 直線: オフセット移動
- ⑥ 直線: 端点伸縮
- ⑦ 変更
- ⑧ 削除

初期メッセージ: 選択 直線:2点 直線:オフセット 直線:角度  
: 円弧:2点(半径・出幅) 直線:端点伸縮 変更 削除

- ① **選択**  
補助線の変更・削除が行える様にします
- ② **直線: 2点**  
補助線を2点間で入力します
- ③ **直線: オフセット**  
補助線をコピーします
- ④ **直線: 角度**  
角度で補助線を入力します
- ⑤ **円弧: 2点(半径・出幅)**  
円弧の補助線を入力します。半径、出幅で膨らみを指定します
- ⑥ **直線: 端点伸縮**  
補助線の伸縮を行います(直線のみ)
- ⑦ **変更**  
補助線の内容を変更します
- ⑧ **削除**  
補助線を削除します

### 入力ウインドウ

- ① **種別**  
表示 補助線は表示のみです  
作図 表示 & 作図します  
作図 & 寸法 通り芯同様、表示・作図・寸法を表示します
- ② **線種**  
実線 線を実線にします  
点線 線を点線にします  
一点鎖線 線を一点鎖線にします
- ③ **1点目**  
通り芯 ~ X方向の位置を入力します  
階高 ~ Y方向の位置を入力します
- ⊖ **2点目**  
通り芯 ~ X方向の位置を入力します  
階高 ~ Y方向の位置を入力します

# 第3章 立面図

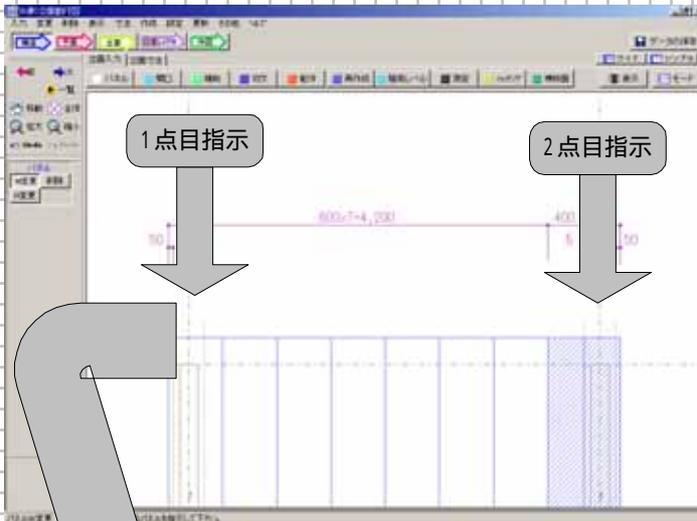
## 補助線入力について

ツールバーの  を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[円弧: 2点(半径・出幅)]を左クリックすると補助線入力に変わります

入力基準となる通り芯を指示します  
2点目を指示すると詳細入力画面が表示されます

プルダウンメニュー

- 選択
- 直線: 2点
- 直線: わせ外
- 直線: 相対角度
- 直線: 角度
- 円弧: 2点(半径・出幅)**
- 円弧: 3点
- 円弧: 中心・半径
- 円弧: わせ外
- 直線: わせ外移動
- 直線: 端点伸縮
- 変更
- 削除

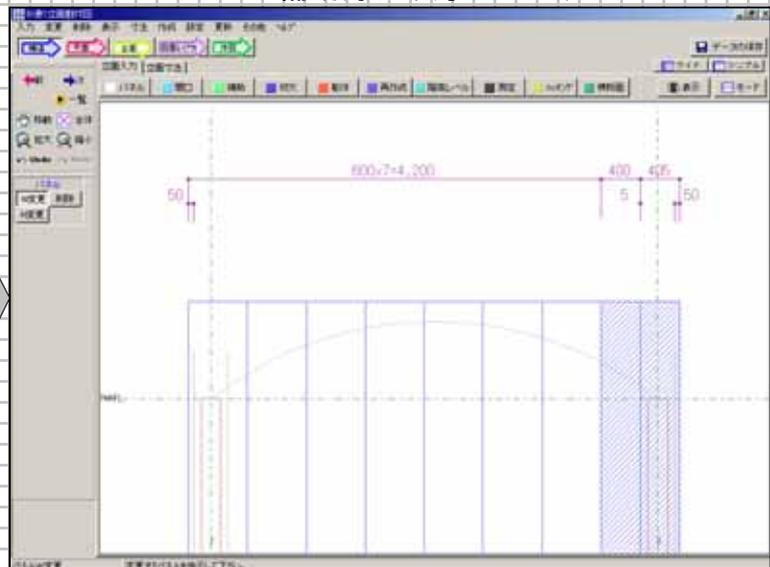


補助線情報を入力し  ボタンを押して下さい

**補助線情報入力**

種別	線種
<input checked="" type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 実線
<input type="radio"/> 作図	<input type="radio"/> 点線
<input type="radio"/> 作図&寸法	<input type="radio"/> 一点鎖線
1点目	
2	~ <input type="text" value="0"/> mm
PHRFL	~ <input type="text" value="0"/> mm
2点目	
3	~ <input type="text" value="0"/> mm
PHRFL	~ <input type="text" value="0"/> mm
半径	<input type="text" value="0"/> mm
膨らみ	<input type="text" value="0"/> mm
<input checked="" type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

Rの補助線が表示されます



## 3 - 25 切欠について

### 切欠

- ① 選択
- ② 斜め(補助線)
- ③ 斜め:2線間
- ④ 斜め(梁)
- ⑤ 矩形
- ⑥ 三角
- ⑦ 円
- ⑧ 平行四辺形
- ⑨ 矩形 -指定パネルのみ-
- ⑩ 三角 -指定パネルのみ-
- ⑪ 梁自動切り欠き
- ⑫ 梁手動切り欠き
- ⑬ 屋根床梁切り欠き
- ⑭ 変更
- ⑮ 削除

初期メッセージ: 選択 斜め(補助線) 斜め:2線間 斜め(梁) 矩形 三角 円  
 : 平行四辺形 矩形-指定パネルのみ- 三角-指定パネルのみ-  
 : 梁自動切り欠き 梁手動切り欠き 変更 削除

### 簡易メニュー

切欠き

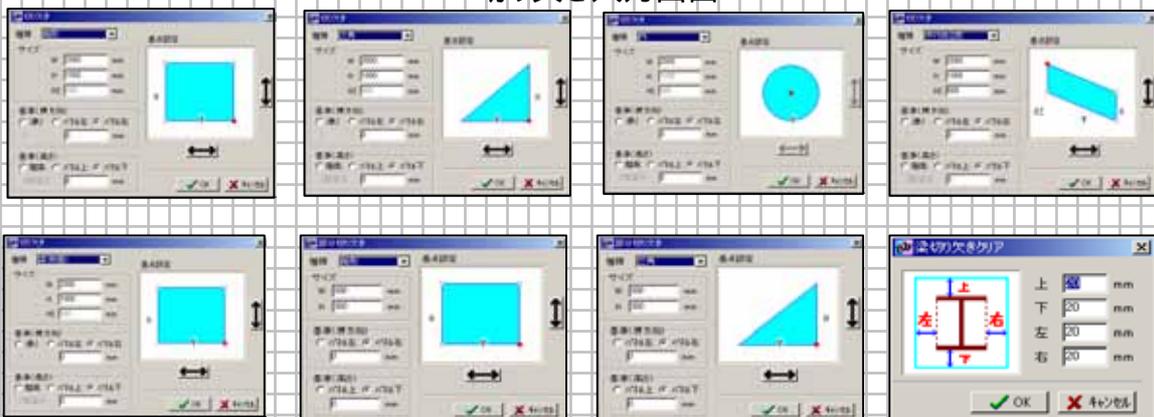
変更 | 削除

入力

- 矩形
- 三角
- 円
- 平行四辺形

- ① **選択**  
切り欠きの変更・削除が行えます
- ② **斜め(補助線)**  
補助線を基準にパネルを切り欠きます
- ③ **斜め:2線間**  
2本の補助線間のパネルを切り欠きます
- ④ **斜め(梁)**  
斜め梁に対して切り欠きを行います
- ⑤ **矩形**  
矩形の図形を入力し図形部分を切り欠きとします
- ⑥ **三角**  
三角の図形を入力し図形部分を切り欠きとします
- ⑦ **円**  
円の図形を入力し図形部分を切り欠きとします
- ⑧ **平行四辺形**  
平行四辺形の図形を入力し図形部分を切り欠きとします
- ⑨ **矩形-指定パネルのみ-**  
指定パネルに矩形切り欠きを入力します
- ⑩ **三角-指定パネルのみ-**  
指定パネルに三角切り欠きを入力します
- ⑪ **梁自動切り欠き**  
梁切り欠きを自動で行います
- ⑫ **梁手動切り欠き**  
梁を手動で個々に切り欠きます
- ⑬ **屋根床梁切り欠き**  
屋根・床・梁でパネルを切り欠きます
- ⑭ **変更**  
切り欠きの内容を変更します
- ⑮ **削除**  
切り欠きを削除します

### 切り欠き入力画面

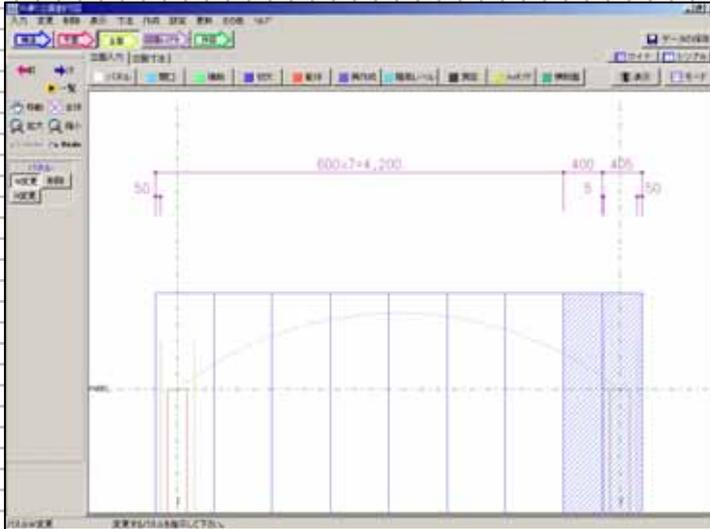


# 第3章 立面図

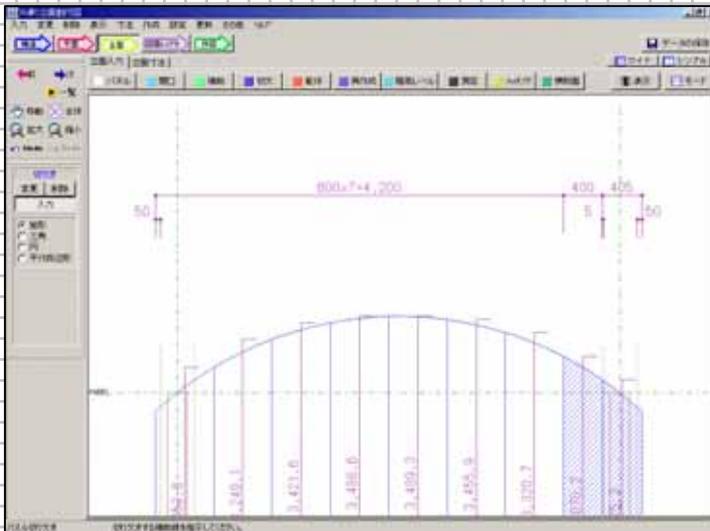
## 切欠入力について

ツールバーの **補助** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[切欠]を左クリックすると切り欠き入力に変わります

斜め(補助線)を選択後、立面上の補助線を左クリックします



補助線を基準にし切り欠きたいパネルを左クリックして下さい



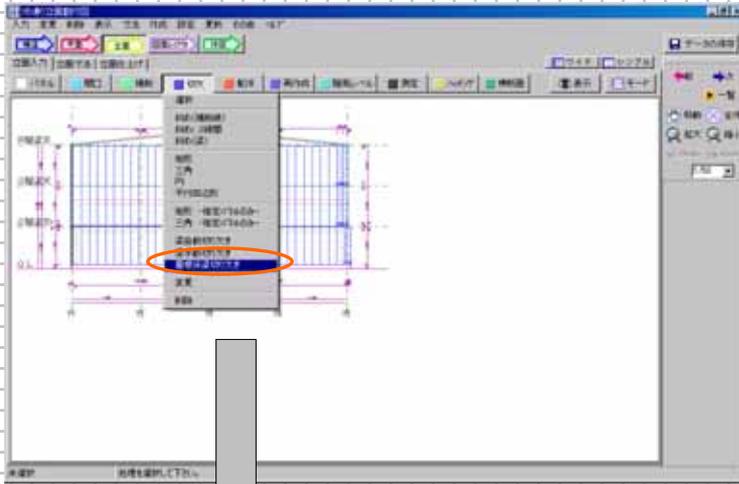
指定されたパネルが切り欠けます

### プルダウンメニュー

- 選択
- 斜め(補助線)**
- 斜め(2線間)
- 斜め(梁)
- 矩形
- 三角
- 円
- 平行四辺形
- 矩形 -指定パネルのみ-
- 三角 -指定パネルのみ-
- 梁自動切り欠き
- 梁手動切り欠き
- 変更
- 削除

## 屋根床梁切り欠きについて

ツールバーの **切欠** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[屋根床梁切り欠き]を左クリックすると上部クリアランス・下部クリアランス指定ウィンドウが開きます



**階高レベルの変更**

上部クリアランス  mm

下部クリアランス  mm

**OK** をクリックすると、平面上で壁と重なっている屋根・床・梁でパネルを切欠きます

## プルダウンメニュー

選択
斜め(補助線)
斜め: 2線間
斜め(梁)
矩形
三角
円
平行四辺形
矩形 -指定パネルのみ-
三角 -指定パネルのみ-
梁自動切り欠き
梁手動切り欠き
屋根床梁切り欠き
変更
削除

## 3 - 26 躯体について

### ■ 躯体

初期メッセージ: 選択 柱H変更 梁高さ変更 梁(断面) 梁(断面)変更 梁(断面)削除

- ① 選択
- ② 柱H変更
- ③ 梁高さ変更
- ④ 梁(断面)
- ⑤ 梁(断面)変更
- ⑥ 梁(断面)削除
- ⑦ 基礎変更
- ⑧ 基礎削除
- ⑨ 柱・梁表示ON/OFF

### 簡易メニュー

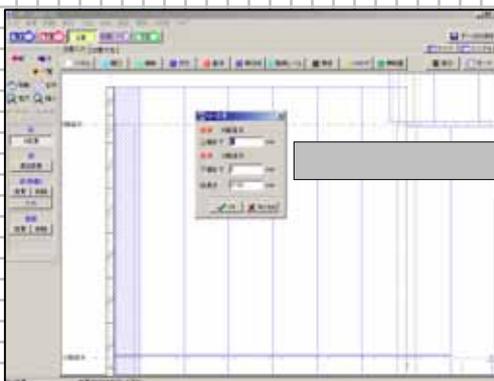
柱	
H変更	
梁	
高さ変更	
梁(断面)	
変更	削除
入力	
基礎	
変更	削除

- ① **選択**  
選択
- ② **柱H変更**  
柱のH変更を行います
- ③ **梁高さ変更**  
梁の高さを変更します
- ④ **梁(断面)**  
梁断面図を入力します
- ⑤ **梁(断面)変更**  
梁断面図のクリア、大きさを変更します
- ⑥ **梁(断面)削除**  
梁断面図を削除します
- ⑦ **基礎変更**  
基礎の高さ、幅を変更します
- ⑧ **基礎削除**  
基礎を削除します  
一旦削除すると再度、面作成を行う必要があります
- ⑨ **柱・梁表示ON/OFF**  
柱・梁の作図ON/OFFを個別に指定します

## 躯体入力について

ツールバーの **■ 躯体** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[柱H変更]を左クリックすると柱のH変更になります

変更したい柱を左クリックします。柱H変更



柱H変更	
基準	R階梁天
上端まで	0 mm
基準	3階梁天
下端まで	0 mm
柱長さ	3100 mm
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- 上端まで** 上階の階高迄の寸法を入力します
- 下端まで** 下階の階高迄の寸法を入力します
- 柱長さ** 柱の全長を入力します

### プルダウンメニュー

- 選択
- 柱H変更
- 梁高さ変更
- 梁(断面)
- 梁(断面)変更
- 梁(断面)削除

## 躯体入力について

ツールバーの  を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[梁(断面)]を左クリックすると梁の入力に変わります

入力したいパネルを左クリックします。梁(断面)入力ウィンドウが開きます

## プルダウンメニュー

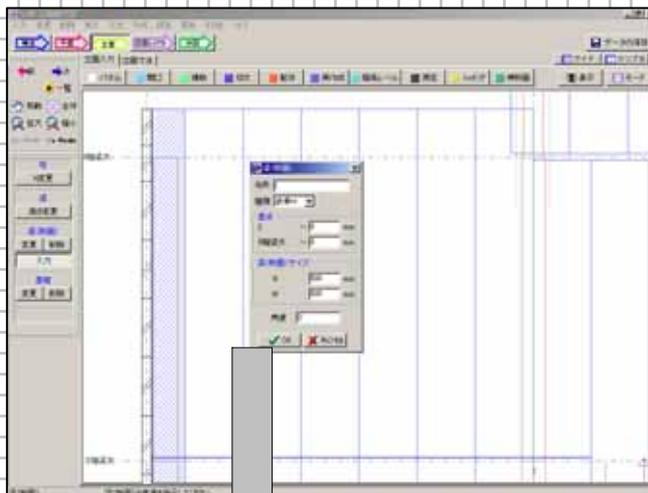
- 選択

---

- 柱H変更

---

- 梁高さ変更
- 梁(断面)
- 梁(断面)変更
- 梁(断面)削除



梁(断面)

名称

種類 鉄骨H

**基点**

2      ~  mm

R階梁天    ~  mm

**梁(断面)サイズ**

H       mm

W       mm

角度   

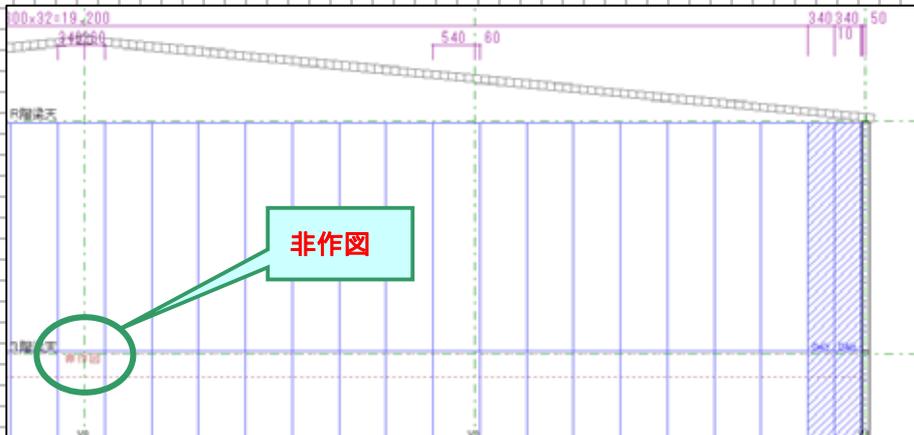
OK     キャンセル

梁(断面)に入力し  を押すと梁が入力できます

## 躯体入力について

ツールバーの  を左クリックするとプルダウンメニューが表示され[柱・梁表示ON/OFF]を左クリックすると表示ON/OFFの指定に変わります

変更したい柱・梁を左クリックします。OFFに指定された柱・梁は「非作図」と表示されます。



## プルダウンメニュー

- 選択
- 柱H変更
- 梁高さ変更
- 梁(断面)変更
- 梁(断面)削除
- 基礎変更
- 基礎削除
- 柱・梁表示ON/OFF

## 3 - 27 階高レベルについて

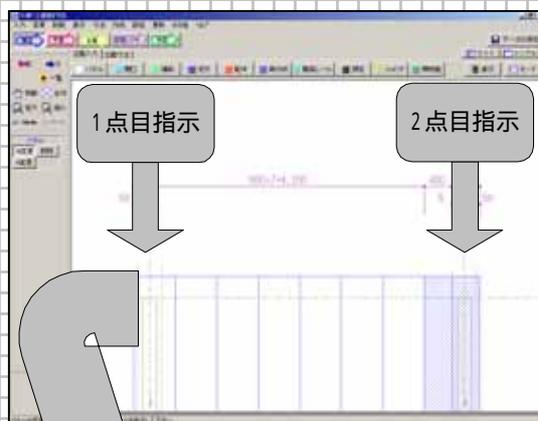


階高(SL)の変更を行います

### 階高レベル入力について

ツールバーの  を左クリックします。その後1点目の階高を左クリックします

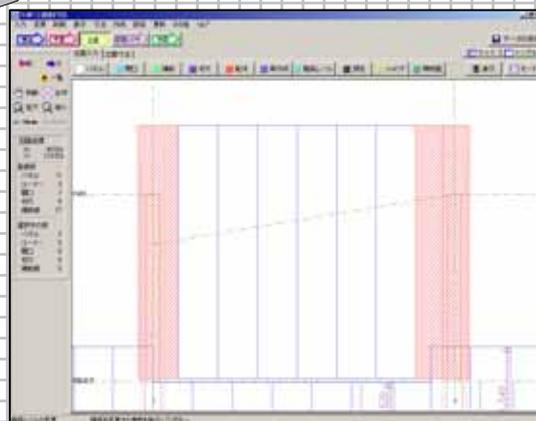
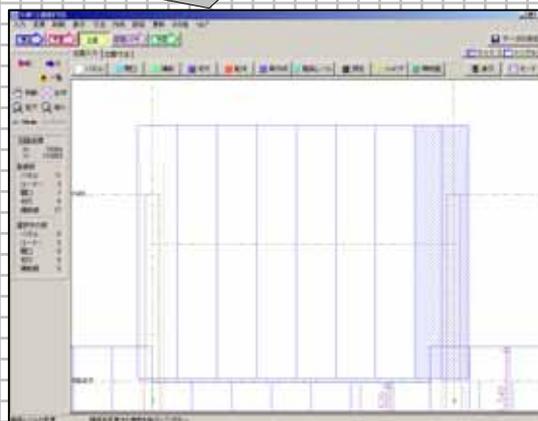
2点目をクリックします



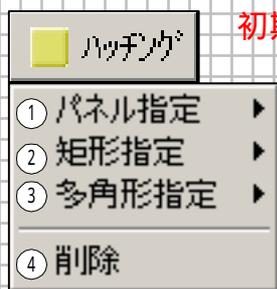
階高レベルの変更を入力します

左右連動にチェックをつけた場合

左右連動にチェックをつけない場合



## 3 - 28 ハッチングについて



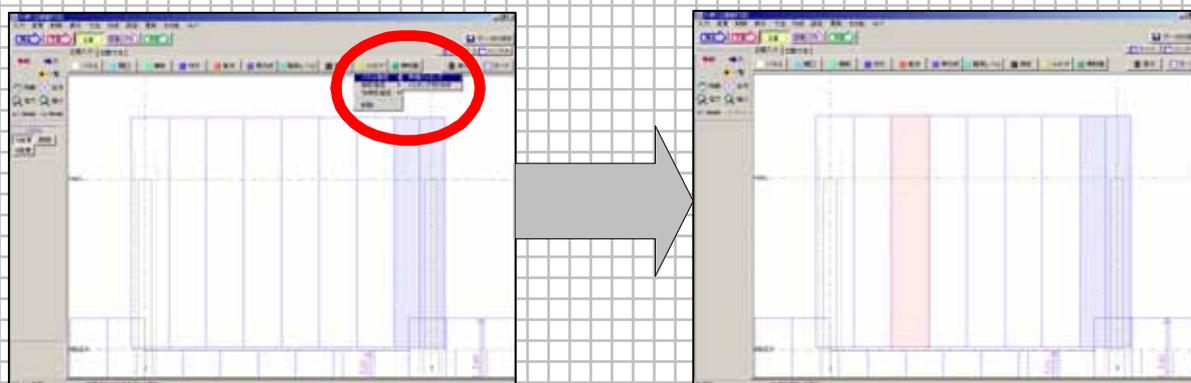
初期メッセージ : パネル指定(新規ハッチング・ハッチング切り抜き)  
 : 矩形指定(新規ハッチング・ハッチング切り抜き)  
 : 多角形指定(新規ハッチング・ハッチング切り抜き)  
 : 削除

- ① **パネル指定**  
**新規ハッチング**  
 パネルに対し新しくハッチングを入力します  
**ハッチング切り抜き**  
 パネル毎にハッチングを切り抜きます
- ② **矩形指定**  
**新規ハッチング**  
 四角形で任意の大きさにハッチングを入力します  
**ハッチング切り抜き**  
 四角形で任意の大きさにハッチングを切り抜きます
- ③ **多角形指定**  
**新規ハッチング**  
 四角形以外の形状でハッチングを入力できます  
**ハッチング切り抜き**  
 四角形以外の形状でハッチングを切り抜きます
- ④ **削除**  
 変更、削除を行います。対象物に対して右クリックで行います

## ハッチング入力について

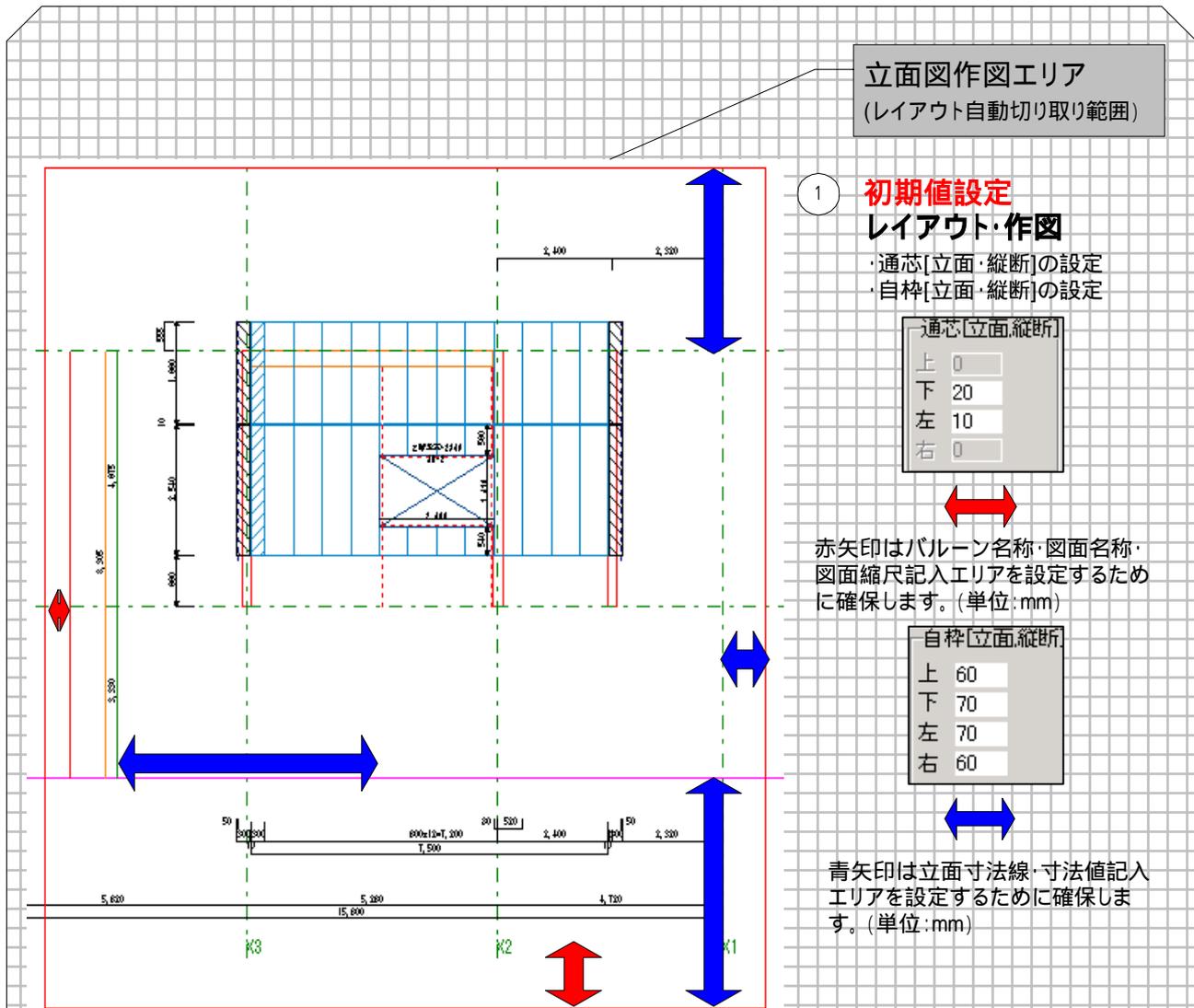
ツールバーの **ハッチング** を左クリックするとプルダウンメニューが表示され  
 [パネル指定]を左クリックするとハッチング入力に変わります

パネルを指示します



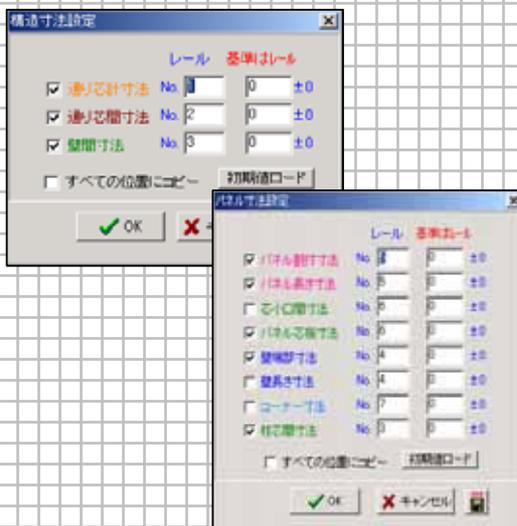
# 第3章 立面図

## 3 - 29 寸法設定基本概要について



### ② 構造寸法・パネル寸法

初期値(作図初期値の立面寸法)のルールNoで  
設定した値が連動されます。また設定ルール  
Noは構造・パネルルールにリンクします。



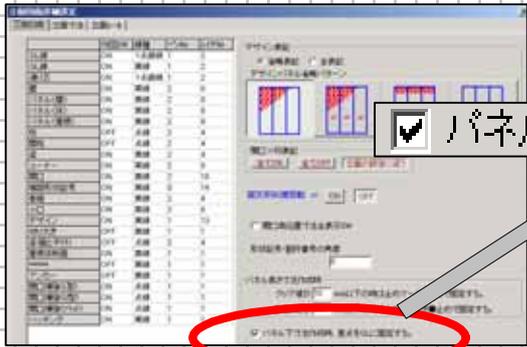
### ③ 構造ルール・パネルルール

で設定したルールNoの各寸法記入位置を数  
値入力により設定します。



4

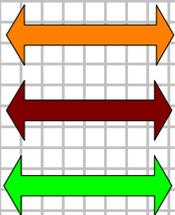
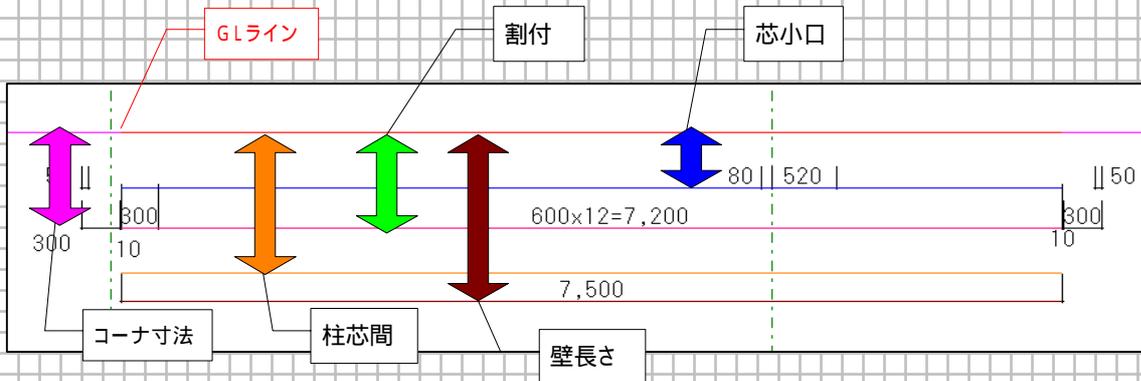
## 立面パネル寸法基準



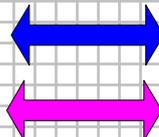
パネル下寸法作成時、基点をGLに固定する。



✓ チェックをすることによりGLラインを基準にパネル割付寸法など移動距離の設定をして下さい。なおチェックを入れてない場合は最下段パネル下端を基準にパネル割付寸法などの移動距離の設定になります。



ルールNo1  
ルールNo2  
ルールNo3

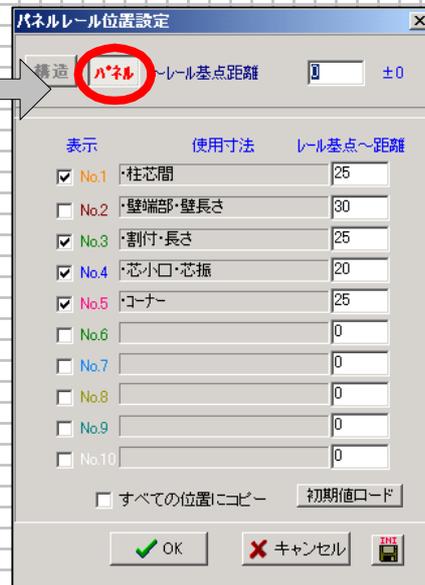


ルールNo4  
ルールNo5

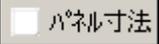
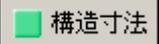
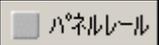
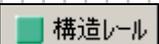
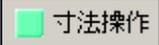
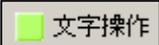
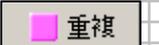
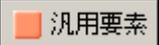
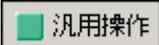
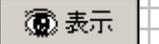


ルール色の設定は動作環境の表示内で設定してください。

構造ボタンを押すと構造バルーンからのパネルレール位置寸法値を入力してください。

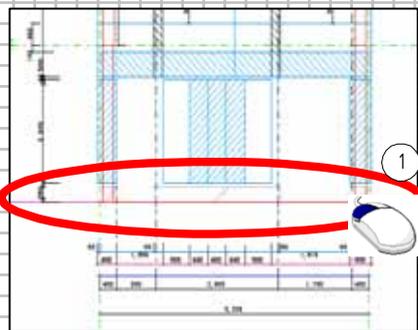


## 第3章 立面図

- 3-28  **パネル寸法**  
パネル寸法(パネル割付寸法など)の各レール番号を設定します。またレール設定値からの移動距離(単位:mm)を設定します。  
▲ レール設定からの移動距離の設定は基本がパネル割付寸法とコーナー寸法の表示位置は同じ(レール番号設定)で、コーナーの位置を部位によって移動したい時に設定します。(寸法値移動操作時に使用)
- 3-29  **構造寸法**  
構造寸法(通り芯間寸法など)の各レール番号を設定します。またレール設定値からの移動距離(単位:mm)を設定します。
- 3-30  **パネルレール**  
最下段パネル下端(初期値設定 オフ)またはGLライン(初期値設定 オン)からの各寸法位置を設定します。
- 3-31  **構造レール**  
通名称バルーン\*<sub>3</sub>からの各寸法位置を設定します。
- 3-32  **開口寸法**  
開口寸法(開口高さ寸法など)表示位置の設定します。
- 3-33  **寸法操作**  
寸法(線間・三点・芯振り・寸法線移動・寸法線削除等)の追加・変更・削除を行います。
- 3-34  **文字操作**  
文字(文字・囲み文字・引き出し・文字移動・文字削除等)の追加・変更・削除を行います。
- 3-35  **初期値**  
初期値(立面寸法設定に必要な値)の変更へ移動します。
- 3-36  **重複**  
重複している線の処理(消去)を行います。
- 3-37  **汎用要素**  
汎用要素(点・直線・円・円弧・矩形等)の追加・変更・削除を行います。
- 3-38  **汎用操作**  
線伸縮・コーナー処理等の処理を行います。
- 3-39  **表示**  
柱・梁等(寸法以外)の図形の画面表示・非表示の設定を行います。

## 第3章 立面図

### 3 - 30 パネル寸法について パネル寸法(パネル割付寸法など)の各ルール番号を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したいパネルをマウス①にて指示します。

✓を外せば表示OFFになります。

ルールNoを変更すると、パネルルール位置が変わります。同一ルール上に表示したい寸法は同じルールNoにします。

数値入力の必要性は同一ルールに設定はしているが、図面を見やすくするために多少移動したい時のために入力してください(寸法操作の寸法線移動時に有効)。0(ゼロ)が初期値になっていればライン上に寸法線が表示されます。

初期値ロードボタンにより再度初期値マスター設定値を読み込みます。

初期値マスターに登録します。以後 現在の設定が初期値口になります。

すべての平面壁に設定値をコピーします。

### 3 - 31 構造寸法について 構造寸法(通り芯間寸法など)の各ルール番号を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい構造線またはバールーンをマウス①にて指示します。

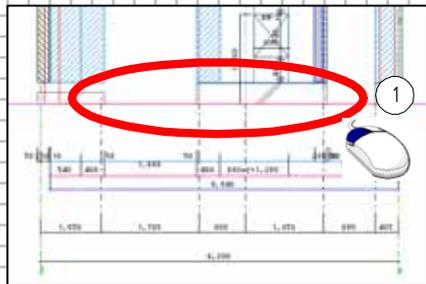
✓を外せば表示OFFになります。

ルールNoを変更すると、パネルルール位置が変わります。同一ルール上に表示したい寸法は同じルールNoにします。

数値入力の必要性は同一ルールに設定はしているが、図面を見やすくするために多少移動したい時のために入力してください(寸法操作の寸法線移動時に有効)。0(ゼロ)が初期値になっていればライン上に寸法線が表示されます。

# 第3章 立面図

## 3 - 32 パネルルールについて 最下段パネル下端およびGLラインからの各寸法位置を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい基準をマウス⑤にて指示します。

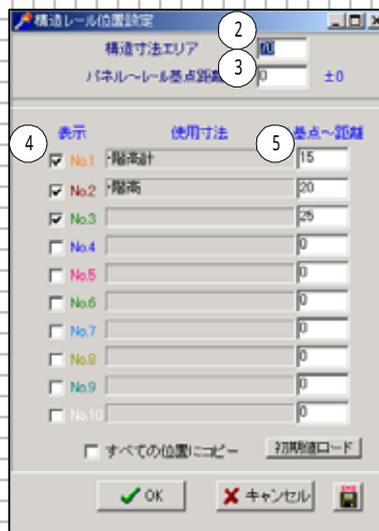
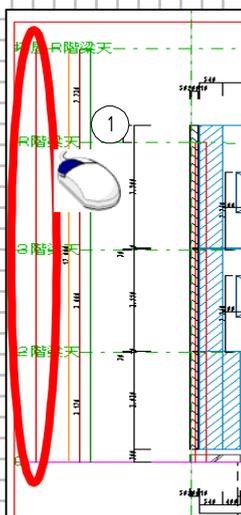
パネルボタンを押すとパネル下端もしくはGLラインからの寸法線位置を設定します。また構造ボタンを押すと構造バルーンからの寸法線位置を設定します。

ルール基点距離を数値入力しますと入力分だけ寸法線が移動します。

✓を外せば表示OFFになります。

ルール基点～距離は基点(パネル下端または構造バルーン)からの移動距離を設定します。

## 3 - 33 構造ルールについて 通名称バルーンからの各寸法位置を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい構造線および構造バルーンをマウス⑤にて指示します。

構造エリア寸法(初期値 自枠 上下左右)を読み出します。また記入エリアを変えたい場合は変更してください。

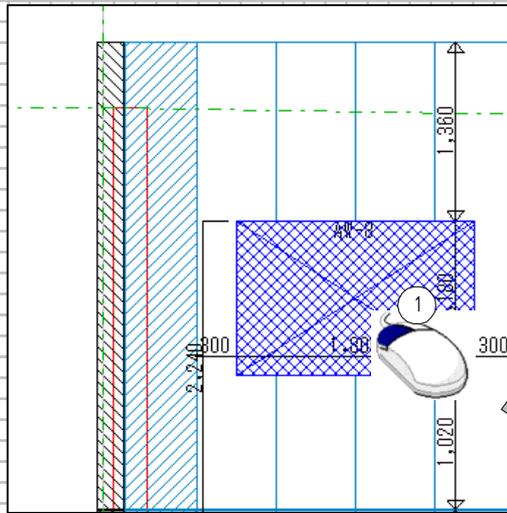
通り芯～ルール基点距離を数値入力しますと入力数値量の寸法線が移動します。

✓を外せば表示OFFになります。

ルール基点～距離は基点(構造バルーン)からの移動距離を設定します。

## 第3章 立面図

### 3 - 34 開口寸法について 開口寸法表示位置(開口高さなど)の位置を設定します。



寸法を記入をしたい、変更したい、削除したい開口をマウス②にて指示します。

✓を外せば表示OFFになります

表示したい位置へ数値により設定します。

初期値設定で、開口高さ寸法のパターンを6or7に設定していたときに、開口上部に表示される寸法値の位置を設定します。(それ以外のパターンの時は関係ありません)

開口寸法設定

②	③ 寸法位置
<input checked="" type="checkbox"/> 開口高さ寸法	5
<input checked="" type="checkbox"/> 開口H寸法	3
<input checked="" type="checkbox"/> 開口W寸法	3
<input checked="" type="checkbox"/> 開口上下H寸法	3
<input checked="" type="checkbox"/> 開口左右W寸法	3
④ 開口高さ寸法パターン6・7文字位置	0

全ての開口にコピー 初期値ロード

OK キャンセル

### 3 - 35 寸法操作について

<平面寸法設定> 2 - 32 寸法操作について( - 44 ~ 51) をご参照下さい。

### 3 - 36 文字操作について

<平面寸法設定> 2 - 33 文字操作について( - 52 ~ 55) をご参照下さい。

### 3 - 37 初期値について

<平面寸法設定> 2 - 34 初期値について( - 55) をご参照下さい。

### 3 - 38 重複について

<平面寸法設定> 2 - 35 重複について( - 56) をご参照下さい。

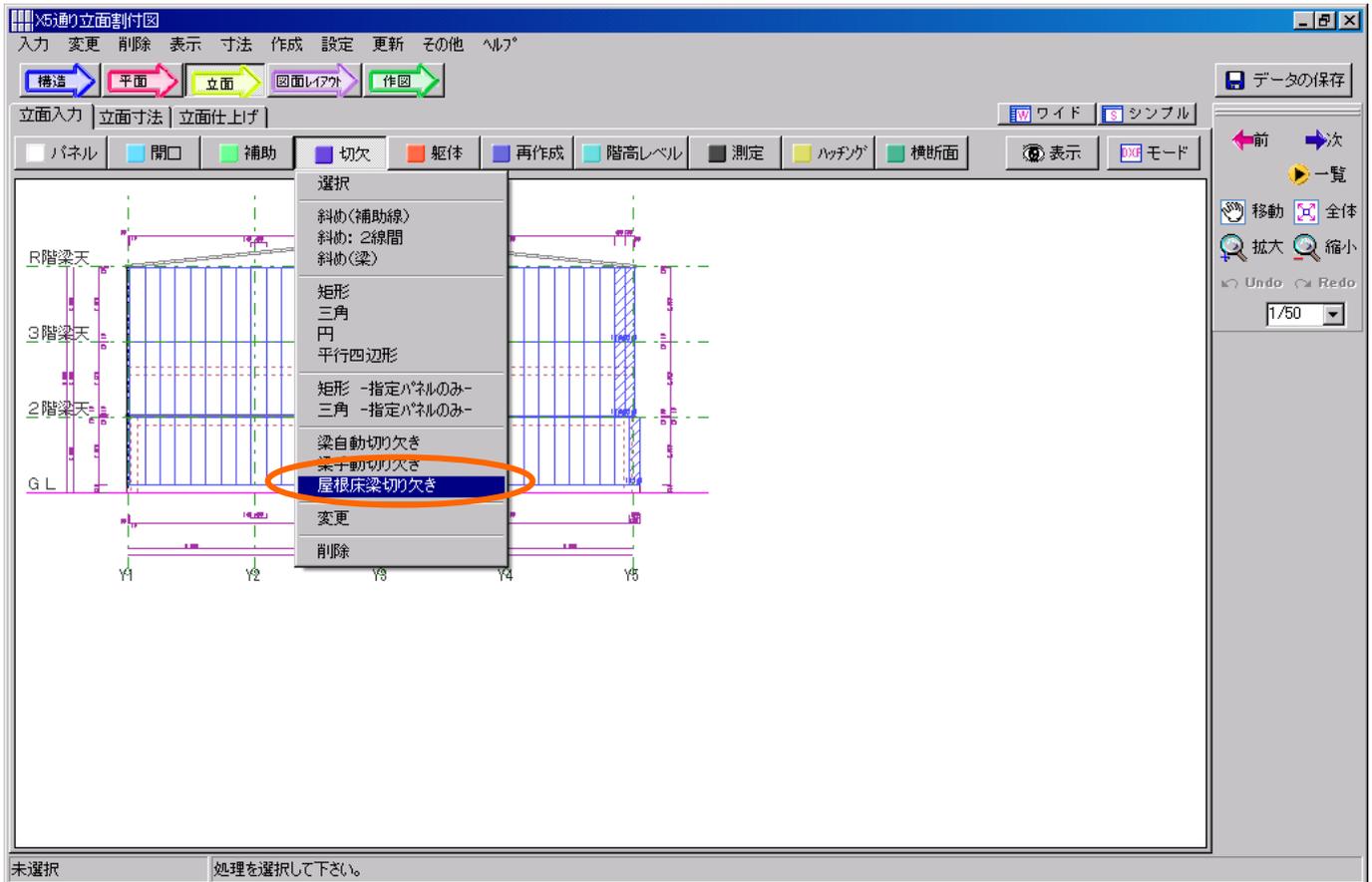
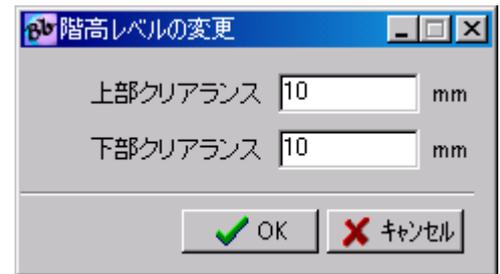
### 3 - 39 表示について

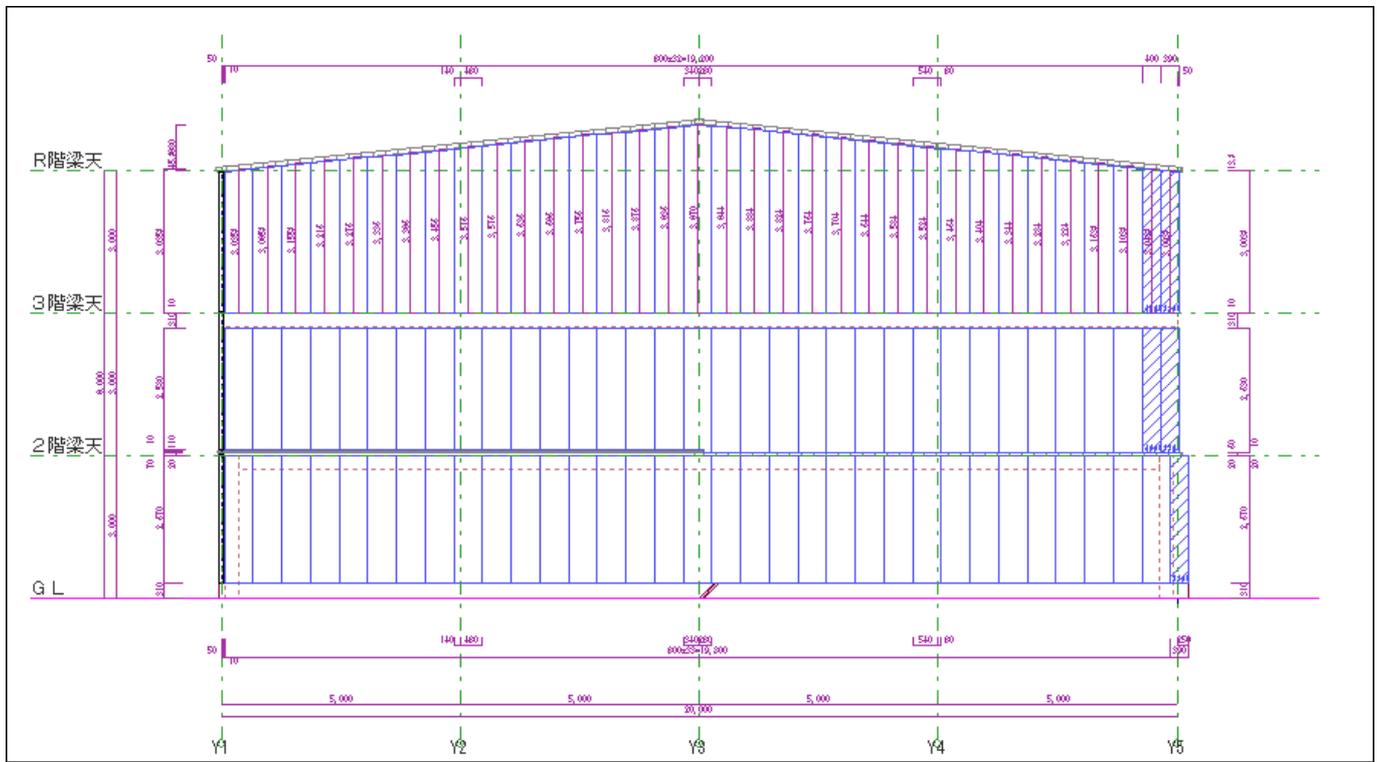
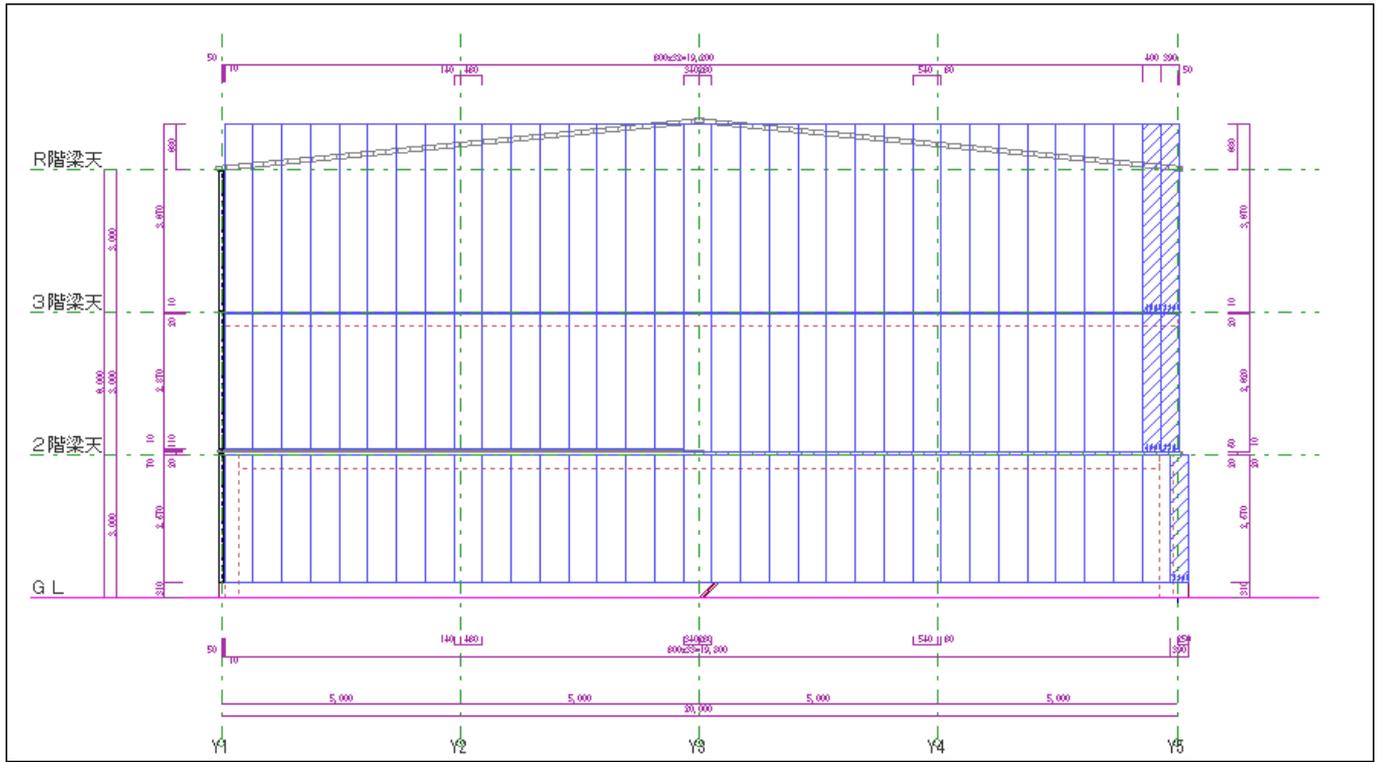
<平面寸法設定> 2 - 36 表示について( - 56) をご参照下さい。

## 『立面 追加機能』

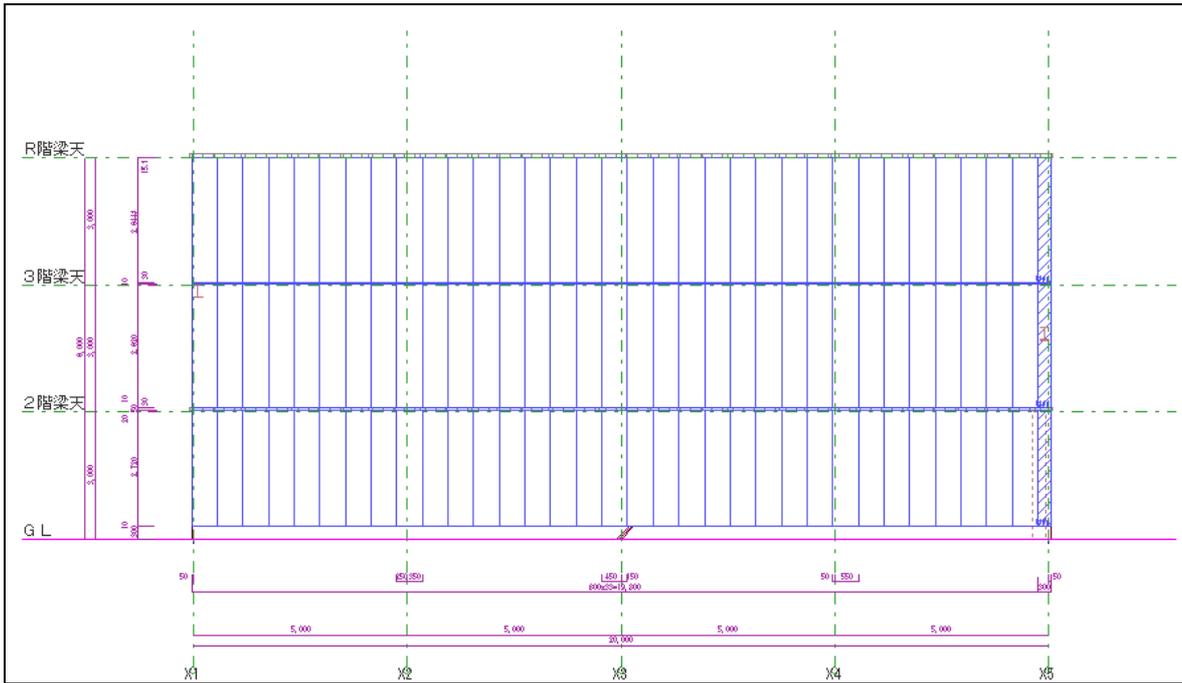
### 屋根床梁切り欠き機能

平面上で壁と重なっている屋根・床・梁でパネルを切欠きます。  
切欠きエリアに対する上部クリアランス・下部クリアランスを指定することができます。

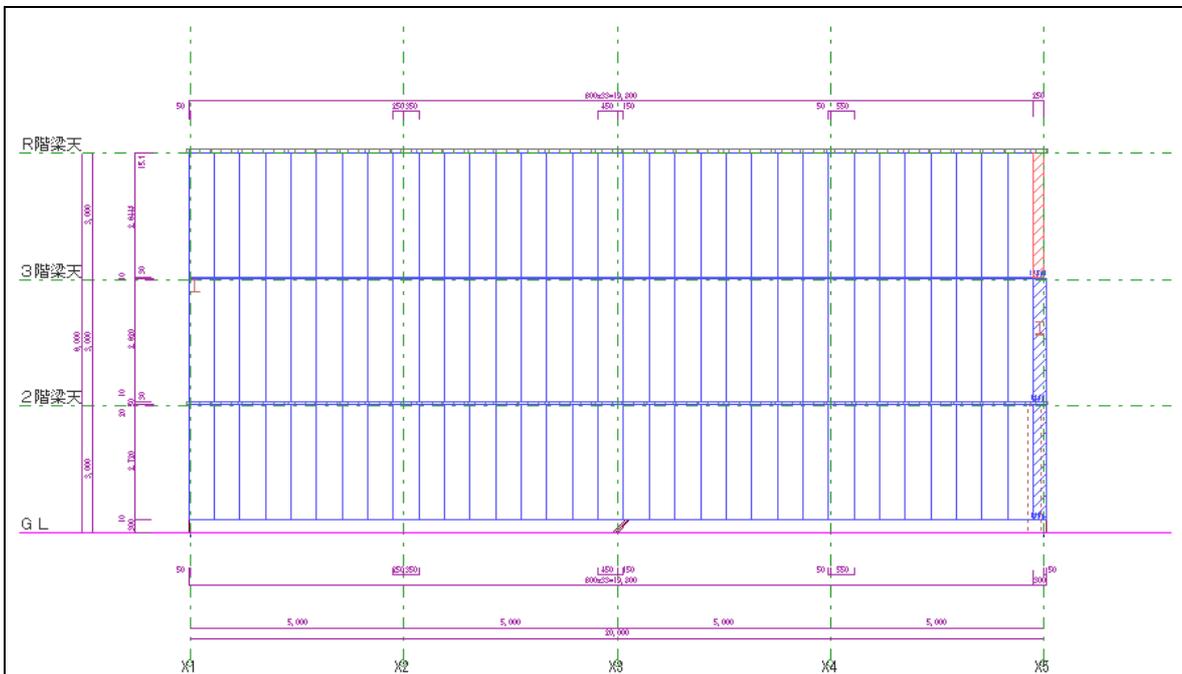




**立面寸法** パネルの割付寸法が、1階の割付寸法と最上階の割付寸法が違う場合は、最上階の割付寸法を作図  
 1階の割付寸法と最上階の割付寸法が同じ場合は1階側のみ作図されます。

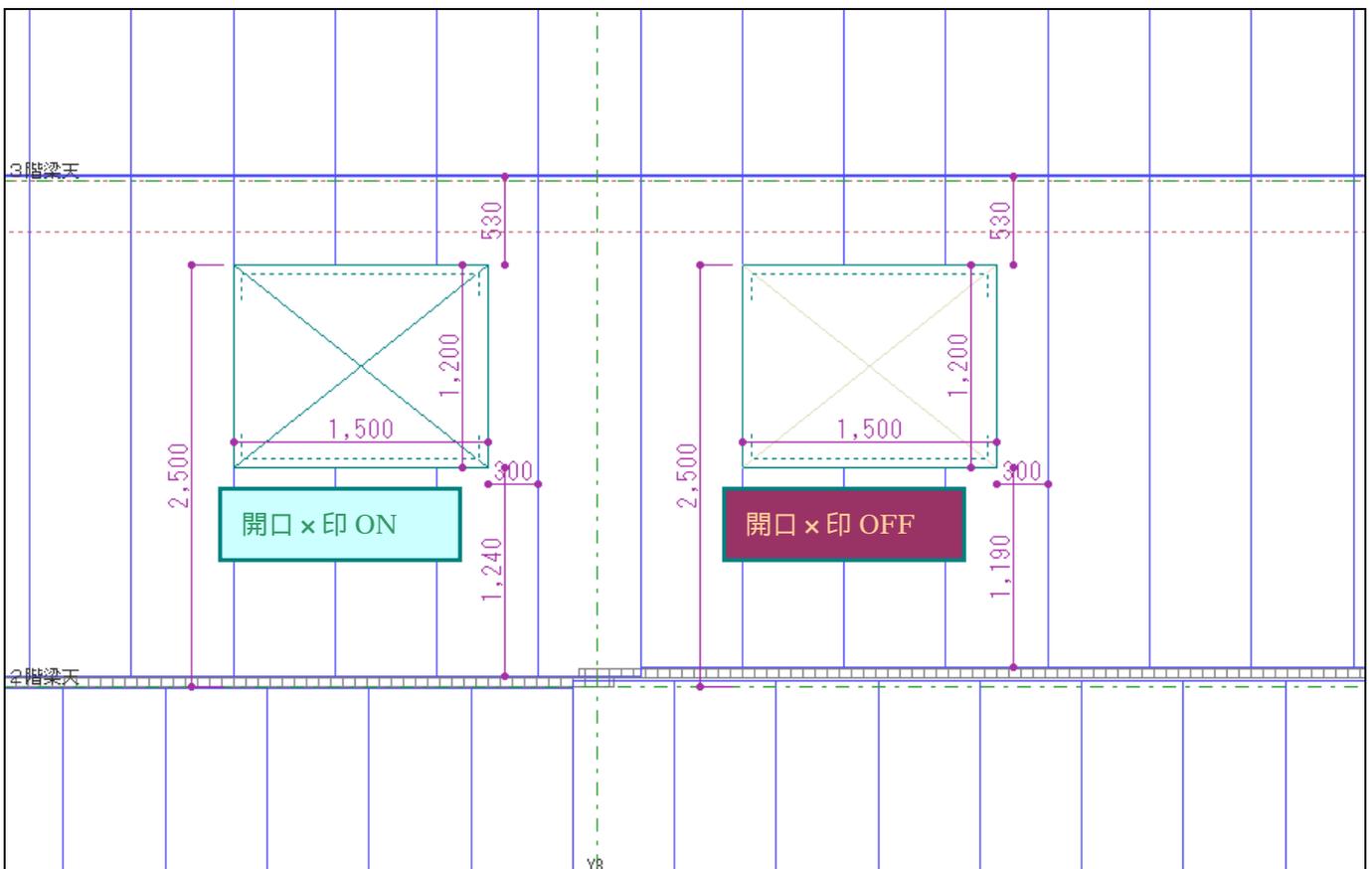
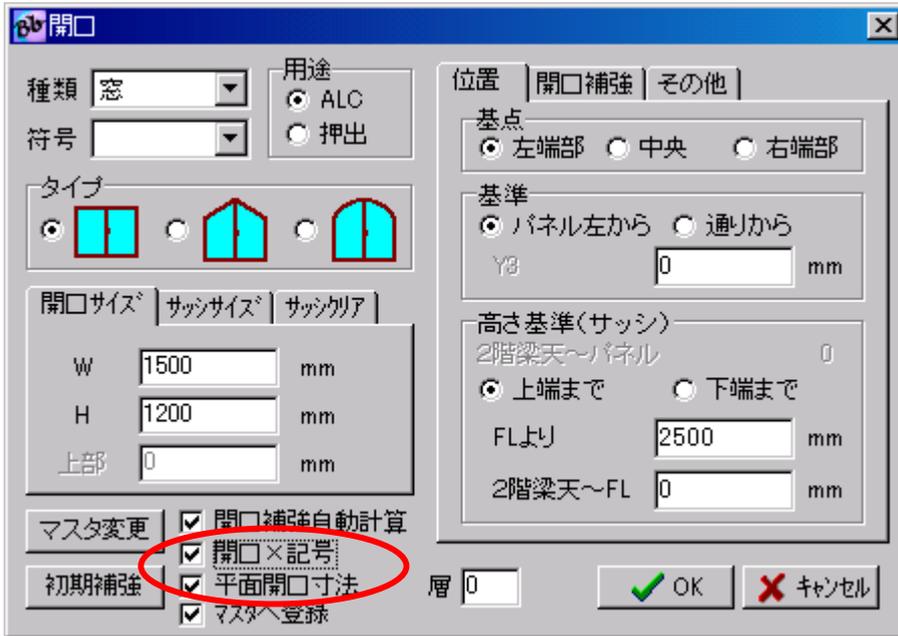


↓  
 最上階のみ W 変更



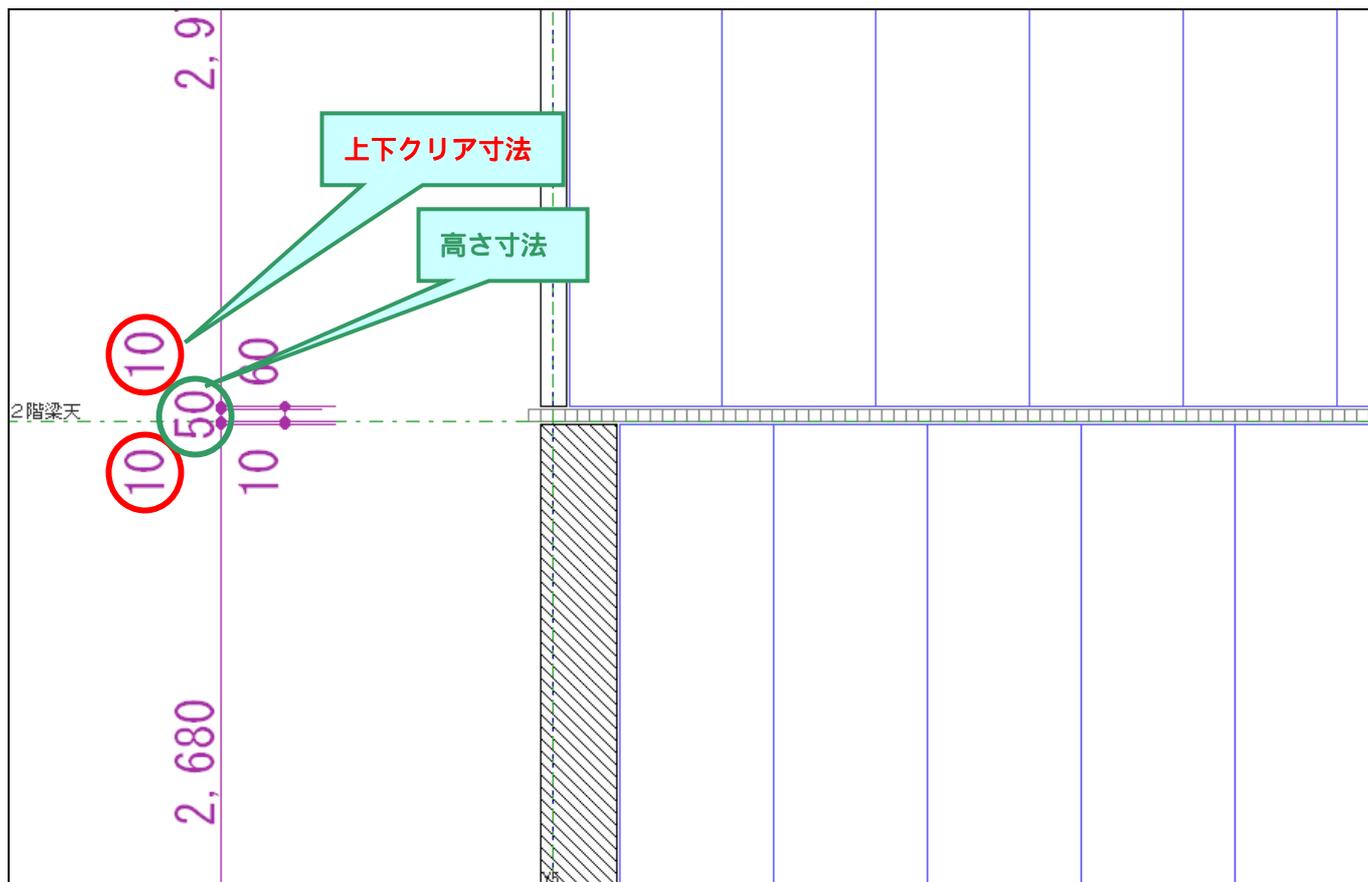
### 開口入力変更画面の開口×印のチェックの自動設定、平面開口寸法スイッチを追加

開口入力変更画面の開口×印のチェックのデフォルト値を立面初期値の開口×印設定より参照します。立面開口作成時、平面開口寸法を作成するかをスイッチを追加しました。



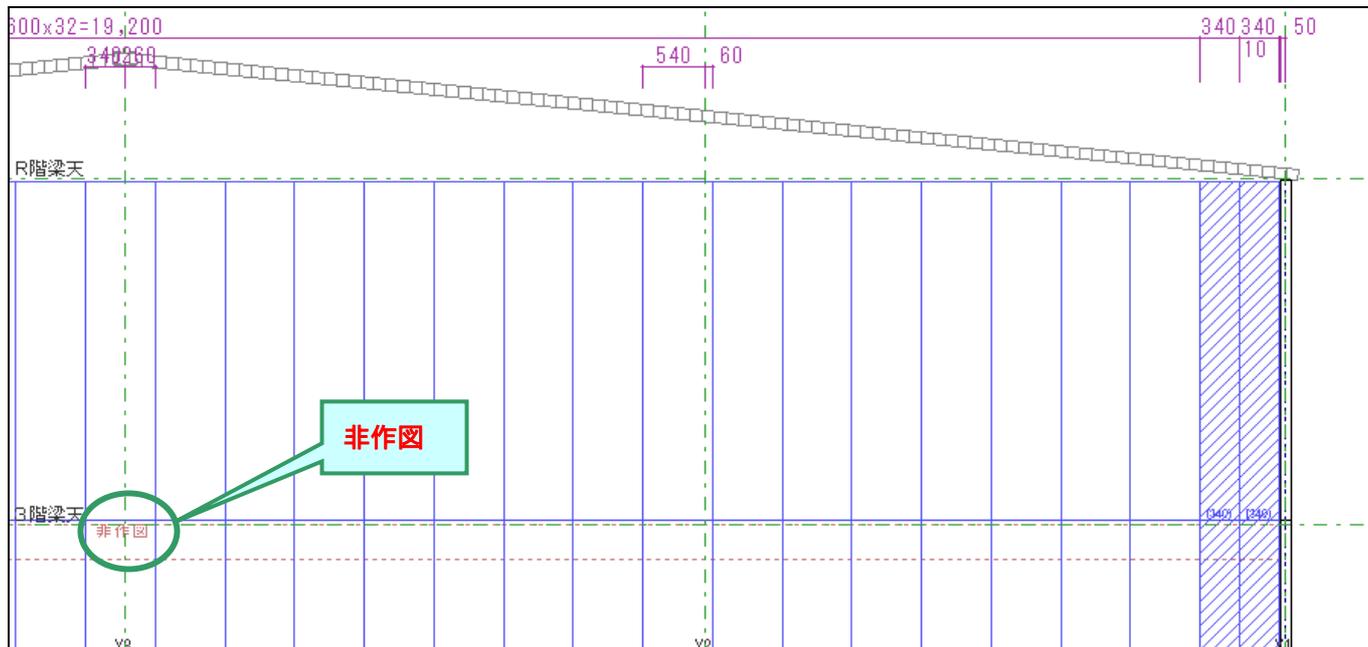
### 床断面の高さと上下クリア寸法の追加

立面パネル高さ寸法にて、床断面があればその高さと上下クリア寸法を作成します。



### 立面柱・梁個別表示 ON/OFF 機能追加

立面より立面入力 > 躯体 > 柱・梁表示 ON/OFF を選択し、表示 ON/OFF を切り替える柱・梁を指定します。OFF に指定された柱・梁は「非作図」と表示されます。



## 立面展開時、離れた位置にあるコーナパネルの隠蔽処理

平面の同一通り芯上に、2つの壁があり別々の立面として展開すると他方の面のコーナパネルも表示されますが、初期値設定の[平面 立面]内にある[離れた位置にあるコーナを隠蔽処理する](赤囲い部分)を設定することで表示の状態を変更できます。

**Bb 物件別動作、初期値設定**

構造 | 平面 | **平面→立面** | 立面 | 床 | レイアウト・作図 | 集計・発注 | DXF

立面名称初期値

基準線あり

基準線なし

面記号(外)  開始番号

面記号(間)  開始番号

作図なし基準線の名称を使用する

平面→立面時に検索する角度

通り芯(立面に直交が0°)  °

斜め壁の場合も上記の条件のみ

壁属性の自動更新  
この場合、立面で壁属性・厚み等を変更できません。

平面基準線→立面補助線の変換設定

	平面	立面
仮芯	なし	点線
平面作図芯	表示	点線
平立作図芯	作図	一点鎖線
平立寸法作図芯	作図&寸法	一点鎖線

平面→立面時に検索する距離

柱~壁	<input type="text" value="500"/>	mm
梁(横)~壁	<input type="text" value="500"/>	mm
梁(貫通)~壁	<input type="text" value="0"/>	mm
コーナ~壁	<input type="text" value="200"/>	mm
小口~壁(自動)	<input type="text" value="50"/>	mm
小口芯~壁	<input type="text" value="200"/>	mm
通り芯~立面	<input type="text" value="200"/>	mm
(立面では仮芯になります)		
床~壁	<input type="text" value="50"/>	mm
RC小口~壁	<input type="text" value="50"/>	mm

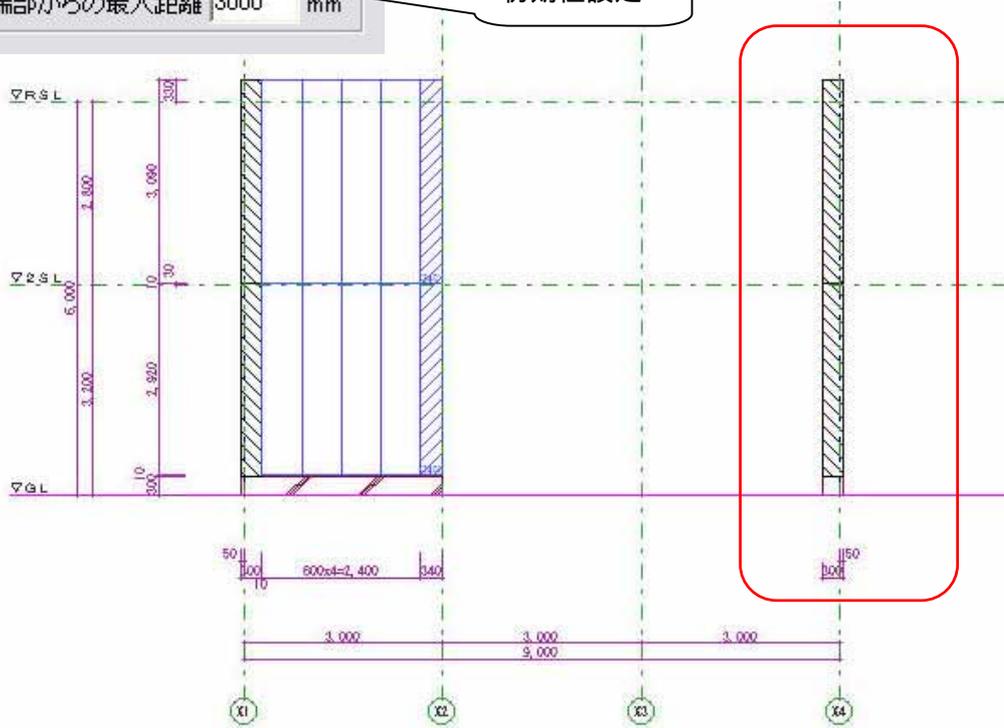
離れた位置にあるコーナを隠蔽処理する  
パネル端部からの最大距離  mm

環境名称  初期マスターに登録...

立面

離れた位置にあるコーナーを隠蔽処理する  
パネル端部からの最大距離 3000 mm

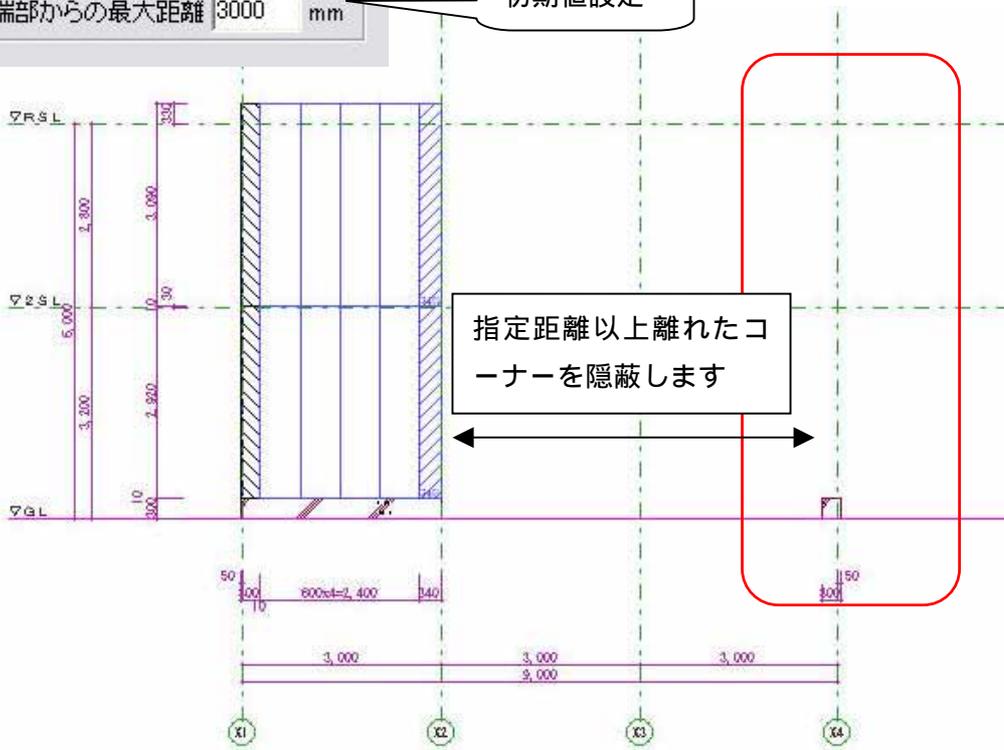
初期値設定



離れた位置にあるコーナーを隠蔽処理する  
パネル端部からの最大距離 3000 mm

初期値設定

指定距離以上離れたコ  
ーナーを隠蔽します



## 立面の梁断面自動切り欠き処理（残パネル処理）の動作設定

梁断面を自動切り欠きで切り欠いた場合に、細いパネルが残らないように自動調整する機能の動作を変更します。

（設定を ON にすれば残パネルが指定幅以下になればその分も切り欠きます）

**Bb 物件別動作、初期値設定**

構造 | 平面 | 平面→立面 | 立面 | 床 | レイアウト・作図 | 集計・発注 | DXF

パネル

縦割付 割付 左から右 基準幅 600 mm 縦目地 0 mm 横目地 10 mm 最小幅 300 mm

横割付 割付 下から上 基準幅 600 mm 縦目地 10 mm 横目地 0 mm 最小幅 300 mm

外壁 間仕切

SLより 30 mm パラペット 330 mm 基礎～パネル下端 10 mm

開口

パネル左より 0 mm 高さ基準 上端 下端 FLより 2500 mm SLからFLまで 0 mm

サックリア

上 0 mm 左 0 mm 下 0 mm 右 0 mm

パネル補助線切り欠き時の設定

基準長さが長いパネルから 1 段づつ同じ長さにする

小口パネルを作成 斜め小口表現 外面

開口補強線種(表示) L型 点線 U型 点線 フラットバー 点線

RC壁斜線 本数 3 本 ピッチ 50 mm 間隔 1000 mm

梁-パネル間クリア 上 20 mm 左 20 mm 下 20 mm 右 20 mm

ベランダ開口補強位置 開口内 開口外

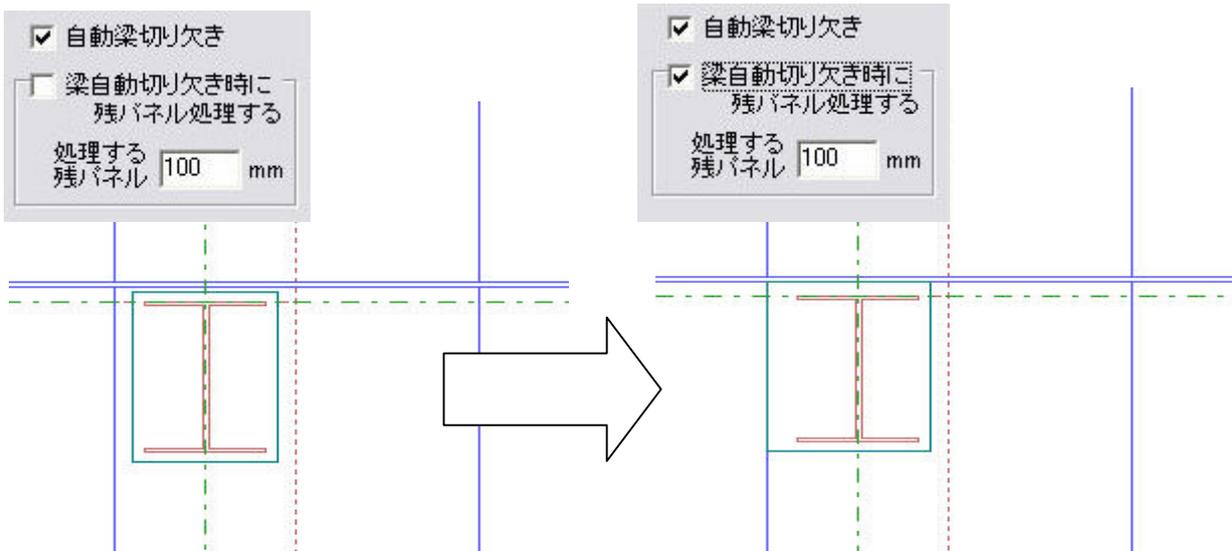
自動梁切り欠き

梁自動切り欠き時に残パネル処理する

処理する残パネル 100 mm

環境名称 Bb 初期マスターに登録... OK キャンセル

立面（自動梁切り欠きを実行した場合）



## 立面パネル割付時の補足

パネル縦割付（範囲）は指定パネルの範囲を再度割り付ける機能です。

指定したパネルの外周が割り付けエリアになります。

The diagram shows a wall section with vertical panels. A red hatched area indicates the selected panel for vertical division. The dialog box '縦割り<外壁>' (Vertical Division <Exterior Wall>) is open, showing the following settings:

- 割付方法: 左から右
- 端部パネル左: 0 mm
- 基本パネル幅: 600 mm
- 端部パネル右: 0 mm
- 縦目地: 0 mm
- 横目地: 10 mm
- SLより: 30 mm
- GLより: 300 mm
- パラペット: 330 mm
- 最小幅以下のパネルを処理
- 床がある場合、よける
- 基礎or床より: 10 mm
- SLを有効にする

Buttons: OK, キャンセル

A red box highlights the 'GLより' and 'パラペット' fields in the dialog box. A callout box on the right contains the text: 指定しても割付範囲は変わりません（無効）

### 割付範囲内に SL がある場合

“SL を有効にする” にチェックが入っていないと、SL でパネルは分割されません。

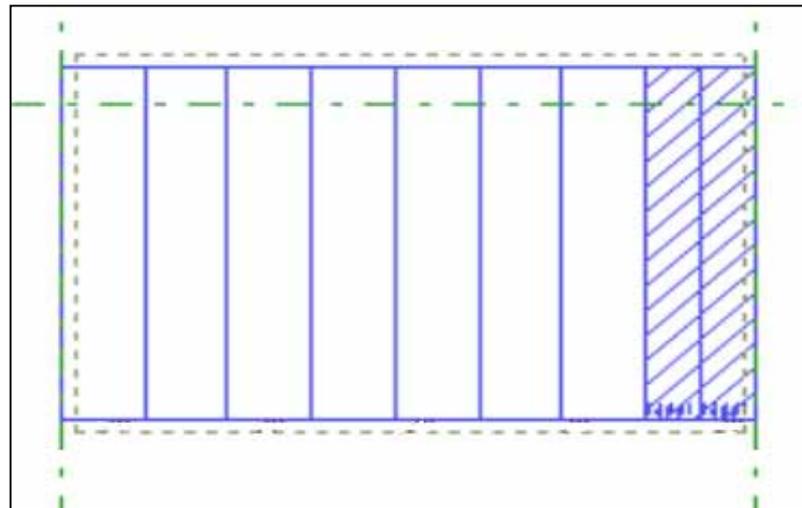
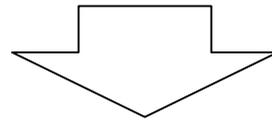
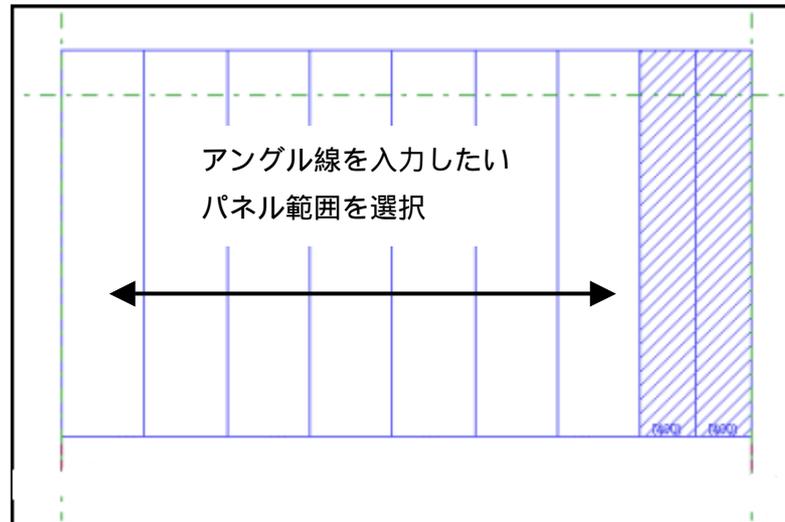
（1枚のパネルになります）

“SL を有効にする” にチェックが入っていると、“SL より” の位置に目地を作成しパネルを分割します。

割付範囲内に SL がない場合は、“SL を有効にする” は無効です。

## 壁パネルアングル線入力

壁パネルアングル線入力は、選択されたパネルの範囲内に自動でアングル線補助線)を入力する機能です。



(注) 入力されたアングル線は、補助線扱いとなっていますので、不要であれば、補助線と同様の処理で削除することができます。

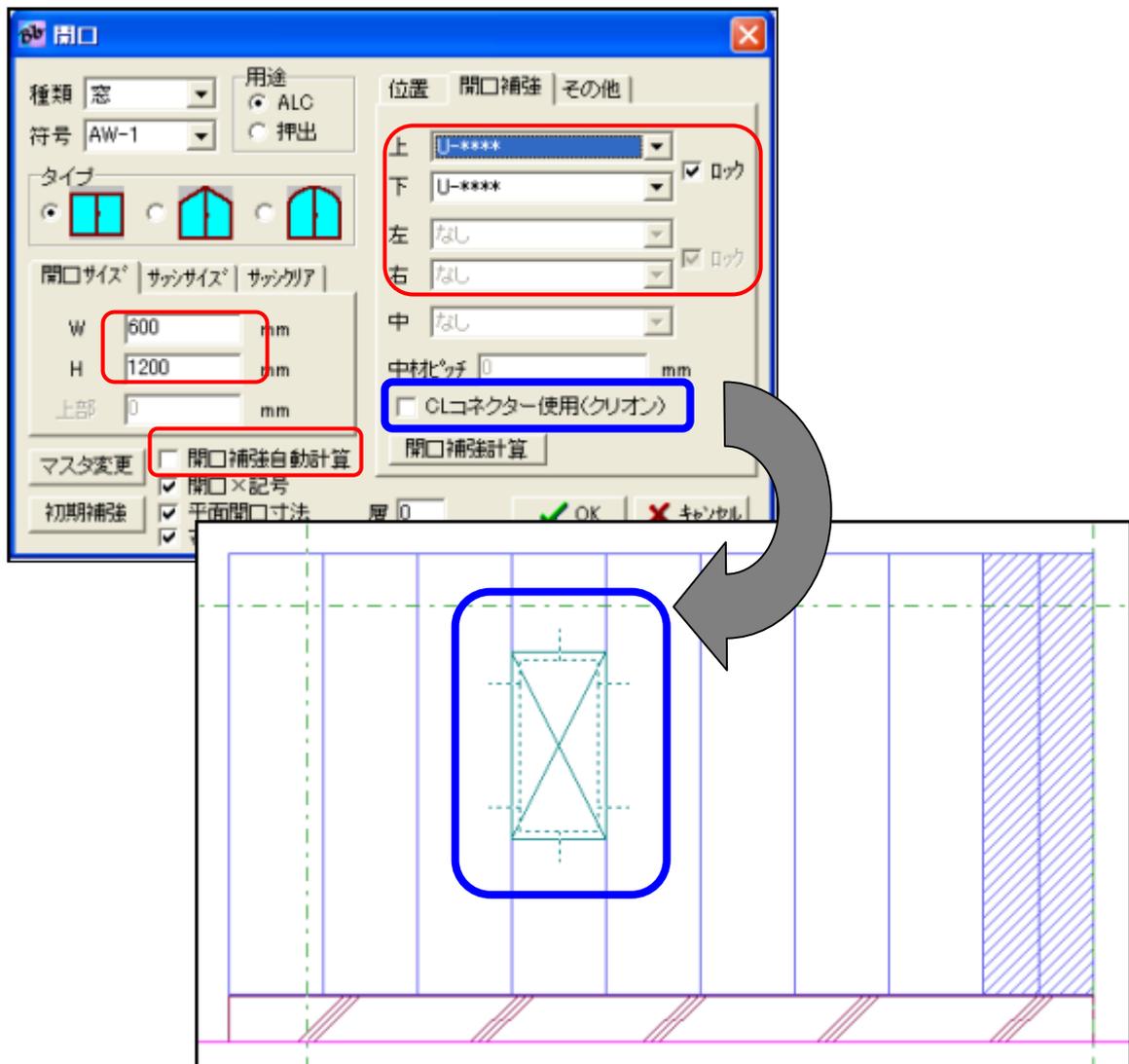
## クリオン開口補強 CL コネクター表示

クリオン開口補強 CL コネクターを作図します。

CL コネクターの表示追加には、下記の条件があります。

- ・ 開口周りのパネルが縦割りである。
- ・ 開口補強自動計算をしない。
- ・ 開口補強にて上下のパネルが U 型である  
開口 W が 600 mm 以下  
開口上下パネル H が 1500 mm 以下
- ・ 開口補強にて上下左右のパネルが L 型である。  
開口上下パネル H が 1500 mm 以下

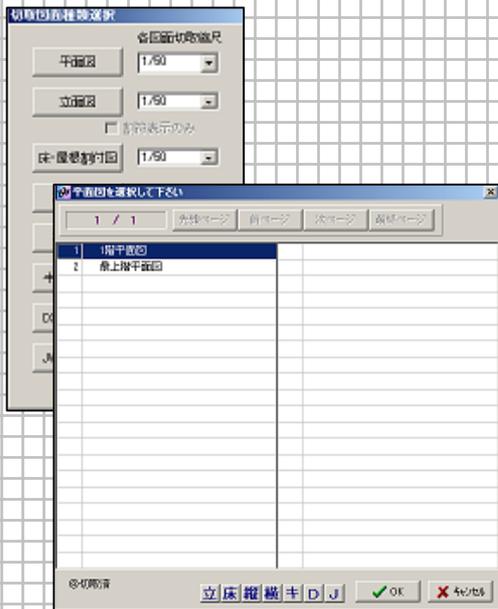
以上の条件をみたと、開口補強設定画面の下にある、CL コネクターのチェックが押せるようになります。



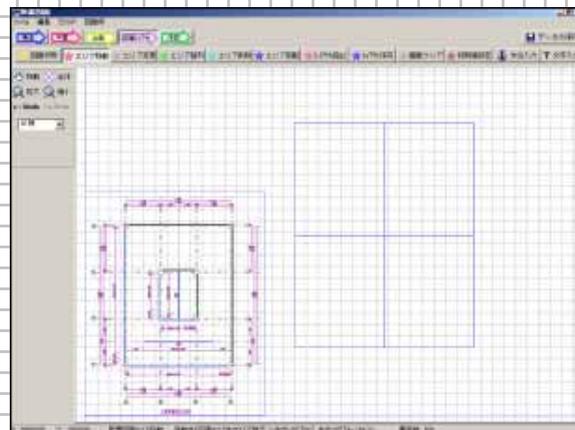
# 第4章 レイアウト

## 4 - 1 レイアウト基本概要について

### 図面読出

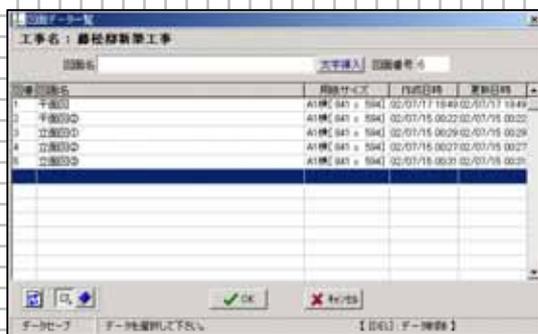


### 図面切取

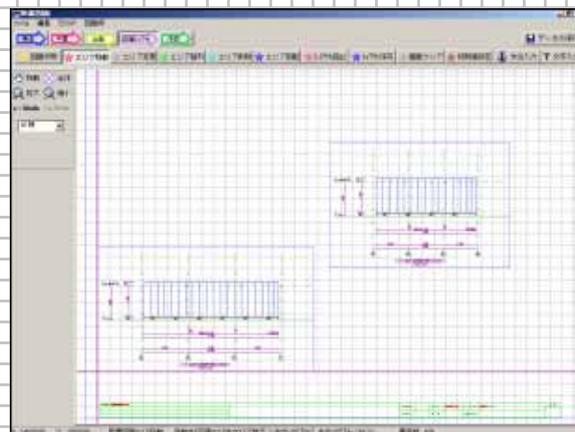


図面を繰り返し配置

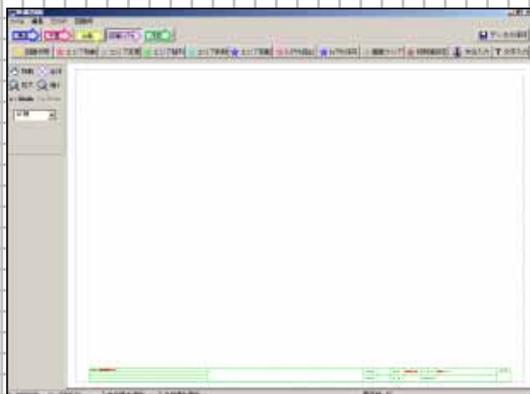
### 図面登録



### 図面配置



### 画面クリア



の作業に戻る

または

レイアウト作業を終了

## レイアウト機能について

- 4 - 2  図面切取  
図面(平面図・立面図・床・屋根割付図・断面・キープランなど)入力したデータ  
を作図するために図面切取(全部・一部)をします。
- 4 - 3  エリア移動  
切取済のデータを作図用紙に配置する時に用紙内で個々のエリアを移動しま  
す。
- 4 - 4  エリア変更  
エリアの大きさを変更します。
- 4 - 5  エリア整列  
複数のエリアの基準を決め整列させる。
- 4 - 6  エリア削除  
用紙内のエリアを単体で削除します。
- 4 - 7  エリア回転  
切り取った図面を回転したい時に使用します。
- 4 - 8  レイアウト読出  
既に登録した図面のデータを読み出します。
- 4 - 9  レイアウト保存  
まだ保存していない図面または変更した図面を登録します。
- 4 - 10  画面クリア  
登録した後、画面をクリアしたい時、確認をした図面をすべて消したい時に  
使用します。
- 4 - 11  初期値設定  
初期値マスターを変更する時に使用します。
- 4 - 12  方位入力  
方位記号を一つのエリアとして、配置します。
- 4 - 13  T 文字入力  
コメントを一つのエリアとして、配置します。

 データの保存

メインメニューにある保存ボタンと同じで、現在編集集中の物件データを保存  
します。

# 第4章 レイアウト

## 4 - 2 図面切取について 切取を行なう各図面を選択します。

### 自動切取

切取を行なう各図面を選択して下さい。  
一覧よりを選択します。

**切取図面種類選択**

各図面切取縮尺

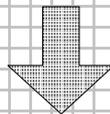
平面図	1/50
立面図	1/50
<input type="checkbox"/> 割符表示のみ	
床・屋根割付図	1/50
縦断面図	1/50
横断面図	1/50
キープラン図	1/200
DXFデータ読込	1/50
JWCデータ読込	1/50

キャンセル

各図面の縮尺を設定します。  
縮尺登録は初期値にて  
設定を行います。

DXForJWCデータをすでに貼り付けて  
いるときのみ使用します。  
立面図のデータから割符番号のみ  
を抽出して切取ります。

DXF・JWCデータを  
レイアウトに貼り付ける  
事ができます。



**平面図を選択して下さい**

1 / 1 先頭ページ 前ページ 次ページ 最終ページ

1	◎ 1階平面図
2	最上階平面図

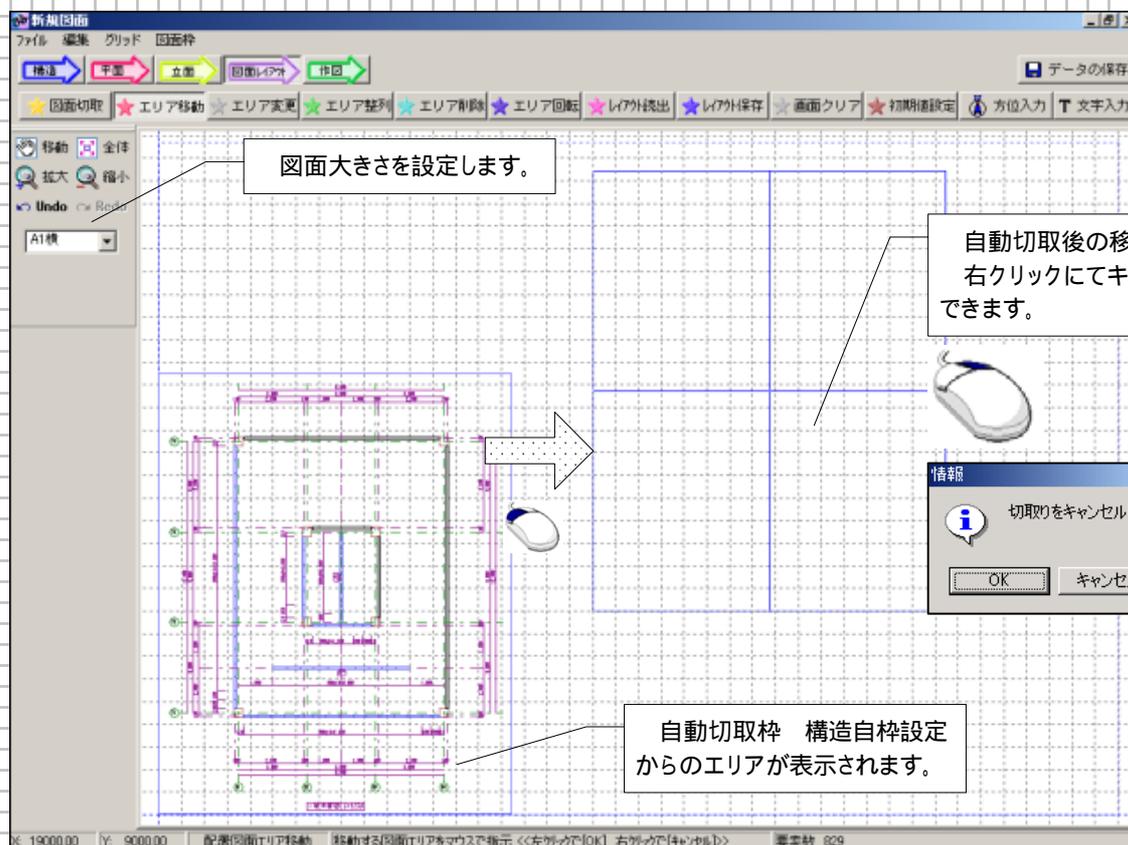
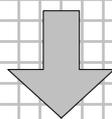
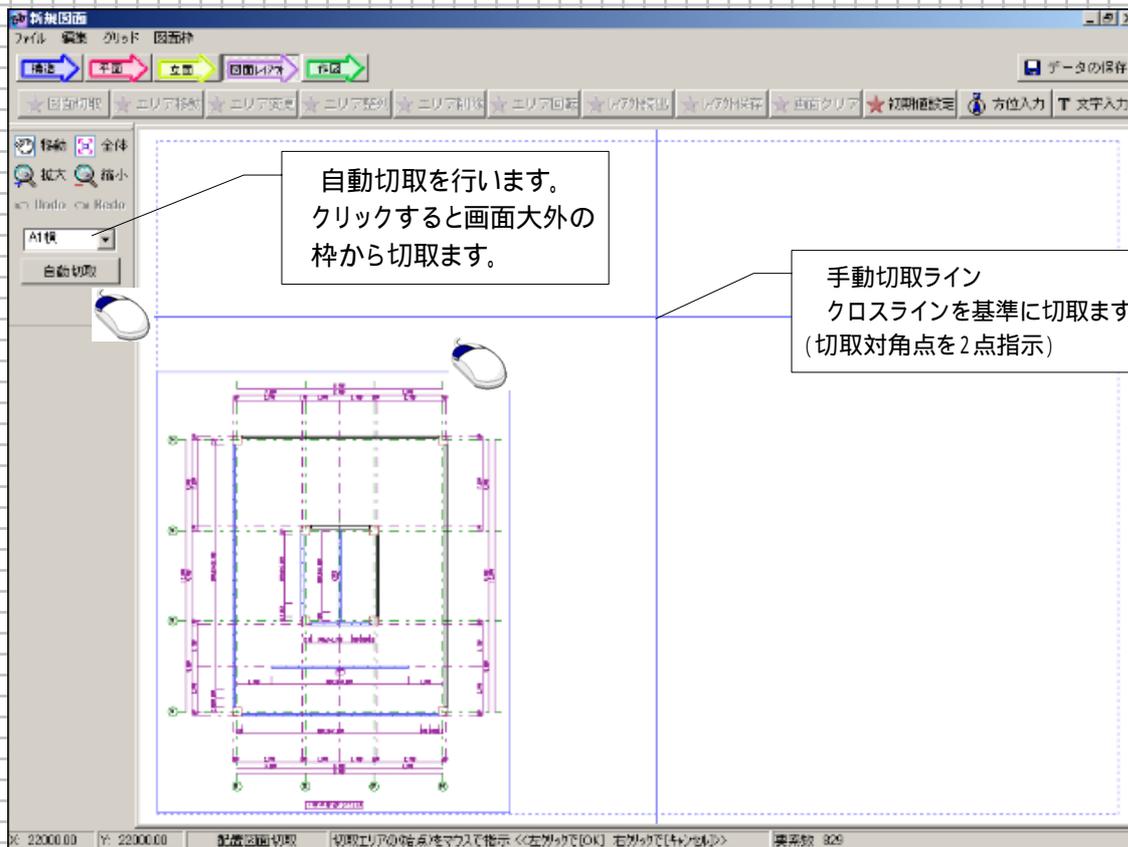
切取図面を選択しOKを押します。

切取済の場合は が付きます。

切取図面種類を切り替えます。

◎切取済 立床縦横キDJ OK キャンセル

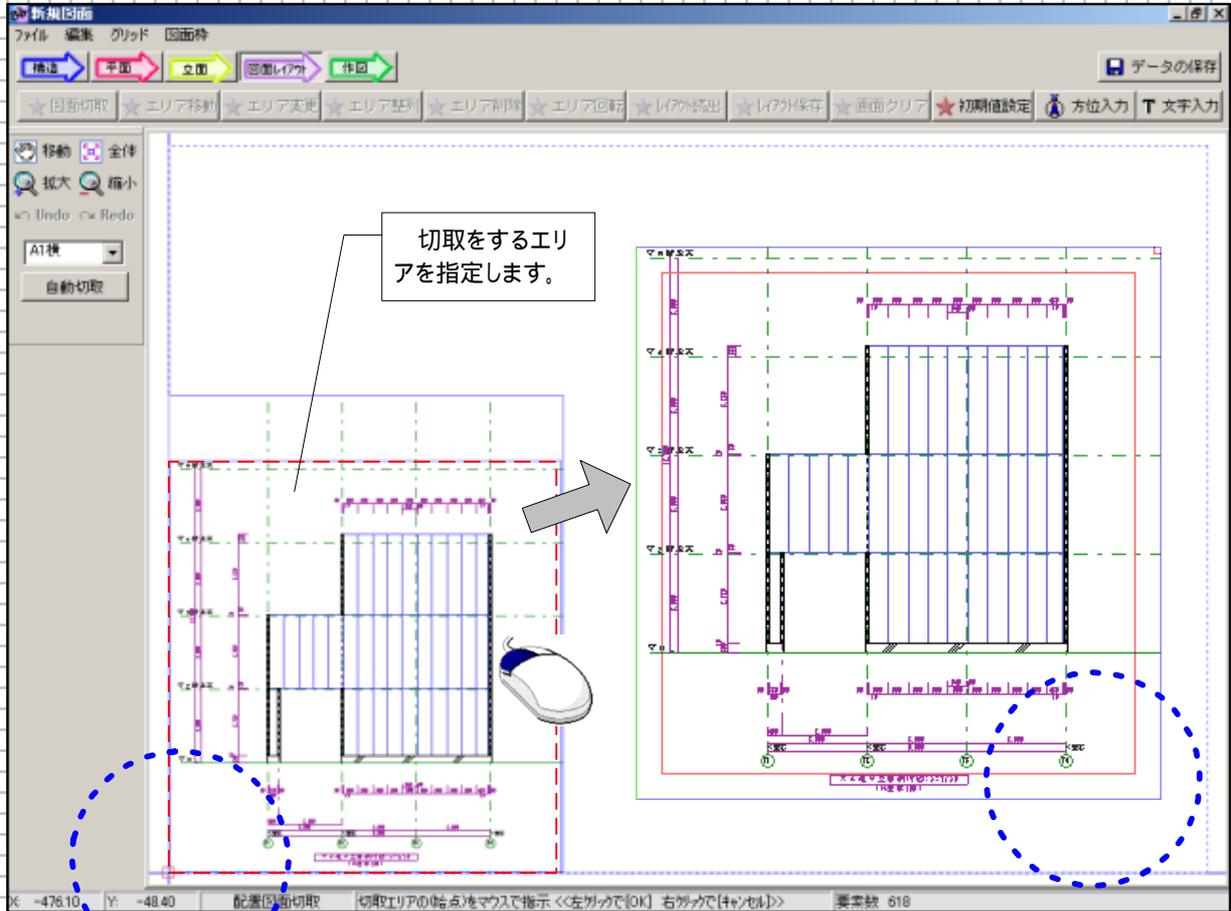
# 第4章 レイアウト



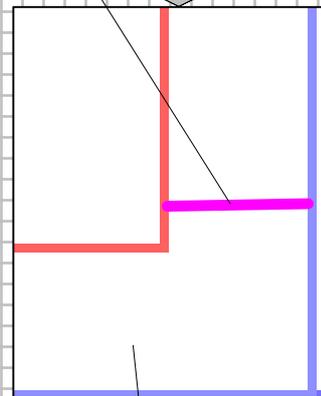
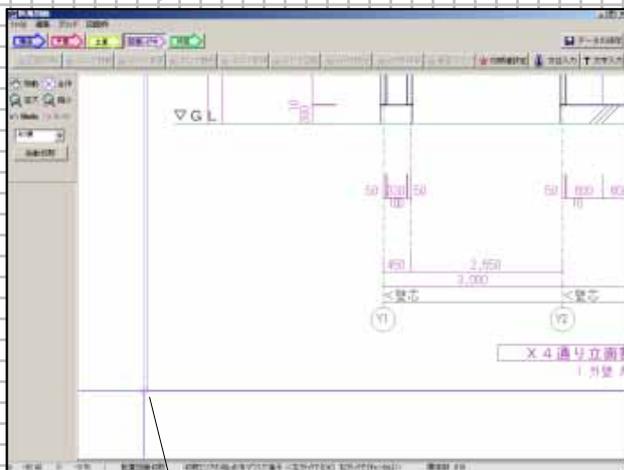
# 第4章 レイアウト

## 手動切取

任意の位置に切取エリアを指定します。

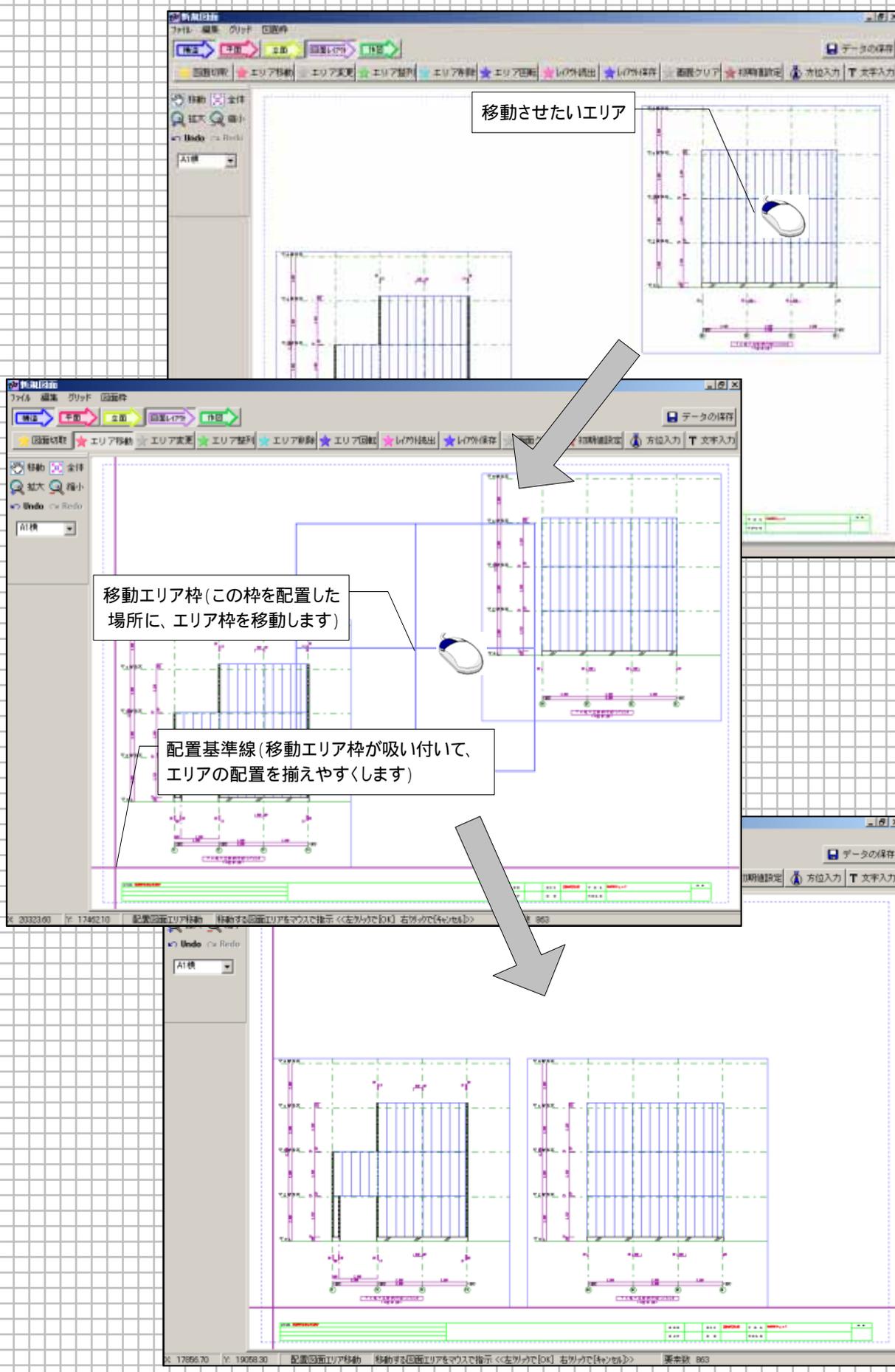


構造エリアの表示  
— されるエリア



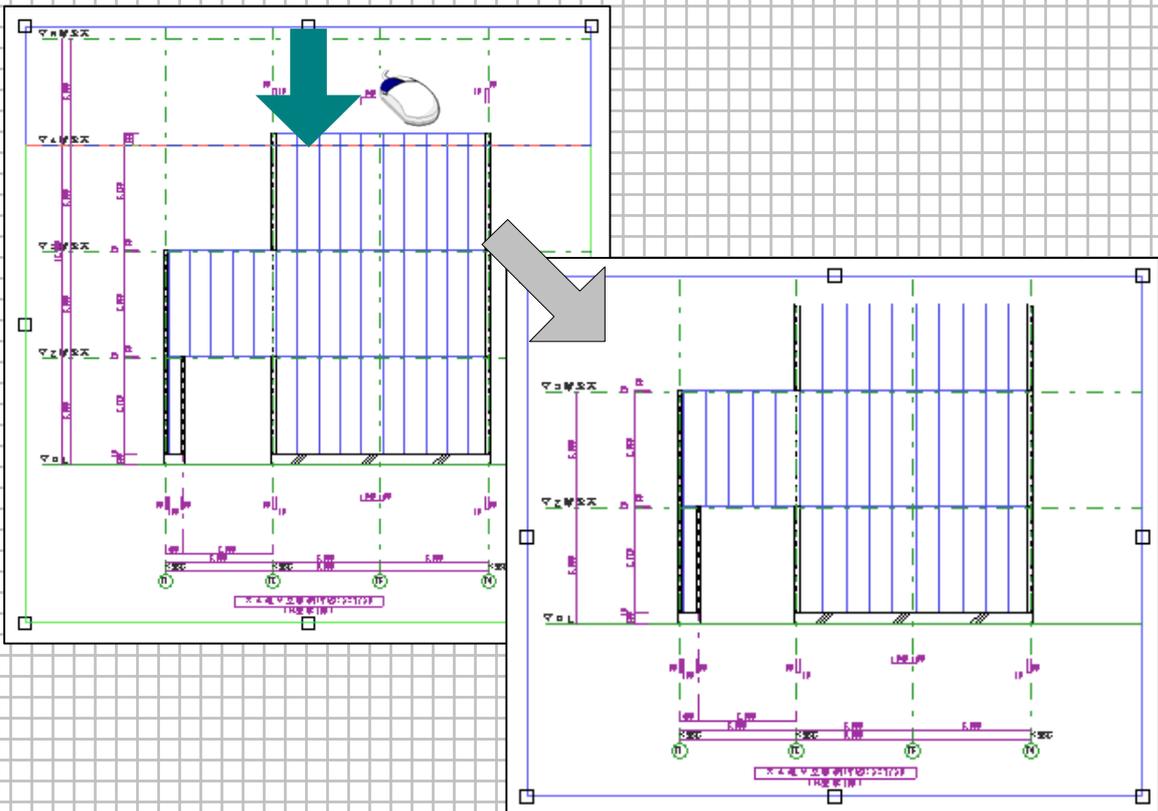
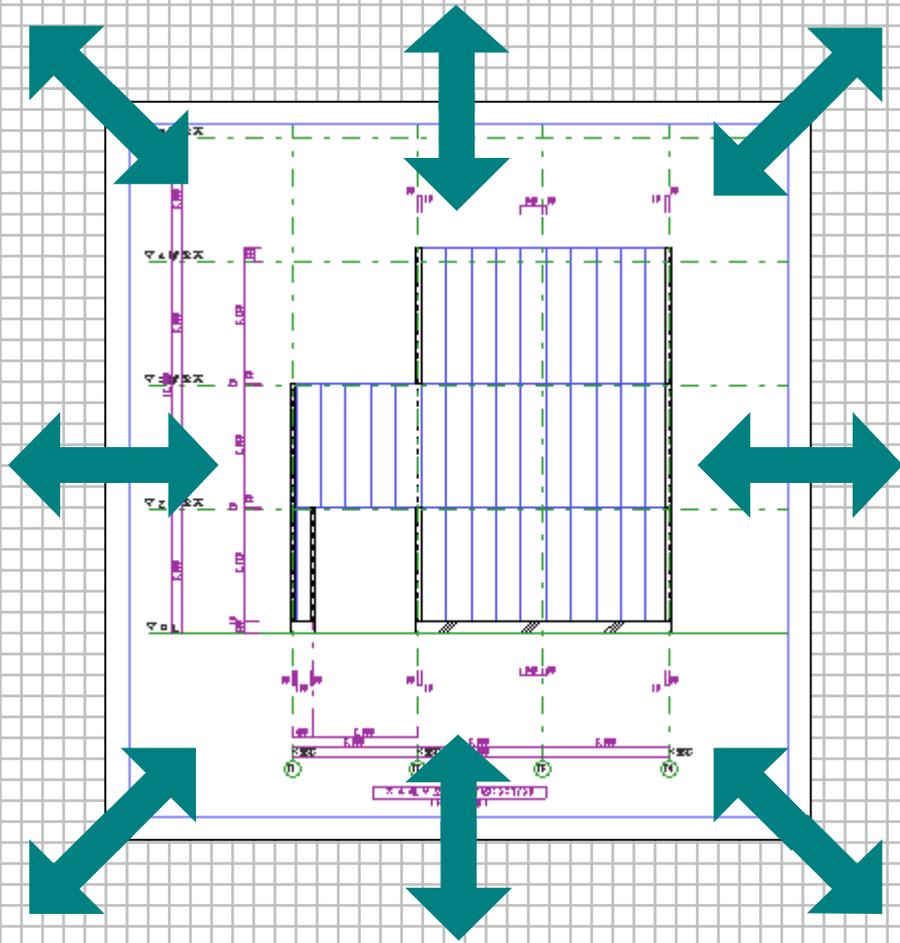
# 第4章 レイアウト

## 4-3 エリア移動について 各図面エリアの移動を行います。



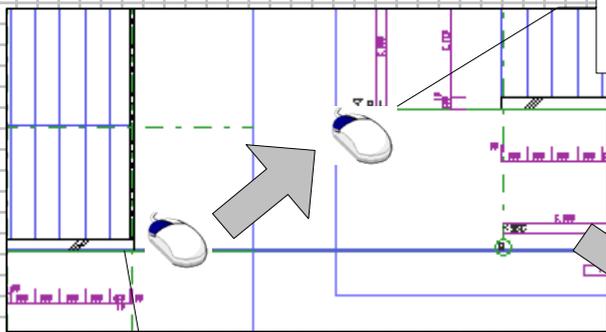
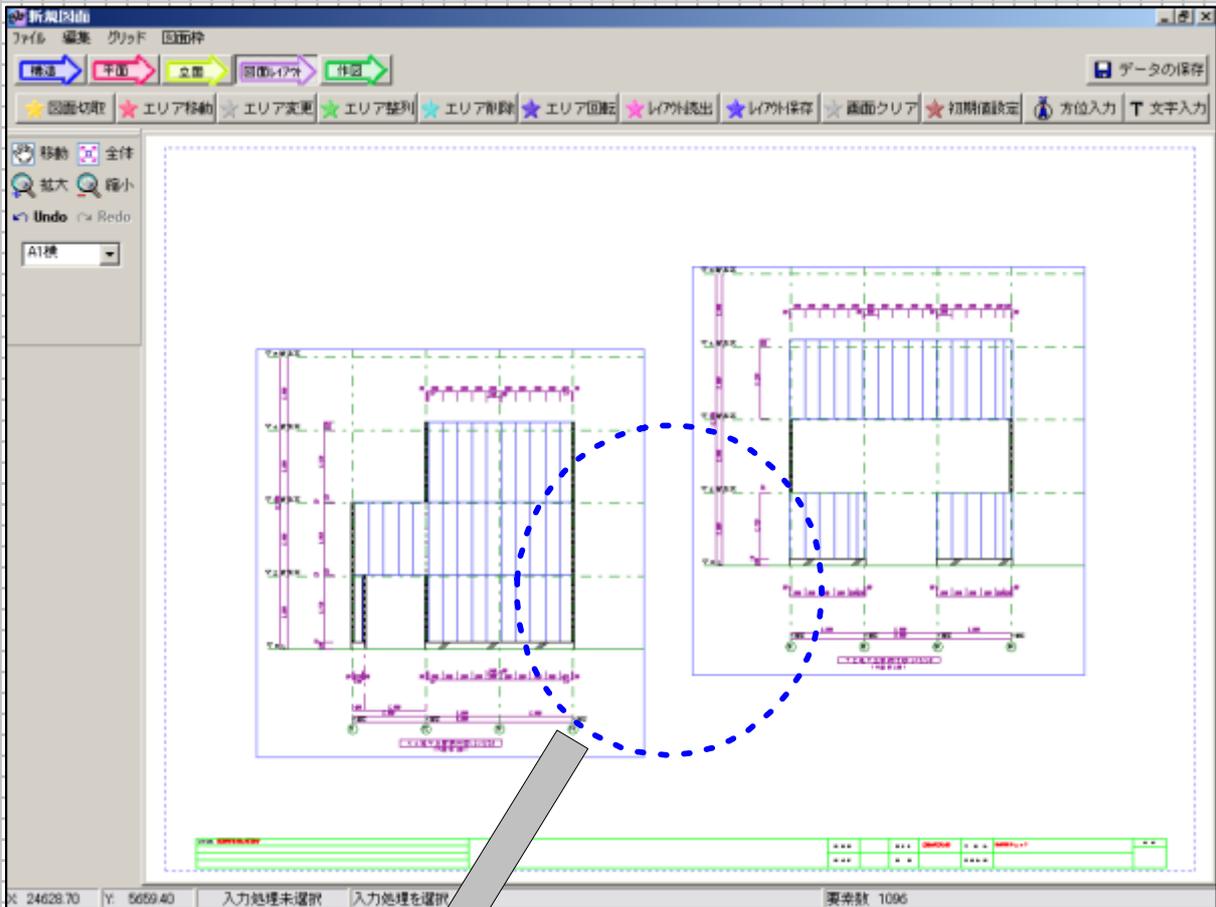
# 第4章 レイアウト

4 - 4 エリア変更について 各図面エリア枠の大きさの伸縮を行います。



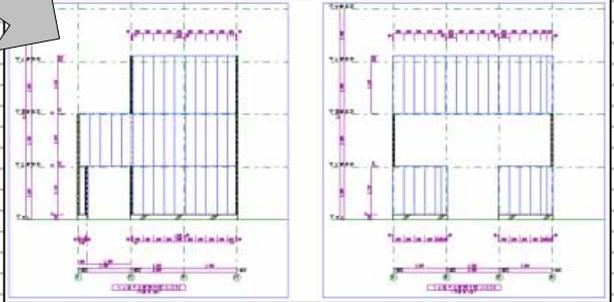
# 第4章 レイアウト

## 4-5 エリア整列について 各図面エリアの整列を行います。



2ライン目  
基準と整列を行なうラインをクリックします。

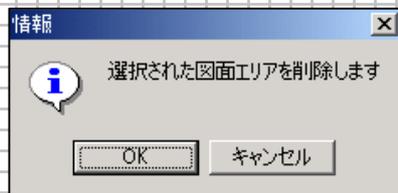
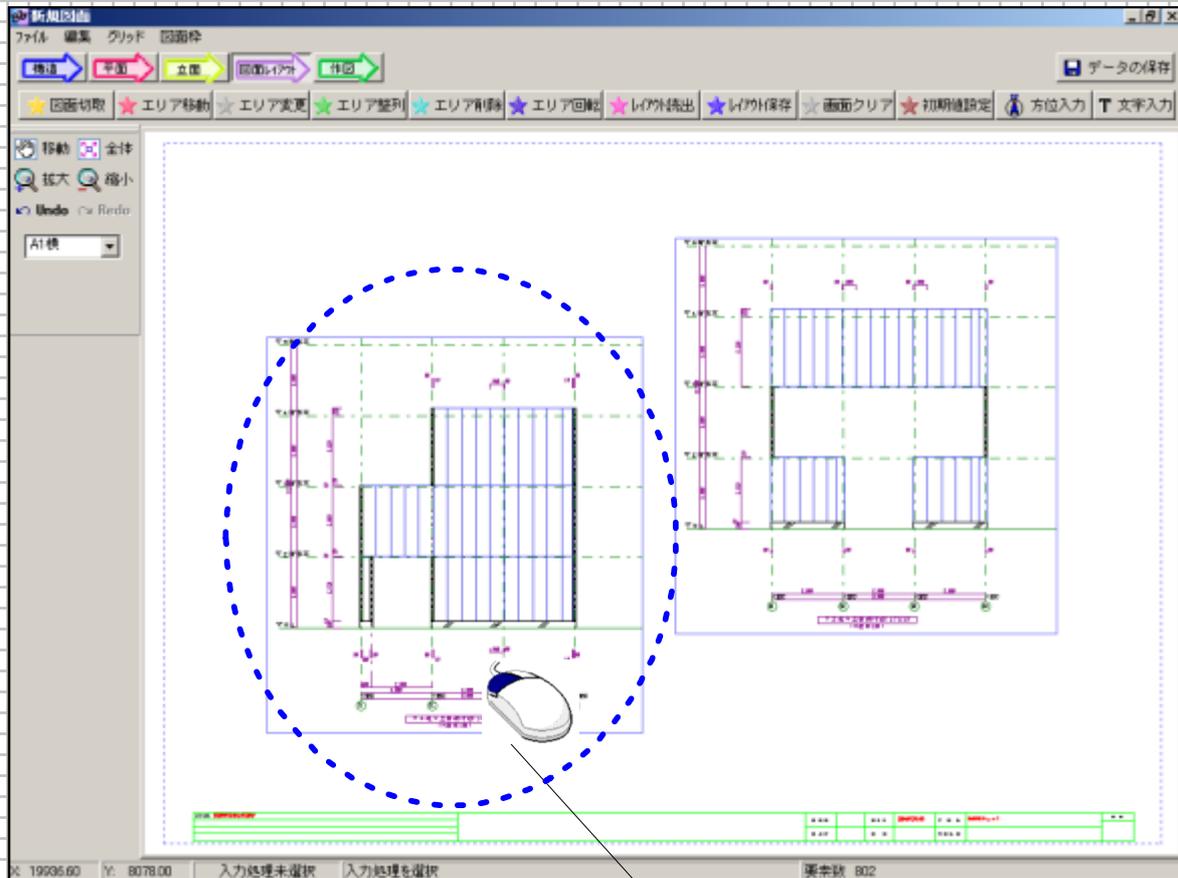
1ライン目  
基準となるラインをクリックします。



整列を行うラインは縦・横の通り芯・階高線をクリックできます。

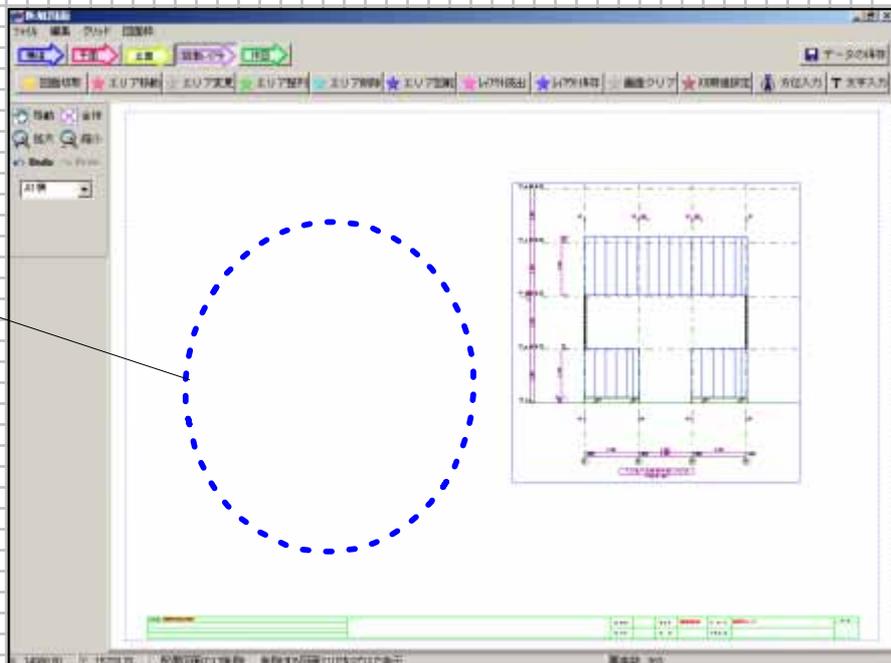
# 第4章 レイアウト

## 4 - 6 エリア削除について 各図面エリアを削除します



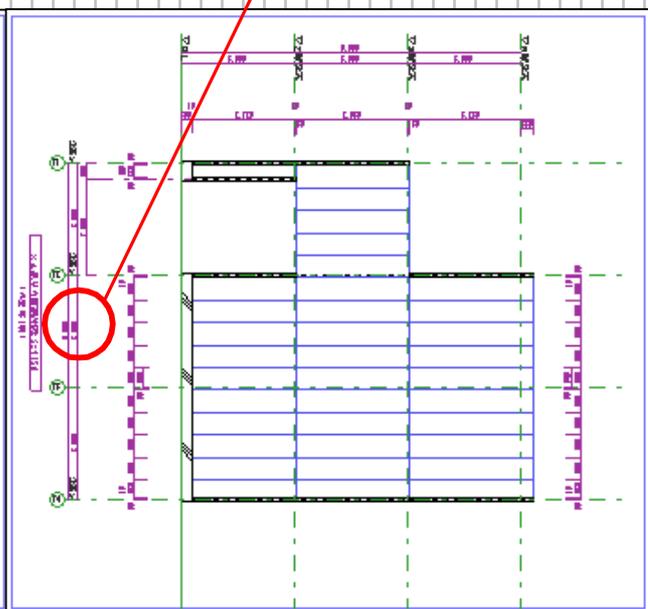
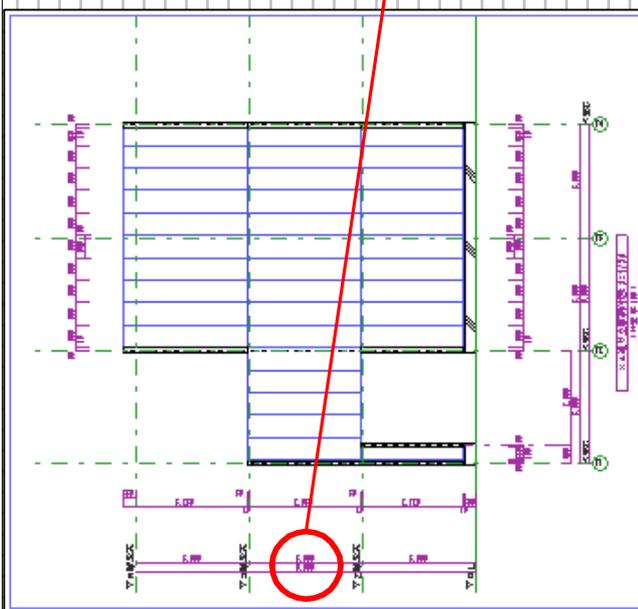
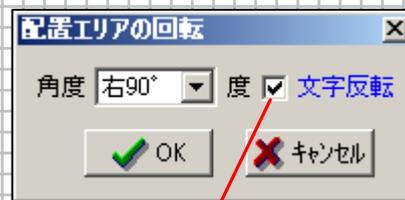
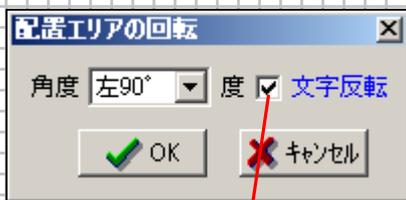
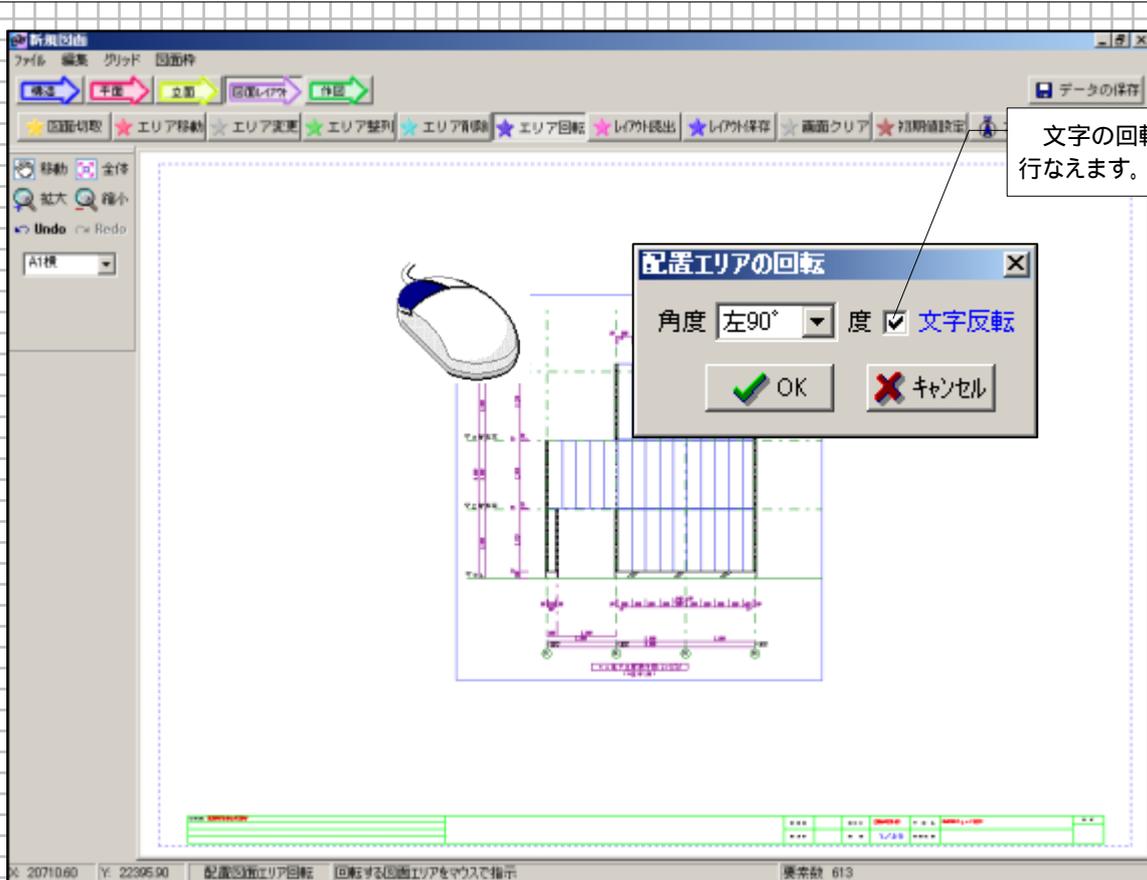
削除を行なうエリアをクリックします。

削除されます



# 第4章 レイアウト

## 4 - 7 エリア回転について 各図面エリアを回転します。



# 第4章 レイアウト

## 4 - 8 レイアウト読出について 配置を行なった各図面エリアを呼び出します。

最新情報に更新します。

選択モード切替

登録図面を削除します。

図面名変更

登録図面の名称を変更します。  
任意の名称に変更可

図番	図面名	用紙サイズ	作成日時	更新日時
1	平面図	A1横[ 841 x 59...	02/07/17 1...	02/07/17 1...
2	平面図②	A1横[ 841 x 59...	02/07/15 0...	02/07/15 0...
3	立面図①	A1横[ 841 x 59...	02/07/15 0...	02/07/15 0...
4	立面図②	A1横[ 841 x 59...	02/07/15 0...	02/07/15 0...
5	立面図③	A1横[ 841 x 59...	02/07/15 0...	02/07/15 0...

データ読み込み    データを選択して下さい。    【 [DEL] : データ削除 】

## 4 - 9 レイアウト保存について 配置を行なった各図面エリアを保存します。

登録する図面名称を入力します。

登録図面NOが表示されます。  
任意でNO入力可能

図面名

文字挿入    図面番号 6

文字挿入にて  
文字マスターより  
選択できます  
初期値参照

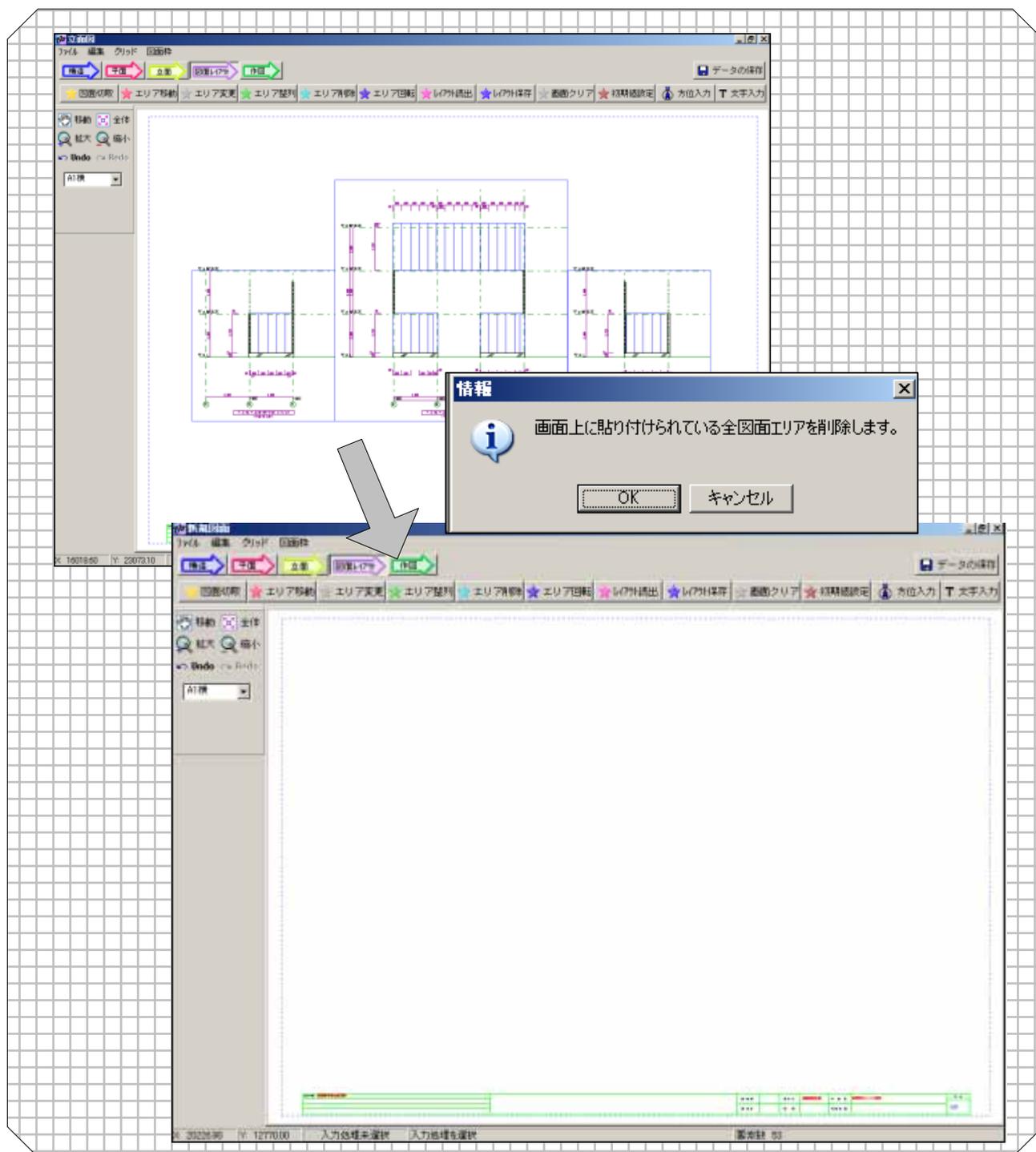
登録データを削除します。

図番	図面名	用紙サイズ	作成日時	更新日時
1	平面図	A1横[ 841 x 594]	02/07/17 18:49	02/07/17 18:49
2	平面図②	A1横[ 841 x 594]	02/07/15 00:22	02/07/15 00:22
3	立面図①	A1横[ 841 x 594]	02/07/15 00:29	02/07/15 00:29
4	立面図②	A1横[ 841 x 594]	02/07/15 00:27	02/07/15 00:27
5	立面図③	A1横[ 841 x 594]	02/07/15 00:31	02/07/15 00:31

データセーブ    データを選択して下さい。    【 [DEL] : データ削除 】

## 第4章 レイアウト

### 4 - 10 画面クリアについて 配置を行なった各図面エリアを全て削除します。

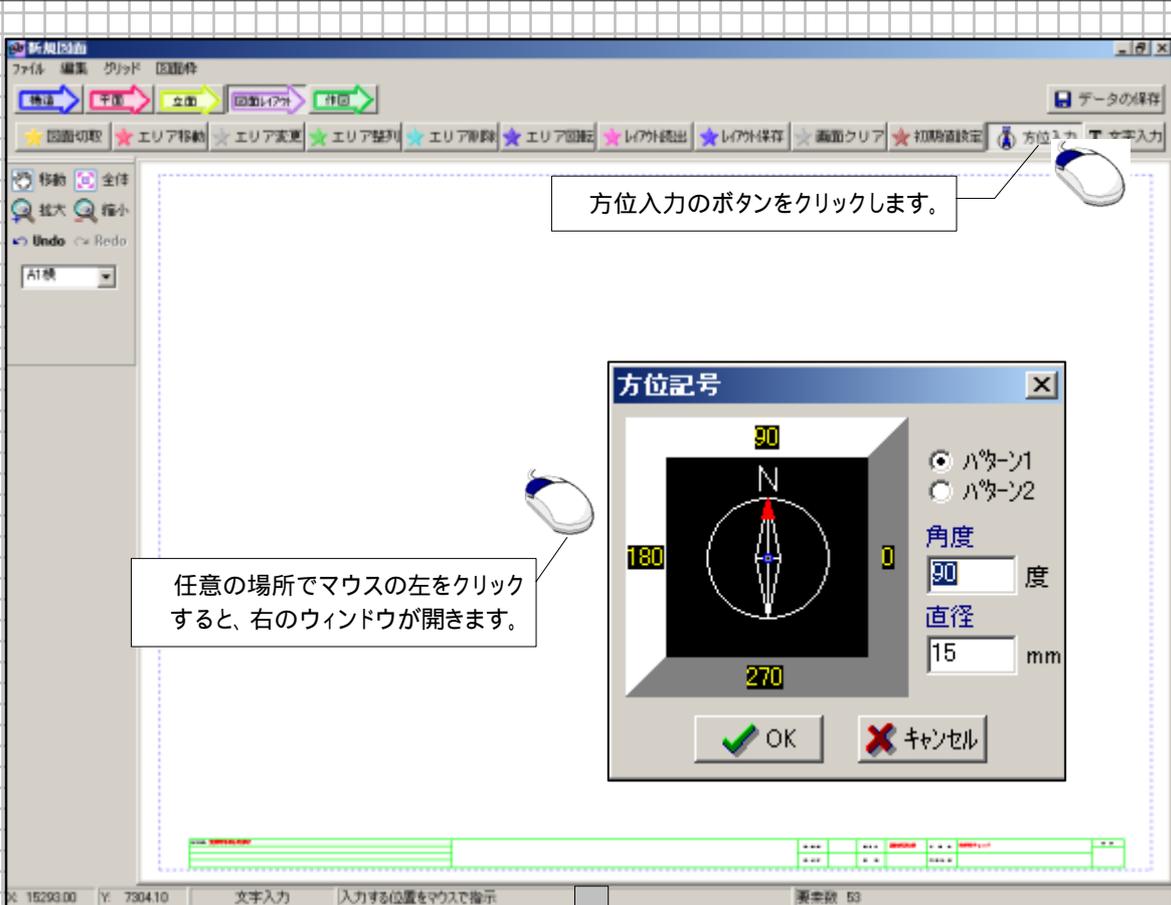


### 4 - 11 初期値設定について レイアウトに必要な初期値設定画面を表示します。

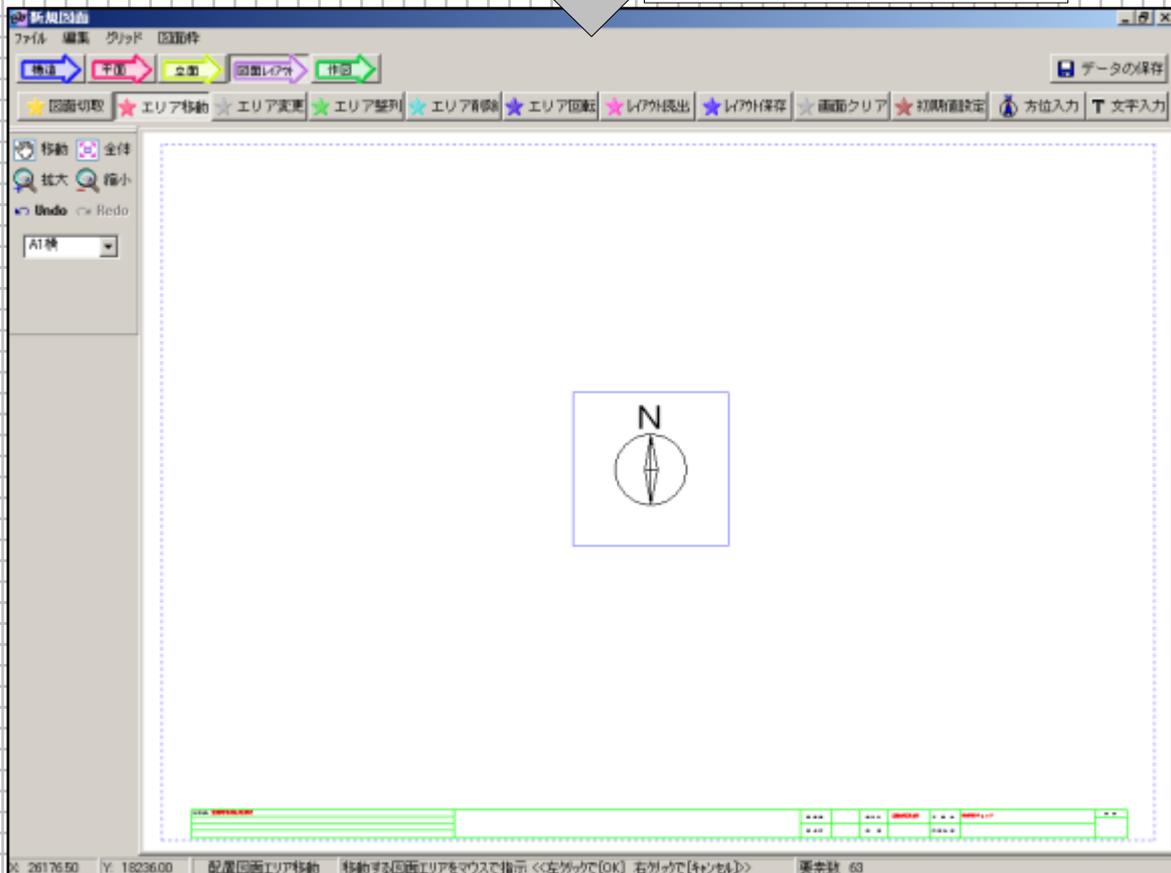
9 - 2 初期値設定のレイアウトの説明( 9 - 7)をご参照下さい。

# 第4章 レイアウト

## 4 - 12 方位入力について 方位記号を入力します。

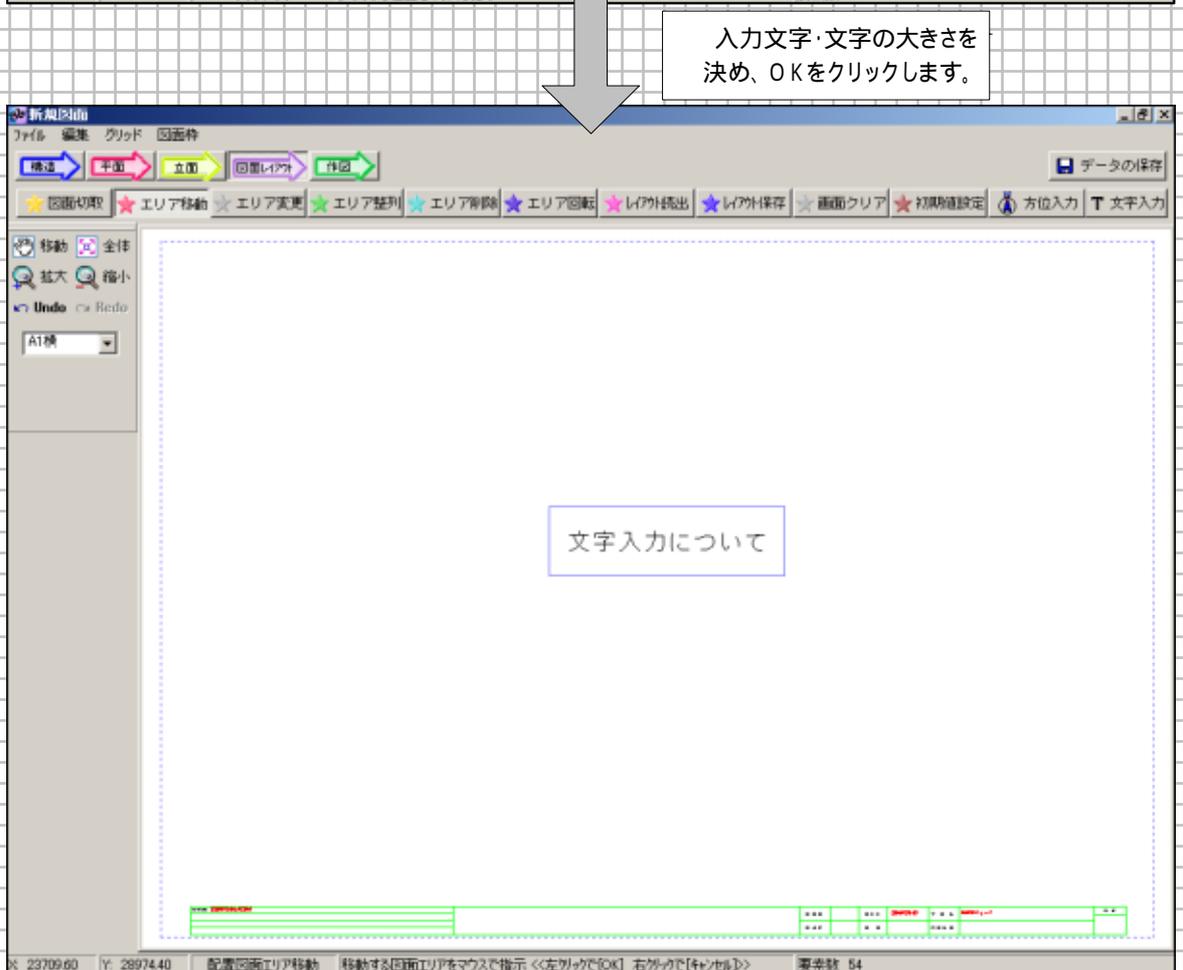


方位矢印のパターン・Nの位置・記号の直径を決め、OKをクリックします。



# 第4章 レイアウト

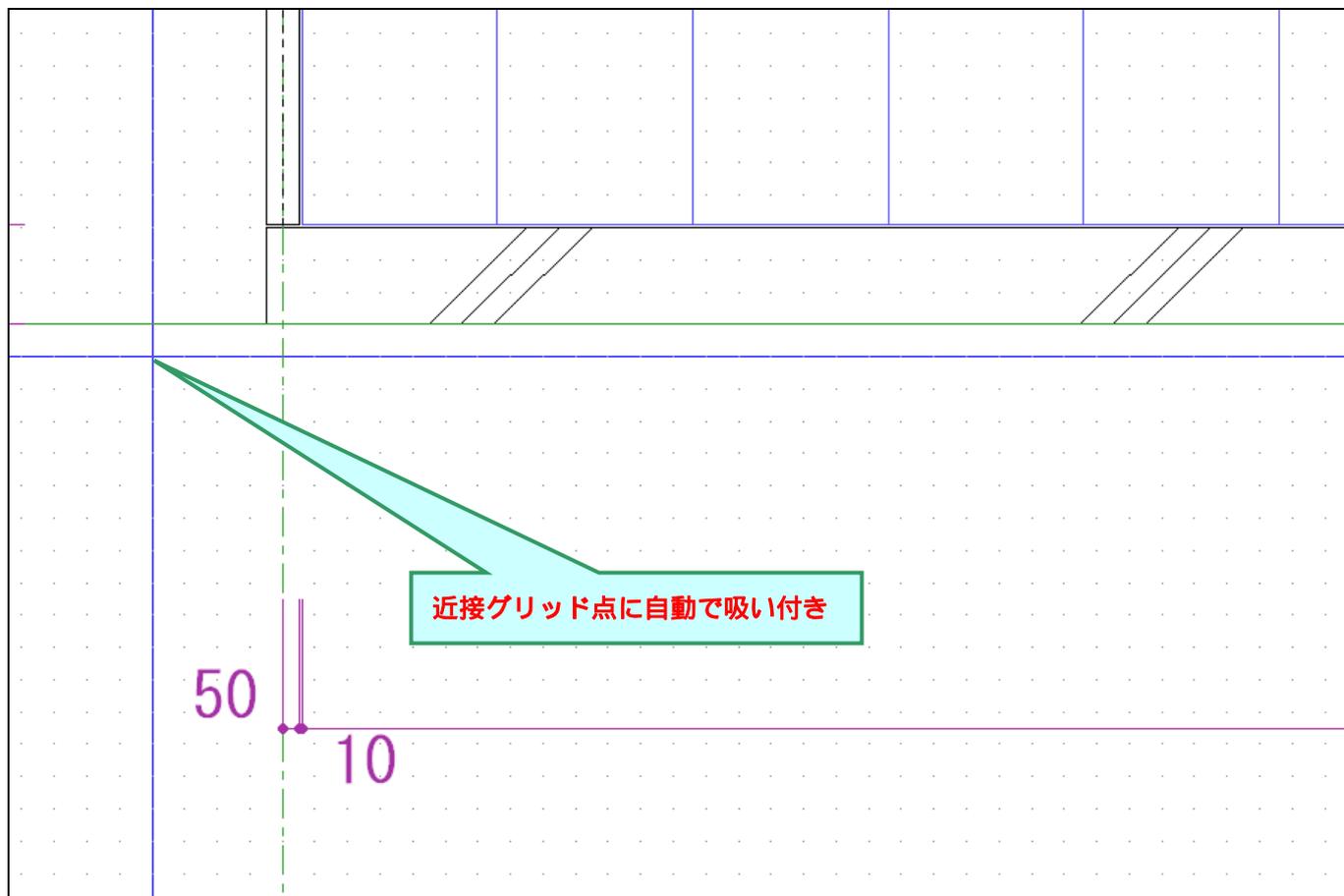
## 4 - 13 文字入力について 文字を入力します。



## 『編集 追加機能』

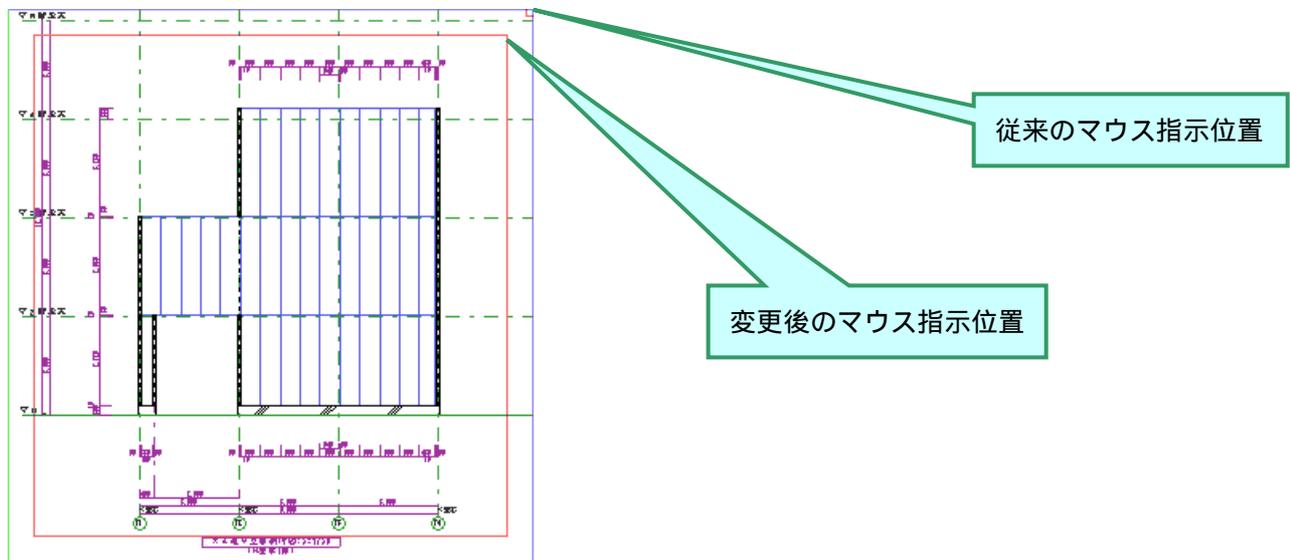
### レイアウト図面手動切取り時、近接グリッド点の検索機能

レイアウト図面手動切取り時に、近くに検索対象がない場合、パネルウィザードと同様に近接グリッド点に自動で吸い付きます。



## レイアウト図面手動切り取りエリア指定法の変更

従来レイアウト図面手動切り取り時に外枠をマウスで指示していたものを、内側を指定するよう変更しました。レイアウト図面手動切り取り時、エリア外枠を決めるのではなく、構造の内側を指示し確定後にエリア外枠が決まるように変更しました。



# 第5章 作図

## 5 - 1 作図機能一覧

### 5 - 2 図面名変更

作図図面一覧の行を選択し、図面名変更ボタンをマウスで指示すると、工事名の変更が出来ます。

### 5 - 3 全図枠ON 全図枠OFF

すべての図面の枠を一度にON(作図)・OFF(非作図)出来ます。また個々の設定は $\text{Ⓢ}$ ダブルクリックで行えます。

### 5 - 4 全図枠文字ON 全図枠文字OFF

すべての図面の枠文字を一度にON(作図)・OFF(非作図)出来ます。また個々の設定は $\text{Ⓢ}$ ダブルクリックで行えます。

### 5 - 5 図番総数変更

図番の分母部分の数値を変更します。分子部分の数値の変更は、変更したい図面名称を $\text{Ⓢ}$ ダブルクリックで行えます。

### 5 - 6 図番並替

図番の分子部分を名称順に振り直します。

### 5 - 7 自動縮刷 印刷縮率 100

を付けることにより作図用紙に登録データのサイズをあわせます。(たとえば作図用紙(A3サイズ)に登録データサイズ(A1)を自動縮小します)  
また、数値部分で $\text{Ⓢ}$ クリックをすることにより、手動でサイズを設定することもできます。

### 5 - 8 画面表示色設定 一般表示色 ペン色 レイヤ色

を付けることにより、画面表示色設定を一時的に変更することができます。

### 5 - 9 カラー出力 線幅固定

カラー出力 カラー・モノクロどちらの設定で作図をするか決めます。  
線幅固定 線の幅を1mmに固定して作図します。

### 5 - 10 DXF

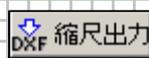
作図データの印刷機出力・DXF出力を切り替えます。

### 5 - 11 印刷機出力

作図します。(プリンター機種・用紙サイズなど設定が必要です)

### 5 - 12 DXF出力

 実寸出力 原寸大でデータをファイルにします。  
汎用cadで読む場合は縮尺サイズで読込ください。

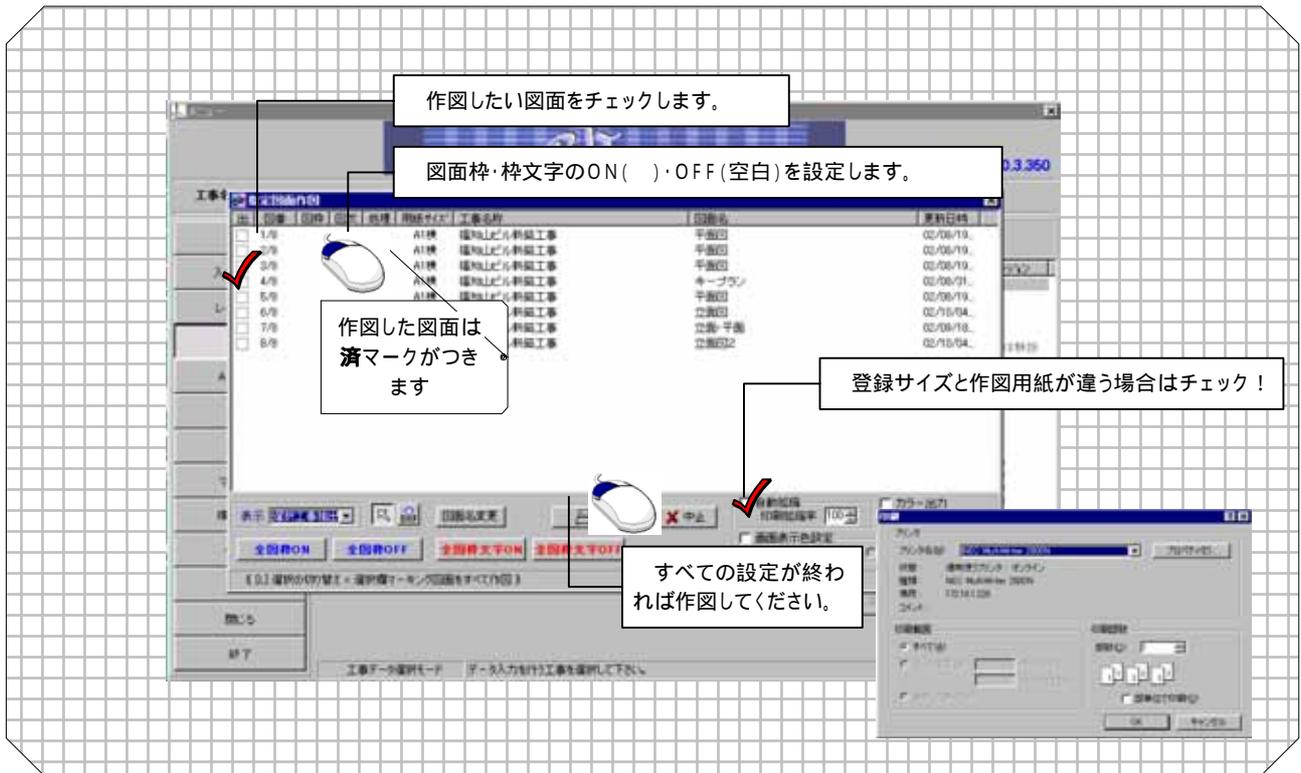
 縮尺出力 縮尺サイズでデータをファイルにします。  
汎用cadで読む場合は1/1サイズで読込ください。



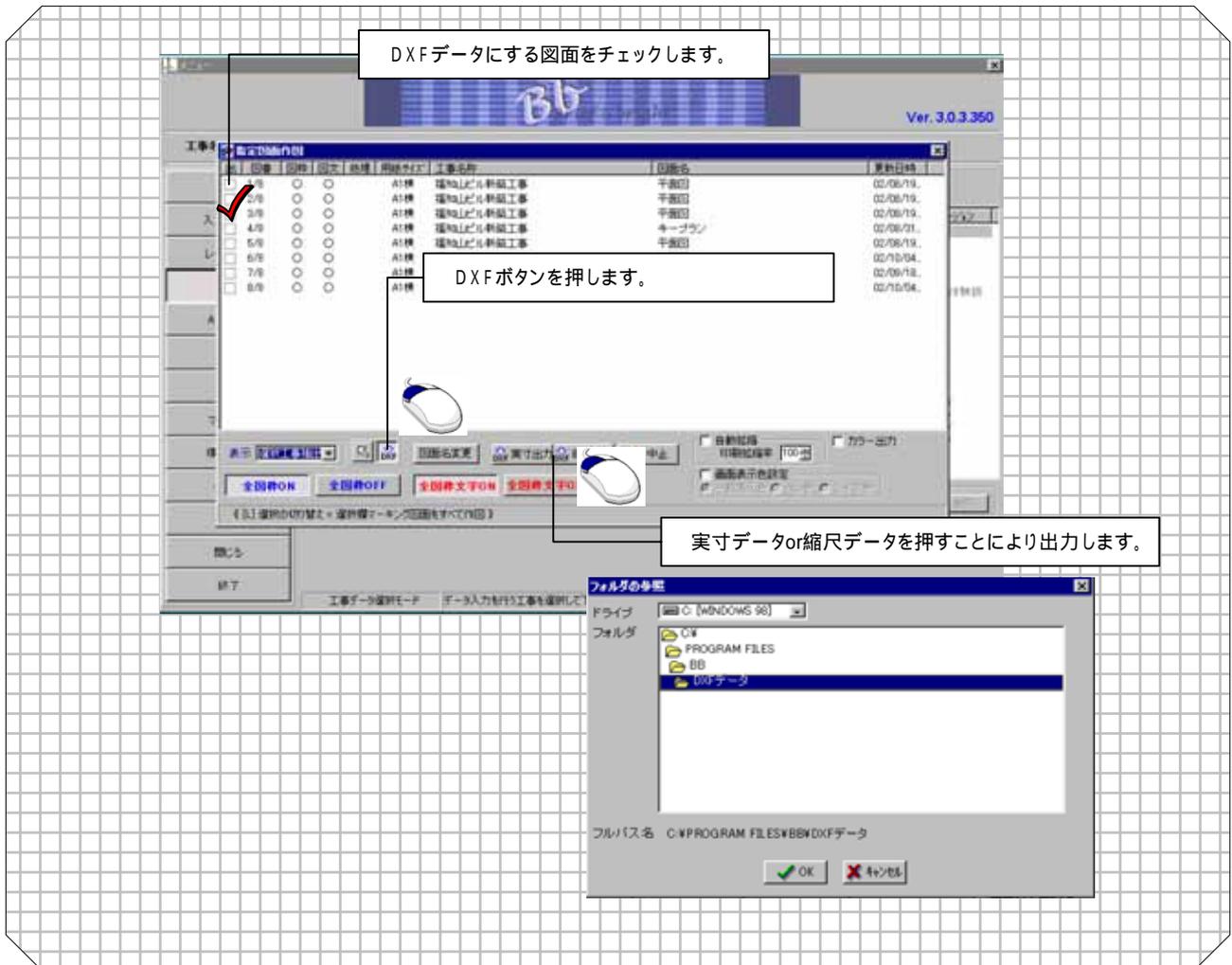
**縮尺サイズでファイルを作成する場合、小数点以下の数字を丸め誤差を生じることがあります。**

# 第5章 作図

## 5 - 2・3・4・5・6・7 作図 プリンターおよびプロッターにより図面を作図します。



## 5 - 8 DXF 作図データをDXFファイルにします。



## 『作図 追加機能』

### 重複線処理スイッチを追加

作図時、図面が大きいと（とくに床などでパネルの枚数が多いとき）重複線処理で時間がかかってしまい、作業が中断してしまう事態を回避するため、図面出力時、重複線処理をする・しないの切り替え機能を追加しました。

図面指定時に「重複線処理」チェックにより、重複線処理のする・しないの切り替えができます。

出	図番	図枠	図文	処理	用紙サイズ	工事名称	図面名	更新日時
<input checked="" type="checkbox"/>	1/2	○	○		A3横	20040524	平面図	04/06/01...
<input checked="" type="checkbox"/>	2/2	○	○		A3横	20040524	あああ	04/06/04...

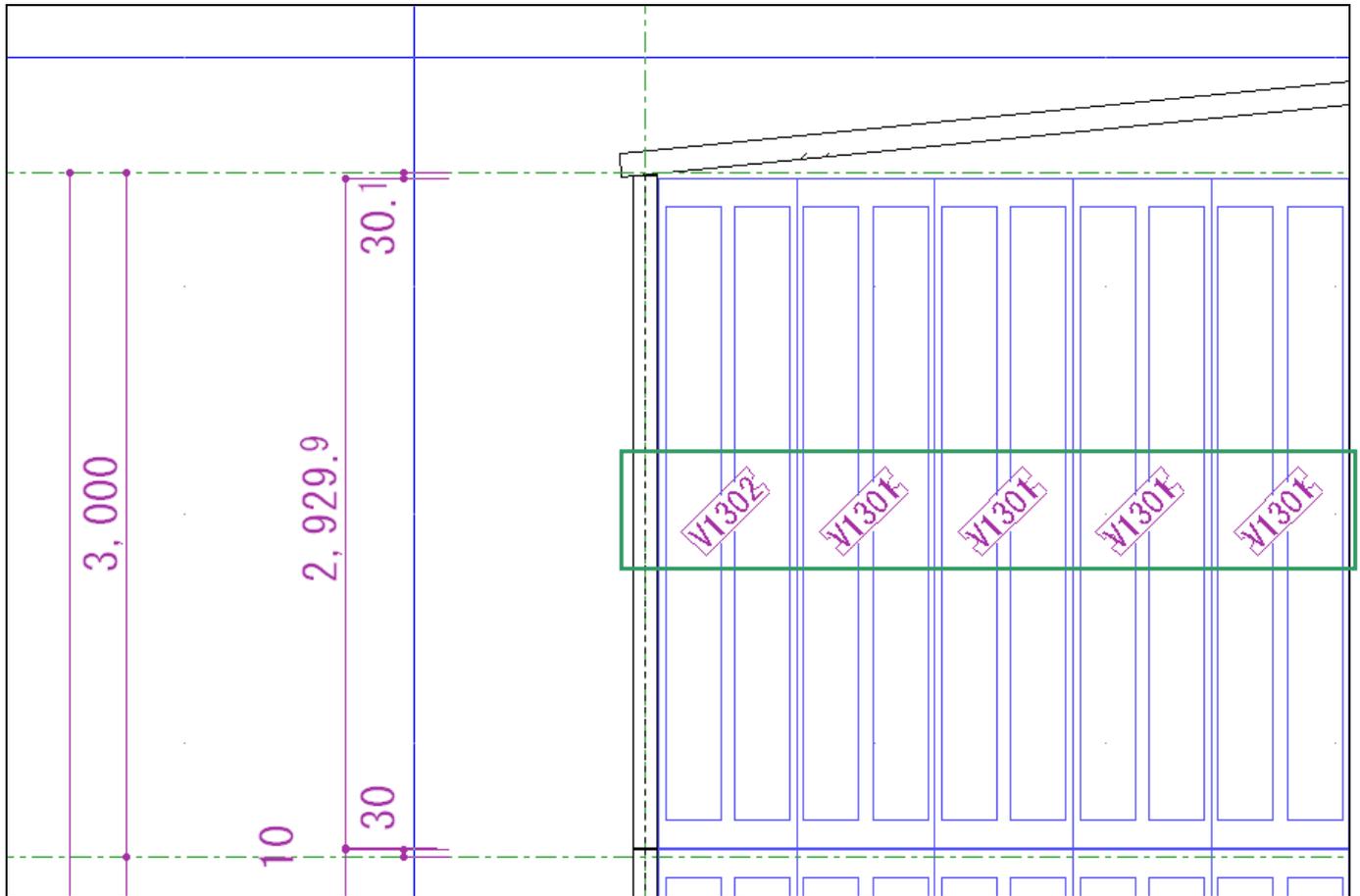
自動縮刷  
印刷縮率 100%

カラー出力  
線幅固定  
 重複線処理  
画面表示色設定  
一般表示色 ○ ペン色 ○ レイヤ色

《 [L] 選択の切り替え = 選択欄マーキング図面をすべて作図 》

### 割符番号の範囲をクリッピング（中抜き）対応

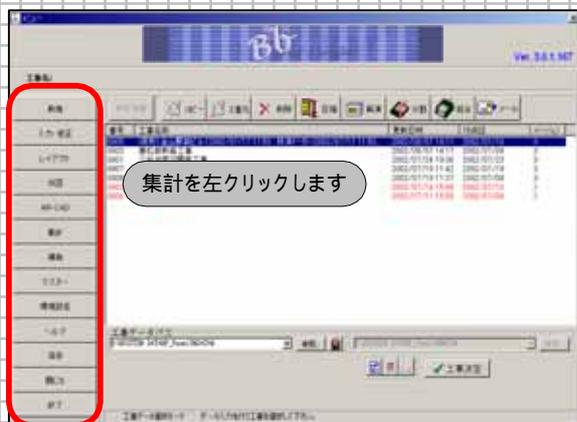
立面で割符とデザインを同時に表示するとき、デザインのパターンによって、割符番号が見えにくいことがあるため、割符番号の範囲をクリッピングするよう変更しました。



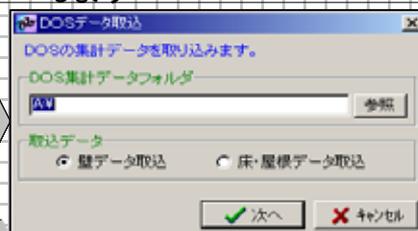
# 第6章 発注書作成

## 6 - 1 DOS読込について

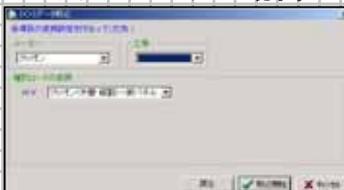
ソフトを起動後(工事未選択)「集計」を左クリックします



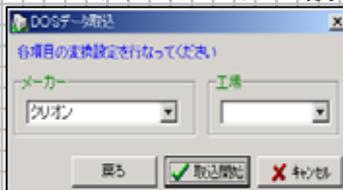
**新規データ読み取り**  
新規にデータを読み取り発注処理する  
**既存データ読み取り**  
読み取ったデータの発注処理を修正します



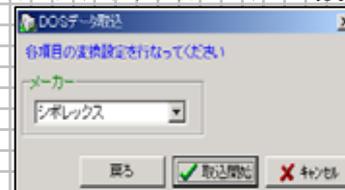
イトンデータの場合



デュロックステータの場合



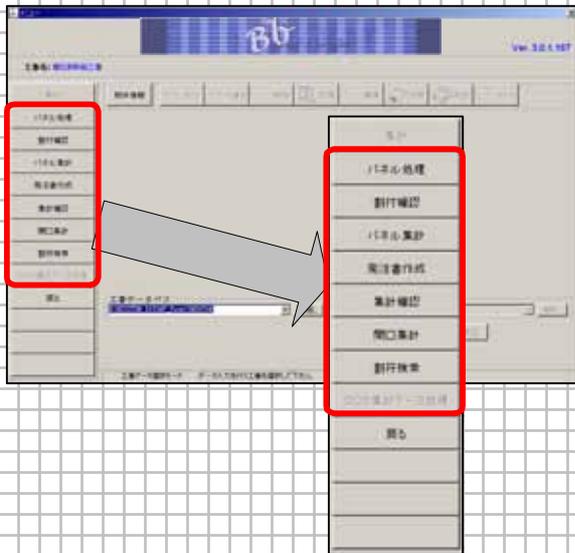
シボレックスデータの場合



パネル処理へ

# 第6章 発注書作成

## 6 - 2 画面説明について



- ① **パネル処理**  
パネル処理
- ② **割付確認**  
パネル処理した立面を確認します
- ③ **パネル集計**  
パネル処理後の情報を確認します
- ④ **発注書作成**  
発注書を作成します
- ⑤ **集計確認**  
発注状況の確認を行います
- ⑥ **開口集計**  
開口補強材の集計を行います
- ⑦ **割符検索**  
割符を検索します

## 6 - 3 画面説明(パネル処理)について



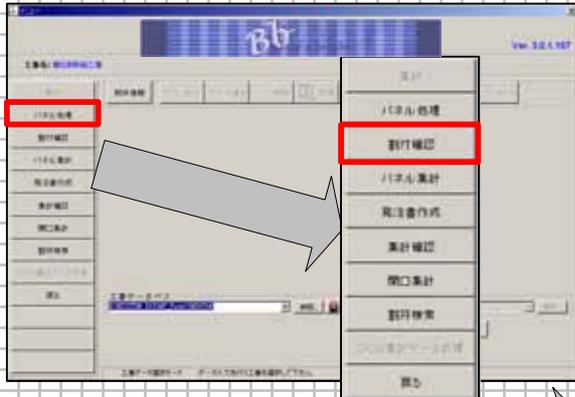
### パネル処理とは？

立面で入力したパネルを切り欠きや開口部分をカットします。又、小数点が発生した端部に切り上げ、切り捨て、アンカー孔明や実型の向きを決定します。又、メーカー、構法毎に処理が行えます。

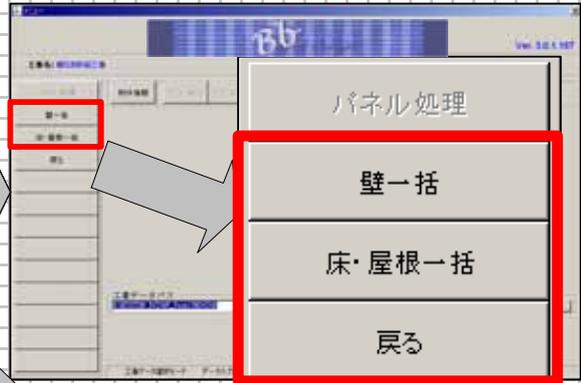
<b>タグ</b>	外壁、間仕切り、コーナーの入力画面を切り替えます
<b>種類</b>	ALC、押し出しを選択します
<b>メーカー</b>	外壁メーカーの選択します
<b>工場</b>	メーカー工場の選択を行います
<b>構法</b>	構法の選択を行います
<b>種類(タテ)</b>	構法の選択を行います
<b>種類(ヨコ)</b>	構法の選択を行います
<b>本実型向き</b>	構法の選択を行います
<b>パネル横壁階指定</b>	構法の選択を行います
<b>斜め切断寸法</b>	構法の選択を行います
<b>パネルW寸法変換</b>	発注処理時、W方向の端数寸法の処理を選択します
<b>パネルH寸法変換</b>	発注処理時、H方向の端数寸法の処理を選択します
<b>開口部の切断</b>	開口部のパネル切断有無を選択します
<b>アンカー孔明</b>	構法の選択を行います
<b>低吸水性パネル</b>	構法の選択を行います
<b>ファッションパネル</b>	構法の選択を行います
<b>設計荷重</b>	構法の選択を行います
<b>パネル種類</b>	構法の選択を行います

## 6 - 4 パネル処理について

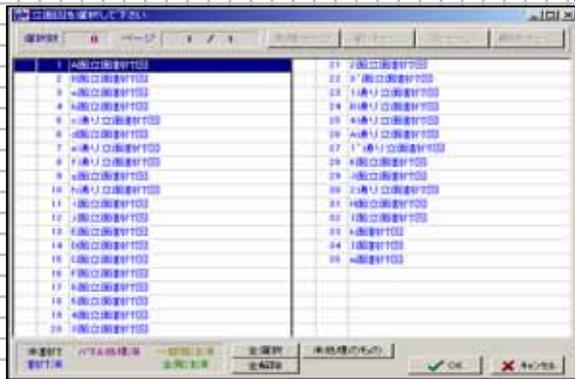
メニューからパネル処理を選択します



壁一括又は床・屋根一括を選択します



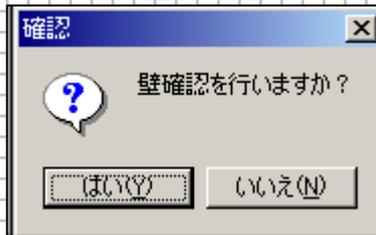
処理する立面を選択します



種類やメーカーを選択します



パネル処理後壁確認を選択します



「はい」なら立面選択  
「いいえ」なら壁確認をしません



パネル処理後の立面を表示します

# 第6章 発注書作成

## 6 - 5 壁確認について

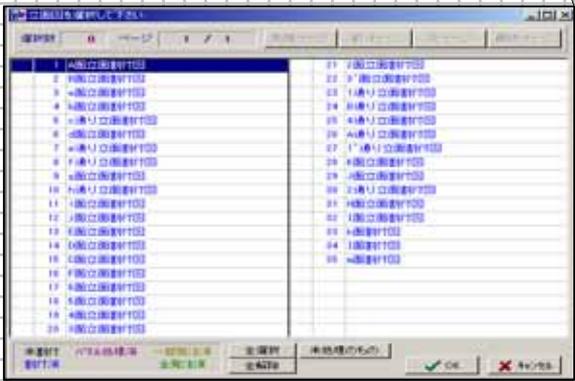
メニューから壁確認を選択します



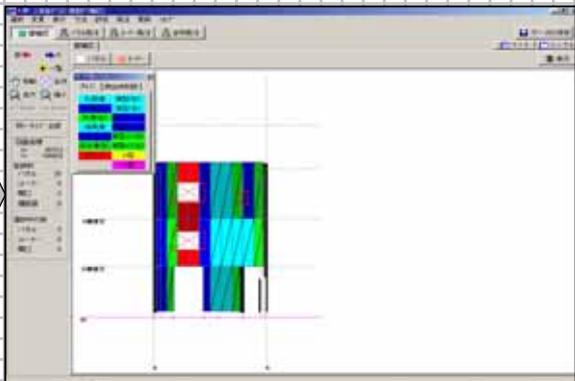
壁一括又は床・屋根一括を選択します



表示する立面を選択します

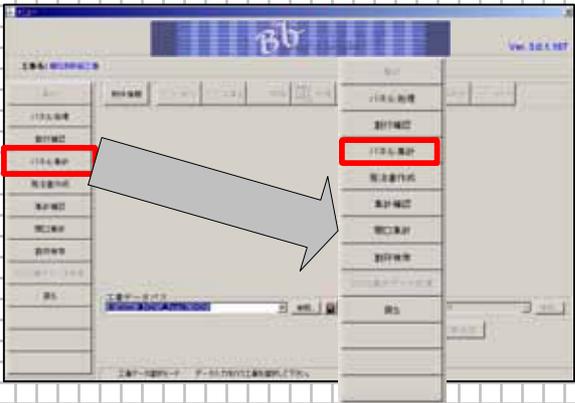


パネル処理後の立面図が表示されます



## 6 - 6 パネル集計について

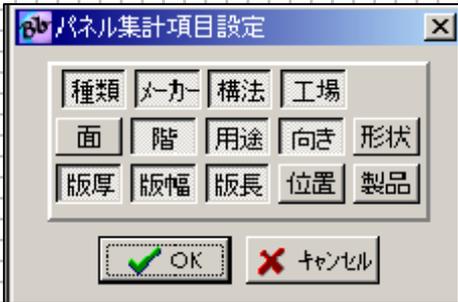
パネル集計を選択します



壁を選択します



パネル集計項目設定



項目設定を選択すると下記のウィンドウが表示されます  
各項目をOn/Offする事でパネル集計表に表示する項目を設定出来ます

# 第6章 発注書作成

壁を選択します



- タテ外壁**  
縦外壁のパネル集計を行います
- ヨコ外壁**  
横外壁のパネル集計を行います
- タテ間仕切り**  
縦間仕切りのパネル集計を行います
- ヨコ間仕切り**  
横間仕切りのパネル集計を行います
- 指定面**  
立面を指定してパネル集計を行います
- 発注済パネルチェック**  
発注済パネルチェック
- コーナー**  
コーナー集計を行います

タテ外壁を選択すると立面情報が表示されます

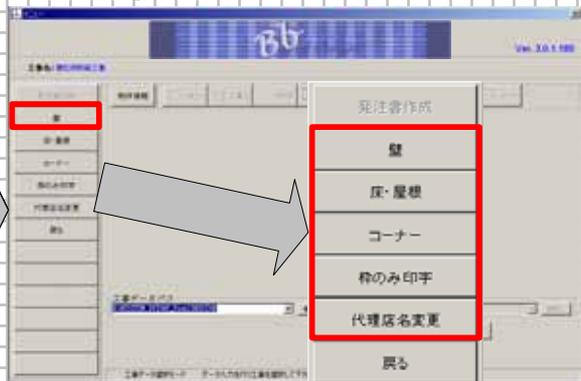
種類	メーカー	種名	工場	層	用途	形状	製品	仕様	標準	A1	AC	枚数	平米	立米
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UT	600	2840	80	00	01	18,744	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UC	600	2840	80	00	03	5,112	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	GT	600	2840	80	00	03	5,112	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UT	600	2830	80	00	03	3,384	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UE	600	2820	80	00	01	1,692	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UT	600	2820	80	00	08	13,608	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UC	600	2820	80	00	02	3,384	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	GT	600	2820	80	00	02	3,384	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	ET	600	2820	80	00	01	1,692	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	UE	600	2090	80	00	01	1,254	0	
ALC	クリオン	CDR(清目地)	名古屋	1	外壁	ET	600	2090	80	00	01	1,254	0	

## 6 - 7 発注書作成について

発注書作成を選択します



壁を選択します



# 第6章 発注書作成

壁発注を選択します



**壁**

壁の発注書を作成します

**床・屋根**

床・屋根の発注書を作成します

**コーナー**

コーナーの発注書を作成します

**枠のみ印字**

発注書のみ印刷します

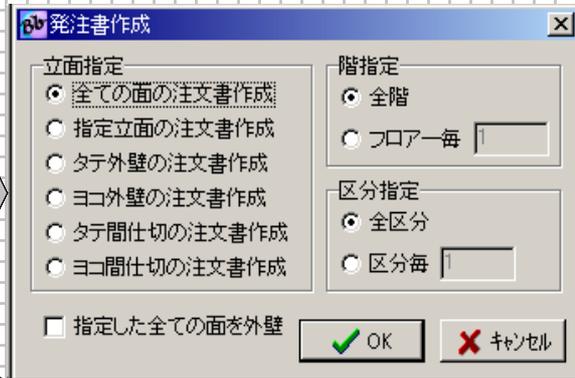
**代理店名変更**

代理店名の変更を行います

新規データ作成を選択します



全ての面の注文書作成を選択します



新規データ作成を選択します



**全ての面の注文書作成**

立面全ての発注処理をします

**指定立面の注文書作成**

特定の立面のみ発注処理します

**タテ外壁の注文書作成**

縦壁のみ発注処理します

**ヨコ外壁の注文書作成**

横壁のみ発注処理します

**タテ間仕切りの注文書作成**

縦間仕切りのみ発注処理します

**ヨコ間仕切りの注文書作成**

横間仕切りのみ発注処理します

次頁へ続く

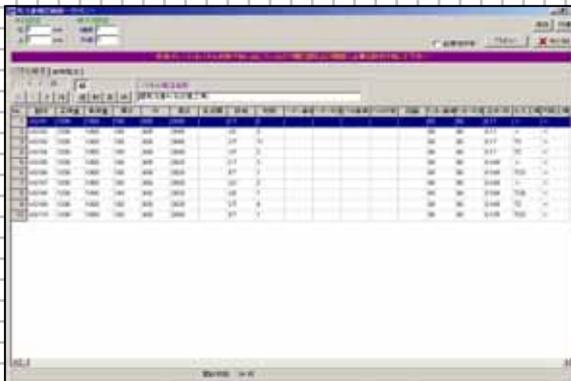
# 第6章 発注書作成

新規データ作成を選択します



(注) 面での改頁を行わない場合は、印字優先順位の2:面の設定は行わないでください。

発注書確認画面が表示されます



## 階数

階数毎の表示を表しています

## 納入日

材料の納入日の指定をします

## 時刻

納入時刻の指定をします

## 平

運搬車両の車種

## 水口

運搬車両の車種

## 階

割符の階数部分を入力します

## 番号

割符の通し番号部分を入力します

## 印字優先順位

印刷の優先順位を選択します

## 改頁位置

改頁位置の設定を行います

## ソート順位

ソート(並び替え)の設定を行います

## 2桁目符号設定

符号の2桁目の使用方法を選択します

## 通し番号の設定

割符の選択を行います

## 代理店名等の設定

代理店名の設定を行います

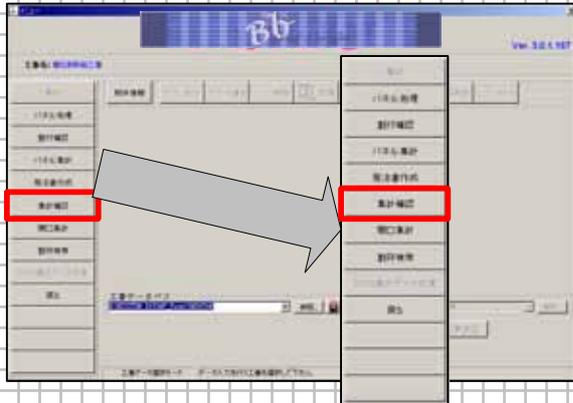
## 金物発注

金物の発注方法の選択をします

# 第6章 発注書作成

## 6 - 8 集計確認について

発注書作成を選択します



[壁]を選択します

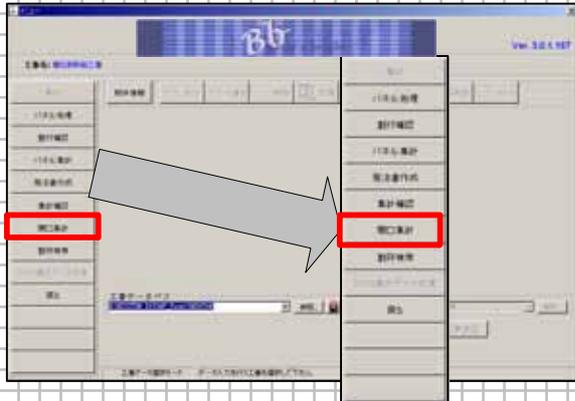


パネル処理の進行状況、発注状況を確認できます

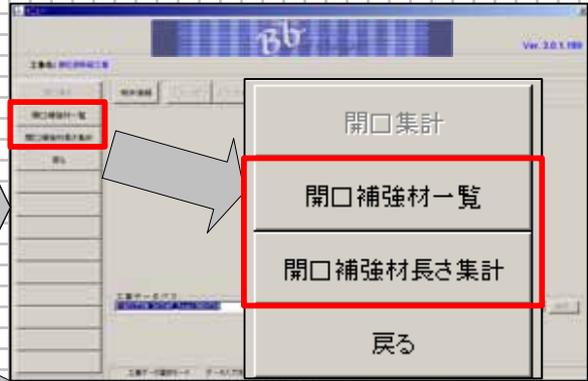
The screenshot shows a table with the following columns: '名前' (Name), '種別' (Type), 'パネル処理' (Panel Processing), and '発注' (Order). The table contains multiple rows of data, including 'A面立高割付図', 'B面立高割付図', 'C面立高割付図', 'D面立高割付図', 'E面立高割付図', 'F面立高割付図', 'G面立高割付図', 'H面立高割付図', 'I面立高割付図', 'J面立高割付図', 'K面立高割付図', 'L面立高割付図', 'M面立高割付図', 'N面立高割付図', 'O面立高割付図', 'P面立高割付図', 'Q面立高割付図', 'R面立高割付図', 'S面立高割付図', 'T面立高割付図', 'U面立高割付図', 'V面立高割付図', 'W面立高割付図', 'X面立高割付図', 'Y面立高割付図', 'Z面立高割付図', 'A面立高割付図', 'B面立高割付図', 'C面立高割付図', 'D面立高割付図', 'E面立高割付図', 'F面立高割付図', 'G面立高割付図', 'H面立高割付図', 'I面立高割付図', 'J面立高割付図', 'K面立高割付図', 'L面立高割付図', 'M面立高割付図', 'N面立高割付図', 'O面立高割付図', 'P面立高割付図', 'Q面立高割付図', 'R面立高割付図', 'S面立高割付図', 'T面立高割付図', 'U面立高割付図', 'V面立高割付図', 'W面立高割付図', 'X面立高割付図', 'Y面立高割付図', 'Z面立高割付図'. The '発注' column contains status indicators like '全て終了' (All completed) and '一部終了' (Partially completed). An 'OK' button is visible at the bottom right of the table.

## 6 - 9 開口集計について

開口集計を選択します



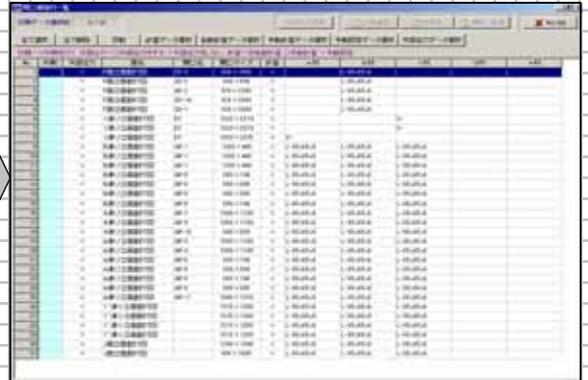
開口集計画面が表示されます



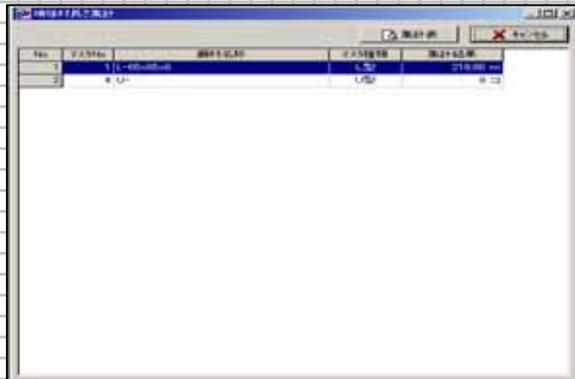
開口補強材一覧、開口補強材長さ集計どちらを選択しても立面選択画面になります



選択した立面の開口補強が表示されます



開口補強材長さ集計を選択した場合



立面にて入力した開口の補強材一覧を確認する事が出来ます。  
又、開口荷重計算書が開口毎に出力できます

補強材の長さや個数を集計します

## 6 - 10 割符検索について

割符検索を選択します



検索ウィンドウが表示されます



検索したい符号を入力します



割符が見付ければ属性、図面名、割符、枚数情報を表示します。

発注済パネルの割符Noをどの面、数量があるか割符Noを入力する事により検索出来ます。

又W, H寸法から割符No検索も行えます



割符の入力は小文字、大文字正確に入力してください。

### 【アスロック注文書条件】

**番号** ...階毎のパネルマーキング No の始まりを数字で設定します。

**印字優先順位**...頁ごとの印字優先項目を番号で設定します。ただし、改頁しない項目の番号は設定を行わないでください。

**改頁設定** ...改頁を行う項目をオンの状態にします。

**符号の設定** ...マーキング No が 5 桁で表現でき、面・区分・階・通し番号を英字で代入します。また面記号の表示を数字・カナ・英文字のいずれかで、通し番号の表示を全面・指定面・階面のいずれかで表記できます。

**チェック項目**...チェック項目により、それぞれの設定が行えます。しかし、重量による改頁を設定しても、運送・車種を設定していなければ、改頁条件にはなりませんのでご注意ください。  
(運送・車種の設定は代理店名等の設定で行えます)

階数	階	番号
1F	1	01
2F	2	01
3F	3	01
4F	4	01
5F	5	01
6F	6	01
7F	7	01
8F	8	01
9F	9	01
10F	10	01
11F	11	01
12F	12	01
13F	13	01
14F	14	01
15F	15	01
16F	16	01
17F	17	01
18F	18	01
19F	19	01
20F	20	01
21F	21	01

代理店名等の設定

代理店名等の登録

納入場所 愛媛県松山市 発行日 04 年 01 月 15 日

納入先 ○○病院改築工事 納入日 年 月 日

荷受人 納入時刻 時 分

販売店コード 参照 担当者 参照

販売店名 ○○商店 松山支店 電話

摘要 注文 No

仕上区分  
 指定なし  
 通常  
 素地  
 研削

積上区分  
 指定なし  
 表面下  
 表面上

梱包区分  
 指定なし  
 梱包無  
 ビニール掛

運送  
 指定なし  
 普通車  
 ユニック車

車種  
 指定なし  
 大型車  
 4吨車  
 2吨車

OK キャンセル

重量による改頁の判定基準です。

例) 普通車・大型 ... トン  
ユニック車・大型... トン

【発注書確認画面】

追...行の追加 削...行の削除 変...行の変更 改...その行以降を改頁

通信...(株)ノザワ様の材料注文書オンラインファイルを作成保存

プレビュー...(株)ノザワ様の材料注文書を印刷

The main window is titled "発注書確認画面(アスロック)". It features a table with columns for item number, processing type, width, length, quantity, and unit price. The table contains 4 rows of data.

行	加工	加工区分	幅	長さ	数量	補足	単価	記号	㎡/材	実㎡	累計kg
1	AL2601NT1		492	3555	4	0	1101	1.749	0.007	469	
2	AL2601NT1		492	850	6	0	1102	0.418	0.003	638	
3	AL2602NT1		541	3555	1	0	1103	1.923	0.002	767	
4	AL2601NT1		541	3555	1	0	1104	1.923	0.002	697	

Pop-up windows and their functions:

- データの追加(アスロック)**: A dialog for adding data, showing fields for item number (1102), processing type (加工), quantity (0), and product number (AL2601NT1).
- データの変更(アスロック)**: A dialog for modifying data, showing fields for item number (1102), processing type (加工), quantity (0), product number (AL2601NT1), length (850), and width (492).
- 確認**: A confirmation dialog asking "ここで改頁を行いますか?" (Do you want to change pages here?).
- 通信用データの作成**: A dialog for creating communication data, with fields for file name (sample) and a "参照..." button.
- 納入依頼書**: A form for creating an order request, including fields for recipient, date, and time, and a table for item details.

Red arrows indicate the workflow: from the main table to the "データの追加" dialog, then to "データの変更", then to the "確認" dialog, then to the "通信用データの作成" dialog, and finally to the "納入依頼書" form.

# 第7章 補助

## 7-1 補助機能一覧

### 7-2 平面

平面図名称の変更を行います。

### 7-3 立面

立面図名称の変更または立面図の削除を行います。

### 7-4 床・屋根

床・屋根の名称の変更または床・屋根の削除を行います。

### 7-5 縦断面

縦断面図の名称の変更または縦断面図の削除を行います。

### 7-6 横断面

横断面図の名称の変更または横断面図の削除を行います。

## 7-2 平面補助について



名称を変更します

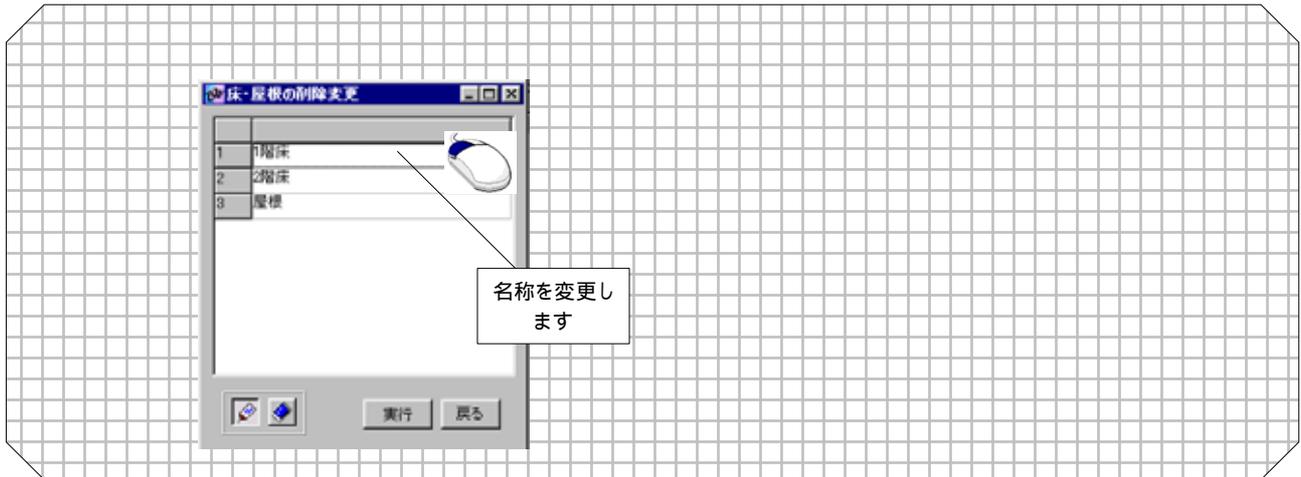
## 7-3 立面補助について



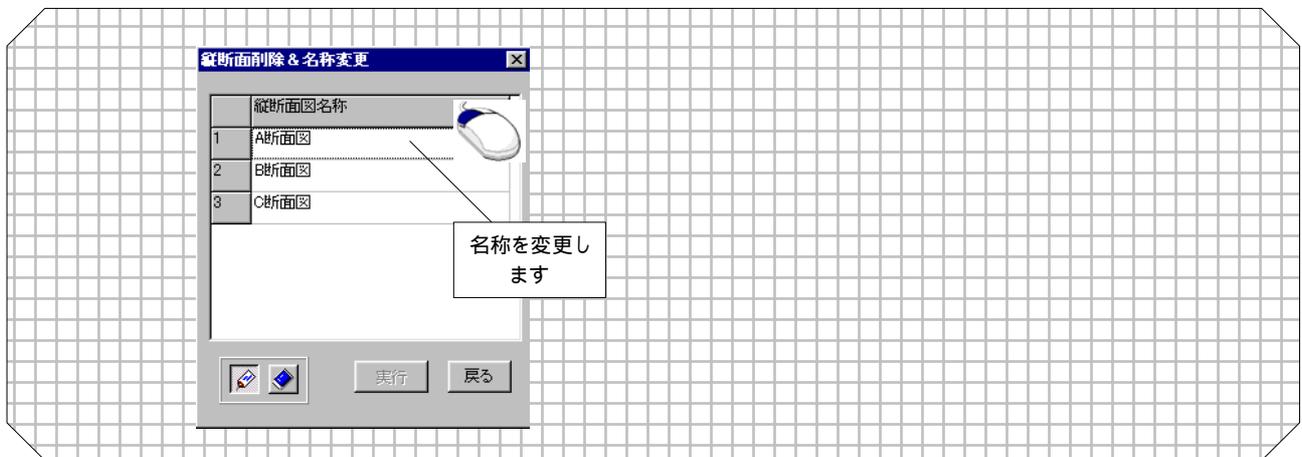
名称を変更します

# 第7章 補助

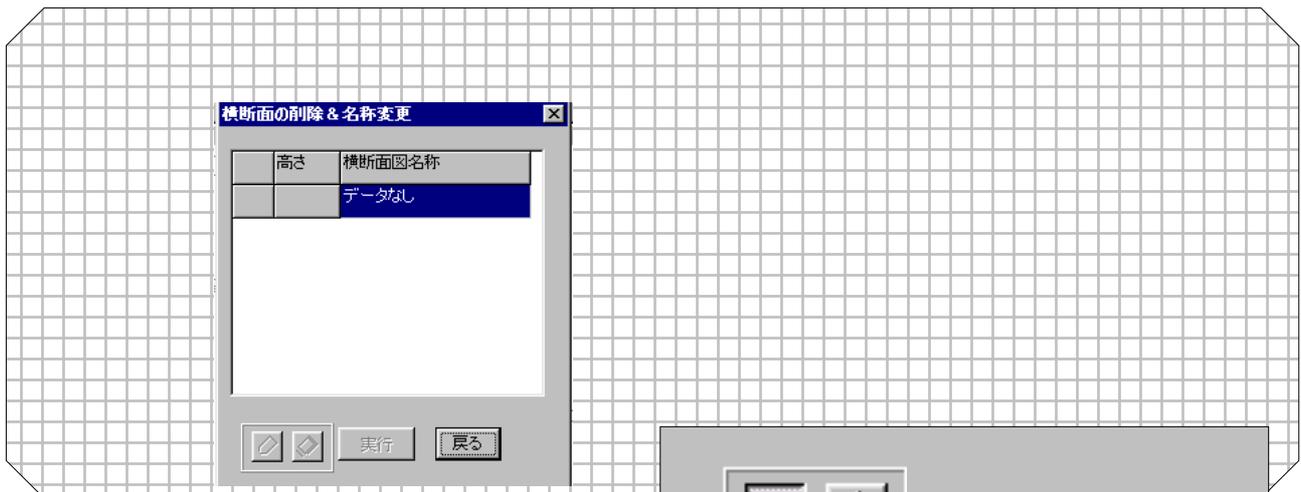
## 7 - 4 床・屋根補助について



## 7 - 5 縦断面補助について



## 7 - 6 横断面補助について



矢印は変更モードになります。(通常)  
消しゴムは削除モードになります。

# 第8章 マスター

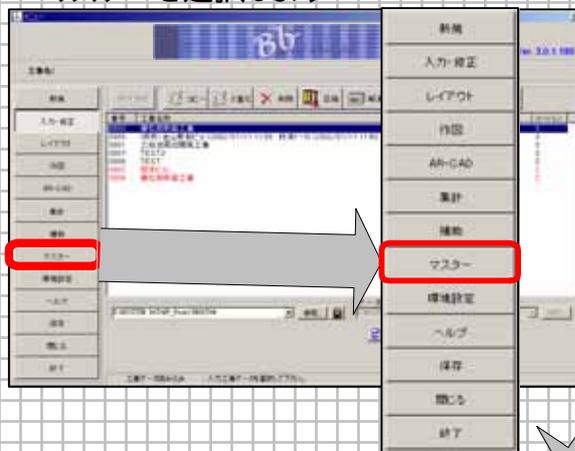
## 8 - 1 マスター機能について



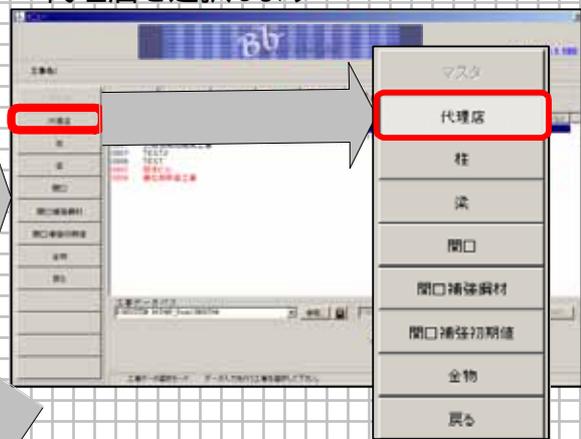
- |                |                  |
|----------------|------------------|
| <b>代理店</b>     | 代理店の登録を行います      |
| <b>柱</b>       | 柱の登録を行います        |
| <b>梁</b>       | 梁の登録を行います        |
| <b>開口</b>      | 開口の登録を行います       |
| <b>開口補強鋼材</b>  | 開口補強鋼材の登録を行います   |
| <b>開口補強初期値</b> | 開口補強の初期値の設定を行います |

## 8 - 2 代理店登録について

マスターを選択します



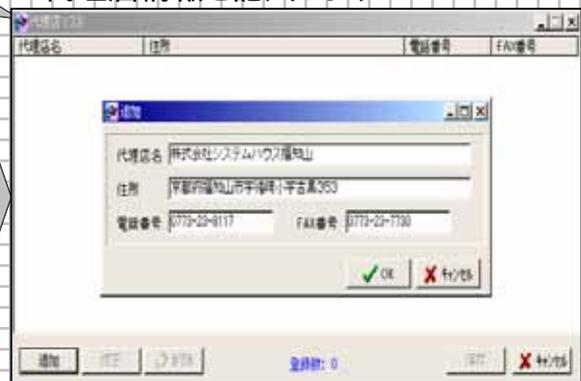
代理店を選択します



追加を選択します

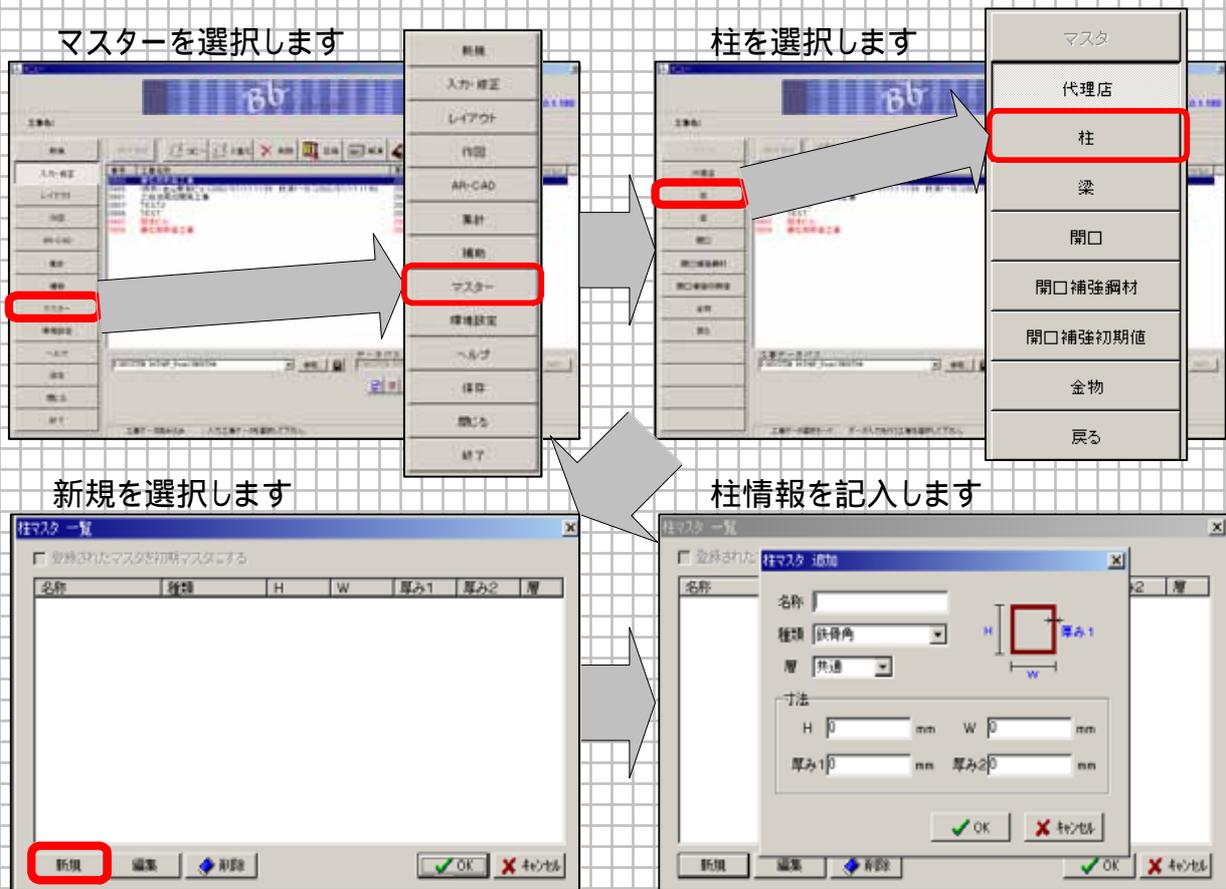


代理店情報を記入します



代理店マスター登録すると新規物件登録時、代理店入力の際、選択する事で代理店入力が行えます。図面枠の決定により図面出力時に表示されます

## 8-3 柱について



**柱種類選択時**

柱マスター追加

名称:

種類: 鉄骨角

層: 鉄骨H

寸法: H  mm W  mm

厚み1  mm 厚み2  mm

OK キャンセル

種類を選択すると柱の種類を選択する事が出来ます  
柱マスター登録時、種類を選択すれば入力の際は  
再度の選択は必要無くなります

**柱配置階選択時**

柱マスター追加

名称:

種類: 鉄骨角

層: 共通

寸法: 1層

H  mm W  mm

厚み1  mm 厚み2  mm

OK キャンセル

層を指定すると柱入力時の配置階の指定が出来ます  
層の指定を「共通」にした場合は全ての階に有効  
層の指定を「1層」にした場合は1階のみ有効になります



柱マスター登録すると平面図入力時、柱入力の際、選択する事で柱入力が行えます  
又、寸法設定にて柱メンバーとして引用出来ます

## 8-4 梁について

マスターを選択します

梁を選択します

新規を選択します

柱情報を記入します

**梁配置階選択時**

種類を選択すると柱の種類を選択する事が出来ます  
柱マスター登録時、種類を選択すれば入力の際は  
再度の選択は必要無くなります

**梁配置階選択時**

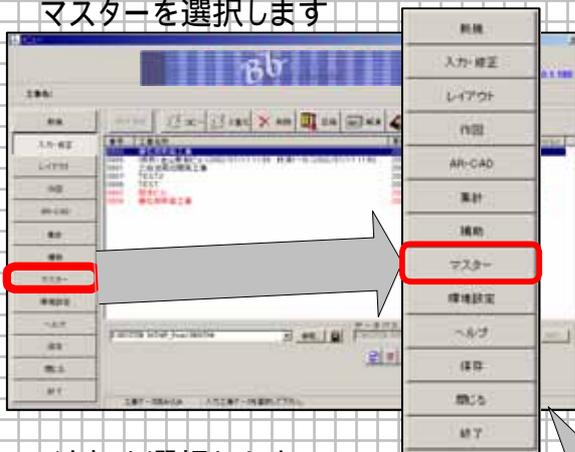
層を指定すると柱入力時の配置階の指定が出来ます  
層の指定を「共通」にした場合は全ての階に有効、  
層の指定を「1層」にした場合は1階のみ有効になります



梁マスター登録すると平面図入力時、一覧から選択する事で梁入力出来ます  
又、寸法設定にて梁メンバーとして引用出来ます

## 8 - 5 開口について

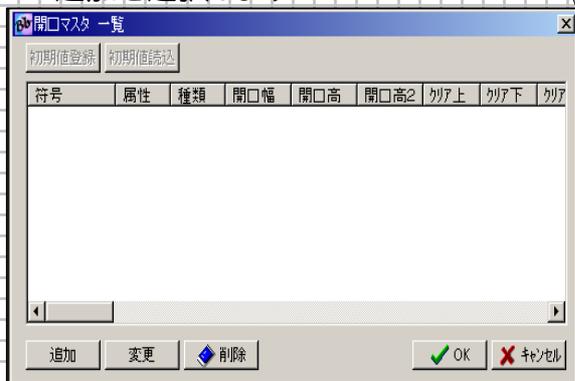
マスターを選択します



開口を選択します



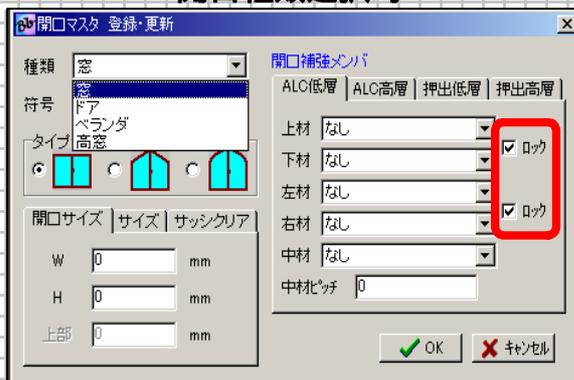
追加を選択します



開口情報を記入します



開口種類選択時



{ 上下、左右に同じ鋼材が入力されます }

開口補強選択時

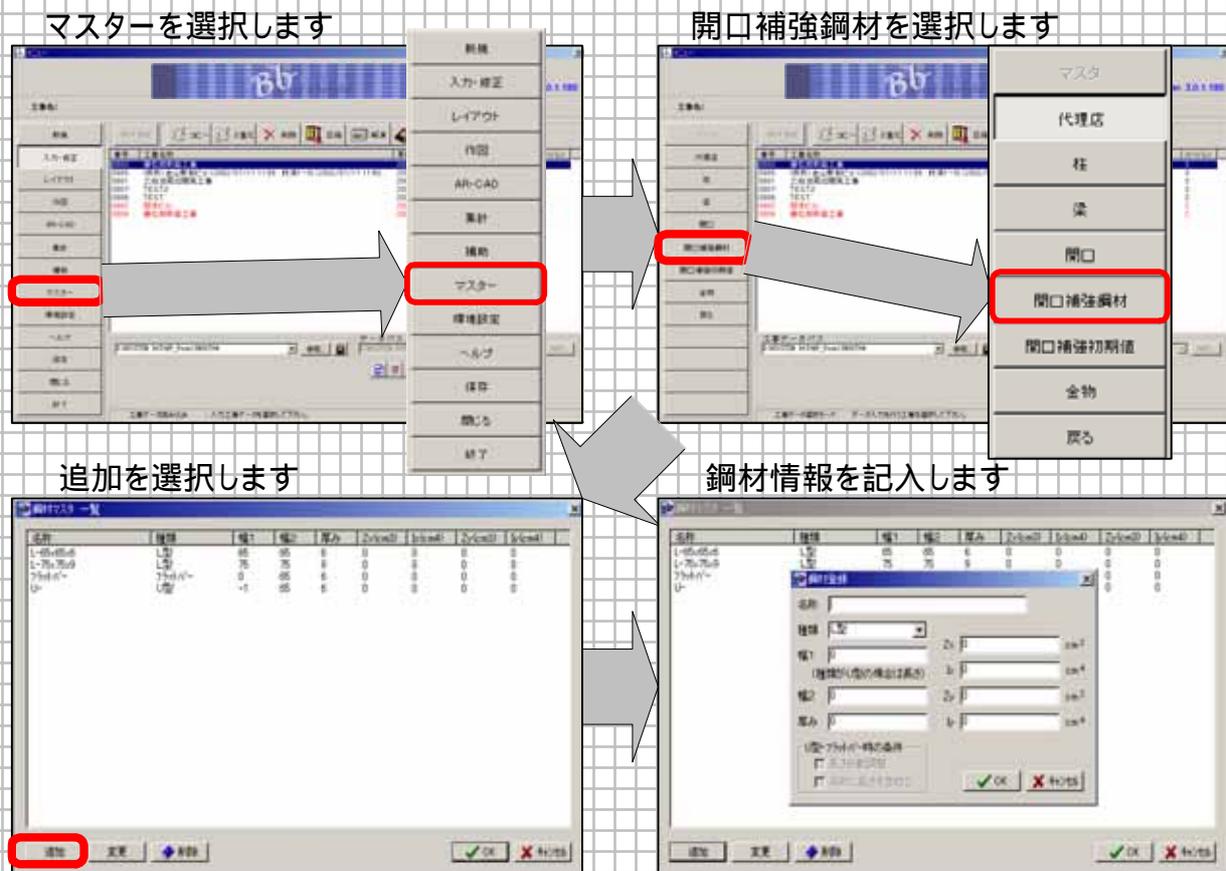


{ 手動にて固定で開口補強メンバーを指定します }



開口マスター登録すると立面入力時、W, H寸法を見て自動設定を行います

## 8 - 6 開口補強鋼材について



**鋼材登録画面**

名称

種類

幅1  Zx  cm<sup>3</sup>

(種類がI型の場合は長さ) Ix  cm<sup>4</sup>

幅2  Zy  cm<sup>3</sup>

厚み  Iy  cm<sup>4</sup>

U型・フラットバー時の条件

長さ自動調整

名称に長さを含める

種類を選択すると柱の種類を選択する事が出来ます  
柱マスター登録時、種類を選択すれば入力の際は  
再度の選択は必要無くなります

- 名称** 鋼材名を入力します
- 種類** 鋼材の種類を選択します
- 幅1 名称** 名称に長さを含める
- 幅2** 名称に長さを含める
- 厚み** 鋼材の厚みを入力します
- Z** 断面係数を入力します
- X** 断面二次モーメントを入力します
- Ix** 断面係数を入力します
- Zy** 断面二次モーメントを入力します
- Iy** 断面係数を入力します
- 長さ自動調節** 開口に合わせて長さが自動調整します
- 名称に長さを含める** 名称に長さを付け足します



**U型・フラットバー時の条件**

## 8 - 7 開口補強初期値について

**マスターを選択します**

**開口補強初期値を選択します**

**開口補強を設定します**

**ALC低層**  
15階迄の建物場合

**ALC高層**  
15階以上の建物の場合

**押出低層**  
15階迄の建物場合

**押出高層**  
15階以上の建物の場合

- 上材**  
開口上部の鋼材を指定します
- 下材**  
開口下部の鋼材を指定します
- 左材**  
開口左部の鋼材を指定します
- 右材**  
開口右部の鋼材を指定します

- 中材**  
開口幅が ~mmを超えた時  
以下の条件を有効にする為に開口幅を入力します
- 中材**  
中材の選択を行います
- 中材ピッチ**  
中材の間隔を入力します
- 開口幅が ~mm以下の時**  
U型、フラットバーの設定
- 開口幅が ~mm以下の時**  
U型、フラットバーの配置条件を指定します
- 上材**  
上材の選択を行います
- 下材**  
下材の選択を行います
- 開口種類**  
開口種類の選択を行います

## 8 - 8 金物について

**マスターを選択します**

**金物を選択します**

**入力するメーカーを選択します**

**工場、パネル種類を選択します**

**場所、各厚み毎の材料の選択を行います**



金物マスターを登録する事で発注処理時、金物集計が簡単に行えます  
 金物マスターを登録していない場合でも発注する事は出来ますが金物製品を  
 手入力で行わなければなりません

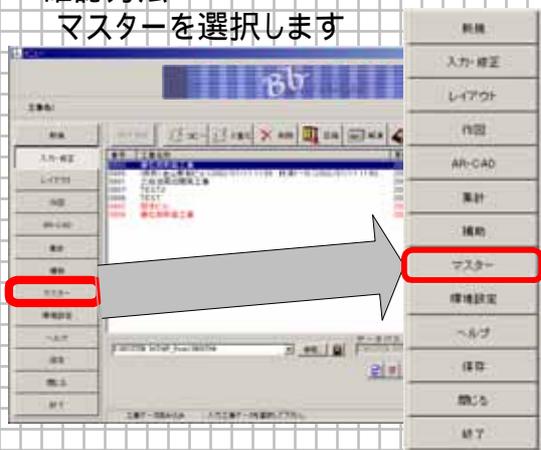
# 第8章 マスター

## …金物発注システム操作確認

現在使用されています「PanelWizard2」システムにおいて金物初期設定が行われているか確認して下さい。

### 確認方法

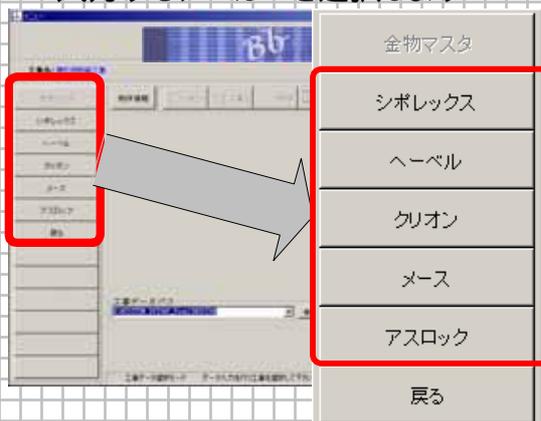
マスターを選択します



金物を選択します



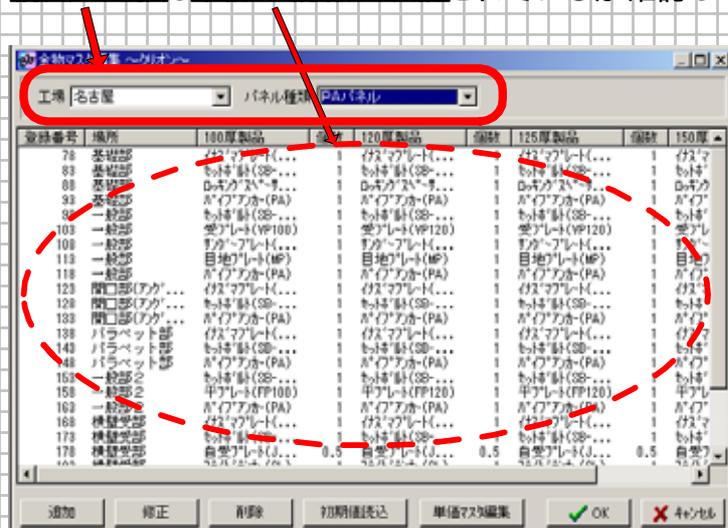
入力するメーカーを選択します



工場、パネル種類を選択します



構法を選択し下記の情報が表記されているか確認して下さい



空白の場合は「…金物注文書設定」の操作手順にお進み下さい  
読み込みがされている場合は「…既に…」の確認をして下さい

# 第8章 マスター

## …金物注文書設定

マスターを選択します



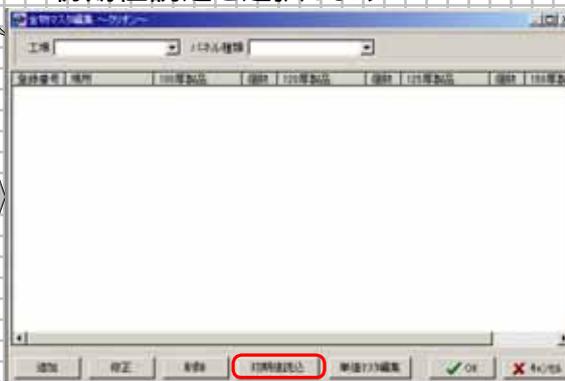
金物を選択します



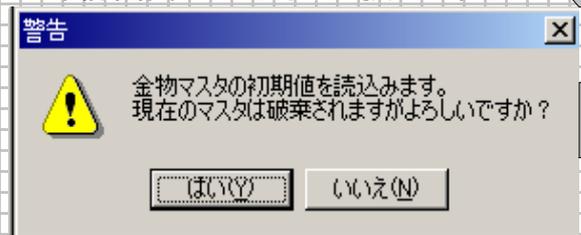
入力するメーカーを選択します



初期値読込を選択します



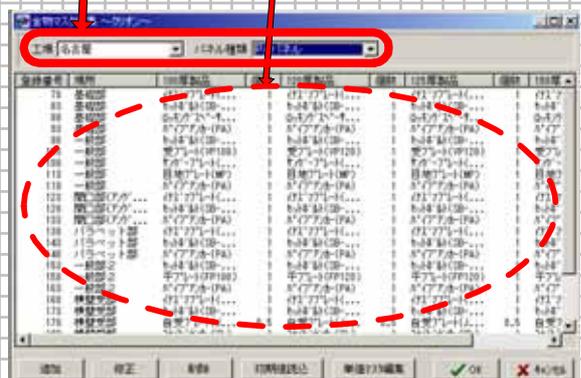
確認画面で「はい」を選択して下さい



読込完了メッセージが表示されます



構法を選択し下記の情報が表記されているか確認して下さい



マスタの読込が正常に出来ない場合は、  
集計マスタが更新されていない。  
が考えられます。  
<解決方法>  
再度インストールして下さい。

以上の設定で金物集計が出来るようになります  
「…その他の変更内容」をご確認下さい

上図の様にマスタが表示されれば完了です

# 第8章 マスター

…既に金物マスタを読み込みし、使用されているお客様へ

マスターを選択します



金物を選択します



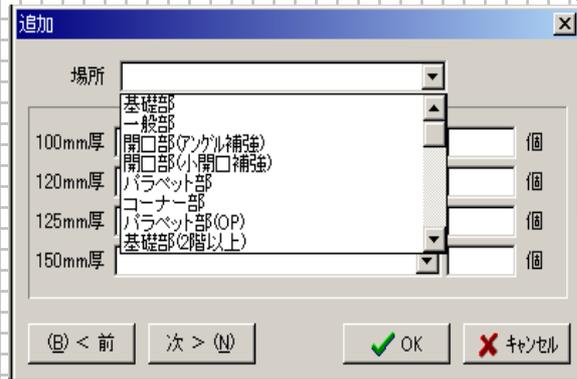
入力するメーカーを選択します



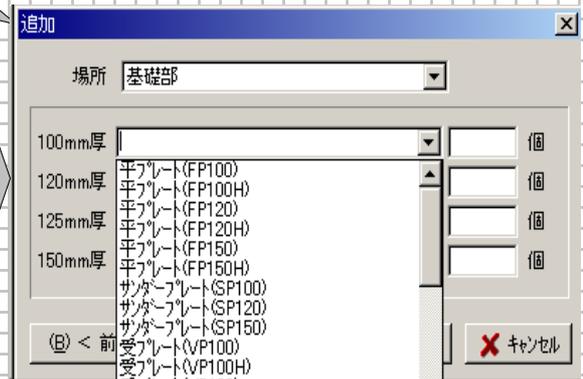
追加を選択します



場所を選択します



各厚みに金物を選択し個数を入力します



# 第9章 環境設定

動作環境

画面設定色・データ保存場所等の動作環境を設定します。

初期値設定

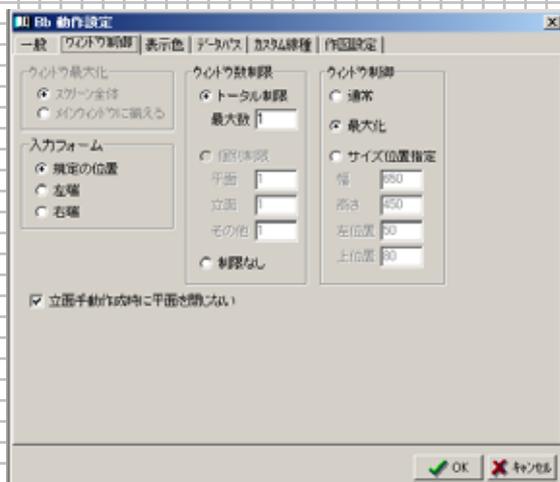
図面データを入力するのに必要な初期値を作成します。

## 9 - 1 動作環境について

### 一般



やり直し回数 …入力値等の キャンセル回数設定。  
データ検出距離…既存データ(柱等)の検出範囲  
(ピクセル:画面ドット)  
クリック ドラッグ…マウスクリック誤差調整値  
矢印キー移動 …マウスカーソル移動単位  
簡易入力 …平面等の簡易メニューオン・オフ  
ハッチングパターン…平面等のハッチングパターンの設定



ウインドウ制限…平面・立面まで窓数の制限。  
ウインドウ制御…ウインドウ画面の大きさの設定

### 表示色



各項目の色を設定します。  
設定は色表示部分をマウスダブルクリックにより、お好みの色に設定できます。  
なお、設定色を登録したい場合は登録ボタンにより登録できます。  
ただし設定名は、今までの名前と同じ名前にしないで下さい。

## データベース



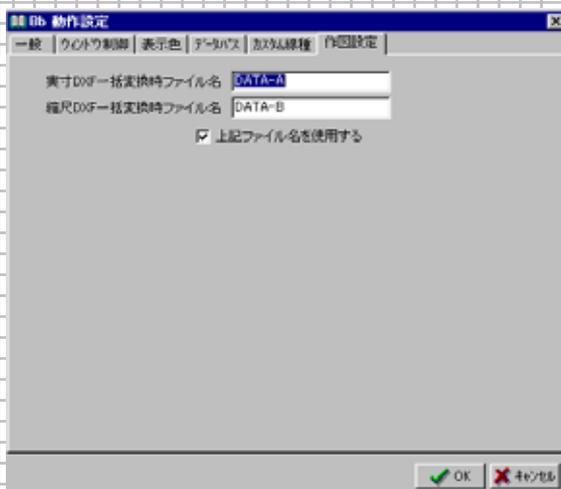
物件データ保存先のフォルダを設定します。参照によりディレクトリツリーが表示されます。  
また通信データ・AR - CADのパス(実行ファイル格納場所)などの設定も行ってください。

## カスタム線種



破線・点線・一点破線などドライバー内の線ピッチでなく、ユーザーのお好みのピッチに設定できます。  
スケール…線の間隔  
線間比率…破線(線:空白)、一点破線(長線:空白:短線:空白)  
Windows標準のチェックボックスにチェックすると出力機ウィンドウズドライバー設定値になります。

## 作図設定



DXFファイル登録名称の設定が出来ます。  
・実寸DXFファイル名  
・縮尺DXFファイル名

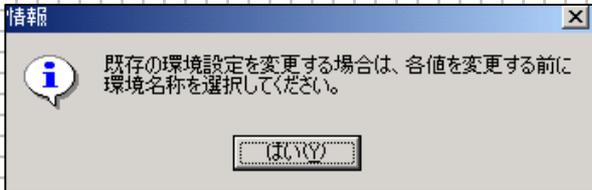
# 第9章 環境設定

## 9 - 2 初期値設定について

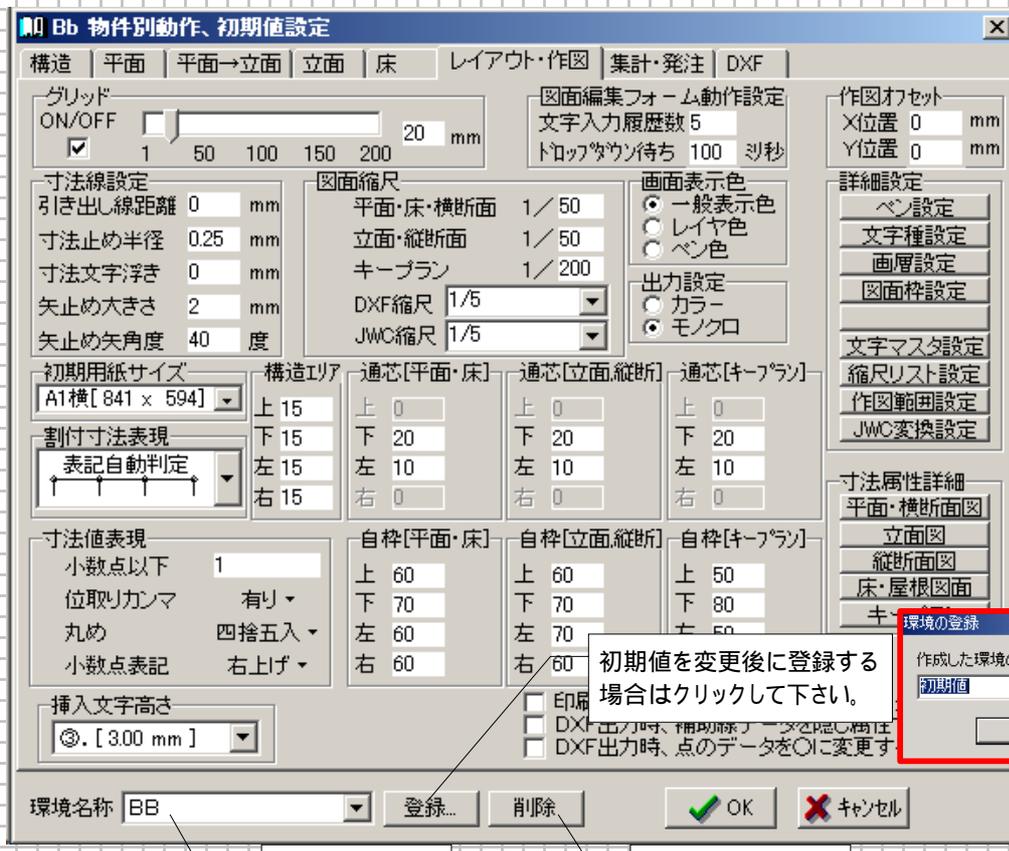
### 初期値とは・・・

データ入力を簡易・俊敏に行なう為に必要な標準のパターンが登録されています。  
**パネル幅、目地、パネルクリア、壁厚み等のALC・押出板成型板情報**が記載されています。  
 新規物件入力時に、初期値パターンを選択して下さい。  
 環境名称には、【BB】が登録されています。  
 サンプルの値が登録してあります。お客様に合った初期値を作成する事もできます。

### 初期値を登録・削除・選択する方法。

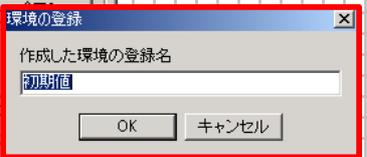


工事未選択の場合に表示されます。工事名がある場合は初期値を読み込んでいますので表示されません。初期値のみを登録・変更する場合には工事未選択時に登録をお勧めします。



初期値名を選択して下さい。

削除する場合はクリックして下さい。



初期値を変更後に登録する場合はクリックして下さい。

# 第9章 環境設定

## 構造 基礎高さ・幅の初期値を登録します。



基礎部分の幅・高さを入力します。  
構造入力での値を引用します。

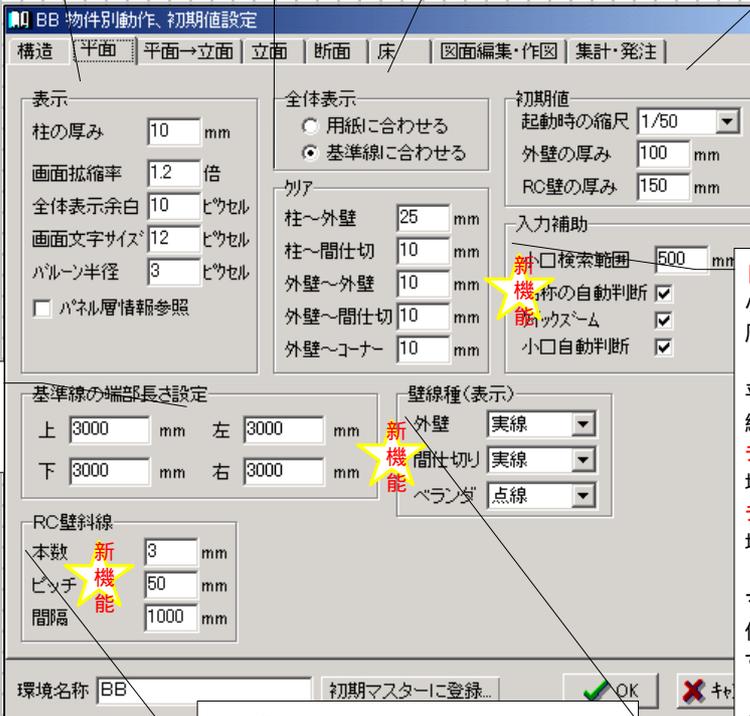
## 平面設定 平面入力時の初期設定を行います。

**【 柱の厚み 】**  
柱厚を指定します。  
**【 画面拡縮率 】**  
表示率を指定します。  
**【 全体表示余白 】**  
図面枠から外側に白をどの位取るのか指定します。  
**【 画面文字サイズ 】**  
文字サイズを指定します。  
**【 パルーン半径 】**  
通り芯記号の半径指定します。

**【 柱～外壁 】**...柱～外壁間のクリアランスを指定しておきます。  
**【 柱～間仕切 】**...柱～間仕切間のクリアランスを指定しておきます。  
**【 外壁～外壁 】**...外壁～外壁間のクリアランスを指定しておきます。  
**【 外壁～間仕切 】**...外壁～間仕切間のクリアランスを指定しておきます。  
**【 外壁～コーナー 】**...外壁～コーナー間のクリアランスを指定しておきます。

**【 用紙に合わせる 】**...画面表示を用紙に合わせてます。  
**【 基準線に合わせる 】**...画面表示を基準線に合わせてます。

**【 起動時の選択 】**  
平面ウインドウを開いた時の縮尺を指定します。  
**【 外壁の厚み 】**  
外壁の厚みを指定します。  
**【 RC壁の厚み 】**  
RCの厚みを指定します。



**【 上・下・左・右 】**  
基準線の長さを上下左右で指定します。

**【 小口検索範囲 】**  
小口の指示を行なう場合の小口周辺の検索範囲を指定します。  
**【 名称の自動判断 】**  
平面表示選択時、種類表示、連続表示するのかが設定します。  
**チェック有り**...地下階、地上階、塔屋を区別表示します。  
**チェック無し**...地下階、地上階、塔屋を区別表示しません。  
**【 クイックズーム 】**  
マウスによる拡大・移動・縮小操作を行なうのか設定を行ないます。

**【 小口自動判断 】**  
小口入隅の勝ち負けを自動で判断します。  
**【 壁線種 】** 表示  
画面上での壁線種を設定します。

**【 RC壁斜線 】**  
RC壁の斜線本数・ピッチ・間隔を設定します。  
平面RC壁の表示が変更されます

新機能

新機能

# 第9章 環境設定

## 平面 立面設定 平面から立面図に起こす際の設定をします

**【基準線あり】**  
立面名称を指定します。

**【基準線なし】**  
立面名称を指定します。

**【面記号(外)】**  
外壁の面記号を指定します。

**【面記号(間)】**  
間仕切の面記号を指定します。

**【作図なし基準線の名称を使用する】**  
基準線を作図する際、非作図の名称も使用するかどうかの指定をします。

立面作成時の部材検索距離

- 【柱～壁】**  
柱～壁間の表示距離を設定します。
- 【梁(横)～壁】**  
梁(横)～壁間の表示距離を設定します。
- 【梁(貫通)～壁】**  
柱(貫通)～壁間の表示距離を設定します。
- 【コーナー～壁】**  
コーナー～壁間の表示距離を設定します。
- 【小口～壁】**  
小口～壁間の表示距離を設定
- 【小口芯～壁】**  
小口芯～壁間の表示距離を設定
- 【通り芯～立面】**  
通り芯～立面の表示距離を設定
- 【床～壁】**  
床枠～壁間の表示距離を設定
- 【RC小口～壁】**  
RC小口～壁間の表示距離を設定

平面壁の属性を立面で変更可能 ON / OFF

立面図作成時に検索される通り芯と立面の直交誤差角度を設定します。

平面図の基準線を立面上での種類・線種に変更するか設定できます。

## 立面設定 立面図の設定をします

**【割付】**  
割付方向を指定します。

**【基準幅】**  
割幅を指定します。

**【縦目地】**  
縦目地の大きさを指定します。

**【横目地】**  
横目地の大きさを指定します。

**【最小幅】**  
割幅の最小寸法を指定します。

**【パネル左より】**  
開口の左位置をパネルの左側からの距離で設定します。

**【高さ基準】**  
開口を入力する場合の基準を設定します。

**【FLより】**  
開口上端位置の設定を行いません。

**【SLからFLまで】**  
SラインからFLライン迄の距離を設定します。

**【サッシクリア】**  
開口サッシクリアランスの設定を行いません。

開口補強線の表示線種を設定します。

開口補強のメンバー計算を自動で行います。

RC壁斜線のピッチ・間隔を設定します。

基準の壁と直交の角度でない壁の小口の表現パターンを設定します。

ベランダ開口の補強材を開口枠外・中に表示するか設定します。

**【梁自動切欠】**  
立面の梁型切欠を自動ですべて行います。

**【クリア】**  
梁型の左右上下クリア寸法を設定します。

# 第9章 環境設定

## 床設定 床面の設定をします

- 【パネル幅】**  
基準パネル幅を設定します。
- 【パネル厚み】**  
基準パネル厚を設定します。
- 【デッキ厚】**  
基準デッキ厚を設定します。
- 【コンク厚】**  
基準コンク厚を設定します。
- 【相対】**  
枠の線移動ピッチを設定します。
- 【縦比】**  
床角度の縦比率を設定します。
- 【横比】**  
床角度の横比率を設定します。
- 【最小幅】**  
パネルの最小幅を設定します。

物件別動作、初期値設定

平面 | 平面→立面 | 立面 | 断面 | 床 | 図面編集

床パネル

パネル幅 600 mm

パネル厚み 100 mm

デッキ厚 200 mm

コンク厚 100 mm

相対 100 mm

縦比 1

横比 10

最小幅 300 mm

- 【縦幅】**  
基準開口縦幅を設定します。
- 【横幅】**  
基準開口横幅を設定します。

開口

縦幅 600 mm

横幅 600 mm

切り欠き

柱 20 mm

長方形

縦幅 600 mm

横幅 600 mm

目地

芯から上(左)への距離 10 mm

芯から下(右)への距離 10 mm

パネル最小長さ 600 mm

- 【柱】**  
柱回りの切欠く寸法を設定します。
- 【縦幅】**  
長方形の切り欠き縦幅を設定します。
- 【横幅】**  
長方形の切り欠き横幅を設定します。

- 【芯から上(左)への距離】**  
芯内側の目地寸法を設定します。
- 【芯から下(右)への距離】**  
芯内側の目地寸法を設定します。
- 【パネル最小長さ】**  
目地入力をした後のパネル最小長さを設定します。

## 集計・発注の設定をします

端部形状図の色分け設定を行います。  
ALC・押出成形版用が設定出来ます。

物件別動作、初期値設定

平面 | 平面→立面 | 立面 | 断面 | 床 | 図面編集・作図 | 集計・発注

確認画面(形状表示色)

LC>

両溝	実型メス(右)	メスカット	カットなし
溝(左)	実型メス(左)	メスカット	オスカット
片溝(右)	床両溝	メスカット	メスカット
実型(左)	床片溝(左)	メスカット	メスカット
実型(右)	床片溝(右)	メスカット	メスカット
実型オス(左)	フラット	メスカット	メスカット
実型オス(右)	H型	メスカット	メスカット
	K型	メスカット	メスカット
		メスカット	メスカット
		メスカット	メスカット

<押出成形版>

無視パネル設定

パネル処理時、以下の設定に該当するパネルを無視します

- ・W寸法が 0 mm 未満のパネル
- ・H寸法が 0 mm 未満のパネル
- ・厚みが 0 mm 未満のパネル

縁切り判定 -50 mm

パネル端部判定 30 mm

表示記号の色設定を行います。

割付確認画面(表示色)

形状記号 ■ デザイン ■

割符番号 ■ 製品名 ■

区分番号 ■

画面形状色の明るさを設定します。偶数・奇数階の表示を見易くします。

割付確認画面(階表示)

形状が表示されている場合  
形状表示色を 30 % 暗くして表示

形状が表示されていない場合  
奇数階  偶数階

- 【最小幅】**  
最小幅を設定します。
- 【最小長さ】**  
最小長さを設定します。
- 【最大幅】**  
最大幅を設定します。
- 【最大長さ】**  
最大長さを設定します。

割付確認画面(限界チェック)

<最小> 幅 300 長さ 600

<最大> 幅 600 長さ 600

クリオン発注時の条件設定

納入日(発注書作成日より) 20

納入時刻 09:00

平 11

ホコ

提出先データを物件ごとに保存

**【縁切り判定】**  
開口上パネルの階判定を梁天位置距離からの値で判断します。

**【パネル端部判定】**  
パネル同士間の距離により端部パネル形状になるか判断します。

クリオン発注の納入日初期値を設定します。

# 第9章 環境設定

## レイアウト・作図の設定をします

【グリッド】レイアウト内の目安線の表示とピッチ(間隔)の初期値を設定します。

【文字入力履歴数】入力文字の経歴の保存回数を設定だけ保存します

【プルダウンメニュー】...プルダウンメニューの表示待ち時間を設定します。

【X位置・Y位置】...各出力機(プロッター・プリンター)に対する作図原点を変更します。

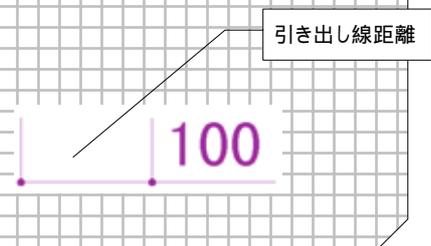
【引き出し線距離】寸法線の横引き出し線の長さを設定します。

【寸法止め半径】寸法止め点の大きさを設定します。

【寸法文字浮き】寸法文字の位置を設定します。

【矢止め大きさ】寸法線の矢止めの長さを設定します。

【矢止め矢角度】寸法線の矢止めの角度を設定します。



# 第9章 環境設定

## 【平面・床・横断面】【立面・縦断面】

図面入力・寸法設定時と、レイアウトでの図面切取時の縮尺初期値を設定します。

## 【キープランスケール】

キープラン図の切取縮尺を設定します。

## 【DXF縮尺】【JWC縮尺】

DXFデータ・JWCデータをレイアウトで読み込む時の縮尺初期値を設定します。

図面縮尺	
平面・床・横断面	1 / 50
立面・縦断面	1 / 50
キープラン	1 / 200
DXF縮尺	1 / 50
JWC縮尺	1 / 50

## 【一般表示色】

動作環境で設定した色で表示します。

## 【レイヤ色】

詳細設定内の画層設定で登録した色で表示します。

## 【ペン色】

詳細設定のペン設定で登録した色で表示します。  
この表示はレイアウト内でのみ有効です。

画面表示色	
<input checked="" type="radio"/>	一般表示色
<input type="radio"/>	レイヤ色
<input type="radio"/>	ペン色

## 【カラー】

カラーで出力する場合に設定します。

## 【モノクロ】

モノクロで出力する場合に使用します。

モノクロジェットにカラーで出力する場合に  
ドライバにより線幅が変更できます。

出力設定	
<input type="radio"/>	カラー
<input checked="" type="radio"/>	モノクロ

## 【初期用紙サイズ】

作図用紙サイズを選択します。  
平面図・レイアウト画面の縮尺になります。

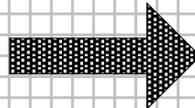
プルダウンメニュー  
から選択

初期用紙サイズ	
A1横	841 × 594
A1縦	594 × 841
A2横	594 × 420
A2縦	420 × 594
A3横	420 × 297
A3縦	297 × 420
A4横	297 × 210
A4縦	210 × 297

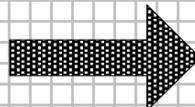
## 【割付寸法表現】

パネルの割付寸法の表現をプルダウンメニューから  
初期設定します。

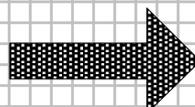
割付寸法表現	
600×3+8×2=1816	▼



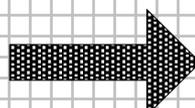
割付寸法表現	
表記自動判定	▼



割付寸法表現	
600 600 600	▼



割付寸法表現	
600×3+8×2	▼



368	600x7+8x6=4248	368
8		8
Y2		
Y1		
400	600x7=4200	400
368	600 600 600 600 600 600 600 600 368	
8	8 8 8 8 8 8 8 8 8	
Y2		
Y1		
400	600x7=4200	400
368	600 600 600 600 600 600 600 600 368	
8	8 8 8 8 8 8 8 8 8	
Y2		
Y1		
400	600 600 600 600 600 600 600 600 400	
368	600x7+8x6	368
8		8
Y2		
Y1		
400	600x7	400

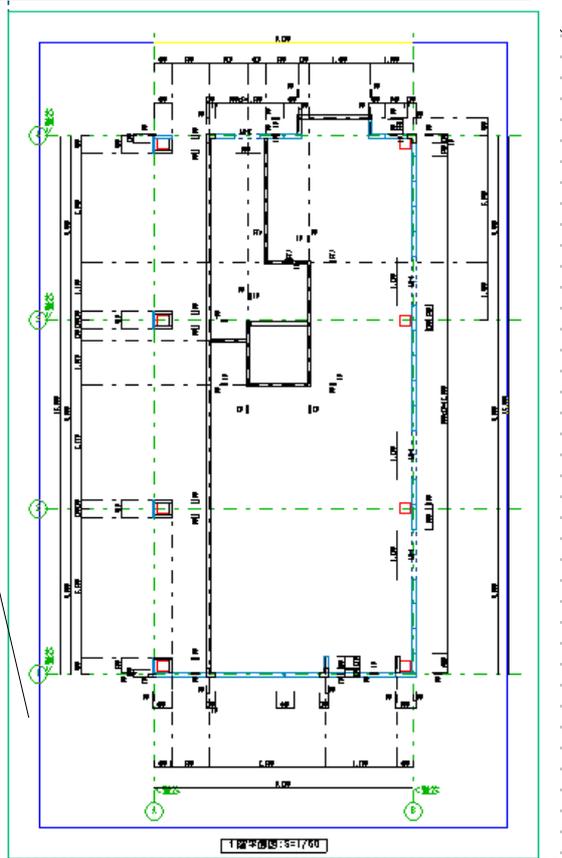
# 第9章 環境設定

## 【構造エリア】

上下左右内エリアを非作図エリア(構造関係寸法)のみを表示する部分を指定します。

構造エリア	
上	15
下	15
左	15
右	15

構造エリアの範囲になります。  
この範囲内には、構造寸法と図面名・通りバルーンのみ表示されます。  
構造エリア範囲内にパネル寸法位置が該当する場合は表示されません。これをクリッピングエリアと呼んでいます。

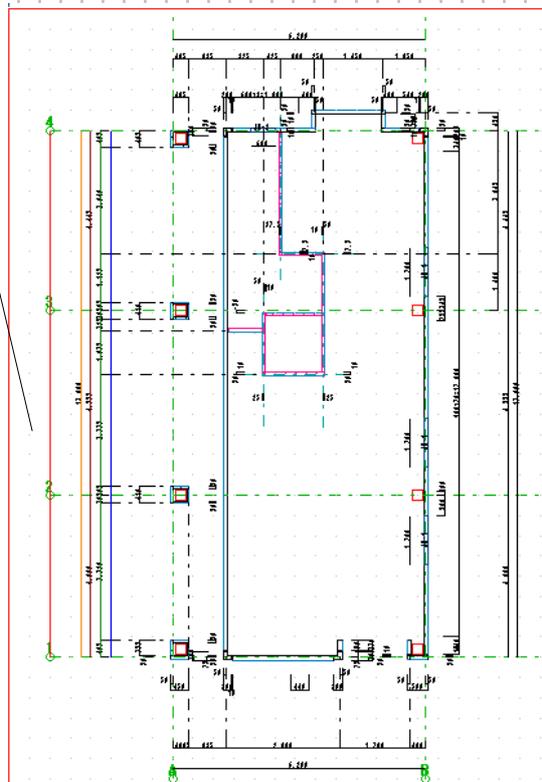


## 【通り芯エリア】

自動切取枠の大外エリアを指示します。  
構造エリア + 通り芯エリアが自動切取枠になります。

構造ルール基点から外がわへの距離になります。  
構造エリア60、通り芯エリア20の場合自動切取枠は通り芯から80の距離になります。

通芯[平面・床]		通芯[立面・縦断]		通芯[キープラン]	
上	0	上	0	上	0
下	50	下	20	下	20
左	20	左	10	左	10
右	0	右	0	右	0

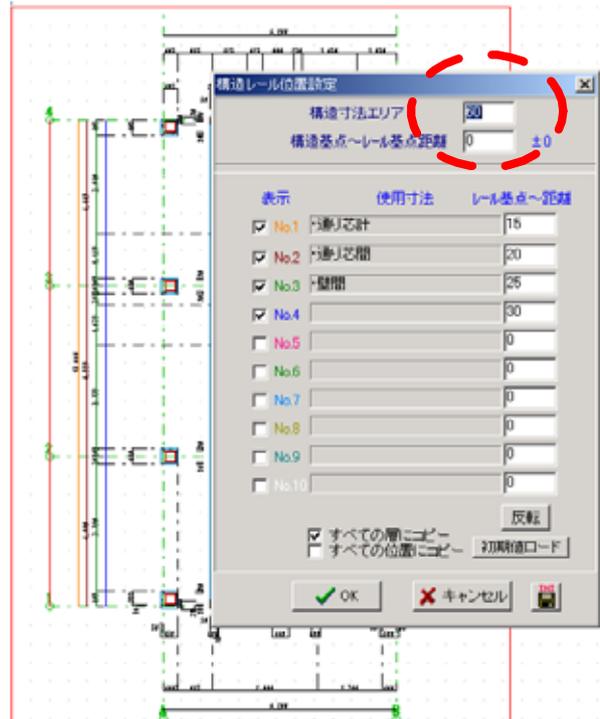


## 第9章 環境設定

### 【自枠について】

各図面の切取りエリア範囲を指定します。  
大外の通り芯からの距離になります。

自枠[平面・床]		自枠[立面・縦断]		自枠[キープラン]	
上	60	上	60	上	50
下	70	下	70	下	80
左	60	左	70	左	50
右	60	右	60	右	40



### 【寸法値表示】

#### 【小数点以下】

小数点以下の表示設定を行ないます。

#### 【位取りカンマ】

位取りカンマの選択を行ないます。

#### 【丸め】

数値の変換方式を選択します。

#### 【小数点表記】

小数点の表示位置を設定をします。

寸法値表現	
小数点以下	1
位取りカンマ	有り ▾
丸め	四捨五入 ▾
小数点表記	右上げ ▾

### 【挿入文字高さ】

文字挿入時の初期大きさを設定します。

挿入文字高さ	
	③. [ 3.00 mm ] ▾

### 【印刷・DXF出力形式】

印刷時に円弧図形を多角形に近い図形で出ます。

DXF出力時に補助線を隠し属性で出力します。

DXF出力時、点のデータを○に変更します。

- 印刷時、円弧データを多角形近似データで出力
- DXF出力時、補助線データを隠し属性で出力
- DXF出力時、点のデータを○に変更する

# 第9章 環境設定

## 詳細設定

- ペン設定
- 文字種設定
- 画層設定
- 図面枠設定
- 文字マスタ設定
- 縮尺リスト設定
- 作図範囲設定
- JWC変換設定

### 【ペン設定】

ペンNOの色・線幅・JWCのペンNOを設定します。

### 【文字種設定】

文字のペンNO・文字高・フォントを設定します。

### 【画層設定】

レイヤの表示・操作ロックと、色・名称・DXF出力名称の設定を行います。

### 【図面枠設定】

図面枠の登録・修正・削除、枠文字設定を行います。

### 【文字マスタ設定】

文字マスターを登録します。

### 【縮尺リスト】

縮尺リストを作成します。

### 【作図範囲設定】

用紙作図範囲を上下右左設定します。

### 【JWC変換設定】

JWCデータのレイヤNOをBbCADのレイヤNOに当てはめます。



### 【ペン色設定】

ペン色の設定をします。変更するペンの色をマウス左ダブルクリックして色パレットから指定の色を選択します。

Windowsのプロットドライバは色によってペン番号が決まります。色設定をドライバと同じにしてください。

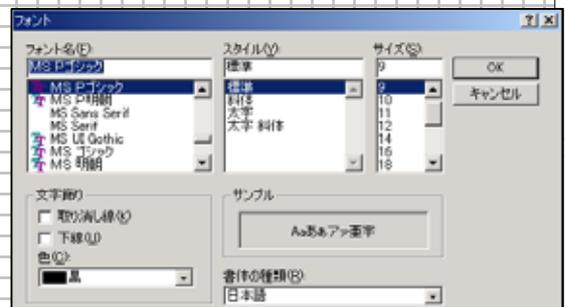
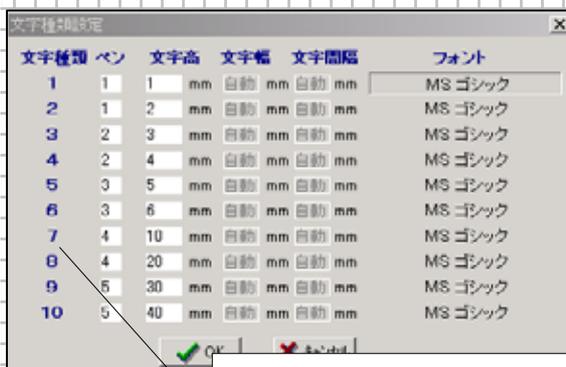
### 【ペン幅】

使用するペンの太さを指定します。但しプロッター及びプリンター内の設定を使用しますので実際の大きさは各出力器で調節して下さい。

### 【JWC色】

JWC\_CADのペンNO色に出力します。

JWC\_CADに出力ON / OFFをチェックします。



文字種類に対してペン番号及び文字の大きさを指定します。文字種類設定内のフォントを選択すると右側のフォント指定ウィンドウが開きます。

【フォント】文字の種類を選択します。  
 【スタイル】太さ、傾きを指示します。  
 【サイズ】文字の大きさを指定します。  
 【文字飾り】文字に線を引き、強調します、又文字色の設定も行ないます。  
 【サンプル】上記の選択した内容を確認します。  
 【書体の種類】言語を指示します。

# 第9章 環境設定

## 【画層設定】

レイヤの表示・操作ロックや色・名称・DXF出力名称を設定します。

### 【表示】

各レイヤ番号の表示 / 非表示を設定です。

### 【ロック】

各レイヤ番号の操作をロックするかどうかを設定です。

### 【色】

各レイヤ番号の要素の表示色を設定です。

入力	表示	ロック	色	名称	DXFデータ出力レイヤ名
0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	汎用要素(線)	0-0
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	紫	汎用要素(字)	0-1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	赤	基準線	0-2
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	青	基準線寸法	0-3
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	緑	躯体・構造	0-4
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黄緑	躯体・構造寸法	0-5
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	壁・床	0-6
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	壁・床寸法	0-7
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	パネル	0-8
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	パネル寸法	0-9
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	開口	0-a
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	開口寸法	0-b
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	開口補強	0-c
13	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	デザイン	0-d
14	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	割符・断面形状	0-e
15	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	図面名、他	0-f

### 【名称】

各レイヤ番号の名称を設定です。

### 【DXFデータ出力レイヤ名】

レイアウトした図面をDXF形式のファイルに出力するときの各レイヤ番号の名称を設定です。

新規データ作成		既存データ修正	
初期表示図面枠設定			
<input checked="" type="checkbox"/> A0横	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B0横	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A0縦	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B0縦	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A1横	A1横標準図面枠	<input checked="" type="checkbox"/> B1横	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A1縦	A1縦標準図面枠	<input checked="" type="checkbox"/> B1縦	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A2横	A2横標準図面枠	<input checked="" type="checkbox"/> B2横	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A2縦	A2縦標準図面枠	<input checked="" type="checkbox"/> B2縦	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A3横	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B3横	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A3縦	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B3縦	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A4横	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B4横	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A4縦	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B4縦	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A5横	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B5横	未設定
<input checked="" type="checkbox"/> A5縦	未設定	<input checked="" type="checkbox"/> B5縦	未設定
DXF縮尺 1/70		JWG縮尺 1/70	

図面枠の登録，初期図面枠の設定を行ないます。

用紙サイズ種類は

「A0横～A5縦」、「B0横～B5縦」があります。

### 【表示SW】

用紙選択リストに表示確認のスイッチです。

チェックが付いてれば表示です。

### 【初期呼び出し図面枠】

新規図面編集を表示した時の図面枠を設定します。

### 【新規データ作成】

新しく図面枠を登録する場合に選択します。

### 【既存データ修正】

既に登録してある図面枠を内容変更する場合に選択します。

用紙サイズ	[A0横[1189 x 841]]		
図面枠名称	[新図面枠]		
<input type="checkbox"/> 枠データ作成	[参照]		
<input checked="" type="checkbox"/> 工事項目記入	作図SW		
<input checked="" type="checkbox"/> 工事名称	X位置	Y位置	文字種類
<input checked="" type="checkbox"/> 工事場所	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 設計	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 元請け	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 担当者	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 日付	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 代理店名	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 代理店住所	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 代理店TEL	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 代理店FAX	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 図面名	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 図番	0	0	Φ.[1.00 mm]
<input checked="" type="checkbox"/> 縮尺	0	0	Φ.[1.00 mm]

### 【用紙サイズ】

枠の大きさに合った用紙サイズを選択します。

### 【図面枠名称】

枠の名称です。

### 【枠データ作図】

枠作図確認スイッチです。

### 【工事項目記入】

全項目作図確認スイッチです。

### 【作図SW】

作図確認スイッチです。

### 【X位置】

X方向の各項目作図位置を指定します。

### 【Y位置】

Y方向の各項目作図位置を指定します。

### 【文字種類】

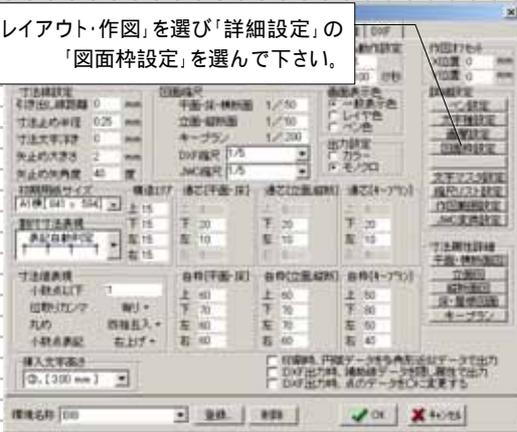
各項目の文字サイズを指定します。

# 第9章 環境設定

## 【図面枠の登録】について

以下の説明は枠データがJWC CADに登録してありそれをBbに登録する方法を説明します。

「レイアウト・作図」を選び「詳細設定」の「図面枠設定」を選んで下さい。



新規データ作成を選んで下さい。



新規図面枠登録画面が出てきますので、「用紙サイズ」を指定し、「図面名称」を登録して下さい。



### 【用紙サイズ】

登録する枠の大きさを指定します。

### 【図面枠名称】

登録する枠の名称を指定します。

### 【枠データ作図】

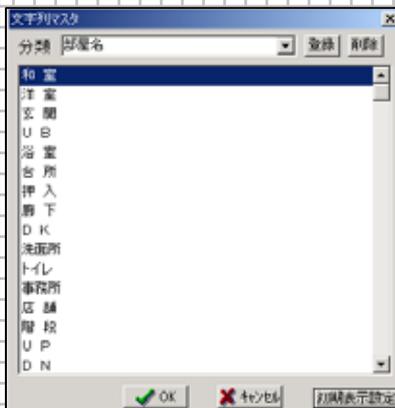
枠作図を行なうか選択を行ないます。

チェックを付けたら作図枠の保存場所を聞いてきます。

### 【工事項目記入】

枠内部の記述について作図確認を行ないます。

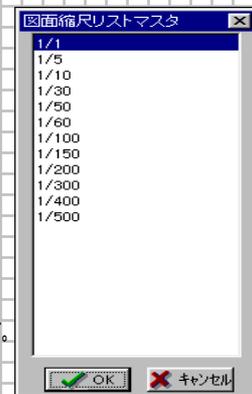
作図SWのチェックを付ける事で作図が行なえます。



分類は各文字マスターのグループ名です。

【図面名】各図面名を登録します。

【部屋名】部屋名を登録します。



### 【図面縮尺リストマスタ】について

縮尺の追加・削除・変更が行なえます。

最下段の行に追加してください。



### 【用紙作図範囲設定】について

用紙の大きさに対して作図範囲を設定します。

用紙端からのクリアを入力して下さい。

レイアウト画面の内側のラインになります。

### 【JWCレイヤ変換設定】について

JWCレイヤグループ

「グループ0～F」までを選択します。

### 【JWCレイヤ】

JWCの各レイヤ番号に対して

Wizard側のレイヤを割り当てます。



## 寸法属性設定

### 寸法属性詳細

平面・横断面図

立面図

縦断面図

床・屋根図面

キープラン

### 【平面・横断面図】

平面図・横断面図の寸法初期値を設定します。

### 【立面図】

立面図の寸法初期値を設定します。

### 【縦断面図】

縦断面図の寸法初期値を設定します。

### 【床・屋根図面】

床・屋根図の寸法初期値を設定します。

### 【キープラン】

キープラン図の寸法初期値を設定します。

## 平面図面寸法設定

平面設定が行なえる各部材を表記してあります。

線種のパターンを選択します。

不可視線  
実線  
点線  
破線  
1点鎖線  
2点鎖線  
補助線

レイアウトでの平面図切取時、一番外にある通り芯を基準としていますが、その候補に仮芯を入れるかどうかの設定をします。

### 作図初期値設定

平面図面
平面寸法
平面ルール

	作図SW	線種	ペンNo	レイNo
基準線	ON	1点鎖線	1	2
壁芯	ON	1点鎖線	1	6
外壁	ON	実線	2	6
間仕切壁	ON	実線	2	6
ベランダ壁	ON	点線	2	6
パネル	ON	実線	2	8
柱	ON	実線	2	4
間柱	ON	実線	2	4
梁	OFF	点線	2	4
コーナー	ON	実線	2	6
開口	ON	点線	2	10
デザイン	ON	実線	1	13
RC部材	ON	実線	1	1
RC壁	ON	実線	1	1
ハッチング	ON	実線	1	1

ペンNOを入力します。

角柱表記方法

切取図面エリアの候補に仮芯も入れる

面記号の文字を角度によって回転する

面記号の文字を常に0°の角度で表示するかどうかの設定です。

作図表示を行なうか、表示しないか設定します。

レイヤNOを入力します。

無印

躯体別表記

X印

# 第9章 環境設定

作図初期値設定

平面図面 平面

ルールNOを入力します。1～10まで  
また、緑の項目は構造ルールに関する項目です。

寸法タイプを選択します。

寸法表示パターンを選択します。クリックすると下部へ寸法パターンが表示されます。

寸法止めタイプを選択します。

ルールNo	ルールNo	パターン	タイプ	止	位置	前文字	後文字
1	1	1	1	2			
2	1	1	1	2			
3	2	2	2	2			
4	5	0	2	2	3	3	7
5	6	0	2	2	3	4	-15
6	7	5	2	2	3	6	17
7	6	5	2	2	3	6	17
8	7	5	0	2	3	0	-3
9	11	7	2	2	3	0	5
10	7	5	0	2	3	0	0
11	11	7	2	2	3	0	0
12	2	6	2	2	3	0	0
13	2	4	2	2	3	0	0
14	2	4	2	2	3	0	0
15	1	1	0	0	3	0	0
16	1	0	0	0	3	0	0
17	1	0	0	0	3	0	0
18	1	3	0	0	4	0	0
19	1	0	0	0	5	0	0
20	1	0	0	0	3	0	0
21	1	0	0	0	4	0	0
22	1	0	2	2	3	0	0
23	1	1	0	2	2	3	0
24	1	1	0	2	2	3	0
25	1	1	0	2	2	3	0
26	1	1	0	2	2	3	0
27	1	1	0	1	2	3	0
28	1	1	0	1	2	3	0
29	1	1	0	1	2	3	0
30	1	1	0	1	2	3	0
31	1	1	0	1	2	3	0
32	1	1	0	1	2	3	0
33	1	1	0	1	2	3	0
34	1	1	0	1	2	3	0
35	1	1	0	1	2	3	0
36	1	1	0	1	2	3	0
37	1	1	0	1	2	3	0
38	1	1	0	1	2	3	0
39	1	1	0	1	2	3	0
40	1	1	0	1	2	3	0
41	1	1	0	1	2	3	0
42	1	1	0	1	2	3	0
43	1	1	0	1	2	3	0
44	1	1	0	1	2	3	0
45	1	1	0	1	2	3	0
46	1	1	0	1	2	3	0
47	1	1	0	1	2	3	0
48	1	1	0	1	2	3	0
49	1	1	0	1	2	3	0
50	1	1	0	1	2	3	0

寸法タイプ図  
タイプ0 1500 1500 1500 1500 600

寸法止め種類  
種類1 種類2 種類3 種類4

選択寸法  
壁間寸法

寸法パターン図  
パターン1 1500 1500 1500 1500

△ グレー部分は変更しても図面反映されない項目です。

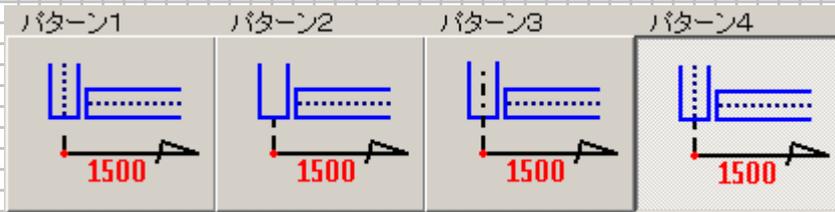
- 【文字】 文字種設定で登録した文字種NOを入力します。  
文字高を入力するのではありません。少数点の記入はできません。
- 【足長さ】 寸法線の足長さ数値を入力します。
- 【位置】 寸法初期位置を入力します。すべて壁芯からの距離が基準になります。  
詳細な調整は寸法設定で変更出来ます。
- 【前文字・後文字】  
表示した寸法値に(320)かっこ表示等の表記ができます。  
例: L = W =

汎用寸法パターンとは・・・  
寸法設定時の3点寸法・線間寸法入力で使用する寸法パターンを設定します。  
汎用芯振寸法は、芯振り寸法初期設定を行います。

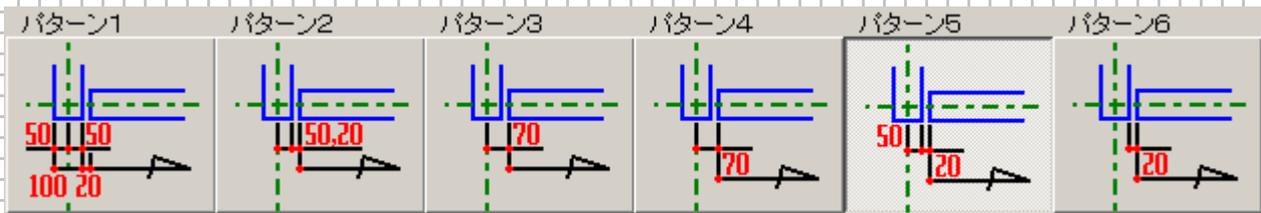
# 第9章 環境設定

## 平面寸法パターン一覧

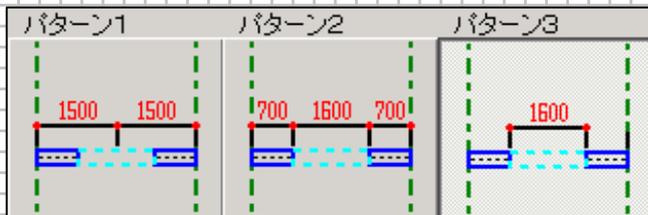
### 【壁間寸法】



### 【芯小口寸法】



### 【開口W寸法】



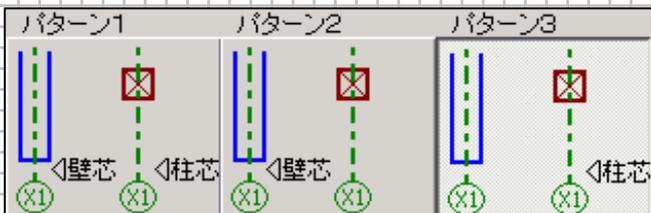
### 【開口記号】



### 【面記号】



### 【壁芯記号】



# 第9章 環境設定

## 平面ルール設定

平面ルール設定とは...

構造エリアと壁寸法エリアに分けて、寸法位置の初期設定設定を行います。

寸法位置をルールに例え、基準からルールNOを設定していきます。

構造寸法ルールはバルーンの中心からが基点です。

壁寸法ルールは壁芯からが基点です。

NOは平面寸法の  
ルールNOを指示し  
ています。

通り芯計寸法
通り芯間寸法
壁間寸法

構造寸法ルール基準位置

0

構造寸法ルール

	表示SW	位置
No1	ON	10
No2	ON	15
No3	ON	20
No4	OFF	0
No5	OFF	0
No6	OFF	0
No7	OFF	0
No8	OFF	0
No9	OFF	0
No10	OFF	0

★通り芯計寸法  
★通り芯間寸法  
★壁間寸法

構造エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
0の場合バルーンの中心になります。  
すべてのNOに提要されます。

設定した寸法名が表示されます。

構造エリア基準からの  
距離を設定します。

NOは平面寸法の  
ルールNOを指示し  
ています。

パネル割付寸法
パネル芯振寸法
芯小口間寸法
コーナー寸法
開口W寸法
壁端部寸法
壁長さ寸法
柱芯間寸法

壁寸法ルール基準位置

0

壁寸法ルール

	表示SW	位置
No1	ON	30
No2	ON	18
No3	ON	9
No4	ON	13
No5	ON	-10
No6	ON	12
No7	ON	25
No8	OFF	0
No9	OFF	0
No10	OFF	0

★柱芯間寸法  
★パネル割付寸法★コーナー寸法  
★パネル芯振寸法  
★芯小口間寸法  
★開口W寸法  
★壁端部寸法  
★壁長さ寸法

壁エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
0の場合バルーンの中心になります。  
すべてのNOに提要されます。

設定した寸法名が表示されます。

構造エリア基準からの  
距離を設定します。

# 第9章 環境設定

## 立面図面設定

立面設定が行なえる各部材を表記してあります。

ペンNoを入力します。

レイヤNoを入力します。

部材名	作図SW	線種	ペンNo	レイヤNo
SL線	ON	1点鎖線	1	2
GL線	ON	実線	1	2
通り芯	ON	1点鎖線	1	2
壁	ON	実線	2	6
パネル(壁)	ON	実線	1	1
パネル(床)	ON	実線	1	1
パネル(屋根)	ON	実線	1	1
柱	OFF	点線	2	4
間柱	OFF	点線	2	4
梁	ON	実線	2	4
コーナー	ON	実線	2	6
開口	ON	実線	2	10
端部形状記号	ON	実線	0	14
基礎	ON	実線	2	4
小口	ON	実線	2	6
デザイン	OFF	実線	1	13
切り欠き	OFF	実線	1	1
梁(面と平行)	OFF	点線	2	4
屋根床断面	ON	実線	1	1
RC壁	ON	実線	1	1
アンカー	OFF	実線	1	1
開口補強(L型)	ON	点線	1	1
開口補強(U型)	ON	点線	1	1
開口補強(ラット)	ON	点線	1	1
ハッチング	ON	実線	1	1
小口芯	ON	点線	1	1
開口×印	ON	実線	1	1

デザイン表記  
 省略表記  全表記  
 デザインパネル省略パターン

開口×印表記

縦文字90度反転 =

開口寸法値表示SW  
 開口高さ位置寸法  
 開口上下H寸法  
 開口左右W寸法

パネル長さ寸法作成時  
 クリア値が 10 mm以下の時、止めマークを非表示で固定する。  
 基礎高さが 500 mm以下の時、止めマークを●止めで固定する。

形状記号・割符番号の角度 45

形状記号を矢印で表示する

縦パネル形状記号・割符番号の移動量 X軸 0 Y軸 0  
 横パネル形状記号・割符番号の移動量 X軸 0 Y軸 0

壁間寸法作成時、基準になるパネルの 1000 mm以内の小口で寸法を作る。

作図表示を行なうか、表示しないか設定します。

線種のパターンを選択します。

- 不可視線  
 実線  
 点線  
 破線  
 1点鎖線  
 2点鎖線  
 補助線

**【デザイン表記パターン】**  
 デザインパネルのデザイン表示をパターンから選択します。

デザイン表記  
 省略表記  全表記  
 デザインパネル省略パターン

**【開口×印表記パターン】**  
 開口の×表示を設定します。

開口×印表記

**【縦文字90度反転】**  
 文字の回転を行います。  
 レイアウト時に縦配置を行なう場合に使用します。

縦文字90度反転 =

# 第9章 環境設定

## 【開口高さ位置寸法省略】

同じ層に、連続して同じ高さの開口高さ位置寸法があるとき、一番左の開口寸法以外を省略します。

同じ開口高さ位置寸法の作図省略SW

## 【開口高さ位置寸法パターン自動判定】

パネルの割付方向を見て、開口高さ寸法のパターンを自動で判定します。  
縦割付は、開口の横に寸法を出すパターン。  
横割付は、開口の上に寸法を出すパターン。

開口高さ位置寸法パターン自動判定SW

## 【パネル下寸法位置基点変更】

パネル下に表記する寸法の位置基点を、パネルのすぐ下からにするか、GL固定にするかを選択します。

パネル下寸法作成時、基点をGLに固定する。

## 【開口周り寸法値表示SW】

打ち合わせ図面として数値を記入しない場合にチェックをはずします。

開口寸法値表示SW

- 開口高さ位置寸法
- 開口上下H寸法
- 開口左右W寸法

## 【クリア値・基礎高さ止めマーク】

クリア値と基礎高さ寸法の止めを設定値を無視して固定します。

パネル長さ寸法作成時

クリア値が  mm以下の時、止めマークを非表示で固定する。  
基礎高さが  mm以下の時、止めマークを●止めで固定する。

## 【形状記号・割符番号の設定】

形状記号と割符番号は、同じ位置・角度で表示されます。

形状記号・割符番号の表示角度を設定します。

形状記号・割符番号の表示位置・割符番号の文字基点位置を設定します。

形状記号・割符番号の角度

割符表示詳細設定

形状記号を矢印で表示する

縦パネル形状記号・割符番号の移動量

X軸  Y軸

横パネル形状記号・割符番号の移動量

X軸  Y軸

形状記号を矢印で省略表記します。

形状記号・割符番号を基点位置より移動させることができます。



## 【立面壁間寸法作成条件の設定】

立面壁間寸法を作成する際、基準になるパネルの外周から設定値以内の距離にある小口で寸法を作成します。

壁間寸法作成時、基準になるパネルの  mm以内の小口で寸法を作る。

# 第9章 環境設定

ルールNOを入力します。1～10まで

寸法タイプを選択します。

寸法止めタイプを選択します。

寸法表示パターンを選択します。クリックすると下部へ寸法パターンが表示されます。

開口高さ位置寸法のパターンが6の場合のみ設定できます。 -21を参照

作図SW	線種	パターンNo	レイアNo	ルールNo	パターン	タイプ	タイプ0	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
階高計寸法	ON	実線	1	3	1	1	2				
階高寸法	ON	実線	1	3	2	1	2				
パネル高さ寸法	ON	実線	2	9	1	2	2				
パネル幅寸法	ON	実線	2	2	1	2	2				
パネル階振寸法	ON	実線	1	9	2	1	2	4	4	0	
通り芯計寸法	ON	実線	1	3	1	1	2	4	0	0	
通り芯間寸法	ON	実線	1	3	2	1	2	4	0	0	
パネル割付寸法	ON	実線	2	9	3	2	2	4			
パネル長さ寸法	ON	実線	2	2	3	2	2	4			
壁間寸法	ON	実線	2	2	3	2	2	4			
柱芯間寸法	ON	実線	2	2	7	2	2	4			
芯小口間寸法	ON	実線	2	9	6	5	2	4			
パネル芯振寸法	ON	実線	2	9	4	0	2	4			
壁端部寸法	ON				2	0	2	4			
切欠きパネル寸法	ON				0	2	2	4			
壁長さ寸法	OFF				2	1	2	2	4	5	0
コーナー寸法	ON				5	2	2	2	4	5	0
開口高さ位置寸法	ON				0	1	2	2	3	4	5
開口H寸法	ON				0	1					
開口W寸法	ON				0	1					
開口上下H寸法	ON	実線			11	0	1				
開口左右W寸法	ON	実線			2	0	1	2	3	0	3

開口部切	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5
開口記号					
柱の記号					
梁の記号					
開口補強					
割符番号	50 150	50 20	70	70	50 20
図面名称	100 20				

グレー部分は変更しても図面反映されない項目です。

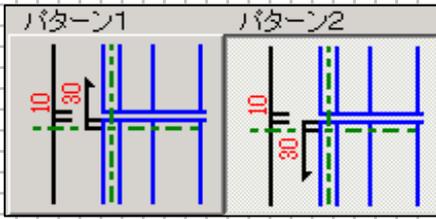
- 【文字】 文字種設定で登録した文字種NOを入力します。  
文字高を入力するのではありません。少数点の記入はできません。
- 【足長さ】 寸法線の足長さ数値を入力します。
- 【位置】 寸法初期位置を入力します。すべて壁芯からの距離が基準になります。  
詳細な調整は寸法設定で変更出来ます。
- 【前文字・後文字】  
表示した寸法値に(3 2 0)かっこ表示等の表記ができます。  
例: L = W =

汎用寸法パターンとは・・・  
寸法設定時の3点寸法・線間寸法入力で使用する寸法パターンを設定します。  
汎用芯振寸法は、芯振り寸法初期設定を行います。

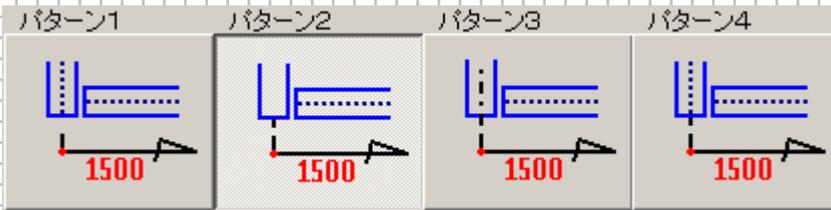
# 第9章 環境設定

## 立面寸法パターン一覧

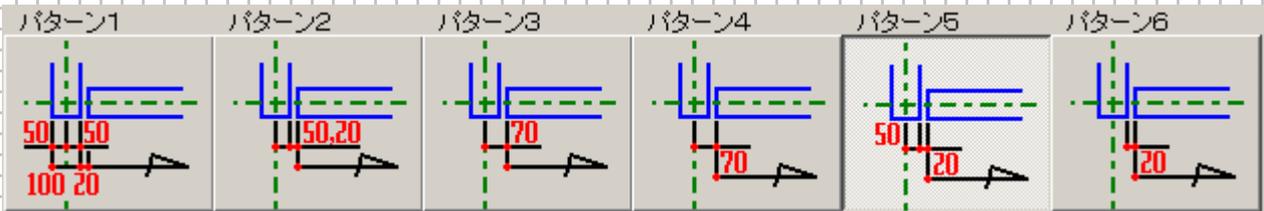
### 【パネル階振寸法】



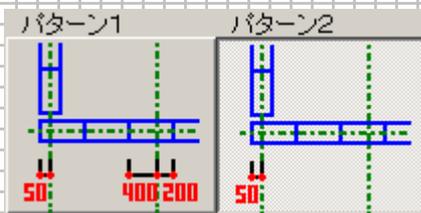
### 【壁間寸法】



### 【芯小口寸法】

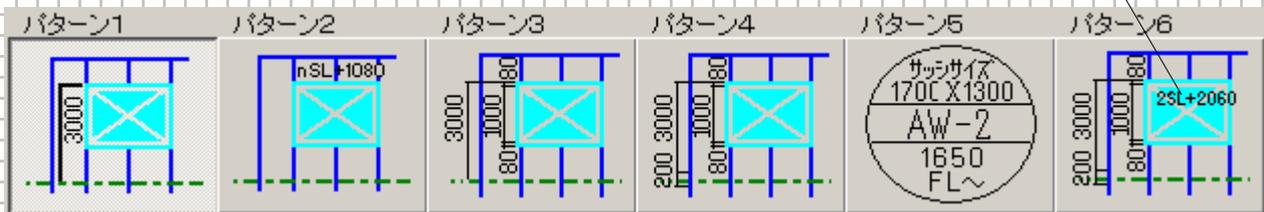


### 【パネル芯振寸法】

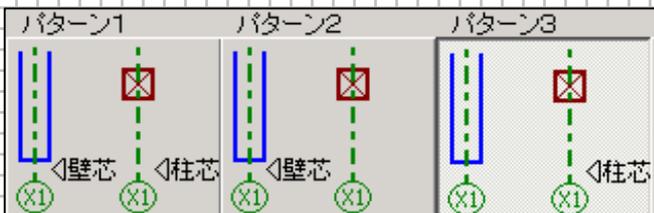


開口高さ寸法パターン6の場合のみ、設定項目の一番右で、2SL+2060部分の位置設定(上下)ができます。

### 【開口高さ寸法】



### 【壁芯記号】



# 第9章 環境設定

## 立面ルール設定

立面ルール設定とは…  
 構造エリアと壁寸法エリアに分けて、寸法位置の初期設定設定を行います。  
 寸法位置をルールに例え、基準からルールNOを設定していきます。  
**構造寸法ルールはバルーンの中心からが基点です。**  
**壁寸法ルールは左右方向は壁外周からが基点です。**  
**上下方向は下側はGLラインから、上は最上壁外周からが基点です。**

NOは平面寸法の  
 ルールNOを  
 指示しています。

構造寸法ルール基準位置

0

構造エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
 0の場合バルーンの中心になります。  
 すべてのNOに提要されます。

構造寸法ルール

	表示SW	位置	
No1	OFF	0	★階高計寸法★通り芯計寸法
No2	OFF	0	★階高寸法★通り芯間寸法
No3	OFF	0	★壁間寸法

設定した寸法名が表示されます。

階高計寸法
階高寸法
通り芯計寸法
通り芯間寸法
壁間寸法

構造エリア基準からの  
 距離を設定します。

NOは平面寸法の  
 ルールNOを  
 指示しています。

壁寸法ルール基準位置

0

壁エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
 0の場合バルーンの中心になります。  
 すべてのNOに提要されます。

パネル寸法ルール

	表示SW	位置	
No1	ON	25	★パネル高さ寸法★パネル幅寸法
No2	ON	20	★パネル階振寸法★壁端部寸法★壁長さ寸法
No3	ON	25	★パネル割付寸法★パネル長さ寸法
No4	ON	20	★パネル芯振寸法
No5	ON	25	★コーナー寸法
No6	ON	25	★芯小口間寸法
No7	ON	35	★柱芯間寸法

設定した寸法名が表示されます。

パネル高さ寸法
パネル幅寸法
パネル階振寸法
パネル割付寸法
パネル長さ寸法
柱芯間寸法
芯小口間寸法
パネル芯振寸法
壁端部寸法
壁長さ寸法
コーナー寸法

構造エリア基準からの  
 距離を設定します。

# 第9章 環境設定

## 縦断面図面寸法設定

縦断面設定が行なえる各部分材を表記してあります。

ペンNOを入力します。

	作図SW	線種	ペンNo	レイヤNo
SL線	ON	1点鎖線	1	2
GL線	ON	実線	1	2
通り芯	ON	1点鎖線	1	2
壁	ON	実線	2	6
パネル	ON	実線	2	8
スラブ・床	ON	実線	2	6
屋根	ON	実線	2	6
柱	ON	実線	2	4
間柱	ON	実線	2	4
梁	ON	実線	2	4
コーナー	ON	実線	2	6
開口	ON	実線	2	10
開口補強	ON	実線	1	12
基礎	ON	実線	2	4
小口	ON	実線	2	6
	ON	実線	1	13

作図表示を行なうか、表示しないか設定します。

レイヤNOを入力します。

- 不可視線
- 実線
- 点線
- 破線
- 1点鎖線
- 2点鎖線
- 補助線

線種のパターンを選択します。

# 第9章 環境設定

縦断面図面 縦断面寸法

ルールNOを入力します。1～10まで  
また、緑の項目は構造ルールに関する項目です。

寸法タイプを選択します。

寸法表示パターンを選択します。クリックすると下部へ寸法パターンが表示されます。

寸法止めタイプを選択します。

ルールの種類	実線	パターン	タイプ	止め	文字No	足長さ	位置	前文字	後文字
階高計寸法		1	1				0		
階高寸法		1	1				0		
パネル高さ寸法		2	2				0		
パネル階振寸法		2	1				0		
通り芯計寸法		1	1						
通り芯間寸法		2	1						
芯壁間寸法		3	2						
開口H寸法	ON	実線	1	11					
開口高さ位置寸法	ON	実線	1	11					
柱メンバー	ON	実線	1	5	0	0	0	2	3
梁メンバー	ON	実線	1	5	0	0	0	2	3
開口補強メンバー	ON	実線	1	11	0	0	0	2	3
図面名称			0	0	0	0	5	0	10
壁芯記号			0	0	0	0	4		
パネル名			0	0	0	0	4		
階高名称			1	0	0	2			
汎用寸法パターン1			1	0	2	2			
汎用寸法パターン2			1	0	1	2			
汎用寸法パターン3			1	0	3	2			
汎用寸法パターン4	ON	実線	1	1	0	4	2		
汎用寸法パターン5	ON	実線	1	1	0	0	2		
汎用小口芯振寸法	ON	実線	1	1	0	1	2		

寸法タイプ図  
タイプ  
タイプ1 1500  
タイプ2 1500  
タイプ3 1500  
タイプ4 1500  
タイプ5 600

寸法止め種類  
種類1  
種類2  
種類3  
種類4

選択寸法  
芯壁間寸法

寸法パターン図  
パターン1  
パターン2  
パターン3

△ グレー部分は変更しても図面反映されない項目です。

- 【文字】 文字種設定で登録した文字種NOを入力します。  
文字高を入力するのではありません。少数点の記入はできません。
- 【足長さ】 寸法線の足長さ数値を入力します。
- 【位置】 寸法初期位置を入力します。すべて壁芯からの距離が基準になります。詳細な調整は寸法設定で変更出来ます。
- 【前文字・後文字】  
表示した寸法値に(320)かっこ表示等の表記ができます。  
例: L = W =

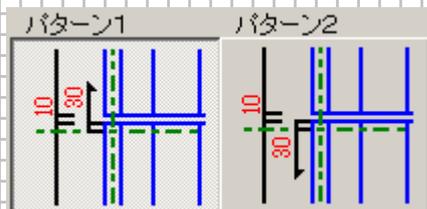
汎用寸法パターンとは・・・

寸法設定時の3点寸法・線間寸法入力で使用する寸法パターンを設定します。

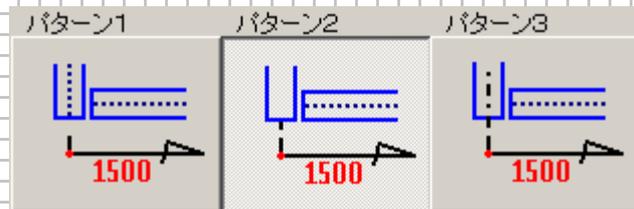
汎用芯振寸法は、芯振り寸法初期設定を行います。

## 縦断面寸法パターン一覧

【パネル芯振寸法】



【壁間寸法】



# 第9章 環境設定

## 縦断面ルール設定

縦断面ルール設定とは…

構造エリアと壁寸法エリアに分けて、寸法位置の初期設定設定を行います。

寸法位置をルールに例え、基準からルールNOを設定していきます。

構造寸法ルールはバルーンの中心からが基点です。

壁寸法ルールは左右方向は壁外周からが基点です。

上下方向は下側はGLラインから、上は最上壁外周からが基点です。

NOは平面寸法のルールNOを指示しています。

構造寸法ルール基準位置

構造エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
0の場合バルーンの中心になります。  
すべてのNOに提要されます。

構造寸法ルール

	表示SW	位置	
No1	ON	15	★階高計寸法★通り芯計寸法
No2	ON	20	★階高寸法★通り芯間寸法
No3	ON	25	★芯壁間寸法

設定した寸法名が表示されます。

構造エリア基準からの距離を設定します。

階高計寸法
階高寸法
通り芯計寸法
通り芯間寸法
芯壁間寸法

NOは平面寸法のルールNOを指示しています。

壁寸法ルール基準位置

壁エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
0の場合バルーンの中心になります。  
すべてのNOに提要されます。

パネル寸法ルール

	表示SW	位置	
No1	ON	25	★パネル高さ寸法
No2	ON	20	★パネル階振寸法
No3	ON	-10	★開口H寸法
No4	ON	-15	★開口高さ位置寸法

設定した寸法名が表示されます。

構造エリア基準からの距離を設定します。

パネル高さ寸法
パネル階振寸法
開口H寸法
開口高さ位置寸法

# 第9章 環境設定

## 床・屋根図面寸法設定

縦断面設定が行なえる各部材を表記してあります。

形状記号を矢印で省略表記します。

レイアウトでの床・屋根図切取時、一番外にある通り芯を基準としていますが、その候補に仮芯を入れるかどうかの設定をします。

床・屋根図面	床・屋根寸法	床・屋根		
	作図SW	線種	ペンNO	レイヤNO
基準線	ON	1点鎖線	1	2
壁芯	ON	1点鎖線	1	6
外壁	ON	実線	2	6
間仕切壁	ON	実線	2	6
ベランダ壁	ON	点線	2	6
壁パネル	ON	実線	1	1
柱	ON	実線		
間柱	ON	実線		
梁	ON	点線	2	4
コーナー	ON	実線	2	6
壁開口	ON	実線	1	1
床パネル	ON	実線	1	1
床開口	ON	実線	1	1
床切り欠き	ON	実線	1	1
RC部材	ON	実線	1	1
RC壁	ON	実線	1	1
ハッチング	ON	実線	1	1
端部形状記号	ON	実線	1	14

切取図面エリアの候補に仮芯も入れる

形状記号・割符番号の角度 0

形状記号を矢印で表示する

形状記号・割符番号の移動量

X軸 0 Y軸 0

形状記号・割符番号の表示角度を設定します。

形状記号・割符番号を基点位置より移動させることができます。

作図表示を行なうか、表示しないか設定します。

線種のパターンを選択します。

レイヤNOを入力します。

ペンNOを入力します。

不可視線  
実線  
点線  
破線  
1点鎖線  
2点鎖線  
補助線

# 第9章 環境設定

図面No	ルールNo	パターン	タイプ	長さ	位置	前文字	後文字
1	1	1	1	0			
2	1	1	1	0			
3	1	2	2	0			
1	2	2	2	0			
2	2	2	2	0			
3	0	1	1	1500			
1	2	2	2	1500			
2	2	2	2	1500			
3	0	1	1	1500			
4	0	1	1	600			

寸法タイプ	タイプ0	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
種類1	◆	◆	◆	◆	◆
種類2	◆	◆	◆	◆	◆
種類3	←	→	←	→	←
種類4	←	→	←	→	←

△ グレー部分は変更しても図面反映されない項目です。

- 【文字】 文字種設定で登録した文字種NOを入力します。  
文字高を入力するのではありません。少数点の記入はできません。
- 【足長さ】 寸法線の足長さ数値を入力します。
- 【位置】 寸法初期位置を入力します。すべて壁芯からの距離が基準になります。  
詳細な調整は寸法設定で変更出来ます。
- 【前文字・後文字】  
表示した寸法値に(320)かっこ表示等の表記ができます。  
例: L = W =

汎用寸法パターンとは・・・  
寸法設定時の3点寸法・線間寸法入力で使用する寸法パターンを設定します。  
汎用芯振寸法は、芯振り寸法初期設定を行います。

# 第9章 環境設定

## 床・屋根ルール設定

床・屋根ルール設定とは…

構造エリアと壁寸法エリアに分けて、寸法位置の初期設定設定を行います。

寸法位置をルールに例え、基準からルールNOを設定していきます。

構造寸法ルールはバルーンを中心からが基点です。

壁寸法ルールは左右方向は壁外周からが基点です。

上下方向は下側はGLラインから、上は最上壁外周からが基点です。

NOは平面寸法のルールNOを指示しています。

構造寸法ルール基準位置

0

構造エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
0の場合バルーンの中心になります。  
すべてのNOに提要されます。

通り芯計寸法
通り芯間寸法
梁間寸法

構造寸法ルール

	表示SW	位置	
No1	ON	10	★通り芯計寸法
No2	ON	15	★通り芯間寸法
No3	ON	20	★梁間寸法

設定した寸法名が表示されます。

構造エリア基準からの距離を設定します。

NOは平面寸法のルールNOを指示しています。

壁寸法ルール基準位置

0

壁エリア基準のバルーンからの距離を設定します。  
0の場合バルーンの中心になります。  
すべてのNOに提要されます。

パネル割付寸法
パネル芯振寸法
パネル目地振寸法

壁寸法ルール

	表示SW	位置	
No1	ON	25	★パネル割付寸法
No2	ON	20	★パネル芯振寸法
No3	ON	15	★パネル目地振寸法

設定した寸法名が表示されます。

構造エリア基準からの距離を設定します。

## 「初期値 追加機能」

### 各部材の線種(赤枠表示)初期値を各入力時に参照する機能

平面、立面、床・屋根、縦断面、横断面の各入力で各部材の表示線種を初期値より参照します。

環境設定 > 初期値設定 > レイアウト作図 > 寸法属性詳細より、レイアウト作図で設定された各部材の「線種」を入力画面での表示線種とします。

作図初期値設定				
平面図面   平面寸法   平面レベル				
	作図SW	線種	ハツNo	レイNo
基準線	<input checked="" type="checkbox"/>	1点鎖線	1	2
壁芯	ON	1点鎖線	1	6
外壁	ON	実線	2	6
間仕切壁	ON	実線	2	6
ベランダ壁	ON	点線	2	6
パネル	ON	実線	2	8
柱	ON	実線	2	4
間柱	ON	実線	2	4
梁	OFF	点線	2	4
コーナー	ON	実線	2	6
開口	ON	点線	2	10
デザイン	ON	実線	1	13
RC部材	ON	実線	1	1
RC壁	ON	実線	1	1
ハッチング	ON	実線	1	1

角柱表記方法

- 無印
- 躯体別表記
- X印

切取図面エリアの候補に仮芯も入れる

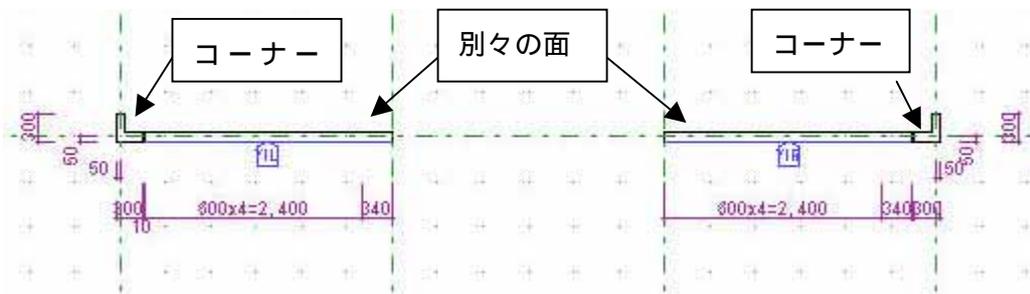
面記号の文字を角度によって回転する

**平面 or 立面展開時、離れた位置（下記設定距離以上）にあるコーナーパネルの隠蔽処理機能**

平面の同一通り芯上に、2つの壁があり別々の立面として展開すると他方の面のコーナーパネルも表示されますが、初期値設定の [ 平面 立面 ] 内にある [ 離れた位置にあるコーナーパネルを隠蔽処理する ] (赤丸部分) を設定することで動作を変更できます。



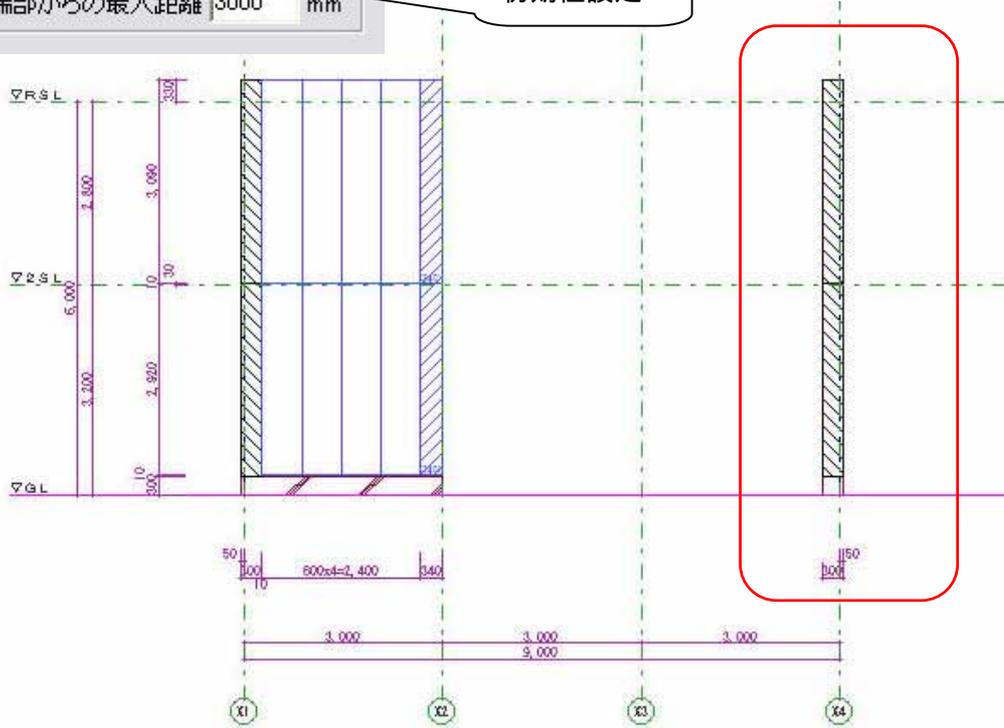
**平面**



立面

離れた位置にあるコーナーを隠蔽処理する  
パネル端部からの最大距離 3000 mm

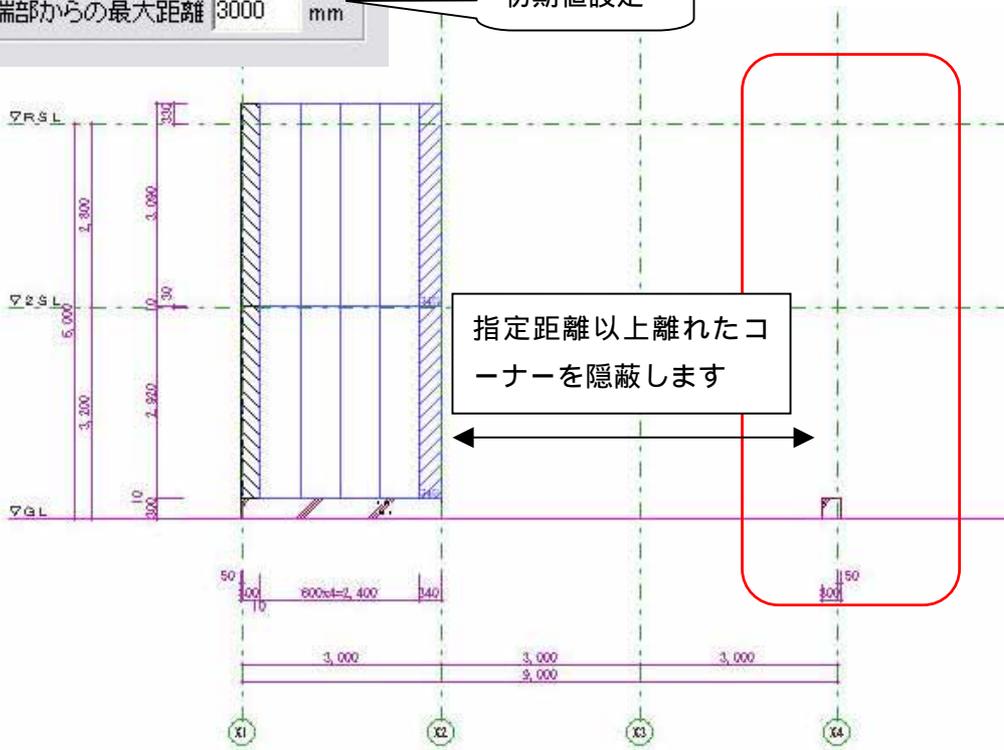
初期値設定



離れた位置にあるコーナーを隠蔽処理する  
パネル端部からの最大距離 3000 mm

初期値設定

指定距離以上離れたコ  
ーナーを隠蔽します

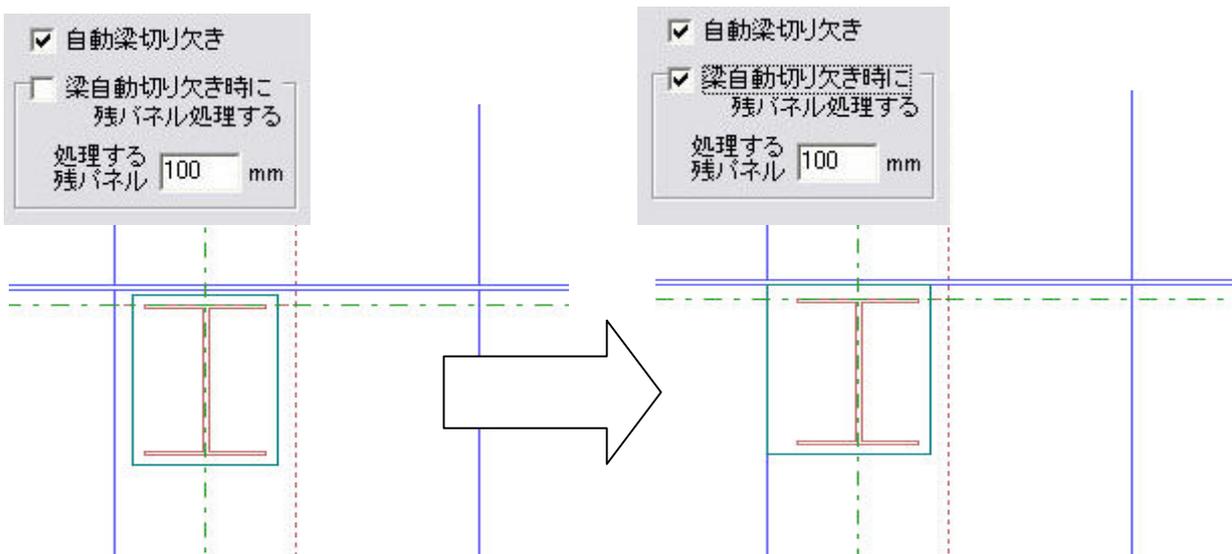


## 立面の梁断面自動切り欠き処理（残パネル処理）機能

梁断面を自動切り欠きで切り欠いた場合に、細いパネルが残らないように自動調整する機能の動作を変更します。  
（[梁自動切り欠き時の残パネル処理]にチェックをすれば残パネルが指定幅以下になればその分も切り欠きます）

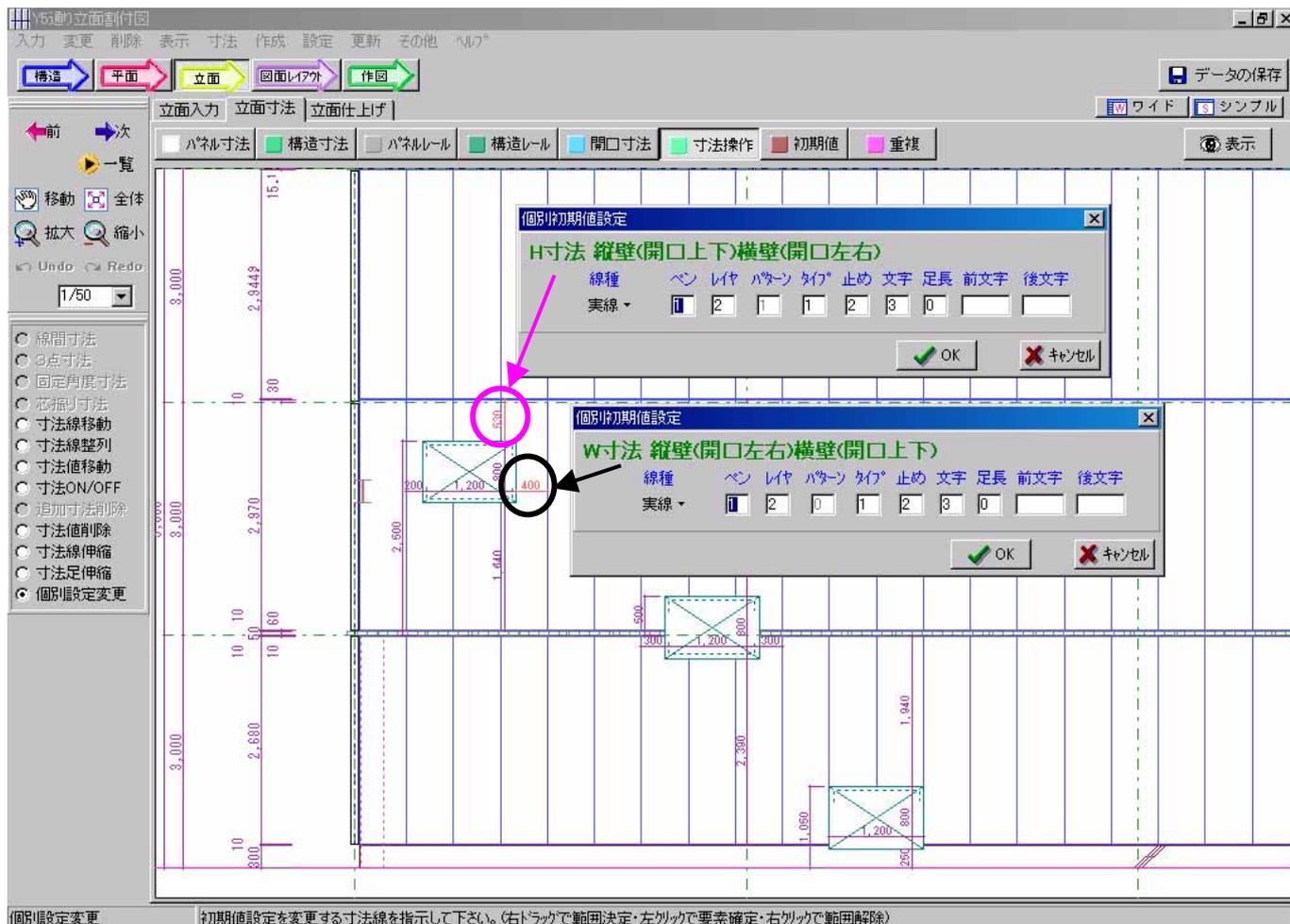
環境名称 Bb 初期マスターに登録... OK キャンセル

## 立面（自動梁切り欠きを実行した場合）



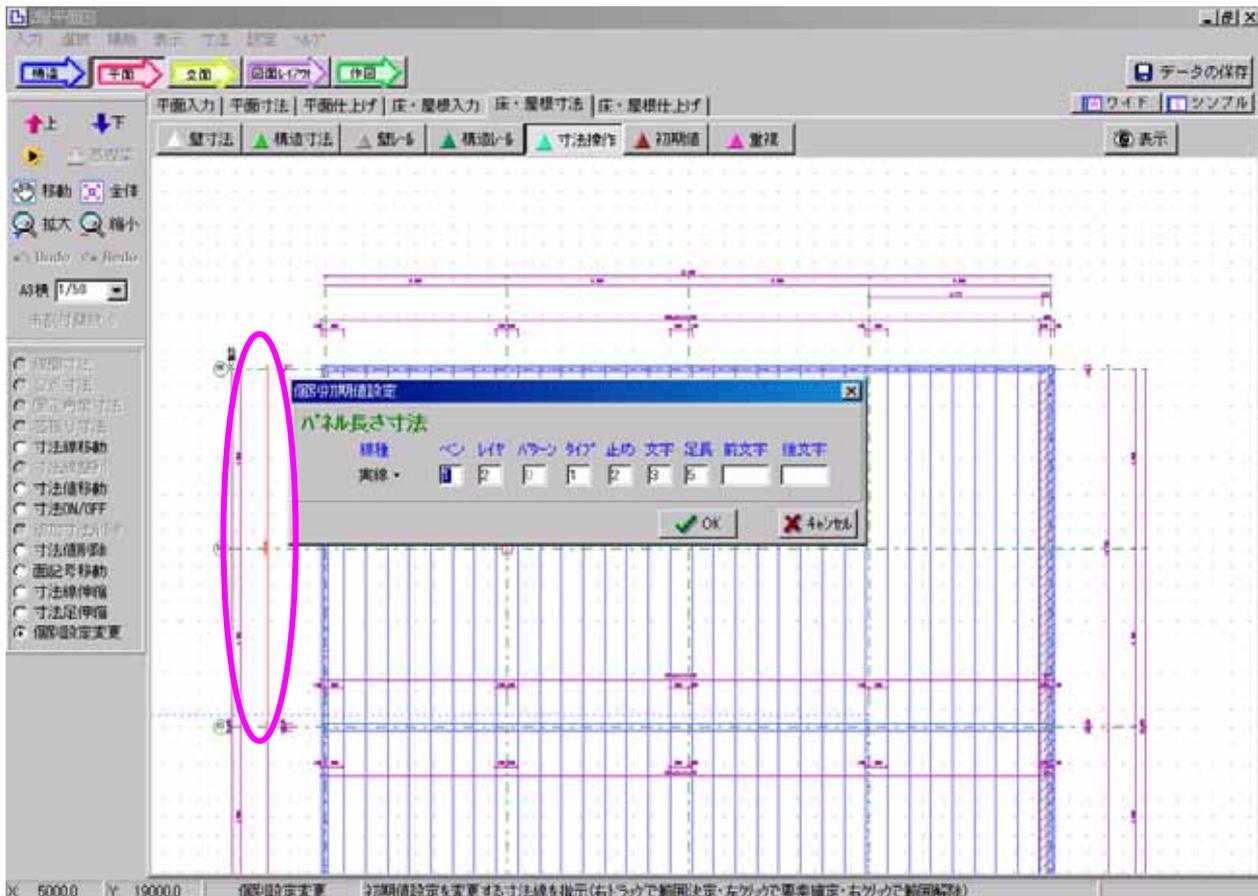
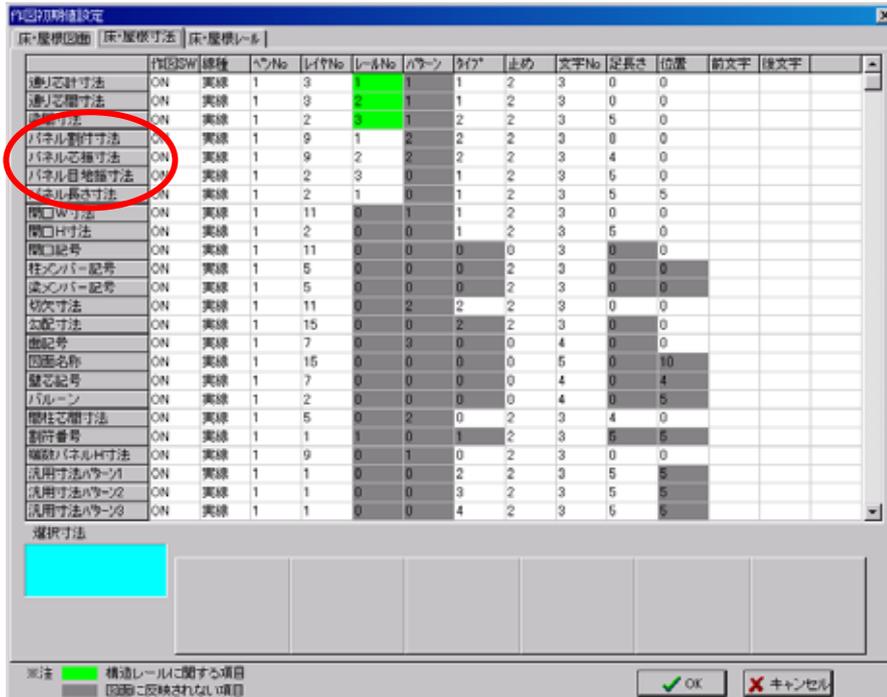
## 開口上下寸法と開口左右の寸法の名称変更

立面寸法初期値の名称を一部変更しました。「開口上下 H 寸法」、「H 寸法 縦壁(開口上下)横壁(開口左右)」、「開口左右 W 寸法」、「W 寸法 縦壁(開口左右)横壁(開口上下)」に変更しました。



## 床パネル長さ寸法を追加

従来、「パネル割付寸法」で表していた幅・長さを「床パネル長さ寸法」を追加することにより、初期値設定項目を別々に指定できるようになりました。



**床割付時、梁・通り芯で目地が自動に入り、端部の床パネル自動処理（確認事項）**

目地入力する時、初期値「パネル最小長さ」を下回る長さのパネルが発生する場合、目地が入らないようにします。初期値「パネル最小長さ」の設定は、環境設定 > 初期値設定 > 床の「パネル最小長さ」で設定します。

Bb 物件別動作、初期値設定

構造 | 平面 | 平面→立面 | 立面 | 床 | レイアウト・作図 | 集計・発注 | DXF

床パネル

パネル幅 600 mm

パネル厚み 100 mm

デッキ厚 200 mm

コンク厚 100 mm

相対 100 mm

縦比 1

横比 10

最小幅 300 mm

開口

縦幅 600 mm

横幅 600 mm

切り欠き

柱 20 mm

長方形

縦幅 600 mm

横幅 600 mm

目地

芯から上(左)への距離 10 mm

芯から下(右)への距離 10 mm

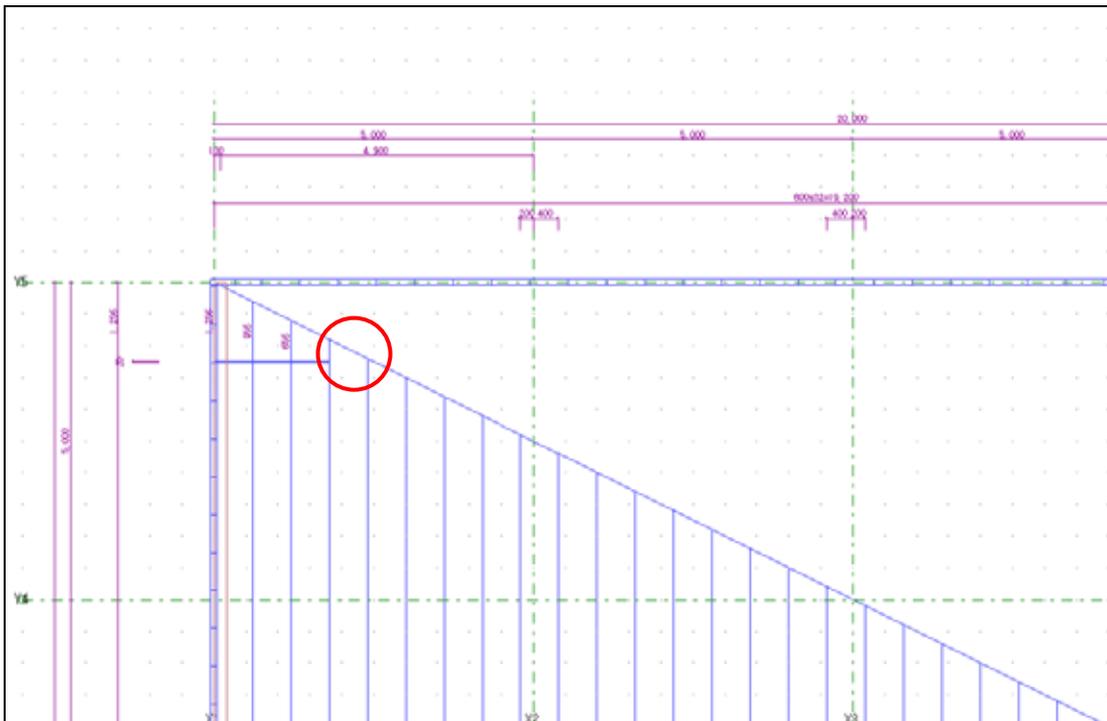
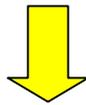
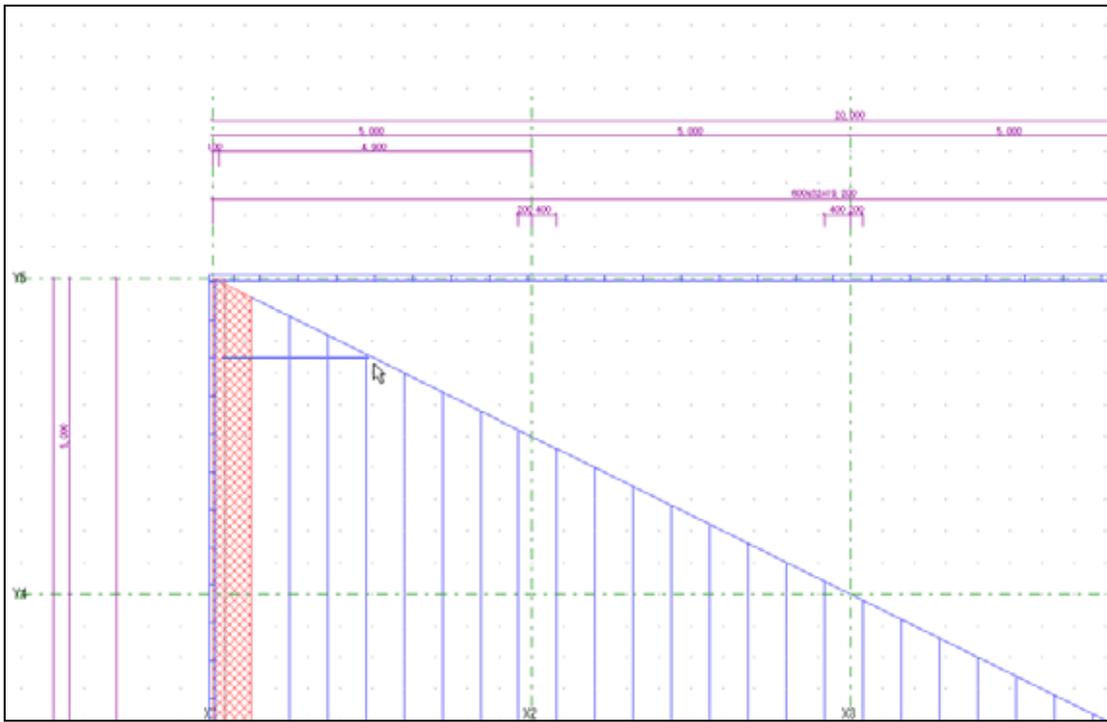
パネル最小長さ 600 mm

環境名称 BB

初期マスターに登録...

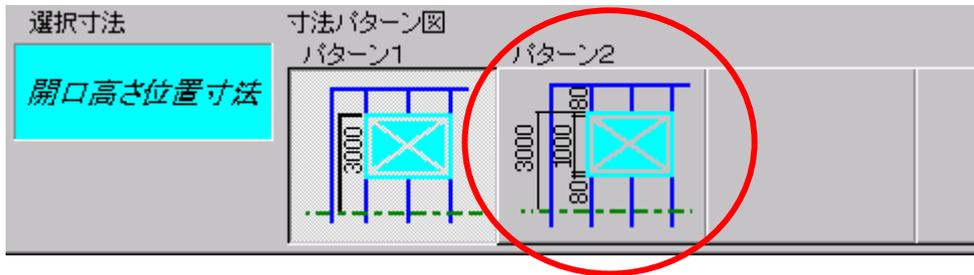
OK

キャンセル



縦断面開口高さ位置寸法にパターンを追加（開口 H 寸法にサッシュクリアを表示する）

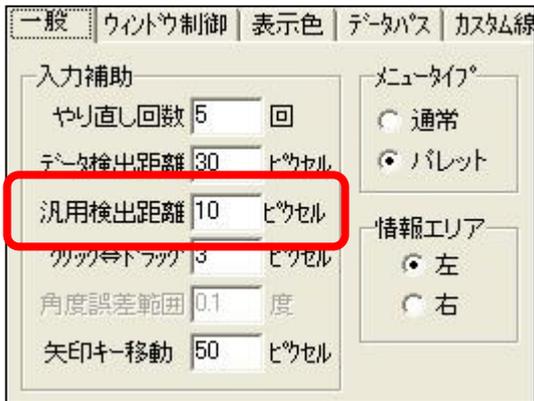
環境設定 > 初期値設定 > レイアウト作図 > 寸法属性詳細 > 縦断面図 > 縦断面寸法の開口高さ位置寸法の寸法パターンに「パターン 2」を追加しました。



『動作環境 追加機能』

汎用要素マウスクリック時のデータ検出距離設定追加。

汎用要素操作時、マウスクリック位置よりどの程度の距離まで、部材・汎用線の要素を検索するかの設定を追加しました。(検索範囲を短くしたことにより、矢印などの作成も可能)



## 10-1 ヘルプ機能について

バージョン情報

**BbのシステムバージョンNoを表示します。**



ライセンス情報

**ライセンス(保守期間・材料発注書など)を表示します。**



改訂履歴

**Bbシステムにおいて変更・追加など履歴を表示します。**

### Bb 改訂履歴

2015年6月1日

\*\*\*\*\*

略号

- ☆ 機能UP
- ◎ 機能追加
- ▲ バグ修正、及び問題点改善
- 仕様変更
- ◇ その他
- ▼ 機能削除

\*\*\*\*\*

(株)SHF  
 <本社>  
 〒620-0017 京都府福知山市猪俣353  
 TEL: 0773-23-8117  
 FAX: 0773-23-7730

E-mail(お問い合わせ): shf\_pbb@shfweb.com

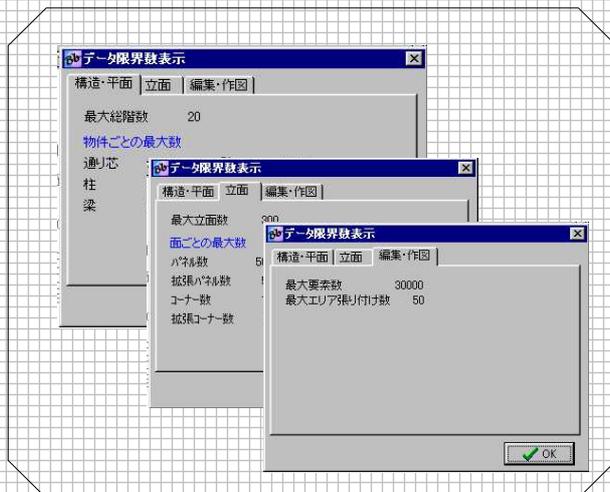
\*\*\*\*\*

[Ver. 4.2.09.1685]2015.5.19

- ▲ 物件 ペリファイ機能でエラーが出た時、再実行と無視の選択ができるように修正
- ▲ 平面 R面のパネル描画で、パネルと開口が重なって描画されてしまう不具合修正
- ▲ 立面 コーナー付近の壁間寸法の所に不要な寸法が表示される不具合修正
- ▲ 立面 コーナーが立面に反映されない点を修正
- ▲ 床面 床枠を削除すると汎用要素が消える不具合修正
- ▲ 床面 屋根の裏面が移動できない不具合修正
- ▲ 床面 床の層コピーで寸法がコピーされない不具合修正
- ▲ 床面 床のパネル変更で、変更対象を端部までの時、床枠無視OFFでも床枠無視状態になってしまう不具合修正
- ▲ 編集 レイアウトで回転した図面の寸法値が寸法線の上に出ない点を修正
- ▲ 編集 レイアウト保存した作図データの面記号が常に回転せずに下から見た表示になってしまう点を修正
- ☆ 編集 平面キープラン通り芯いれルーン千鳥表記のON/OFF設定できる機能追加

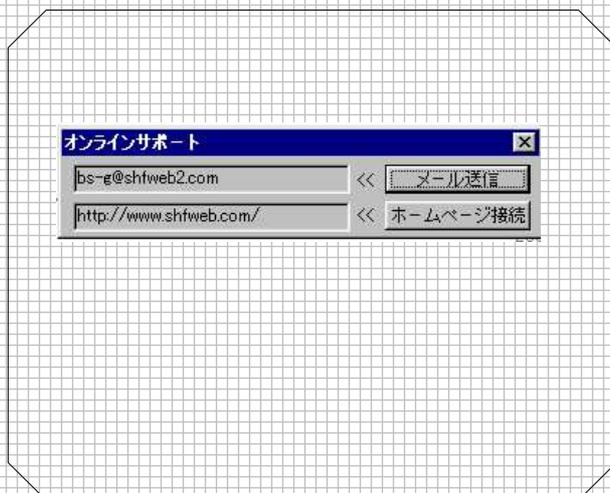
データ限界数

Bbにおける部材(柱数・壁数など)の限界数を表示します。



オンラインサポート

弊社インターネットのサポートアドレスを表示します。



10-2 保存・閉じる・終了

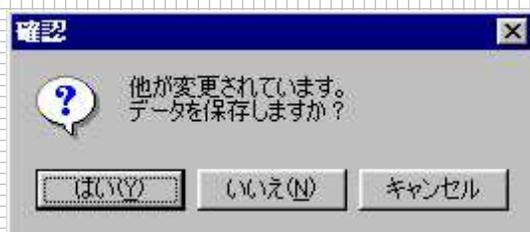
保存

選択している物件のデータを保存します。



閉じる

選択している物件のデータを終了します。  
キャンセルでメニューに戻ります。



終了

Bbシステムを終了します。



## 10-3 日本語入力について

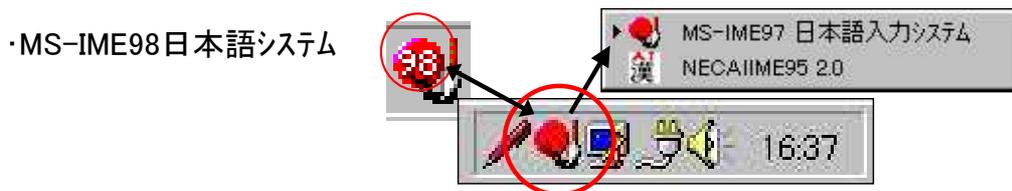
### 日本語入力システムとは

- ①日本語入力システムとは、漢字やひらがなを入力するためのシステムをいいます。
- ②日本語入力システムには、いくつかの種類があります。  
代表的なシステムは以下の通りです。  
ATOK11  
NECIME95  
MS-IME95/MS-IME97
- ③お持ちのパソコンにより、インストールされている入力システムは異なりますので以下の手順で確認して下さい。

ア) Windowsの下側のタスバー右端にある  を確認します

イ) 下図のように ○ 部を左クリックすると、Windowsにインストールされている一覧が表示されます。

ウ) この  マークのシステムが、選択されているシステムとなっています。



### 日本語入力システムをONにする

- ①Windowsが起動した段階では、日本語入力システムは、使えるようになって いません。

そこで、  アイコンを左クリックします。

- ②日本語入力 — オンにマウスを合わせて、左クリックします。  
または、[CTRL]と[XFER]キーを同時に押します。

但し、弊社システムでは、入力の際、日本語入力を必要 とする場合に、自動で日本語入力システムONにしております。



# 第10章 その他

④MS-IME 97の場合、日本語入力がONになりますと、以下の図が画面上に表示されます。

The screenshot shows the MS-IME 97 interface with several icons for different input modes and dictionaries. Below the icons are labels for each mode: 入力モード (Input Mode), 変換モード (Conversion Mode), 漢字辞典 (Kanji Dictionary), 単語/用例登録 (Word/Example Registration), プロパティ (Properties), ヘルプ (Help), and キーボードインジゲータ (Keyboard Indicator).

Below these labels are several windows and panels:

- 入力モード**: A panel with options like 全角ひらがな, 全角カタカナ, 全角英数, 半角カタカナ, 半角英数, 直接入力, and キャンセル.
- 変換モード**: A panel with options like 一般, 人名/地名優先, 話し言葉優先, 無変換, and キャンセル.
- 漢字辞典**: A window showing search results for the character '字' (ジ), with options for 手書き (Handwritten), 総画数 (Total Strokes), 部首 (Radical), and 記号 (Symbol).
- 単語/用例登録**: A window for registering words and examples.
- プロパティ**: A window for setting various options like 入力 (Input), 変換 (Conversion), and 変換モード (Conversion Mode).
- ヘルプ**: A help window with a table of contents.
- 手書きにより漢字を検索**: A label pointing to the Kanji Dictionary window.
- 画数より選択**: A label pointing to the Kanji Dictionary window.
- 部首より選択**: A label pointing to the Kanji Dictionary window.
- 記号を表示**: A label pointing to the Kanji Dictionary window.

## キーボードインジゲータ

キーボードでの **CAPS** と **かな** キーのスイッチ状態をモニタします。

CAPS: **CAPS** キーONにて点灯



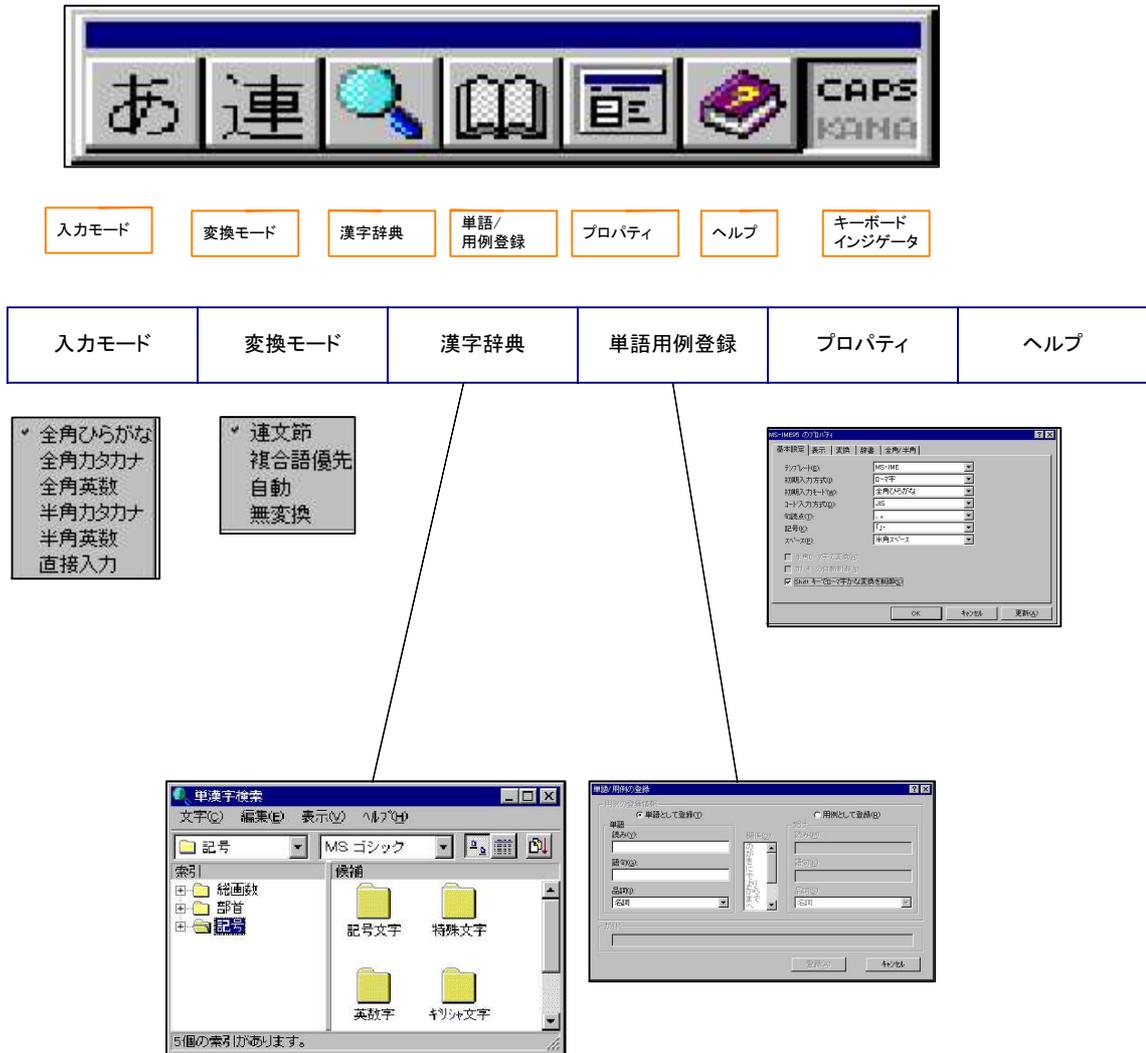
KANA: **かな** キーONにて点灯





# 第10章 その他

⑤MS-IME 95の場合、日本語入力がONになりますと、以下の図が画面上に表示されます。



基本的には、IME 97と同じですので、前ページを参照して下さい。

## キーボードインジゲータ

キーボードでの CAPS と かな キーのスイッチ状態をモニタします。

CAPS: CAPS キーONにて点灯



KANA: かな キーONにて点灯



**かな** ONにて、キーの英数側に反応します。

- ・ **CAPS** ONにて、英字が大文字に、OFFにて小文字となります。  
ただし 英字に対してのみ **SHIFT** キー と同時なら、  
大文字小文字が逆になります。

**かな** ONにて、キーのかな側に反応します。

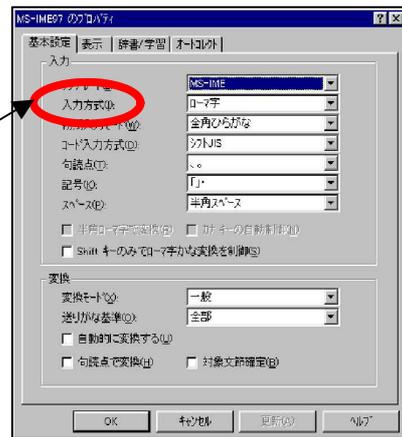
**通常、英字は大文字を使用する事が多いので、CAPSはONにしておいてください**

## 入力方式について

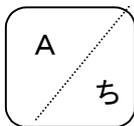
- ① 入力方式は、かな入力とローマ字入力とがあります。
- ② かな入力とは、キーに書かれている、ひらが名を使ってキー入力する方式
- ③ ローマ字入力とは、キーに書かれている、アルファベット(英字)を使って、ローマ字で読みをキー入力する方式

## 入力方式の切替

入力方式を「かな」←→「ローマ字」に切り替える場合は、右図の力の入力方式にて変更します。

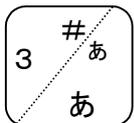


## 使用例



**かな** OFFで、  
かな入力・・・「 A 」 但し、 **SHIFT** と同時なら 「 a 」

**かな** ONで 「 ち 」



**かな** OFFで、「 3 」 但し **SHIFT** と同時なら 「 # 」

**かな** ONで、「 あ 」 但し、 **SHIFT** と同時なら 「 あ 」

## ★漢字入力の基本

**がいしゃ** と入力したい場合

かな入力・・・ **か** **い** **し** **SHIFT** + **や**  
 ローマ字入力・・・ **G** **A** **I** **S** **H** **A**

**しっぽ** と入力したい場合

かな入力・・・ **し** **SHIFT** + **つ** **ほ**  
 ローマ字入力・・・ **S** **I** **P** **P** **O**

**ABC** と入力したい場合

かな入力・・・ **かな** OFFした後

**A** **B** **C**  
 ローマ字入力・・・ **A** **B** **C** と押すと  
**あ** **B** **C** と表示されます。  
 その後、 **F・9** を押します。



上記を参考に文字入力した後、

**スペース** キーを押すと漢字変換して漢字候補が表示されます

**スペース** キーを続けて押すと漢字の候補リストが表示され、

数値入力または、矢印のカーソルキーやスペースキーにて選択

して、リターンキーで確定します。

漢字候補数

## ★特殊な入力

F・5 ……JISコード入力した英数文字を、漢字変換します。  
 書籍等の漢字辞書で調べると、JIS/区点コードと呼ばれるコード  
 が記載してあります。 【亜】 JIS区点コード: 3021

例) 3021 と入力後、F・5 キーを押すと 亜 の文字  
 が変換されて表示されます

F・6 ……カタカナで入力した文字を、ひらがなに変換します。

F・7 ……ひらがなで入力した文字を、カタカナに変換します。

F・8 ……全角で入力した文字を、半角に変換します。

F・9 ……入力文字を、アルファベット(英字)に変換します。

ローマ字入力にて、アルファベット(英字)を入力してもかな変換さ  
 れてしまいます。それを、英字に変換したい場合に使用します。

## 10-4 WINDOWS使用にあたっての注意

### ★システムダウン

システム（一般的にはアプリケーション）運用中に下記のような画面が表示された場合のことをいいます

例外 ODがVXD VAT (01) + 000000C8 の0028:C0051E50 で発生しました。

現在のアプリケーションを終了します。

\* どれかのキーを押すと、現在のアプリケーションを強制終了します。

\* Ctrl+Alt+Del キーをもう一度押すと、コンピュータを再起動します。

アプリケーションで保存していないデータはすべて失われます。

この部分のメッセージは  
ケースによって内容が異  
なってきます。

Alt キーは、NEC98の  
コンピュータでは  
GRPH キーです

### システムダウンが発生した場合

- ①この場合、強制終了または、再起動しか方法がありません。  
どれかのキーを押すと、システムが強制終了します。

CTRL と GRPH 及び DEL キーを同時に押すと、

再起動します。

- ②いずれの場合でも、入力中のデータは、保存していない限り登録されておられません。

- ③①にて、どれかのキーを押した場合、基本的には、Windowsに戻ります。  
マウスがまったく動かない状態や、砂時計が延々と表示されるような場合が  
まれに発生しますので、その場合は

CTRL と GRPH 及び DEL キーを同時に押して、

再起動させます。

## ★Windowsの強制再起動の場合

- ①再起動の場合、パソコンは強制的にリセットされ、電源投入した状態と同じになります。  
以下の図のようにメッセージが表示されどれかのキーを押すとハードディスクチェックが始まります。

Windows 95を起動します。Windowsが正しくシャットダウンされていませんでした。  
ディスクドライブにエラーがある可能性があります。  
どれかのキーを押すと、Scandiskを実行します。

- ②続いて、Scandiskが実行されます。問題がなければWindowsが再起動しますが、問題が発生した場合は以下のようなメッセージが表示されます。

-----問題が見つかりました-----  
ドライブAで×××.××× バイトのデータが見つかりました。  
これは破損ファイルかディレクトリだと思われますが、おそらくディスク領域を使っているだけです。

データの内容を見たい場合は、[保存]を選んで下さい。データにはFILE000.CHKのようなファイル名がつけられて、ルートディレクトリに保存されます。  
ファイルの内容を見るには、TYPEコマンドを使ってください。  
(以前行った修復のために、アクセスできなくなったファイルやディレクトリがある場合は、迷わず[保存]を選んでください)

保存 (S)      削除 (L) <修復しない(D)>      詳細 (M)

- ③矢印カーソルキーにより、削除 (L) に合わせてリターンキーを押すか  キーを押して、不要なゴミデータは削除します。  
その後、以下の画面が表示されます。

-----undoディスクの作成-----

現在ドライブAに変更を加えようとしているところです。

必要であれば、Undoディスクを作成してScandiskの変更を取り消したい時に使用できます。

Undoディスクを作成するには、空のディスク (または Undoディスクとして使用されたディスク) をフロッピードライブに挿入してから、AまたはBボタンを選んでください。

Undoディスクを作成する必要がなければ、[Undo不要]を選んでください。  
ドライブ (D)      Undo不要 (S)      詳細 (M)

- ④矢印カーソルキーにより、Undo不要 (S) に合わせてリターンキーを押すか  キーを押して下さい。その後Windowsが起動します。

## **Bb(Brief&bright)システム操作マニュアル**

制作発行 株式会社 SHF  
〒620-0017  
京都府福知山市字猪崎小字古黒353番  
Tel 0773-23-8117  
Fax 0773-23-7730

本製品のプログラム及びマニュアルの複写・転載を禁止します。  
本製品の内容は予告なしに変更することがあります。  
いかなる原因であっても、データの消滅、破壊などについて、  
弊社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。  
本製品の著作権は株式会社SHFに属します。